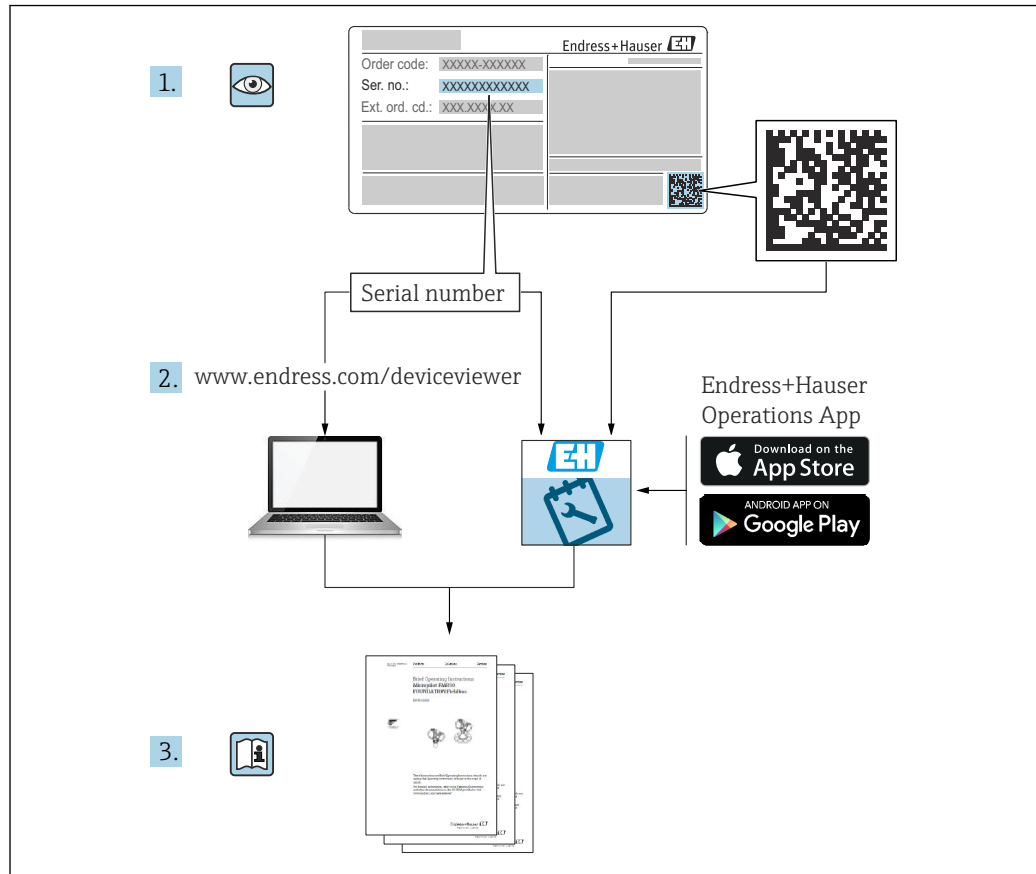


取扱説明書

Levelflex FMP51/FMP52/FMP54 FOUNDATION フィールドバス

ガイドレーダーレベル計





A0023555

目次

1	主要な資料情報	6	6.2	機器の設置	49
1.1	資料の機能	6	6.2.1	必要な取付工具	49
1.2	シンボル	6	6.2.2	プローブの切断	49
1.2.1	安全シンボル	6	6.2.3	気相補正機能付き FMP54 : ロッド プローブの取付け	51
1.2.2	電気シンボル	6	6.2.4	機器の設置	52
1.2.3	工具シンボル	6	6.2.5	「分離型センサ」バージョンの取 付け	53
1.2.4	特定情報に関するシンボル	7	6.2.6	変換器ハウジングの回転	55
1.2.5	図中のシンボル	7	6.2.7	表示部の回転	55
1.2.6	機器のシンボル	8	6.3	設置状況の確認	57
1.3	補足資料	9	7	電気接続	58
1.4	用語および略語	10	7.1	接続条件	58
1.5	登録商標	11	7.1.1	端子の割当て	58
2	基本安全注意事項	12	7.1.2	ケーブル仕様	60
2.1	要員の要件	12	7.1.3	機器プラグコネクタ	61
2.2	用途	12	7.1.4	電源	62
2.3	労働安全	12	7.1.5	過電圧保護	62
2.4	操作上の安全性	13	7.2	機器の接続	63
2.5	製品の安全性	13	7.2.1	端子部カバーを開く	63
2.5.1	CE マーク	13	7.2.2	接続	64
2.5.2	EAC 認証	13	7.2.3	差込式スプリング端子	64
2.6	安全上の注意事項 (XA)	14	7.2.4	端子部カバーを閉じる	65
2.6.1	接続された FHX50 リモート表示部 の場合の Ex 記号	17	7.3	配線状況の確認	65
3	製品説明	18	8	操作オプション	66
3.1	製品構成	18	8.1	概要	66
3.1.1	Levelflex FMP51/FMP52/FMP54/ FMP55	18	8.1.1	現場操作	66
3.1.2	電子部ハウジング	19	8.1.2	リモート表示部と操作モジュール FHX50 による操作	67
4	納品内容確認および製品識別表示	20	8.1.3	リモート操作	67
4.1	受入	20	8.2	操作メニューの構成と機能	69
4.2	製品識別表示	20	8.2.1	操作メニューの構成	69
4.2.1	銘板	21	8.2.2	ユーザーの役割と関連するアクセ ス権	70
5	保管、輸送	22	8.2.3	データアクセス - セキュリティ	70
5.1	保管条件	22	8.3	表示部および操作モジュール	75
5.2	測定点までの製品の搬送	22	8.3.1	表示	75
6	設置	23	8.3.2	操作部	78
6.1	取付要件	23	8.3.3	数字とテキストの入力	79
6.1.1	適切な取付位置	23	8.3.4	コンテキストメニューを開く	81
6.1.2	取付スペースが制限されるアプリ ケーション	25	8.3.5	表示部および操作モジュール上の 反射波形	82
6.1.3	プローブの機械的負荷に関する注 意事項	27	9	FOUNDATION フィールドバスネッ トワークへの統合	83
6.1.4	プロセス接続に関する注意	29	9.1	機器説明 (DD)	83
6.1.5	クラッドフランジの取付け	34	9.2	FOUNDATION フィールドバスネットワー クへの統合	83
6.1.6	プローブの固定	35	9.3	機器の識別とアドレス指定	83
6.1.7	特殊な設置条件	38	9.4	ブロックモデル	84
			9.4.1	機器ソフトウェアのブロック	84

9.4.2	出荷時のブロック設定	85	12.10.2	割当パラメータ	119
9.5	AI ブロックでの測定値 (CHANNEL) の割当 て	85	12.10.3	設定可能エリア	122
9.6	エンドレスハウザー社パラメータの索引表 ..	86	12.10.4	バスへのイベントメッセージの 伝送	123
9.6.1	設定/ 変換器ブロック	86	12.11	不正な設定変更の防止	123
9.6.2	高度な設定/ 変換器ブロック	87	13	診断およびトラブルシューティン グ	124
9.6.3	表示/ 変換器ブロック	88	13.1	一般トラブルシューティング	124
9.6.4	診断/ 変換器ブロック	89	13.1.1	一般エラー	124
9.6.5	エキスパート設定/ 変換器ブロッ ク	90	13.1.2	パラメータ設定エラー	125
9.6.6	エキスパート情報/ 変換器ブロッ ク	92	13.2	現場表示器の診断情報	127
9.6.7	サービスセンサ/ 変換器ブロック ...	93	13.2.1	診断メッセージ	127
9.6.8	サービス情報/ 変換器ブロック ...	93	13.2.2	対処法の呼び出し	129
9.6.9	データ転送/ 変換器ブロック	93	13.3	操作ツール上の診断イベント	130
9.7	メソッド	95	13.4	診断/ 変換器ブロック (TRDDIAG) の診断メ ッセージ	131
10	ウィザードによる設定	96	13.5	診断リスト	131
11	操作メニューを使用した設定	97	13.6	イベントログ	131
11.1	設置および機能の確認	97	13.6.1	イベント履歴	131
11.2	操作言語の設定	97	13.6.2	イベントログのフィルタリング ...	132
11.3	基準距離の確認	97	13.6.3	情報イベントの概要	132
11.4	レベル測定の設定	99	13.7	ファームウェアの履歴	134
11.5	界面測定の設定	101	14	メンテナンス	135
11.6	基準カーブの記録	103	14.1	外部洗浄	135
11.7	現場表示器の設定	104	15	修理	136
11.7.1	レベル測定用の現場表示器の初期 設定	104	15.1	修理に関する一般情報	136
11.7.2	界面測定用の現場表示器の初期 設定	104	15.1.1	修理コンセプト	136
11.7.3	現場表示器の調整	104	15.1.2	防爆認定機器の修理	136
11.8	設定管理	105	15.1.3	電子モジュールの交換	136
11.9	不正な設定変更の防止	106	15.1.4	機器の交換	136
12	設定（ブロックベースの操作） ...	107	15.2	スペアパーツ	137
12.1	機能チェック	107	15.3	返却	137
12.2	ブロック設定	107	15.4	廃棄	137
12.2.1	準備手順	107	16	アクセサリ	138
12.2.2	リソースブロックの設定	107	16.1	機器関連のアクセサリ	138
12.2.3	変換器ブロックの設定	107	16.1.1	日除けカバー	138
12.2.4	アナログ入力ブロックの設定 ...	108	16.1.2	電子部ハウジングの取付ブラケ ット	139
12.2.5	追加設定	108	16.1.3	伸長ロッド/センタリング HMP40	140
12.3	AI ブロックでの測定値のスケーリング ...	108	16.1.4	取付キット（絶縁）	141
12.4	言語の選択	109	16.1.5	センタリングスター	142
12.5	基準距離の確認	109	16.1.6	リモート表示部 FHX50	144
12.6	レベル測定の設定	111	16.1.7	過電圧保護	145
12.7	界面測定の設定	112	16.1.8	HART 機器用の Bluetooth モジュ ール	146
12.8	現場表示器の設定	114	16.2	通信関連のアクセサリ	147
12.8.1	レベル測定用の現場表示器の初期 設定	114	16.3	サービス関連のアクセサリ	147
12.8.2	界面測定用の現場表示器の初期 設定	114	16.4	システムコンポーネント	147
12.9	設定管理	114	17	操作メニュー	148
12.10	FOUNDATION フィールドバス仕様 FF912 に基づくイベント動作の設定	116	17.1	操作メニューの概要（表示モジュール） ..	148
12.10.1	イベントグループ	117			

17.2	操作メニューの概要（操作ツール）	155
17.3	「設定」メニュー	162
17.3.1	「マッピング」ウィザード	175
17.3.2	「Analog input 1～5」サブメニュー	176
17.3.3	「高度な設定」サブメニュー	178
17.4	「診断」メニュー	226
17.4.1	「診断リスト」サブメニュー	228
17.4.2	「イベントログブック」サブメニュー	229
17.4.3	「機器情報」サブメニュー	230
17.4.4	「測定値」サブメニュー	232
17.4.5	「Analog input 1～5」サブメニュー	234
17.4.6	「データのログ」サブメニュー	237
17.4.7	「シミュレーション」サブメニュー	240
17.4.8	「機器チェック」サブメニュー	245
17.4.9	「Heartbeat」サブメニュー	247
索引		248

1 主要な資料情報

1.1 資料の機能

この取扱説明書には、機器ライフサイクルの各種段階（製品の識別、納品内容確認、保管、取付け、接続、操作、設定からトラブルシューティング、メンテナンス、廃棄まで）において必要とされるあらゆる情報が記載されています。

1.2 シンボル

1.2.1 安全シンボル

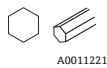
シンボル	意味
	危険 危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、大けがをしたりするほか、爆発・火災を引き起こす恐れがあります。
	警告 危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災の恐れがあります。
	注意 危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、けが、物的損害の恐れがあります。
	注記！ 人身傷害につながらない、手順やその他の事象に関する情報を示すシンボルです。

1.2.2 電気シンボル

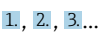
シンボル	意味
	直流
	交流
	直流および交流
	アース端子 オペレータに関する限り、接地システムを用いて接地された接地端子
	保安アース (PE) その他の接続を行う前に、接地接続する必要がある端子 接地端子は機器の内側と外側にあります。 ■ 内側の接地端子：保安アースと電源を接続します。 ■ 外側の接地端子：機器とプラントの接地システムを接続します。

1.2.3 工具シンボル

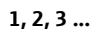
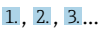
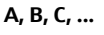
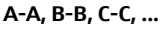
シンボル	意味
	星型ドライバ
	マイナスドライバ
	プラスドライバ

シンボル	意味
 A0011221	六角レンチ
 A0011222	六角スパナ

1.2.4 特定情報に関するシンボル

シンボル	意味
	許可 許可された手順、プロセス、動作
	推奨 推奨の手順、プロセス、動作
	禁止 禁止された手順、プロセス、動作
	ヒント 追加情報を示します。
	資料参照
	ページ参照
	図参照
	注意すべき注記または個々のステップ
	一連のステップ
	操作・設定の結果
	問題が発生した場合のヘルプ
	目視確認

1.2.5 図中のシンボル

シンボル	意味
	項目番号
	一連のステップ
	図
	断面図
	危険場所 危険場所を示します。
	安全区域（非危険場所） 非危険場所を示します。

1.2.6 機器のシンボル

シンボル	意味
	安全注意事項 関連する取扱説明書に記載された安全注意事項に注意してください。
	接続ケーブルの温度耐性 接続ケーブルの温度耐性の最小値を指定します。

1.3 補足資料

資料	資料の目的および内容
技術仕様書 TI01001F (FMP51、FMP52、 FMP54)	機器の計画支援 本資料には、機器に関するすべての技術データが記載されており、本機器用に注文可能なアクセサリやその他の製品の概要が示されています。
簡易取扱説明書 KA01107F (FMP51/FMP52/ FMP54、FOUNDATION フィールド バス)	簡単に初めての測定を行うための手引き 簡易取扱説明書には、納品内容確認から初回の設定までに必要なすべての情報が記載されています。
機能パラメータの説明 GP01015F (FMP5x、FOUNDATION フィールドバス)	使用するパラメータの参考資料 本資料には、操作メニュー内の各パラメータの詳しい説明が記載されています。本説明書は、全ライフサイクルにわたって本機器を使用し、特定の設定を行う人のために用意されたものです。
個別説明書 SD00326F	機能安全マニュアル 本資料は取扱説明書の一部であり、アプリケーション固有のパラメータや注意事項が記載されています。
個別説明書 SD01872F	Heartbeat 検証および Heartbeat モニタリング用マニュアル 本資料には Heartbeat 検証 および Heartbeat モニタリング アプリケーション パッケージで使用可能な追加パラメータや技術データの説明が記載されています。



同梱される関連の技術資料の概要については、次を参照してください。

- W@M デバイスビューワー：銘板のシリアル番号を入力してください (www.endress.com/deviceviewer)。
- Endress+Hauser Operations App：銘板のシリアル番号を入力するか、銘板の 2-D マトリクスコード (QR コード) をスキャンしてください。

1.4 用語および略語

用語/略語	説明
BA	資料『取扱説明書』
KA	資料『簡易取扱説明書』
TI	資料『技術仕様書』
SD	資料『個別説明書』
XA	資料『安全上の注意事項』
PN	定格圧力
MWP	最大動作圧力 MWP は銘板にも明記されています。
ToF	Time of Flight (飛行伝播時間)
FieldCare	デバイスの設定からコンディションモニタリングまでカバーするプラントアセットマネジメントツール
DeviceCare	Endress+Hauser HART、PROFIBUS、FOUNDATION フィールドバス、Ethernet フィールド機器用の汎用設定ソフトウェア
DTM	デバイスタイプマネージャ
DD	HART 通信プロトコル用のデバイス記述
ϵ_r (DC 値)	比誘電率
操作ツール	「操作ツール」という用語は、以下の操作ソフトウェアの代わりに使用されます。 - FieldCare / DeviceCare : HART 通信および PC を介した操作 - SmartBlue (アプリ) : Android または iOS 搭載のスマートフォンまたはタブレット端末を用いた操作
BD	不感知距離 : BD の範囲内では信号が解析されません。
PLC	プログラマブルロジックコントローラ
CDI	サービスインターフェース
PFS	パルス/周波数ステータス (スイッチング出力)
MBP	マンチェスタバス給電
PDU	プロトコルデータユニット

1.5 登録商標

FOUNDATION™ フィールドバス

FieldComm Group, Austin, Texas, USA の登録商標です。

Bluetooth®

Bluetooth® の文字商標とロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、Endress+Hauser は許可を受けてこのマークを使用しています。その他の商標や商品名は、その所有者に帰属します。

Apple®

Apple、Apple ロゴ、iPhone、iPod touch は、米国その他各国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

Android®

Android、Google Play、Google Play ロゴは Google Inc. の登録商標です。

KALREZ (カルツレッツ)®、VITON (バイトン)®

DuPont Performance Elastomers L.L.C., Wilmington, USA の登録商標です。

TEFLON (テフロン)®

E.I. DuPont de Nemours & Co., Wilmington, USA の登録商標です。

TRI CLAMP (トリクランプ)®

Alfa Laval Inc., Kenosha, USA の登録商標です。

NORD-LOCK (ノルトロック)®

Nord-Lock International AB の登録商標です。

FISHER®

Fisher Controls International LLC, Marshalltown, USA の登録商標です。

MASONEILAN®

Dresser, Inc., Addison, USA の登録商標です。

2 基本安全注意事項

2.1 要員の要件

設置、設定、診断、およびメンテナンスを実施する要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 訓練を受けて、当該任務および作業に関する資格を取得した専門作業員であること。
- ▶ 施設責任者の許可を得ていること。
- ▶ 各地域/各国の法規を熟知していること。
- ▶ 作業を開始する前に、取扱説明書、補足資料、ならびに証明書（用途に応じて異なります）の説明を読み、内容を理解しておくこと。
- ▶ 指示に従い、基本条件を遵守すること。

オペレータ要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 施設責任者からその作業に必要な訓練および許可を得ていること。
- ▶ 本資料の説明に従うこと。

2.2 用途

用途と測定材質

本書で説明する機器は、液体のレベル測定と界面測定のみを使用目的とするものです。注文したバージョンに応じて、本機器は爆発性、可燃性、毒性、酸化性の物質も測定できます。

取扱説明書および補足資料に明記された「技術データ」の制限値を遵守し、以下の測定にのみ使用してください。

- ▶ プロセス変数（測定値）：レベルおよび/または界面
- ▶ プロセス変数（計算値）：任意形状容器の体積または質量（リニアライゼーション機能によりレベルから計算）

運転時間中、機器が適切な条件下にあるよう、次の点に注意してください。

- ▶ 本機は、接液部材質の耐久性を十分に確保できる材質の測定にのみ使用してください。
- ▶ 「技術データ」の制限値に従ってください。

不適切な用途

不適切な、あるいは指定用途以外での使用に起因する損傷については、製造者は責任を負いません。

不明な場合の確認：

- ▶ 特殊な測定材質および洗浄剤に関して、エンドレスハウザー社では接液部材質の耐食性確認のサポートを提供いたしますが、保証や責任は負いかねます。

残存リスク

電子部ハウジングおよび、表示モジュール、メイン電子モジュール、I/O 電子モジュールなどの組込コンポーネントが、動作時にプロセスの熱伝導および電子部内の電力損失により 80 °C (176 °F) に達することがあります。動作時に、センサが測定材質の温度と同等の温度に達する場合があります。

加熱した表面により火傷を負う危険性があります。

- ▶ プロセス温度が高温の場合、接触部分に保護具を設置してください。

2.3 労働安全

機器で作業する場合：

- ▶ 各地域/各国の規定に従って必要な個人用保護具を着用してください。

分割型ロッドプローブを使用すると、ロッドの個々の部品間の接合部に測定物が入り込むことがあります。接合部を緩めると、この測定物が流出する可能性があります。危険な（例：腐食性または毒性）測定物の場合、けがにつながる可能性があります。

- ▶ ロッドプローブの部品間の接合部を緩めるときは、測定物に応じて適切な保護具を着用してください。

2.4 操作上の安全性

けがに注意！

- ▶ 本機は、適切な技術条件およびフェールセーフ条件下でのみ操作してください。
- ▶ 施設責任者には、機器を支障なく操作できるようにする責任があります。

機器の改造

機器を無断で変更することは、予測不可能な危険を招くおそれがあり、認められません。

- ▶ 変更が必要な場合は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

修理

操作上の安全性と信頼性を保証するために、以下の点にご注意ください。

- ▶ 機器の修理は、そのことが明確に許可されている場合にのみ実施してください。
- ▶ 電気機器の修理に関する各地域/各国の規定を遵守してください。
- ▶ 弊社純正スペアパーツおよびアクセサリのみを使用してください。

防爆区域

防爆区域で機器を使用する場合に、要員やプラントが危険にさらされないよう、以下の点にご注意ください（例：爆発防止、圧力容器安全）。

- ▶ 注文した機器が防爆仕様になっているか型式銘板を確認してください。
- ▶ 本書に付随する別冊の補足資料の記載事項にご注意ください。

2.5 製品の安全性

本機器は、最新の安全要件に適合するように GEP（Good Engineering Practice）に従って設計され、テストされて安全に操作できる状態で工場から出荷されます。本機は一般的な安全基準および法的要件を満たしています。

注記

湿潤環境下で機器を開けると保護等級が無効になります。

- ▶ 湿潤環境下で機器を開けると、銘板に示された保護等級の有効性が失われます。これは、機器の安全な操作を妨げる可能性もあります。

2.5.1 CE マーク

計測システムは EC ガイドラインの法的要求に準拠しています。関連の「EC 適合性の宣言」にリストされていますが、同時に規格に適合しています。

エンドレスハウザー社は CE マークを表示することにより、本製品が各試験に合格していることを証明いたします。

2.5.2 EAC 認証

計測システムは EAC ガイドラインの法的要求に準拠しています。関連の「EAC 適合性の宣言」にリストされていますが、同時に規格に適合しています。

Endress+Hauser は本製品が試験に合格したことを、EAC マークを付けることにより保証いたします。

2.6 安全上の注意事項 (XA)

認証に応じて、以下の安全上の注意事項 (XA) が機器に同梱されます。これは、取扱説明書の付随資料です。

仕様コード 010	認定	対応可能	仕様コード 020 : 「電源 ; 出力」				
			A ¹⁾	B ²⁾	C ³⁾	E ⁴⁾ /G ⁵⁾	K ⁶⁾ /L ⁷⁾
BA	ATEX II 1G Ex ia IIC T6 Ga	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00496F	XA01125F	XA01126F	XA00516F	-
BB	ATEX II 1/2G Ex ia IIC T6 Ga/Gb	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00496F	XA01125F	XA01126F	XA00516F	-
BC	ATEX II 1/2G Ex d[ia] IIC T6 Ga/Gb	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00499F	XA00499F	XA00499F	XA00519F	XA01133F
BD	ATEX II 1/3G Ex ic[ia] IIC T6 Ga/Gc	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00497F	XA01127F	XA01128F	XA00517F	-
BE	ATEX II 1D Ex t IIIC Da	FMP54	XA00501F	XA00501F	XA00501F	XA00521F	XA00501F
BF	ATEX II 1/2D Ex t IIIC Da/Db	FMP54	XA00501F	XA00501F	XA00501F	XA00521F	XA00501F
BG	ATEX II 3G Ex nA IIC T6 Gc	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00498F	XA01130F	XA01131F	XA00518F	XA01132F
BH	ATEX II 3G Ex ic IIC T6 Gc	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00498F	XA01130F	XA01131F	XA00518F	-
BL	ATEX II 1/3G Ex nA[ia] IIC T6 Ga/Gc	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00497F	XA01127F	XA01128F	XA00517F	XA01129F
B2	ATEX II 1/2G Ex ia IIC T6 Ga/Gb、 1/2D Ex ia IIIC Da/Db	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00502F	XA00502F	XA00502F	XA00522F	-
B3	ATEX II 1/2G Ex d[ia] IIC T6 Ga/Gb、 1/2 D Ex t IIIC Da/Db	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00503F	XA00503F	XA00503F	XA00523F	XA01136F
B4	ATEX II 1/2G Ex ia IIC T6 Ga/Gb, Ex d[ia] IIC T6 Ga/Gb	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00500F	XA01134F	XA01135F	XA00520F	-
CD	CSA C/US DIP Cl.I,II,III Div.1 Gr.E-G	FMP54	XA00529F	XA00529F	XA00529F	XA00570F	XA00529F
C2	CSA C/US IS Cl.I,II,III Div.1 Gr.A-G, NI Cl.1 Div.2, Ex ia	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00530F	XA00530F	XA00530F	XA00571F	XA00530F
C3	CSA C/US XP Cl.I,II,III Div.1 Gr.A-G, NI Cl.1 Div.2, Ex d	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00529F	XA00529F	XA00529F	XA00570F	XA00529F
FB	FM IS Cl.I,II,III Div.1 Gr.A-G, AEx ia, NI Cl.1 Div.2	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00531F	XA00531F	XA00531F	XA00573F	XA00531F
FD	FM XP Cl.I,II,III Div.1 Gr.A-G, AEx d, NI Cl.1 Div.2	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00532F	XA00532F	XA00532F	XA00572F	XA00532F
FE	FM DIP Cl.I,II,III Div.1 Gr.E-G	FMP54	XA00532F	XA00532F	XA00532F	XA00572F	XA00532F
GA	EAC Ex ia IIC T6 Ga	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA01380F	XA01380F	XA01380F	XA01381F	XA01380F

仕様コード 010	認定	対応可能	仕様コード 020 : 「電源 ; 出力」				
			A ¹⁾	B ²⁾	C ³⁾	E ⁴⁾ /G ⁵⁾	K ⁶⁾ /L ⁷⁾
GB	EAC Ex ia IIC T6 Ga/Gb	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA01380F	XA01380F	XA01380F	XA01381F	XA01380F
GC	EAC Ex d[ia] IIC T6 Ga/Gb	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA01382F	XA01382F	XA01382F	XA01383F	XA01382F
IA	IEC Ex ia IIC T6 Ga	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00496F	XA01125F	XA01126F	XA00516F	-
IB	IEC Ex ia IIC T6 Ga/Gb	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00496F	XA01125F	XA01126F	XA00516F	-
IC	IEC Ex d[ia] IIC T6 Ga/Gb	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00499F	XA00499F	XA00499F	XA00519F	XA01133F
ID	IEC Ex ic[ia] IIC T6 Ga/Gc	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00497F	XA01127F	XA01128F	XA00517F	-
IE	IEC Ex t IIIC Da	FMP54	XA00501F	XA00501F	XA00501F	XA00521F	XA00501F
IF	IEC Ex t IIIC Da/Db	FMP54	XA00501F	XA00501F	XA00501F	XA00521F	XA00501F
IG	IEC Ex nA IIC T6 Gc	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00498F	XA01130F	XA01131F	XA00518F	XA01132F
IH	IEC Ex ic IIC T6 Gc	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00498F	XA01130F	XA01131F	XA00518F	-
IL	IEC Ex nA[ia] IIC T6 Ga/Gc	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00497F	XA01127F	XA01128F	XA00517F	XA01129F
I2	IEC Ex ia IIC T6 Ga/Gb、 Ex ia IIIC Da/Db	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00502F	XA00502F	XA00502F	XA00522F	-
I3	IEC Ex d [ia] IIC T6 Ga/Gb、 Ex t IIIC Da/Db	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00503F	XA00503F	XA00503F	XA00523F	XA01136F
I4	IEC Ex II 1/2G Ex ia IIC T6 Ga/Gb、 Ex d[ia] IIC T6 Ga/Gb	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00500F	XA01134F	XA01135F	XA00520F	-
JC	JPN Ex d[ia] IIC T4 Ga/Gb	- FMP51 - FMP52	-	-	XA01718F	-	-
JD	JPN Ex d[ia] IIC T1 Ga/Gb	FMP54	-	-	XA01718F	-	-
JE	JPN Ex d[ia] IIC T2 Ga/Gb	FMP54	-	-	XA01718F	-	-
KA	KC Ex ia IIC T6 Ga	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA01169F	-	XA01169F	-	-
KB	KC Ex ia IIC T6 Ga/Gb	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA01169F	-	XA01169F	-	-
KC	KC Ex d[ia] IIC T6	- FMP51 - FMP52 - FMP54	-	-	XA01170F	-	-
MA	INMETRO Ex ia IIC T6 Ga	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA01038F	XA01038F	XA01038F	-	XA01038F

仕様コード 010	認定	対応可能	仕様コード 020 : 「電源 ; 出力」				
			A ¹⁾	B ²⁾	C ³⁾	E ⁴⁾ /G ⁵⁾	K ⁶⁾ /L ⁷⁾
MC	INMETRO Ex d[ia] IIC T6 Ga/Gb	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA01041F	XA01041F	XA01041F	-	XA01041F
ME	INMETRO Ex t IIIC Da	FMP54	XA01043F	XA01043F	XA01043F	-	XA01043F
MH	INMETRO Ex ic IIC T6 Gc	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA01040F	XA01040F	XA01040F	-	XA01040F
NA	NEPSI Ex ia IIC T6 Ga	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00634F	XA00634F	XA00634F	XA00640F	XA00634F
NB	NEPSI Ex ia IIC T6 Ga/Gb	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00634F	XA00634F	XA00634F	XA00640F	XA00634F
NC	NEPSI Ex d[ia] IIC T6 Ga/Gb	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00636F	XA00636F	XA00636F	XA00642F	XA00636F
NF	NEPSI DIP A20/21 T85...90°C IP66	FMP54	XA00637F	XA00637F	XA00637F	XA00643F	XA00637F
NG	NEPSI Ex nA II T6 Gc	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00635F	XA00635F	XA00635F	XA00641F	XA00635F
NH	NEPSI Ex ic IIC T6 Gc	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00635F	XA00635F	XA00635F	XA00641F	XA00635F
N2	NEPSI Ex ia IIC T6 Ga/Gb、 Ex iaD 20/21 T85...90°C	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00638F	XA00638F	XA00638F	XA00644F	XA00638F
N3	NEPSI Ex d[ia] IIC T6 Ga/Gb、 DIP A20/21 T85...90°C IP66	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00639F	XA00639F	XA00639F	XA00645F	XA00639F
8A	FM/CSA IS+XP Cl.I,II,III Div.1 Gr.A-G	- FMP51 - FMP52 - FMP54	XA00531F XA00532F	XA00531F XA00532F	XA00531F XA00532F	XA00572F XA00573F	XA00531F XA00532F

- 1) A : 2 線式 ; 4~20 mA HART
2) B : 2 線式 ; 4~20 mA HART、スイッチ出力
3) C : 2 線式 ; 4~20 mA HART、4~20 mA
4) E : 2 線式 ; FOUNDATION フィールドバス、スイッチ出力
5) G : 2 線式 ; PROFIBUS PA、スイッチ出力
6) K : 4 線式 AC 90~253 V ; 4~20 mA HART
7) L : 4 線式 DC 10.4~48 V ; 4~20 mA HART



認証取得機器の場合、対応する安全注意事項 (XA) が銘板に明記されています。

2.6.1 接続された FHX50 リモート表示部の場合の Ex 記号

機器がリモート表示部 FHX50 用に準備されている場合（製品構成：仕様コード 030：「表示部/操作部」、オプション L または M）、以下の表に従って一部の認証の Ex 記号が変更されます。¹⁾

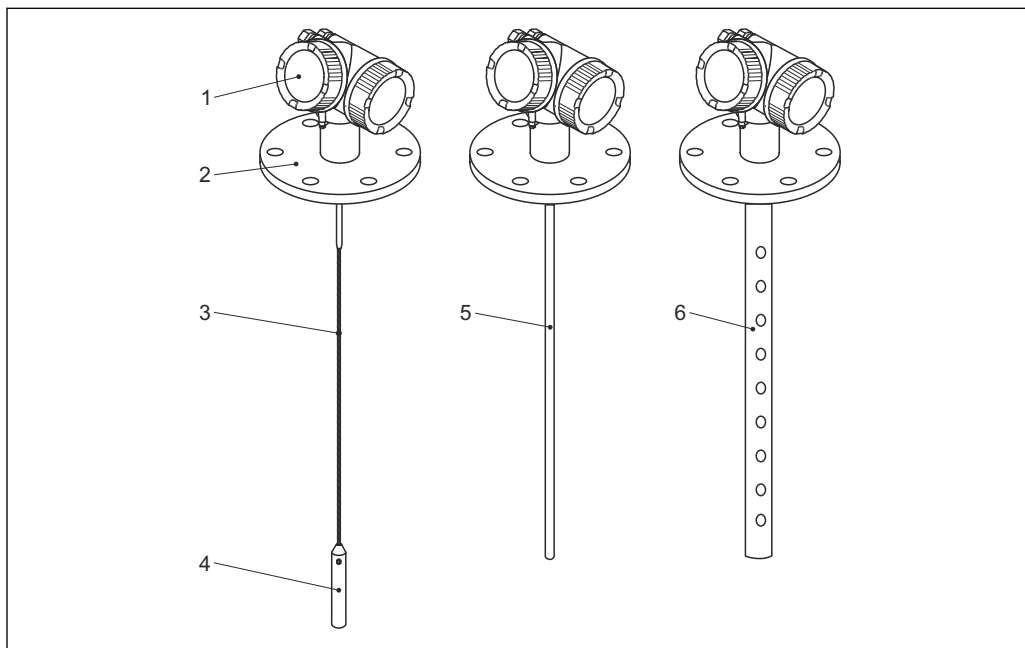
仕様コード 010（「認証」）	仕様コード 030（「表示部/操作部」）	Ex 記号
BE	L, M または N	ATEX II 1D Ex ta [ia] IIIC T ₅₀₀ xx°C Da
BF	L, M または N	ATEX II 1/2 D Ex ta [ia Db] IIIC Txx°C Da/Db
BG	L, M または N	ATEX II 3G Ex nA [ia Ga] IIC T6 Gc
BH	L, M または N	ATEX II 3G Ex ic [ia Ga] IIC T6 Gc
B3	L, M または N	ATEX II 1/2G Ex d [ia] IIC T6 Ga/Gb, ATEX II 1/2D Ex ta [ia Db] IIIC Txx°C Da/Db
IE	L, M または N	IECEX Ex ta [ia] IIIC T500 xx°C Da
IF	L, M または N	IECEX ta [ia Db] IIIC Txx°C Da/Db
IG	L, M または N	IECEX Ex nA [ia Ga] IIC T6 Gc
IH	L, M または N	IECEX Ex ic [ia Ga] IIC T6 Gc
I3	L, M または N	IECEX Ex d [ia] IIC T6 Ga/Gb, IECEX Ex ta [ia Db] IIIC Txx°C Da/Db

1) この表に記載されていない認証の記号は、FHX50 による影響を受けません

3 製品説明

3.1 製品構成

3.1.1 Levelflex FMP51/FMP52/FMP54/FMP55

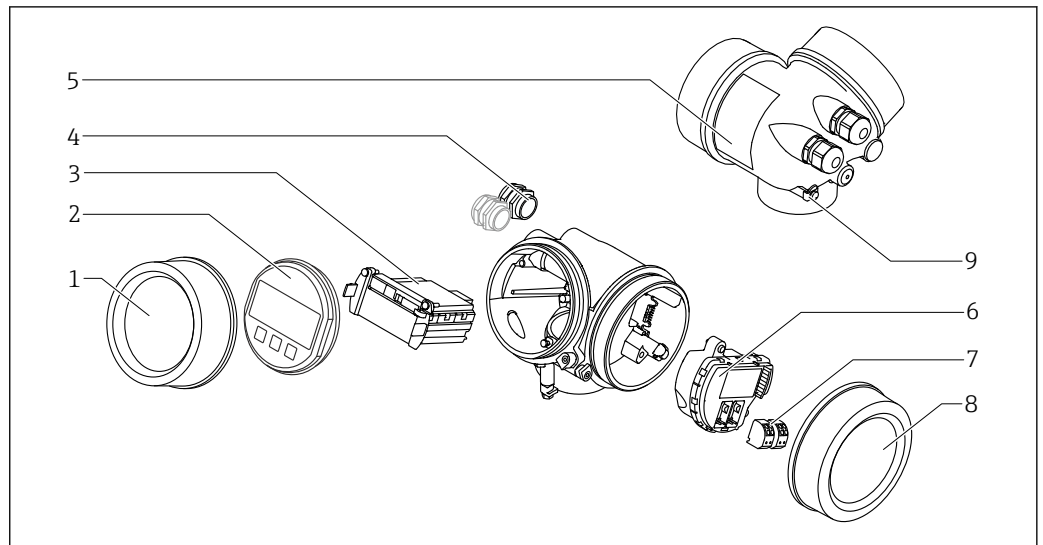


A0012399

図 1 Levelflex の構造

- 1 電子部ハウジング
- 2 プロセス接続部（例として：フランジ）
- 3 ローププローブ
- 4 プローブ終端ウェイト
- 5 ロッドプローブ
- 6 コアキシャルプローブ

3.1.2 電子部ハウジング



A0012422

図 2 電子回路部ハウジングの構成

- 1 表示部のカバー
- 2 表示モジュール
- 3 メイン電子モジュール
- 4 ケーブルグランド（機器のバージョンに応じて 1 または 2）
- 5 銘板
- 6 I/O 電子モジュール
- 7 端子（ばね荷重端子、取外可能）
- 8 端子部カバー
- 9 接地端子

4 納品内容確認および製品識別表示

4.1 受入

納品時に以下の点を確認してください。

- 発送書類のオーダーコードと製品ラベルに記載されたオーダーコードが一致するか？
- 納入品に損傷がないか？
- 銘板のデータと発送書類に記載された注文情報が一致するか？
- 必要に応じて（銘板を参照）：安全注意事項（XA）があるか？

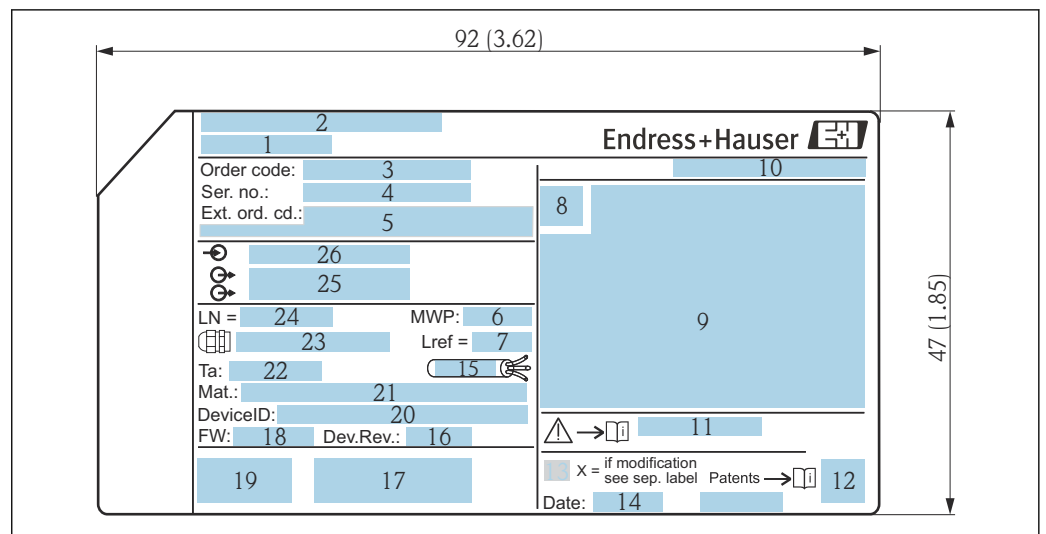
 1つでも条件が満たされていない場合は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

4.2 製品識別表示

機器を識別するには以下の方法があります。

- 銘板
- 納品書に記載されたオーダーコード（機器仕様コードの明細付き）
- 銘板のシリアル番号を W@M デバイスビューワー (www.endress.com/deviceviewer) に入力すると、機器に関するすべての情報が表示されます。
- 銘板のシリアル番号を Endress+Hauser Operations App に入力するか、Endress+Hauser 操作アプリケーションで 2-D マトリクスコード（QR コード）をスキャンすると、機器に関するすべての情報が表示されます。

4.2.1 銘板



A0010725

図 3 Levellflex の銘板；寸法単位：mm (in)

- 1 機器名
- 2 製造者の住所
- 3 オーダーコード
- 4 シリアル番号 (Ser. no.)
- 5 拡張オーダーコード (Ext. ord. cd.)
- 6 プロセス圧力
- 7 気相補正：基準距離
- 8 認証シンボル
- 9 認定および認証関連データ
- 10 保護等級 (例：IP、NEMA)
- 11 安全上の注意事項 (例：XA、ZD、ZE) の資料番号
- 12 2-D マトリクスコード (QR コード)
- 13 変更マーク
- 14 製造日：年/月
- 15 ケーブルの許容温度範囲
- 16 機器リビジョン (Dev.Rev.)
- 17 機器に関する追加情報 (認証、認定、通信) (例：SIL、PROFIBUS)
- 18 ファームウェアバージョン (FW)
- 19 CE マーク、C-Tick
- 20 機器 ID
- 21 接液部の材質
- 22 許容周囲温度 (T_a)
- 23 ケーブルグラウンドのネジ寸法
- 24 プロープ長
- 25 信号出力
- 26 作動電圧

i 拡張オーダーコードは 33 桁のみ銘板に表示することができます。33 桁を超える拡張オーダーコードの場合、34 桁以上は表示されませんが、完全な拡張オーダーコードを機器の操作メニューの**拡張オーダーコード 1~3** パラメータで確認できます。

5 保管、輸送

5.1 保管条件

- 許容保管温度：-40～+80 °C (-40～+176 °F)
- 弊社出荷時の梱包材をご利用ください。

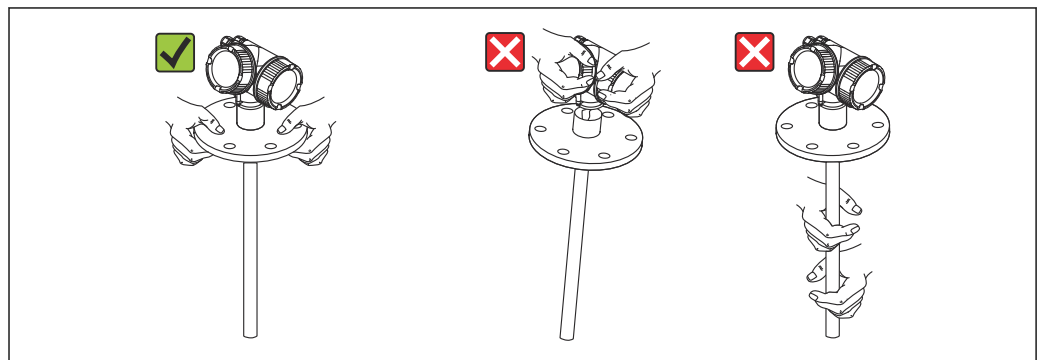
5.2 測定点までの製品の搬送

⚠ 警告

ハウジングまたはプローブが損傷したり、外れたりする恐れがあります。

けがに注意！

- ▶ 機器を測定点に搬送する場合は、出荷時の梱包材を使用するか、プロセス接続部を持ってください。
- ▶ 吊り上げ装置（ホイストスリング、吊り上げ用アイボルトなど）はハウジングまたはプローブではなくプロセス接続部に固定してください。意図せずに傾くことがないように、機器の質量中心を考慮してください。
- ▶ 18 kg (39.6 lbs) 以上の機器に関する安全注意事項、輸送条件を順守してください (IEC61010)。



A0013920

6 設置

6.1 取付要件

6.1.1 適切な取付位置

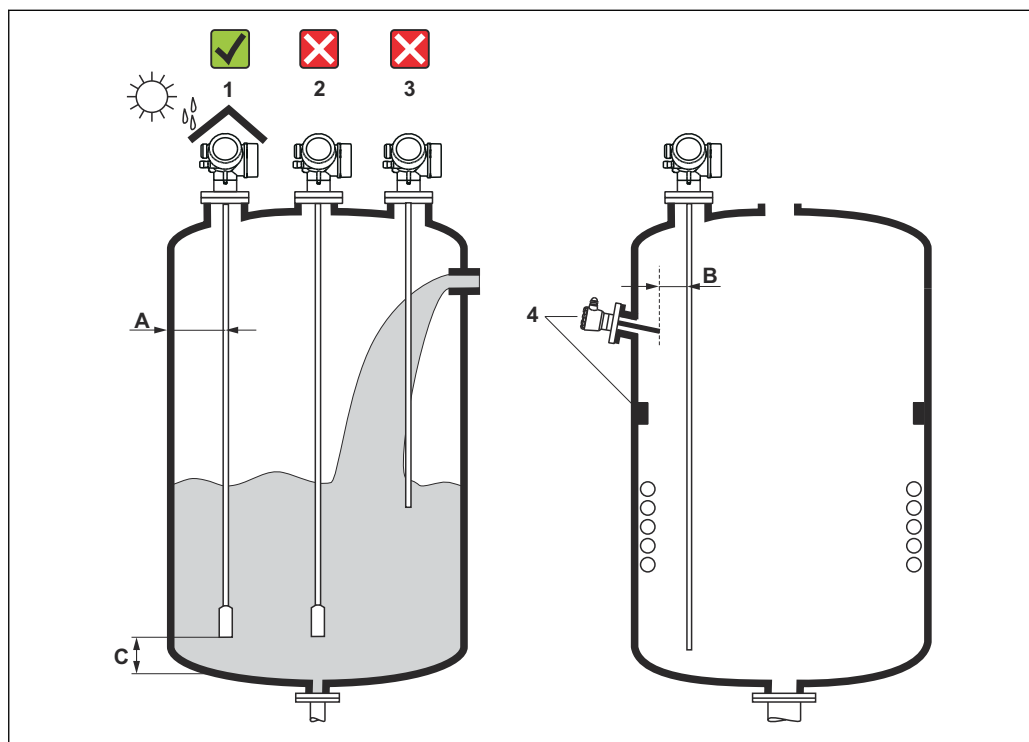


図 4 Levelflex の取付要件

A0012606

取付距離

- 壁とロッドプローブまたはローププローブとの距離 (A) :
 - 平らな金属壁の場合 : 50 mm (2 in) 以上
 - プラスチック壁の場合 : タンク外側の金属部品から 300 mm (12 in) 以上
 - コンクリート壁の場合 : 500 mm (20 in) 以上。そうでない場合は測定範囲が減少する可能性があります。
- ロッドプローブまたはローププローブとタンクの内部金具との距離 (B) : 300 mm (12 in) 以上
- 複数の Levelflex を使用する場合 : センサ軸間の最小距離は 100 mm (3.94 in) です。
- プローブの終端とタンクの底からの距離 (C) は以下のとおりです。
 - ローププローブ : >150 mm (6 in)
 - ロッドプローブ : >10 mm (0.4 in)
 - コアキシャルプローブ : >10 mm (0.4 in)



コアキシャルプローブについては、壁や内部金具との距離は任意です。

その他の条件

- 屋外に設置する場合は、厳しい気象条件から機器を保護するために日よけカバー (1) を使用してください。
- 金属タンクに設置する場合：不要反射が強くなるため、プローブはタンク中心 (2) に取り付けないことを推奨します。
どうしても中心の取付位置が避けられない場合は、機器の設定後に不要反射の除去 (マッピング) を実施することを推奨します。
- 充填幕が形成される位置 (3) にはプローブを取り付けしないでください。
- 設置時や運転中にローププローブが折れ曲がらないように (例：測定物がサイロ壁に当たることにより)、適切な取付位置を選定してください。

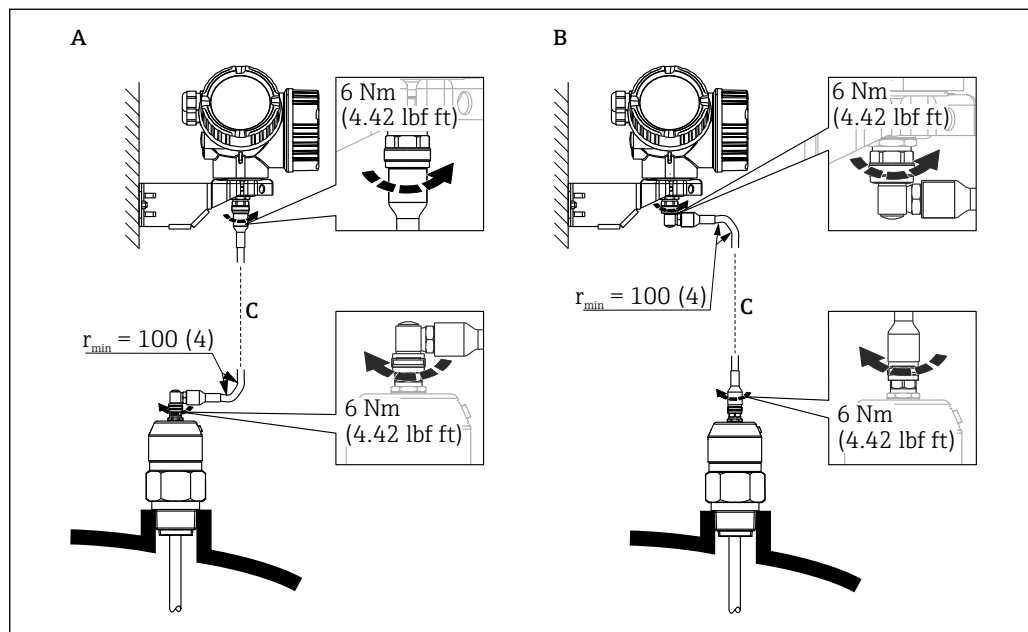
 吊り下げ式のローププローブ (プローブ終端がタンク底面に固定されていない) の場合は、ローププローブとタンクの内部金具との距離が全プロセスにおいて 300 mm (12") 以下にならないようにしてください。測定物の比誘電率が最低 DC = 1.8 である限り、プローブウェイトとタンクの円錐部が時々接触しても測定には影響ありません。

 ハウジングをくぼみ (例：コンクリート天井) に取り付ける場合は、端子部/表示部カバーから壁までの最小距離が 100 mm (4 inch) となるように注意してください。そうでない場合は、設置後に端子部/表示部にアクセスできなくなります。

6.1.2 取付スペースが制限されるアプリケーション

分離型センサの取付け

分離型センサの機器バージョンは、取付けスペースが制限されるアプリケーションに最適です。この場合、電子部ハウジングは確認しやすい別の位置に取り付け可能です。



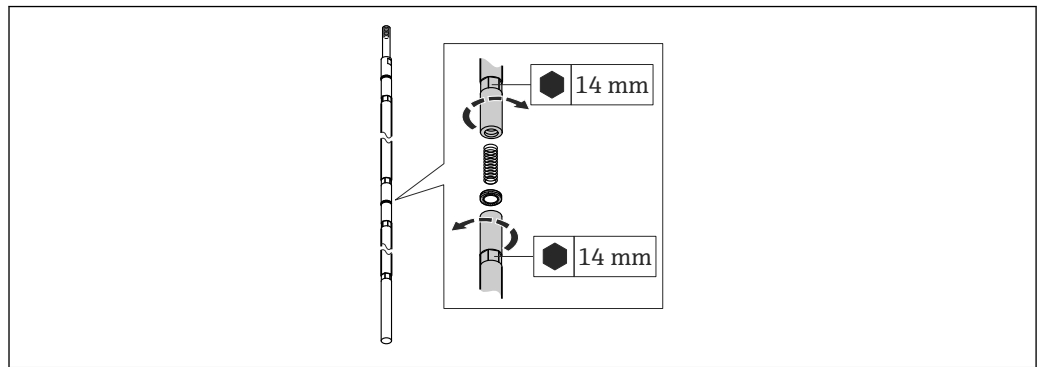
A0014794

- A プローブ側に角度付きプラグ
B 電子部ハウジング側に角度付きプラグ
C 注文したリモートケーブルの長さ

- 製品構成、仕様コード 600「プローブ設計」：
 - オプション MB「分離型センサ、3 m (9 ft) ケーブル」
 - オプション MC「分離型センサ、6 m (18 ft) ケーブル」
 - オプション MB「分離型センサ、9 m (27 ft) ケーブル」
- これらの機器バージョンには、リモートケーブルが同梱されます。
最小曲げ半径：100 mm (4 inch)
- これらの機器バージョンには、電子部ハウジング用の取付ブラケットが同梱されます。取付オプション：
 - 壁取付け
 - パイプ取付、直径：42～60 mm (1-1/4～2 inch)
- 接続ケーブルには、ストレートおよび角度付き (90°) のプラグ各 1 つが付いています。現場の状況に応じて、角度付きプラグはプローブ側または電子部ハウジング側に接続できます。

i プローブ、電子部、接続ケーブルは、互いに適合するように調整されています。これらのシリアル番号は共通です。接続する際には、必ず、シリアル番号が同じ部品同士を接続してください。

分割型プローブ



A0021647

上部の空間が狭い場合は、分離型ロッドプローブ（ $\phi 16 \text{ mm}$ ）の使用を推奨します。

- 最大プローブ長 10 m (394 in)
- 横方向の最大応力 30 Nm
- 分割型プローブは以下の長さを単位として、複数を組み合わせて使用することができます。
 - 500 mm (20 in)
 - 1000 mm (40 in)
- トルク : 15 Nm

i 個々のロッドセグメント間の接合部は、中にあるノルトロックワッシャによって固定されます。事前組立てされた対のワッシャを、カム面同士が向き合うように挿入します。

6.1.3 プローブの機械的負荷に関する注意事項

ローブプローブの引張荷重限界

センサ	仕様コード 060	プローブ	引張荷重限界 [kN]
FMP51	LA、LB、LC、LD MB、MD、ME、MF	ローブ 4 mm (1/6") SUS 316 相当	5
FMP52	OA、OB、OC、OD	ローブ 4 mm (1/6") PFA>SUS 316 相当	2
FMP54	LA、LB	ローブ 4 mm (1/6") SUS 316 相当	10

ロッドプローブの曲げ強度

センサ	仕様コード 060	プローブ	曲げ強度 [Nm]
FMP51	AA、AB	ロッド 8 mm (1/3") SUS 316L 相当	10
	AC、AD	ロッド 12 mm (1/2") SUS 316L 相当	30
	AL、AM	ロッド 12 mm (1/2") アロイ C	30
	BA、BB、BC、BD	ロッド 16 mm (0.63") SUS 316L 相当 分割型	30
FMP52	CA、CB	ロッド 16 mm (0.63") PFA>SUS 316L 相当	30
FMP54	AE、AF	ロッド 16 mm (0.63") SUS 316L 相当	30
	BA、BB、BC、BD	ロッド 16 mm (0.63") SUS 316L 相当 分割型	30

流体の流れによる曲げ負荷（トルク）

プローブに作用する曲げトルク M の計算式：

$$M = c_w \times \rho / 2 \times v^2 \times d \times L \times (L_N - 0.5 \times L)$$

以下を使用：

c_w ：摩擦係数

ρ [kg/m³]：測定物密度

v [m/s]：ロッドプローブに対して垂直方向の測定物速度

d [m]：ロッドプローブの直径

L [m]：レベル

L_N [m]：プローブ長

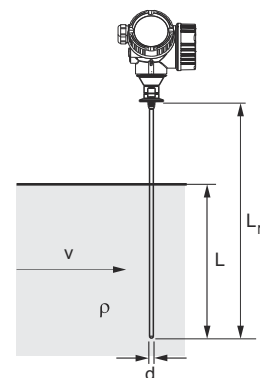
計算例

摩擦係数 c_w 0.9（乱流 - 高レイノルズ数を前提）

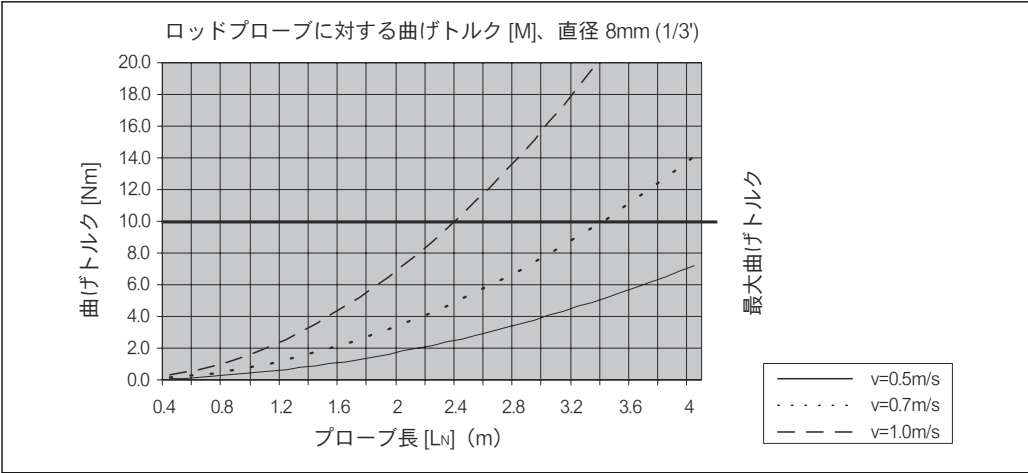
密度 ρ [kg/m³] 1000（例：水）

プローブ直径 [m] 0,008

$L = L_N$ （最悪条件）



A0014175



A0014182-JA

コアキシャルプローブの曲げ強度

センサ	仕様コード 060	プロセス接続	プローブ	曲げ強度 [Nm]
FMP51	UA、UB	ネジ G¾ または NPT¾	コアキシャル SUS 316L 相当、Ø 21.3 mm	60
		■ ネジ G1½ または NPT1½ ■ フランジ	コアキシャル SUS 316L 相当、Ø 42.4 mm	300
	UC、UD	フランジ	コアキシャル アロイ C、Ø 42.4 mm	300
FMP54	UA、UB	■ ネジ G1½ または NPT1½ ■ フランジ	コアキシャル SUS 316L 相当、Ø 42.4 mm	300

6.1.4 プロセス接続に関する注意

プローブは、ネジ込み接続またはフランジを使用してプロセス接続部に取り付けます。この取付作業中にプローブ終端が大きく移動してタンク底面や円錐部に時々接触する恐れがある場合は、必要に応じてプローブを切断して固定してください→ 図 35。

ネジ込み接続

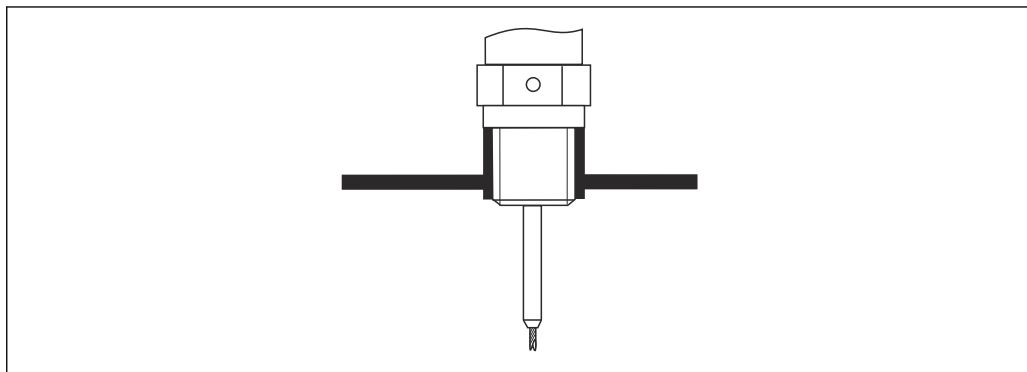


図 5 ネジ込み接続による取付け、容器天井と同一平面上

A0015121

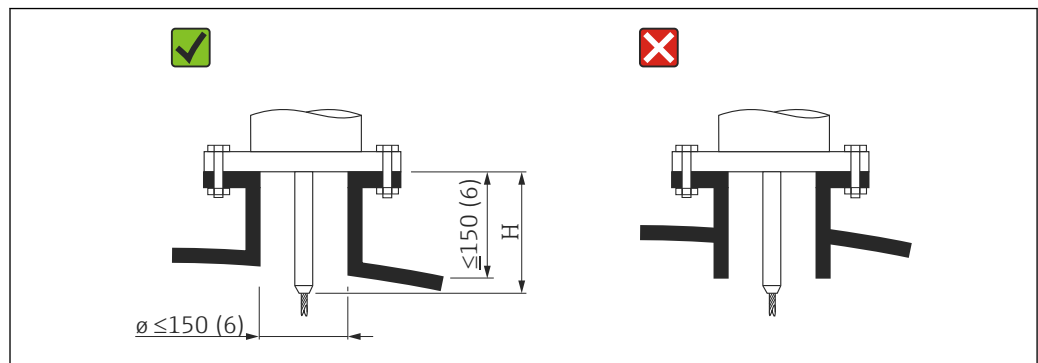
シール

ネジおよびシールのタイプは DIN 3852 Part 1、ネジ込みプラグ Form A に準拠します。ネジは次のタイプのシールリングを使用して密封できます。

- ネジ G3/4" : DIN 7603 準拠、寸法 27 x 32 mm
- ネジ G1-1/2" : DIN 7603 準拠、寸法 48 x 55 mm

この規格に適合する Form A、C、D のシールリングで、用途に対して材料の耐性があるものを使用してください。

ノズルの取付け



A0015122

H センターロッドまたはローブプローブの固い部分の長さ

- 許容されるノズル直径 : $\leq 150 \text{ mm (6 in)}$
これより大口径の場合、近い範囲の測定能力が低下する可能性があります。
ノズル $\geq \text{DN300}$ の場合 : → 図 33
 - 許容ノズル高さ²⁾ : $\leq 150 \text{ mm (6 in)}$
これよりノズル高さがある場合、近い範囲の測定能力が低下する可能性があります。
特別な場合は、ノズル高さを高くすることが可能です (「FMP51 および FMP52 用のセンターロッド」および「FMP54 用のロッド伸長パイプ/センタリング HMP40」セクションを参照)。
 - リンギング効果を防止するため、ノズル終端をタンク天井と同一平面にする必要があります。
-  断熱材付きタンクの場合、凝縮物の形成を防ぐためにノズルも断熱する必要があります。

2) 要望に応じてさらに高いノズル高さ

FMP51 および FMP52 用のセンターロッド

ローブプローブの場合、プローブロッドがノズル壁と接触しないよう、センターロッド付きバージョンを使用しなければならない場合があります。FMP51 および FMP52 用にセンターロッド付きのプローブが用意されています。

プローブ	最大ノズル高 (= センターロッドの長さ)	仕様コード 060 (「プローブ」) でオプション選択
FMP51	150 mm	LA、LC
	6 inch	LB、LD
	300 mm	MB、ME
	12 inch	MD、MF
FMP52	150 mm	OA
	6 inch	OC
	300 mm	OB
	12 inch	OD

FMP54 用のロッド伸長パイプ/センタリング HMP40

ローブプローブ付きの FMP54 用に、ロッド伸長パイプ/センタリング HMP 40 がアクセサリとして用意されています→ 図 140。プローブローブがノズルの下端と接触する場合は、これを使用してください。

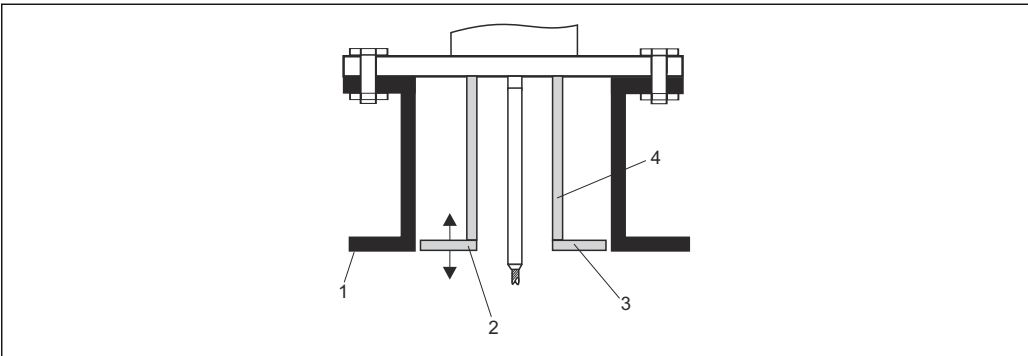
ローブプローブ付きの FMP54 用に、ロッド伸長パイプ/センタリング HMP 40 がアクセサリとして用意されています。プローブローブがノズルの下端と接触する場合は、これを使用してください。

 アクセサリにはノズル高さに応じた伸長ロッドが含まれ、ノズルが近い場合や粉体を測定する場合にはセンタリングディスクも組み込まれています。この部品は機器本体とは別に納入されます。これに応じて、注文時にはプローブ長を短くしてください。

口径が小さいセンタリングディスク (DN40 および DN50) は、ディスク上のノズル内に大量の付着物がない場合に限り、使用してください。ノズルに測定物が詰まらないようにしてください。

DN300 以上のノズルへの取付け

やむを得ず 300 mm (12") 以上のノズルに取り付ける場合は、下図に従って設置してください。



A0014199

- 1 ノズル下端
- 2 ノズル下端とほぼ同一平面上 (±50 mm (2"))
- 3 プレート
- 4 パイプ φ 150～180mm (6～7 inch)

ノズル直径	プレート直径
300 mm (12")	280 mm (11")
≥400mm (16")	≥350mm (14")

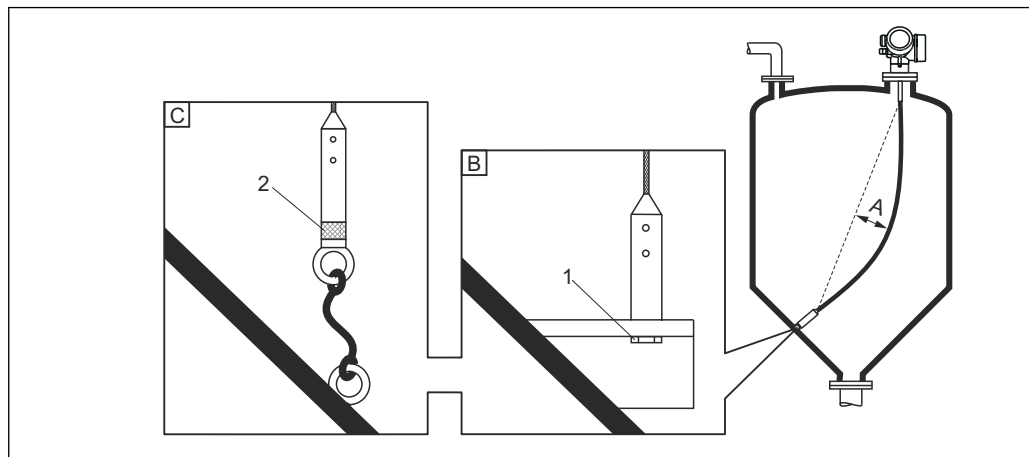
6.1.5 クラッドフランジの取付け

- i** FMP52 のクラッドフランジについては、以下に注意してください。
- フランジ穴の数に応じてフランジネジを使用してください。
 - 適切なトルクでネジを締めてください（表を参照）。
 - 24 時間後または最初の温度サイクルの後にネジを締め直してください。
 - プロセス圧力とプロセス温度に応じて、定期的にネジを点検し、締め直してください。
- i** 通常、PTFE フランジ被覆はノズルと機器のフランジ間のシール材としての役割も果たします。

フランジサイズ	ネジの数	推奨トルク [Nm]	
		最小	最大
EN			
DN40/PN40	4	35	55
DN50/PN16	4	45	65
DN50/PN40	4	45	65
DN80/PN16	8	40	55
DN80/PN40	8	40	55
DN100/PN16	8	40	60
DN100/PN40	8	55	80
DN150/PN16	8	75	115
DN150/PN40	8	95	145
ASME			
1½"/150 lbs	4	20	30
1½"/300 lbs	4	30	40
2"/150 lbs	4	40	55
2"/300 lbs	8	20	30
3"/150 lbs	4	65	95
3"/300 lbs	8	40	55
4"/150 lbs	8	45	70
4"/300 lbs	8	55	80
6"/150 lbs	8	85	125
6"/300 lbs	12	60	90
JIS			
10K 40 A	4	30	45
10K 50 A	4	40	60
10K 80 A	8	25	35
10K 100 A	8	35	55
10K 100 A	8	75	115

6.1.6 プローブの固定

ローブプローブの固定

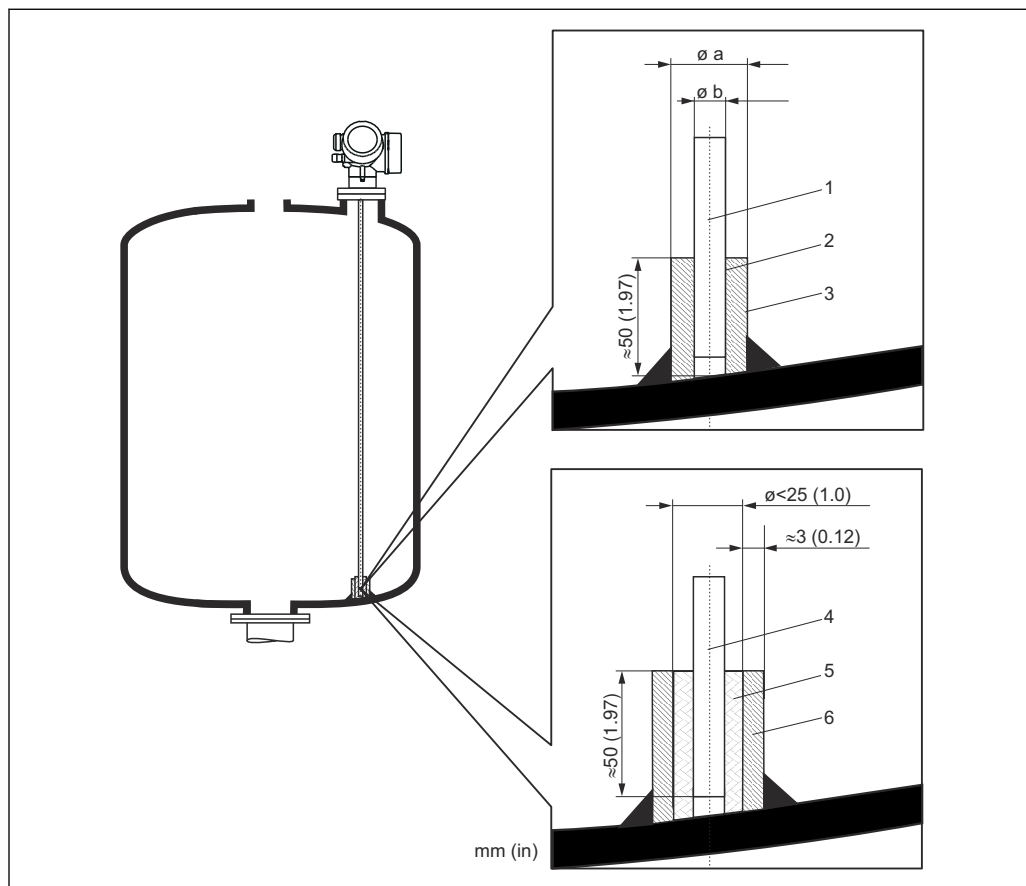


- A ロープのたるみ：プローブ長 1 m あたり 1 cm 以上（プローブ長 1 フィートあたり 0.12 インチ以上）
 B 確実に接地されたプローブ終端
 C 確実に絶縁されたプローブ終端
 1: ボルトによる取付けおよび接点
 2 絶縁された取付けキット

- 次の場合は、プローブ終端を固定する必要があります。
 プローブがタンク壁、排出円錐部、内部金具、その他の設置部品と時々接触する場合
- プローブ終端は雌ネジで固定できます。
 ロープ 4 mm (1/6"), SUS316 相当 : M14
- 確実に接地または絶縁を行って固定してください。プローブウェイトを確実に絶縁
 接続できない場合は、アクセサリとして用意された絶縁リングを使用して固定できま
 す。
- 接地された固定具の場合、正方向のプローブ終端信号の検索を有効にする必要があり
 ます。そうしないと、自動プローブ長補正が行われません。
 ナビゲーション：エキスパート → センサ → EOP 評価 → EOP 検索モード
 設定：正の EOP 値 オプション
- 張力が極端に高くないよう（例：熱膨張により）、またロープ切断の危険性を避
 けるために、ロープはたるませてください。ロープ中央部でたるみがローブ長 1 m あ
 たり 1 cm 以上（プローブ長 1 フィートあたり 0.12 インチ以上）になるように、必要
 な測定範囲よりもロープを長くしてください。
 ローププローブの引張荷重限界：→ 27

ロッドプローブの固定

- 防爆認証：プローブ長が 3 m (10 ft) 以上の場合は支持が必要です。
- 一般に、水平方向の流れがある場合（例：攪拌機により）や振動が激しい場合は、ロッドプローブを支持する必要があります。
- ロッドプローブの支持にはプローブ終端のみを使用します。



A0012607

- 1 プローブロッド、コーティングなし
- 2 ロッドとスリーブを電氣的に確実に接触させるため穴径が大きすぎないスリーブ
- 3 短い金属パイプ（例：溶接固定）
- 4 プローブロッド、コーティングあり
- 5 プラスチックスリーブ（例：PTFE、PEEK、PPS）
- 6 短い金属パイプ（例：溶接固定）

φ プローブ	φ a [mm (inch)]	φ b [mm (inch)]
8 mm (1/3")	< 14 (0.55)	8.5 (0.34)
12 mm (1/2")	< 20 (0.78)	12.5 (0.52)
16 mm (0.63in)	< 26 (1.02)	16.5 (0.65)

注記

プローブ終端の接地が不十分だと測定エラーが発生する可能性があります。

- ▶ より確実にプローブと電氣的に接触できる穴径の小さいスリーブを使用してください。

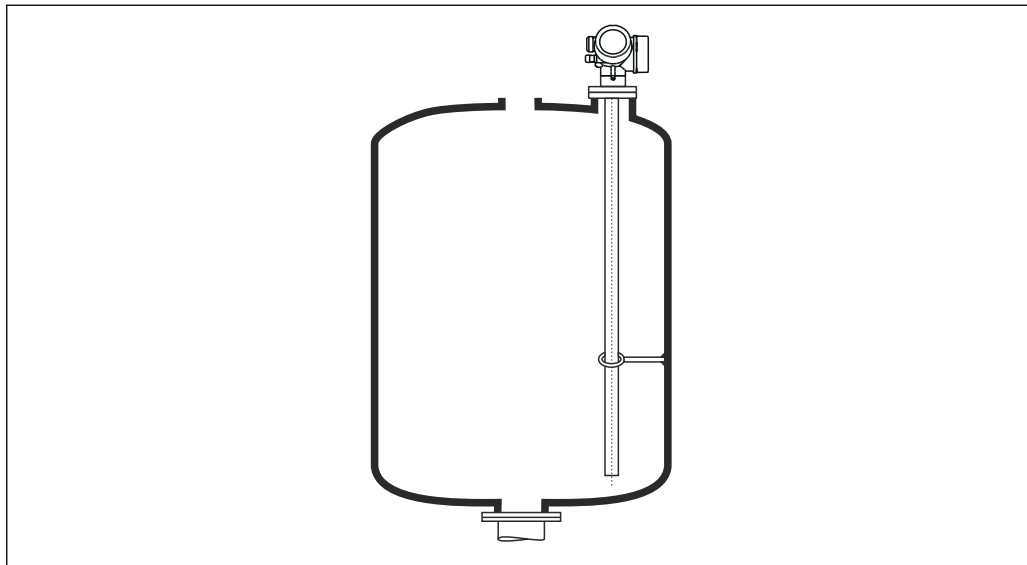
注記

溶接によりメイン電子回路モジュールが損傷する恐れがあります。

- ▶ 溶接作業を行う前に：プローブを接地し、電子回路部を取り外してください。

コアキシャルプローブの固定

防爆認証：プローブ長が 3 m (10 ft) 以上の場合は支持が必要です。



A0012608

コアキシャルプローブは、外側チューブの任意の位置で支持できます。

6.1.7 特殊な設置条件

外筒管および内筒管

i 外筒管および内筒管アプリケーションでは、センタリングディスクまたはセンタリングスターの使用を推奨します。

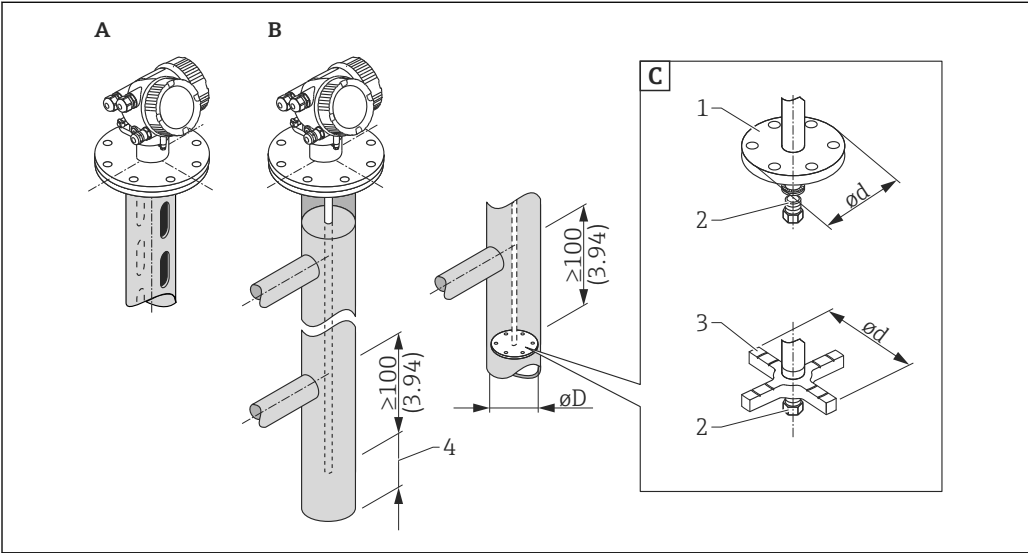


図 6 寸法単位：mm (in)

A 内筒管に取付け
B 外筒管に取付け
C センタリングディスクまたはセンタリングスター
1 レベル測定用の金属製センタリングディスク (SUS 316L 相当)
2 固定ネジ：25 Nm ± 5 Nm
3 界面測定用の非金属製センタリングスター (PEEK、PFA)
4 プローブ終端と外筒管の下端との最小距離 (下の表を参照)

プローブタイプとセンタリングディスク (またはセンタリングスター) のパイプ直径への割当て

仕様コード 610 - 取付け済みアクセサリ					
アプリケーション	オプション	プローブタイプ	センタリングディスク センタリングスター		パイプ ϕD [mm (in)]
			ϕd [mm (in)]	材質	
レベル計測	OA	ロッドプローブ	75 (2.95)	SUS 316L 相当	DN80 ~ DN100 (3" ~ 4")
	OB	ロッドプローブ	45 (1.77)	SUS 316L 相当	DN50 ~ DN65 (2" ~ 2½")
	OC	ローププローブ	75 (2.95)	SUS 316L 相当	DN80 ~ DN100 (3" ~ 4")
レベル測定または 界面測定	OD	ロッドプローブ	48 ~ 95 (1.89 ~ 3.74)	PEEK ¹⁾	≥ 50 mm (2")
	OE	ロッドプローブ	37 (1.46)	PFA ²⁾	≥ 40 mm (1.57")

1) 動作温度：-60~+250 °C (-76~482 °F)
2) 動作温度：-200~+250 °C (-328~+482 °F)

プローブ終端と外筒管の下端との最小距離

プローブタイプ	最小距離
ローブ	10 mm (0.4 in)
ロッド	10 mm (0.4 in)
コアキシャル	10 mm (0.4 in)

- パイプ直径：40 mm (1.6") 以上、ロッドプローブ用
- ロッドプローブは、最大直径 150 mm (6 in) までのパイプに設置可能です。これより大口径の場合は、コアキシャルプローブを推奨します。
- 側面の排出口、穴、スリット、溶接接合部分が内側へ突き出ている、約 5mm (0.2") 以内であれば測定に影響を及ぼすことはありません。
- パイプの内径差が生じないようにしてください。
- プローブは下側の排出口より 100 mm 長くする必要があります。
- 測定範囲内でプローブがパイプ内壁と接触しないようにしてください。必要に応じて、張力をかけるか緩めるなどしてプローブを固定してください。全てのローブプローブは、タンク内で張力をかけ、張る事もできます（アンカー穴付きのテンションウェイト）。
- プローブ終端に金属製センタリングディスクを取り付けた場合、プローブ終端信号を確実に検知できるようになります（製品構成の仕様コード 610 を参照）。
注意： 界面測定には、PEEK または PFA の非金属センタリングスターのみを使用してください（仕様コード 610、オプション OD または OE）。
センタリングディスクまたはスペーサーもアクセサリとして用意されています
→ 図 138。
- 取付けスペースが十分ある場合は、いつでもコアキシャルプローブを使用できます。

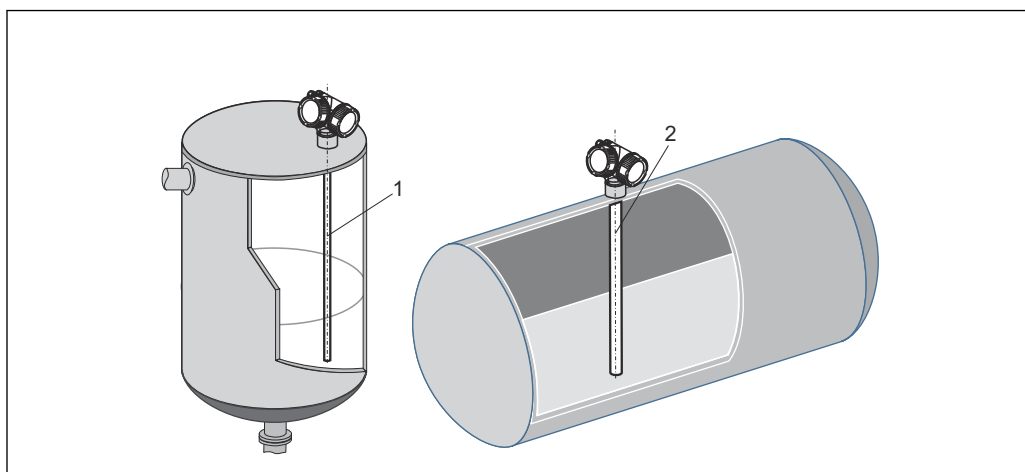
i 凝縮物が形成されたバイパス（水）および低誘電率の測定物（炭化水素など）の場合：

バイパスは時間がたつと下側の排出口まで凝縮物が詰まります。低レベルでは、レベルエコーが凝縮物のエコーによって重ね合わさります。つまり、このレンジにおいては正常レベルではなく、凝縮物レベルが測定されます。より高いレベルのみ正しく測定されます。これを防ぐために、下側の排出口を測定最低レベルより 100 mm (4 in) 下に配置し、下側の排出口の下端高さに金属のセンタリングディスクをつけます。

i 断熱材付きタンクの場合、凝縮物の形成を防ぐためにバイパスも断熱する必要があります。

i エンドレスハウザー社の外筒管ソリューションの詳細については、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

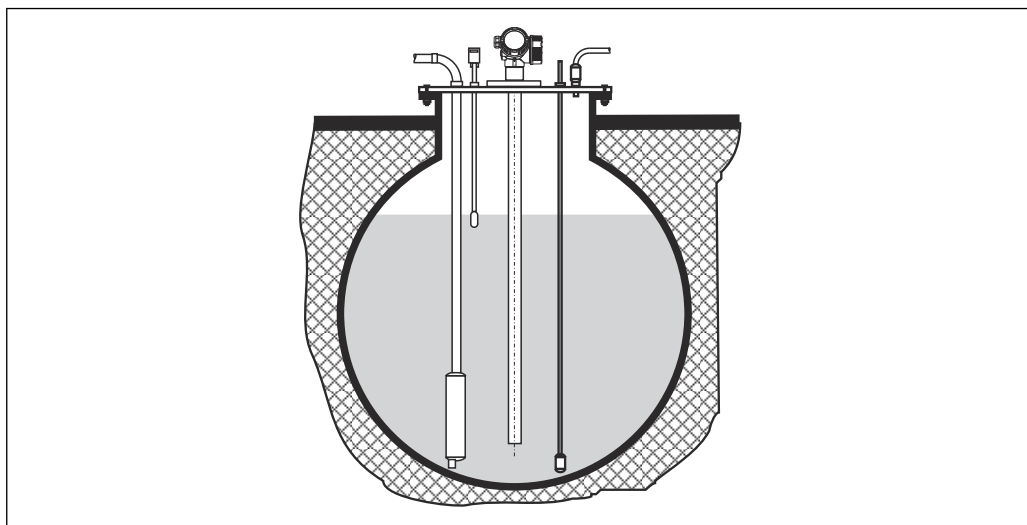
枕型タンクおよび縦型タンクへの設置（コアキシャルプローブの設置）



A0014141

- 接触するようないかなる場合も、壁面との距離は任意です。
- 内部構造物が多いタンクに設置する場合やプローブの近くに内部構造物がある場合：コアキシャルプローブを使用してください。

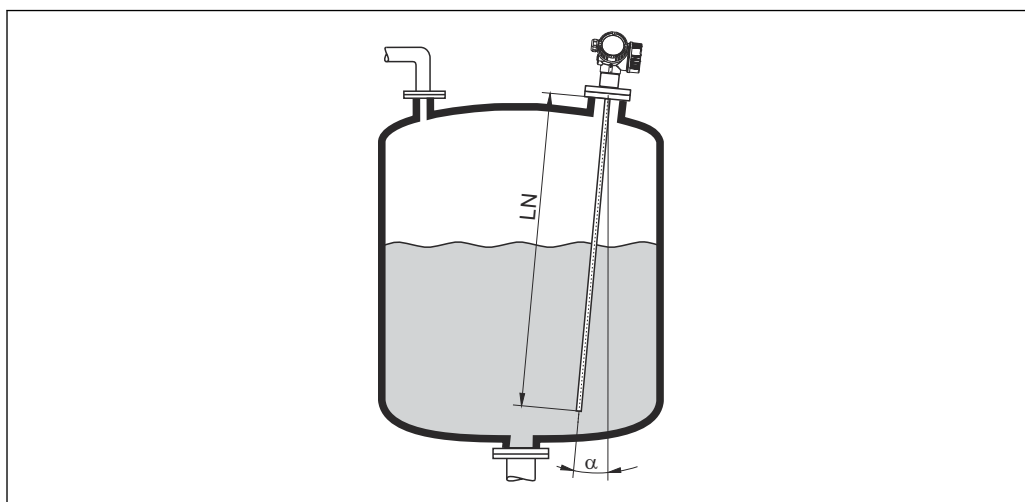
地下タンク



A0014142

ノズル壁での反射を防止するため、大口径のノズルにはコアキシャルプローブを使用してください。

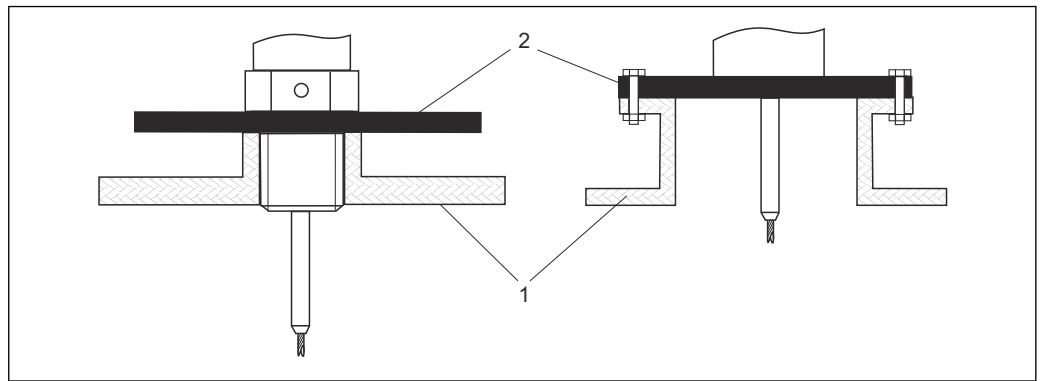
斜めの取付



A0014145

- 機械的理由により、プローブはできるだけ液面と垂直に取り付けてください。
- 斜めに取り付ける場合は、設置角度に応じてプローブ長を調整する必要があります。
 - 最大 LN = 1 m (3.3 ft) : $\alpha = 30^\circ$
 - 最大 LN = 2 m (6.6 ft) : $\alpha = 10^\circ$
 - 最大 LN = 4 m (13.1 ft) : $\alpha = 5^\circ$

非金属タンク



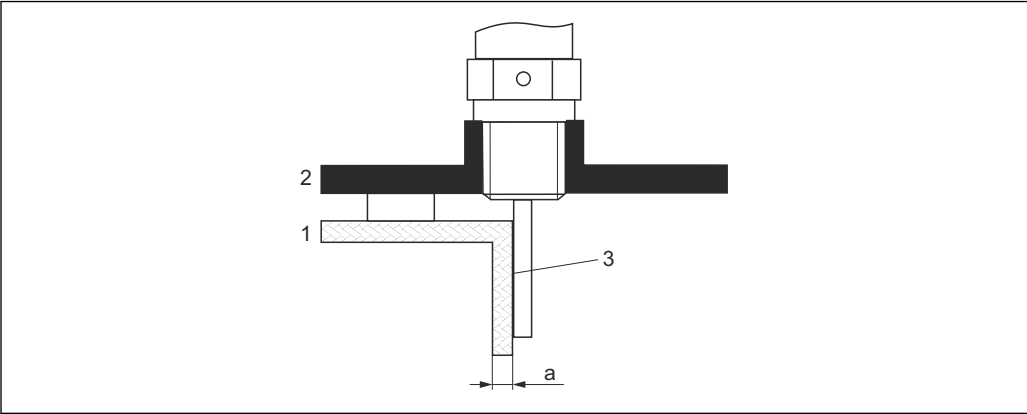
- 1 非金属タンク
- 2 金属板または金属フランジ

非金属タンクにおいて信頼性の高い測定を保証するため：

- 金属フランジ付きの機器仕様を選択してください（最小サイズ DN50 (2")）。
- または、直径が 200 mm (8 in) 以上の金属板をプローブのプロセス接続に取り付けます。金属板はプローブに対して直角にする必要があります。

 コアキシャルプローブには、金属面は必要ありません。

プラスチックまたはガラスタンク：プローブは壁面の外側に取り付けます。



- 1 プラスチックまたはガラスタンク
- 2 ネジ込みスリーブ付き金属板
- 3 タンク壁とプローブの間に隙間ができないように注意してください！

要件

- 測定物の比誘電率が最低 $DC > 7$ であること
- タンク壁が非導電性であること
- 最大壁厚 (a) :
 - プラスチック：15 mm (0.6") 以下
 - ガラス：10 mm (0.4") 以下
- タンクに金属の補強材が取り付けられていないこと

設置条件：

- プローブはタンク壁に直接取り付けてください（隙間ができないよう）。
- 測定が影響を受けないように、直径約 200mm (8") のプラスチック製ハーフパイプ、またはその他の保護ユニットをプローブの外側に取り付けてください。
- タンク直径が 300 mm (12") 以下の場合：
タンクの反対側に金属の接地板を取り付けてください。接地板はプロセス接続と導電的に接続し、タンク円周の約半分をカバーしなければなりません。
- タンク直径が 300 mm (12") 以上の場合：
直径が 200 mm (8") 以上の金属板をプローブのプロセス接続に取り付けてください。金属板はプローブに対して直角にする必要があります（上図を参照）。

外部プローブ取付けの校正

外側からタンク壁にプローブが取り付けられている場合は、信号伝搬速度が低下します。この影響を補正するには、2つの方法があります。

気相補正係数による補正

誘電性の壁の影響は、誘電性の気相の影響と比較できます。したがって、同様にこれを補正することが可能です。補正係数は、実際のプローブ長 LN とタンクが空のときの測定プローブ長の割合で決定します。

i 機器はサブトラクテッドカーブでプローブの終端信号を探します。そのため、測定プローブ長の値はマッピングに左右されます。正確な値を得るためには、FieldCare の反射波形表示を使用して手動でプローブ長を特定することを推奨します。

手順	パラメータ	アクション
1	エキスパート → センサ → 気相補正 → 気相補正モード	定数 GPC ファクタ オプションを選択します。
2	エキスパート → センサ → 気相補正 → 定数 GPC ファクタ	割合を入力：「(実際のプローブ長) / (測定プローブ長)」

校正パラメータによる補正

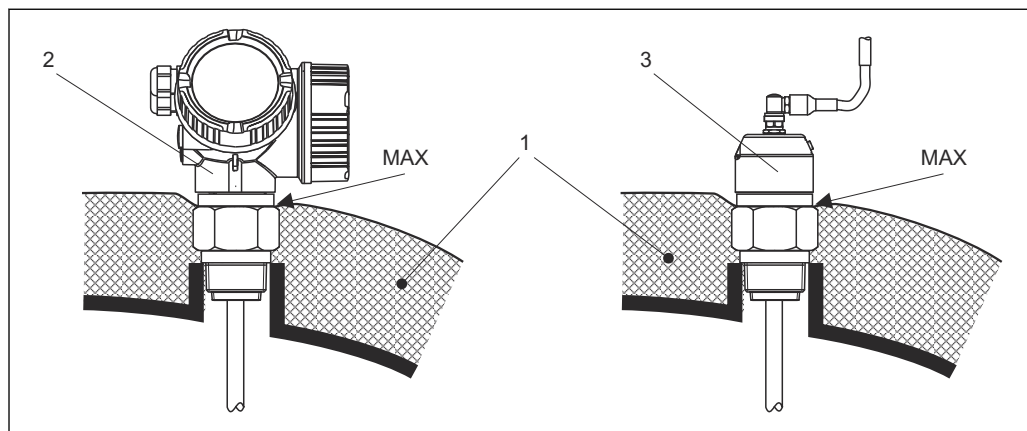
実際の気相を補正する必要がある場合、外部取付けの補正用に気相補正機能を使用することはできません。この場合、校正パラメータ（**空校正**と**満量校正**）を調整し、実際のプローブ長より長い値を**実際のプローブ長**パラメータに入力する必要があります。この3つのパラメータの補正係数は、タンクが空のときの測定プローブ長と実際のプローブ長 LN の割合で決定します。

 機器はサブトラクテッドカーブでプローブの終端信号を探します。そのため、測定プローブ長の値はマッピングに左右されます。正確な値を得るためには、FieldCare の反射波形表示を使用して手動でプローブ長を特定することを推奨します。

手順	パラメータ	アクション
1	設定 → 空校正	「(測定プローブ長)」 / (実際のプローブ長)」でパラメータ値を増加させます。
2	設定 → 満量校正	「(測定プローブ長)」 / (実際のプローブ長)」でパラメータ値を増加させます。
3	設定 → 高度な設定 → プローブ設定 → プローブ長の補正 → プローブ長の確認	手動入力 オプションを選択します。
4	設定 → 高度な設定 → プローブ設定 → プローブ長の補正 → 実際のプローブ長	測定プローブ長を入力します。

断熱材付きタンクへの設置

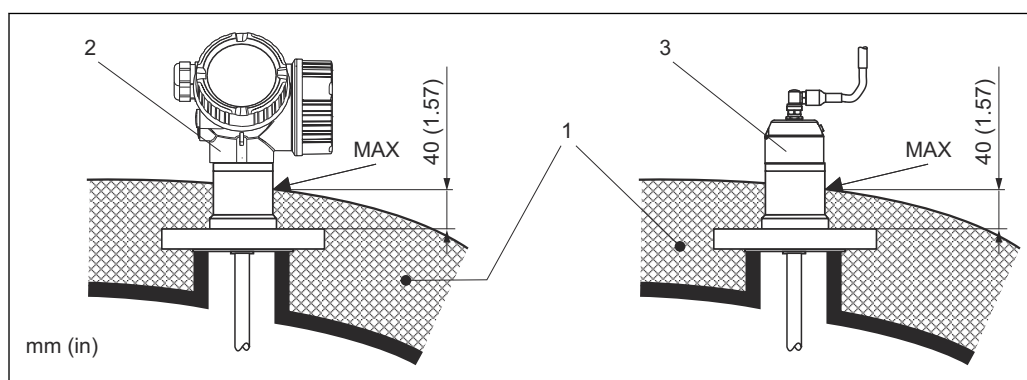
i プロセス温度が高い場合は、熱の放射や伝達により電子回路部が過熱しないよう、機器をタンク断熱部に設置してください。断熱材は図の「MAX」と示した位置を超えないようにしてください。



A0014653

図 7 プロセス接続 (ネジ) - FMP51

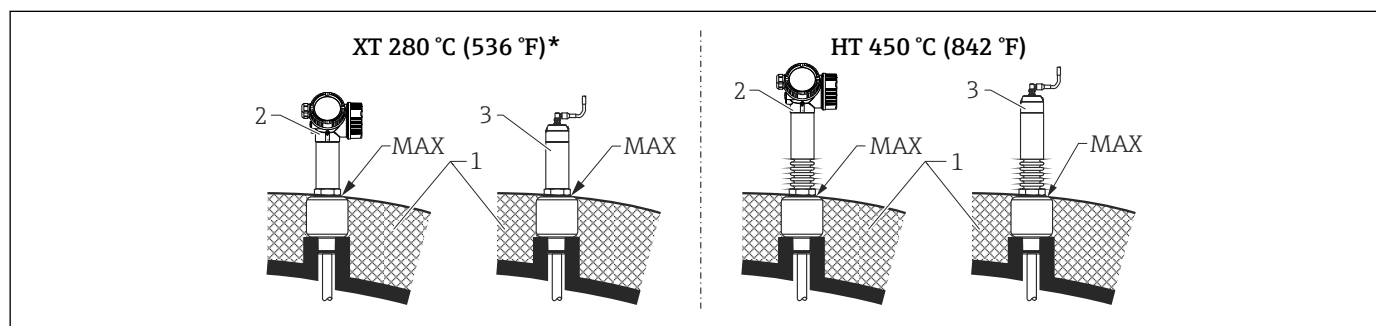
- 1 タンク断熱材
- 2 一体型機器
- 3 分離型センサ (仕様コード 600)



A0014654

図 8 プロセス接続 (フランジ) - FMP51、FMP52

- 1 タンク断熱材
- 2 一体型機器
- 3 分離型センサ (仕様コード 600)

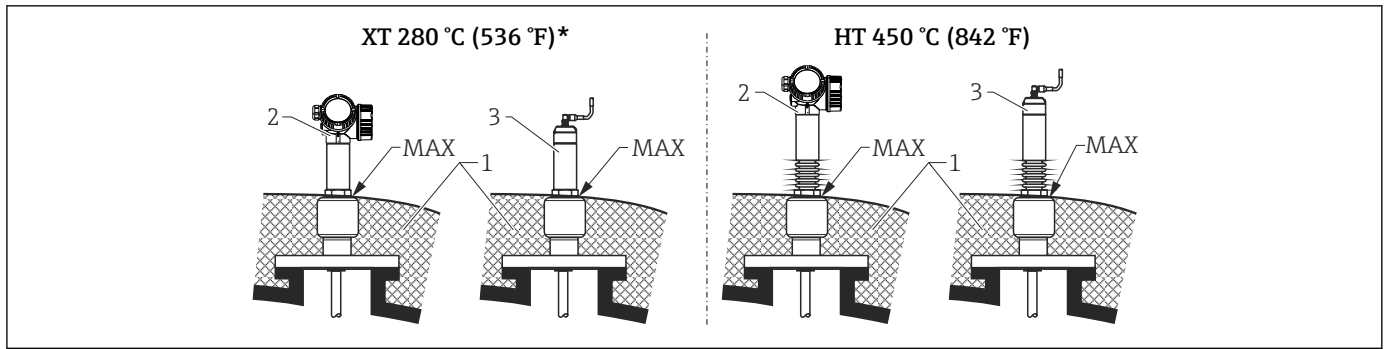


A0014657

図 9 プロセス接続 (ネジ) - FMP54、センサ仕様 XT および HT

- 1 タンク断熱材
- 2 一体型機器
- 3 分離型センサ (仕様コード 600)

* XTバージョンは、200 °C (392 °F) を超える飽和蒸気には推奨しません。HTバージョンを使用してください。



A0014658

図 10 プロセス接続（フランジ） - FMP54、センサ仕様 XT および HT

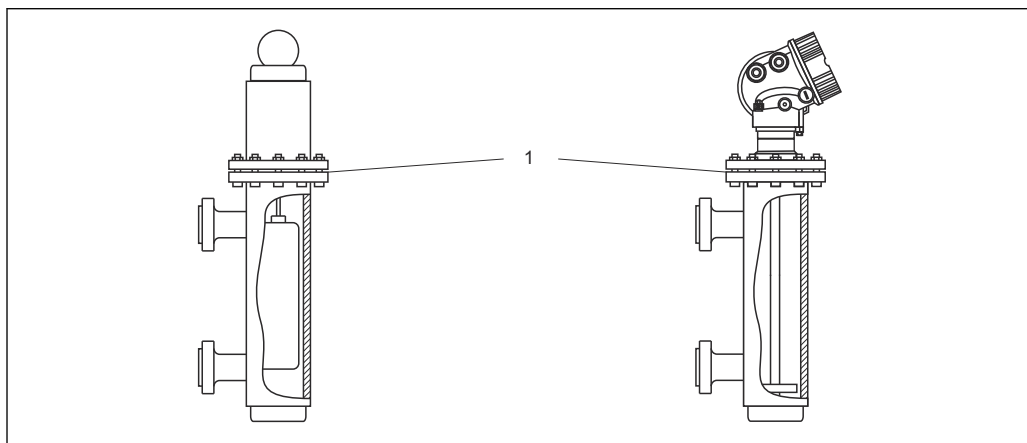
- 1 タンク断熱材
 - 2 一体型機器
 - 3 分離型センサ（仕様コード 600）
- * XT バージョンは、200 °C (392 °F) を超える飽和蒸気には推奨しません。HT バージョンを使用してください。

既存バイパスチャンバのディスプレイサを更新

FMP51 および FMP54 は、既存バイパスチャンバ内にある従来のディスプレイサシステムの代替品として最適です。Endress+Hauser では、Fisher や Masoneilan のバイパスチャンバに適したフランジを用意しています (FMP51 用は特殊製品 ; FMP54 用は、仕様コード 100、オプション LNJ、LPJ、LQJ)。メニューガイド方式で現場操作できるため、Levelflex は短時間で設定できます。液が一部充填された状態でも交換可能です。ウェット校正は必要ありません。

利点 :

- 可動部がないため、メンテナンス作業は不要です。
- 温度、密度、乱流、振動などの影響を受けません。
- ロッドプローブの切断、交換が容易です。これにより、プローブを現場で簡単に調整できます。



A0014153

1 バイパスチャンバのフランジ

更新計画の指針 :

- 通常はロッドプローブを使用します。150 mm 以下の金属製バイパスチャンバに設置する場合は、コアキシャルプローブと同様の効果を得ることが可能です。
- プローブが側壁と接触しないように注意してください。必要に応じて、プローブの下部終端にセンタリングディスクまたはセンタリングスターを取り付けます (製品構成の仕様コード 610)。
- プローブ終端領域でも確実に作動するよう、センタリングディスクまたはセンタリングスターはバイパスチャンバの内径にできるだけ正確に合わせてください。

界面測定に関する追加情報

- 油と水の場合、センタリングディスクまたはセンタリングスターは下側排出口の下部終端 (水レベル) に配置してください。
- パイプの内径差が生じないようにしてください。必要に応じてコアキシャルプローブを使用してください。
- ロッドプローブの場合: プローブが側壁と接触しないように注意してください。必要に応じて、プローブの下部終端にセンタリングディスクまたはセンタリングスターを取り付けます。
- 界面測定にはプラスチック製センタリングスターを使用してください (仕様コード 610、オプション OD および OE)。

6.2 機器の設置

6.2.1 必要な取付工具

- ネジ 3/4" 取付け用：六角レンチ 36 mm
- ネジ 1-1/2" 取付け用：六角レンチ 55 mm
- ロッドまたはコアキシャルプローブの切断用：のこぎり
- ローププローブ切断用：
 - 六角キー AF 3 mm (4 mm ロープ用) または AF 4 mm (6 mm ロープ用)
 - のこぎりまたはボルトカッター
- フランジおよびその他のプロセス接続用：適切な取付工具
- ハウジングの回転用：六角レンチ 8 mm

6.2.2 プローブの切断

ロッドプローブの切断

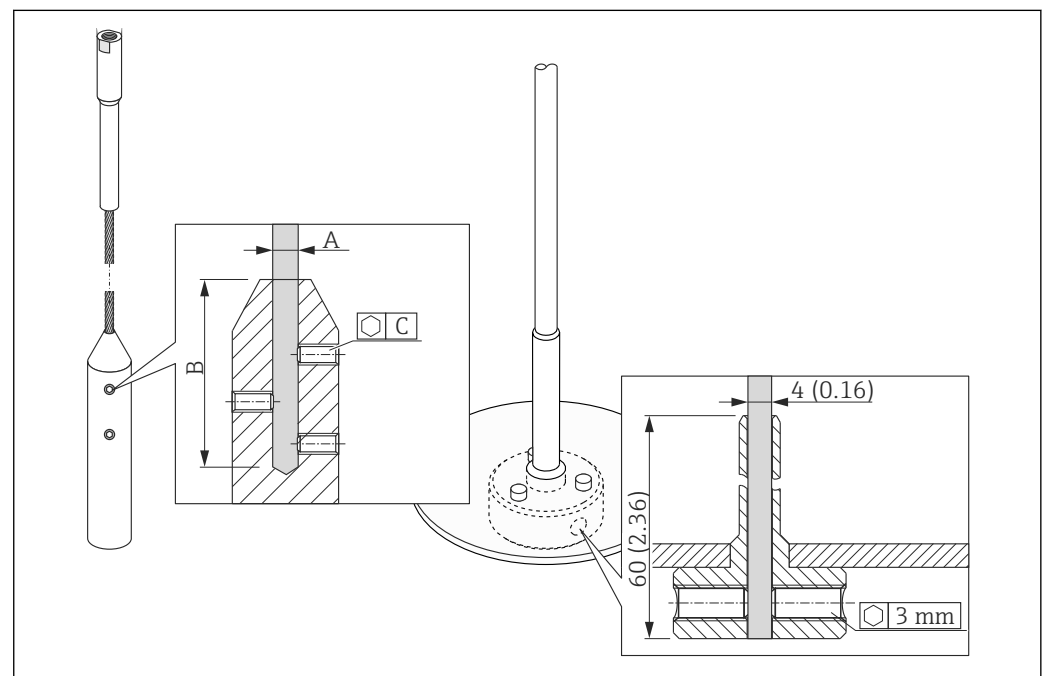
容器底面または排出円錐部との距離が 10 mm (0.4 in) 以下になる場合は、ロッドプローブを切断しなければなりません。ロッドプローブのロッド下部終端をのこぎりで切断します。

i FMP52 のロッドプローブはコーティングされているため、切断できません。

ローププローブの切断

容器底面または排出円錐部との距離が 150 mm (6 in) 以下になる場合は、ローププローブを切断しなければなりません。

i FMP52 のローププローブはコーティングされているため、切断できません。



A0012453

ロープ材質	A	B	C	止めネジのトルク
316	4 mm (0.16 in)	40 mm (1.6 in)	3 mm	5 Nm (3.69 lbf ft)

1. 六角レンチを使用してプローブ終端ウェイトまたはセンタリングディスクのクランプスリーブの止めネジを緩めます。注意：止めネジには誤って緩まないよう、クランプコーティングが施されています。このため、止めネジを緩める際にはより大きなトルクが必要になります。
2. 緩めたロープをウェイトまたはスリーブから取り外します。
3. 新しいロープ長を測ります。
4. ロープの切断する位置に粘着テープを巻き、飛散を防止します。
5. ロープをのこぎりで直角に切断するか、またはボルトカッターで切断します。
6. ロープをウェイトまたはスリーブに完全に挿入します。
7. 止めネジを所定の位置で締め付けます。止めネジにはクランプコーティングが施されているため、ねじ緩み止め用接着剤は必要ありません。

コアキシャルプローブの切断

容器底面または排出円錐部との距離が 10 mm (0.4 in) 以下になる場合は、コアキシャルプローブを切断しなければなりません。

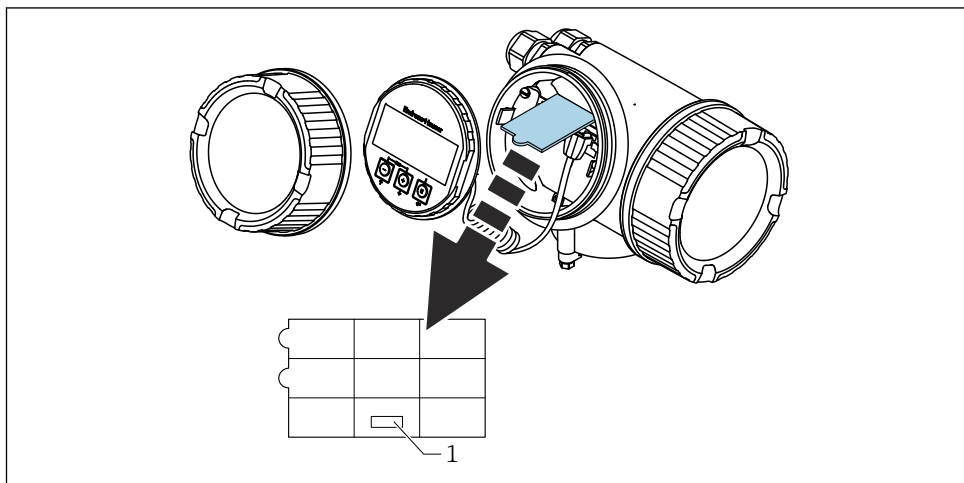
- i** コアキシャルプローブは、終端から最大 80 mm (3.2 in) まで切断できます。中にはパイプの中心にロッドを固定するためのセンタリングユニットが組み込まれています。センタリングユニットはロッドに固定されています。センタリングユニットより下で約 10 mm (0.4 in) まで切断できます。

コアキシャルプローブの下部終端をのこぎりで切断します。

新しいプローブ長の入力

プローブの切断後：

1. **プローブ設定** サブメニューに移動し、プローブ長の補正を行います。
- 2.



A0014241

- 1 新しいプローブ長のフィールド

ドキュメンテーションのため：電子部ハウジング内の機器本体ディスプレイでクイックセットアップを使って新しいプローブ長を入力します。

6.2.3 気相補正機能付き FMP54 : ロッドプローブの取付け

i このセクションは、気相補正機能付きの FMP54 にのみ適用されます（製品構成：仕様コード 540「アプリケーションパッケージ」、オプション EF または EG）。

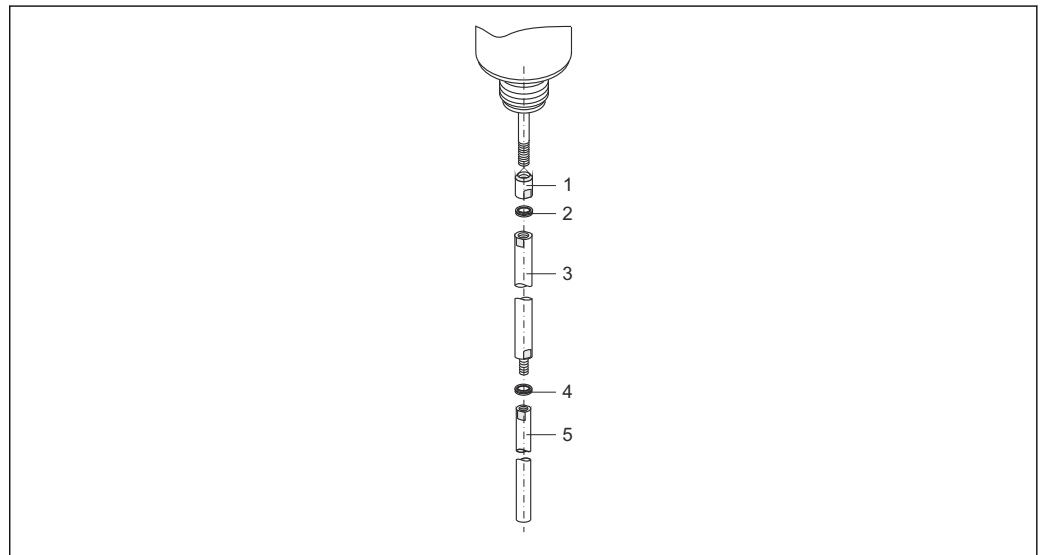
コアキシャルプローブ

基準反射付きコアキシャルプローブの組み立ておよび調整は、工場出荷時に行われます。設置後、すぐに使用できます。その他の設定を行う必要はありません。

ロッドプローブ

基準反射付きロッドプローブの場合、ロッドプローブは別々に納入されるため、以下の手順で組み立ててください。

i 個々のロッドセグメント間の接合部は、中にあるノルトロックワッシャによって固定されます。事前組立てされた対のワッシャを、カム面同士が向き合うように挿入します。



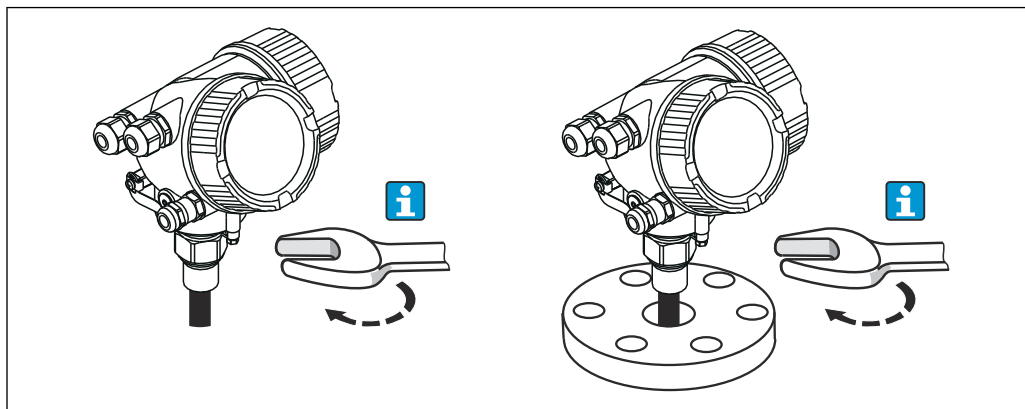
A0014545

1. グランドの接続ネジ (M10 x 1) にカウンタナットをねじ込みます。斜角面がグランドに向くように注意してください。
2. ネジに 1 対のノルトロックワッシャを配置します。
3. ネジに大径のロッドプローブをねじ込み、手で締め付けます。
4. ネジボルトに別の 1 対のノルトロックワッシャを配置します。
5. ネジボルトに小径のロッドプローブをねじ込み、15 Nm で締め付けます（トルクレンチ/スパナ AF14）。

i ロッドプローブを内筒管または外筒管に取り付けた後に確認し、必要に応じて、加圧されていない状態で設定を修正します → 97。

6.2.4 機器の設置

ネジを使用した機器の設置



A0012528

ネジ付の機器は溶接ボスまたはフランジにネジ込まれ、通常はこれらを用いて固定もします。

- i** ■ 六角ナットのみを使用して締め付けます。
 - ネジ 3/4" : 六角レンチ 36 mm
 - ネジ 1-1/2" : 六角レンチ 55 mm
- 最大許容トルク :
 - ネジ 3/4" : 45 Nm
 - ネジ 1-1/2" : 450 Nm
- 同梱のアラミド繊維シールを使用し、プロセス圧力 40 bar (580 psi) のときの推奨トルク :
 - ネジ 3/4" : 25 Nm
 - ネジ 1-1/2" : 140 Nm
- タンク内部に取り付ける場合は、プロセス接続部とタンクの金属同士の接触が良好であることを確かめてください。

フランジの取付け

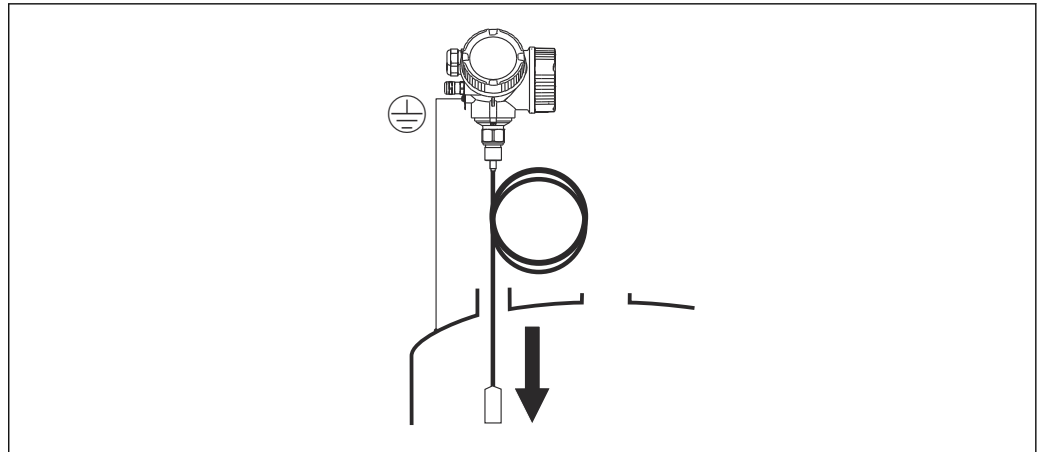
シールを使用する場合は、プローブフランジとプロセスフランジ間の導通が妨げられないように、必ず塗装されていない金属ボルトを使用してください。

ローブプローブの取付け

注記

静電気により電子機器が損傷する恐れがあります。

- ▶ ロープをタンクへ下ろす前に、ハウジングを接地してください。



A0012852

ローププローブをタンクへ下ろすときは、以下を守ってください。

- ローププローブを解いてタンクへゆっくりと慎重に下ろします。
- ローププローブにねじれを生じさせないでください。
- ローププローブ、またはタンクの取付部が損傷する恐れがあるため、はね返りに注意してください。

6.2.5 「分離型センサ」バージョンの取付け

i このセクションは、「プローブ型式」=「分離型センサ」（仕様コード 600、オプション MB/MC/MD）バージョンの機器にのみ適用されます。

「プローブ型式」=「分離型センサ」バージョンの場合、次のコンポーネントが納入されます。

- プロセス接続部付きプローブ
- 電子部ハウジング
- 電子部ハウジングの壁またはパイプ取付用の取付ブラケット
- 接続ケーブル（注文した長さ）。ケーブルには、ストレートおよび角度付き（90°）のプラグ各 1 つが付いています。現場の状況に応じて、角度付きプラグはプローブ側または電子部ハウジング側に接続できます。

⚠ 注意

接続ケーブルのプラグは、機械的応力を受けると破損する可能性があります。

- ▶ ケーブルを接続する前に、プローブと電子部ハウジングをしっかりと取り付けてください。
- ▶ ケーブルは機械的応力がかからないように敷設します。最小曲げ半径：100 mm (4")
- ▶ ケーブルの接続時：角度付きプラグを接続する前にストレートプラグを接続します。両方のカップリングナットのトルク：6 Nm

i プローブ、電子部、接続ケーブルは、互いに適合するように調整されています。これらのシリアル番号は共通です。接続する際には、必ず、シリアル番号が同じ部品同士を接続してください。

i 測定点が激しい振動にさらされる場合は、プラグコネクタに追加の緩み止め剤（例：ロックタイト 243）を塗布することが可能です。

電子部ハウジングの取付け

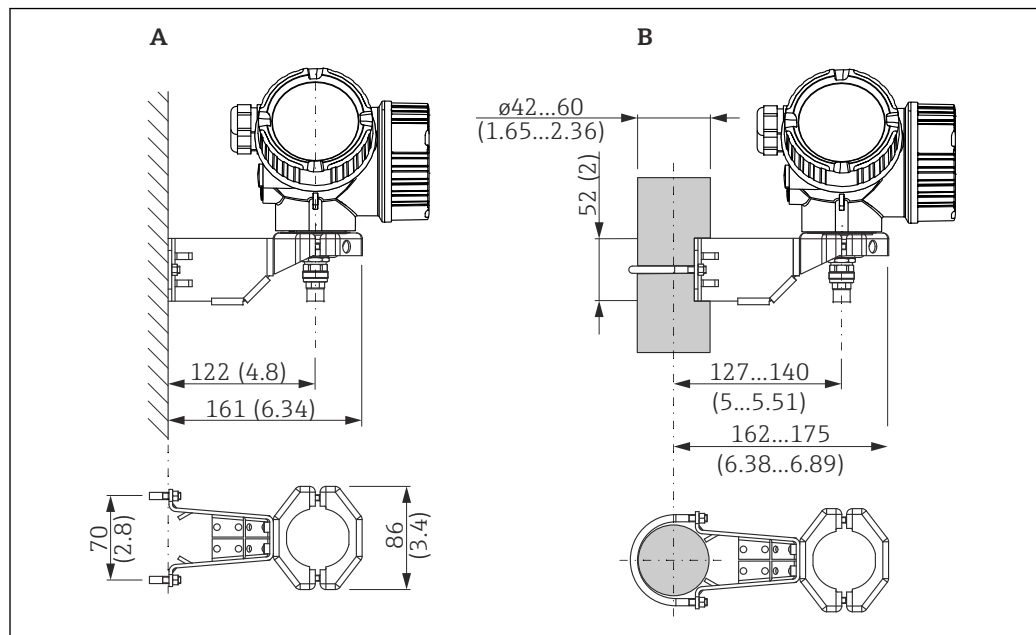


図 11 取付ブラケットを使用した電子部ハウジングの取付け；寸法単位：mm (in)

- A 壁取付け
B パイプ取付け

ケーブルの接続

必要な工具：
スパナ 18AF

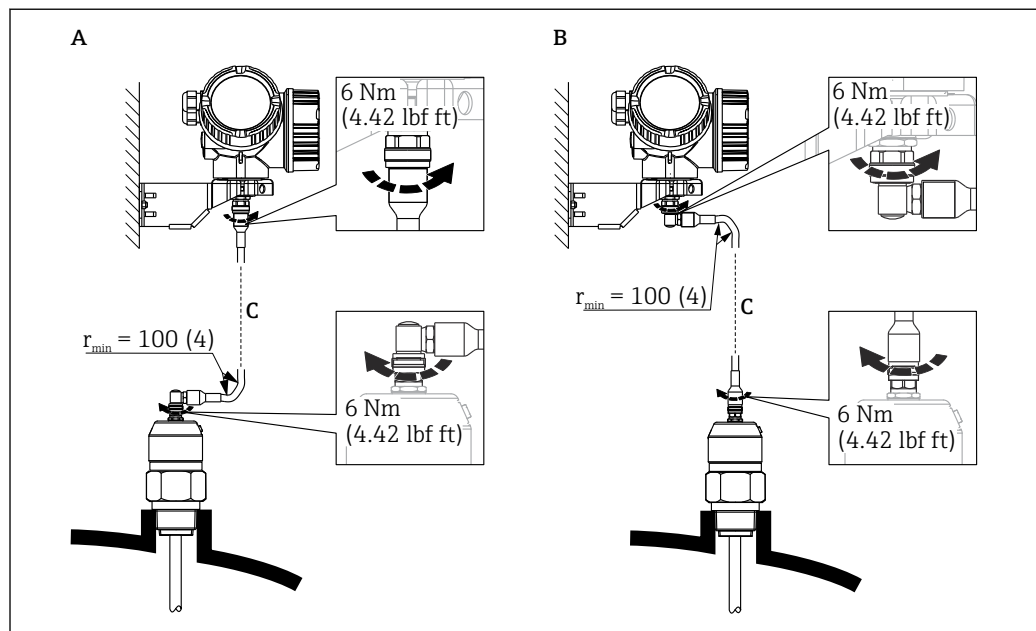
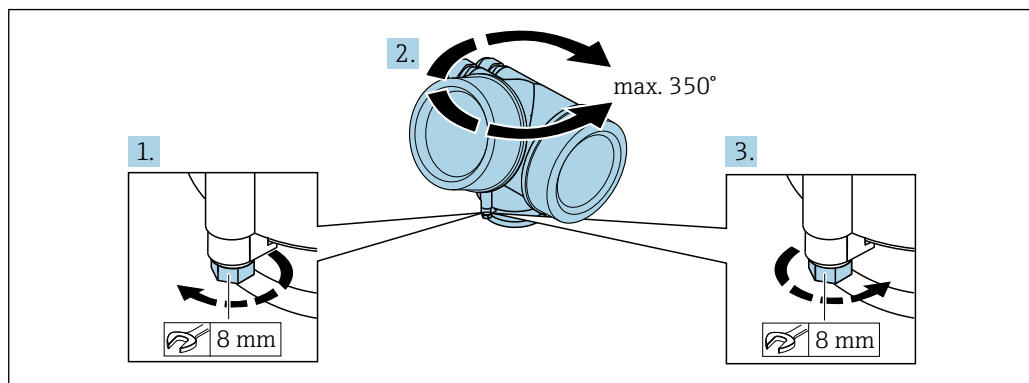


図 12 ケーブルの接続。以下の方法があります。

- A プローブ側に角度付きプラグ
B 電子部ハウジング側に角度付きプラグ
C 注文したリモートケーブルの長さ

6.2.6 変換器ハウジングの回転

端子部や表示モジュールにアクセスしやすくするため、変換器ハウジングを回転させることが可能です。

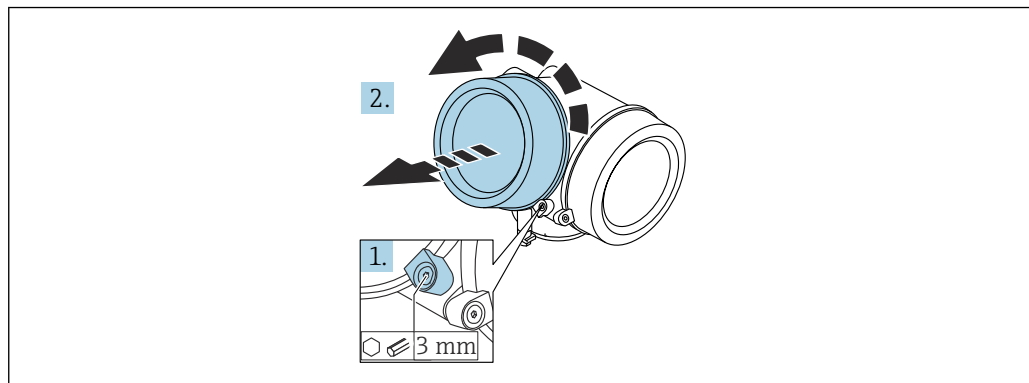


A0032242

1. オープンエンドスパナを使用して固定ネジを緩めます。
2. ハウジングを必要な方向に回転させます。
3. 固定ネジをしっかりと締め付けます（プラスチックハウジングは 1.5 Nm、アルミニウムまたはステンレスハウジングは 2.5 Nm）。

6.2.7 表示部の回転

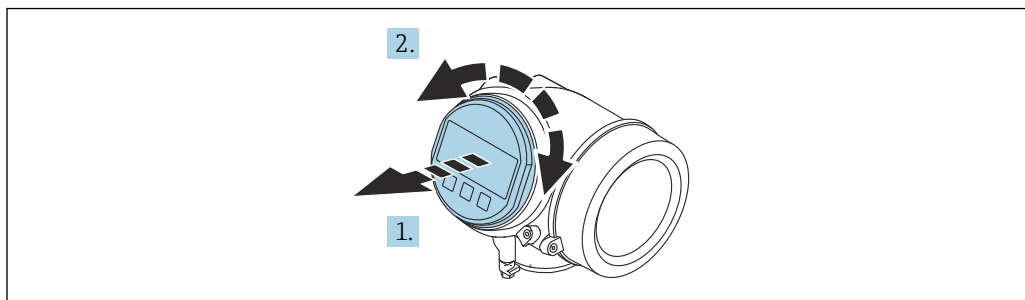
カバーを開ける



A0021430

1. 表示部カバーの固定クランプのネジを六角レンチ（3 mm）を使用して緩め、クランプ 90° を反時計回りに回します。
2. カバーを回して外し、カバーのガスケットを点検して、必要に応じて交換します。

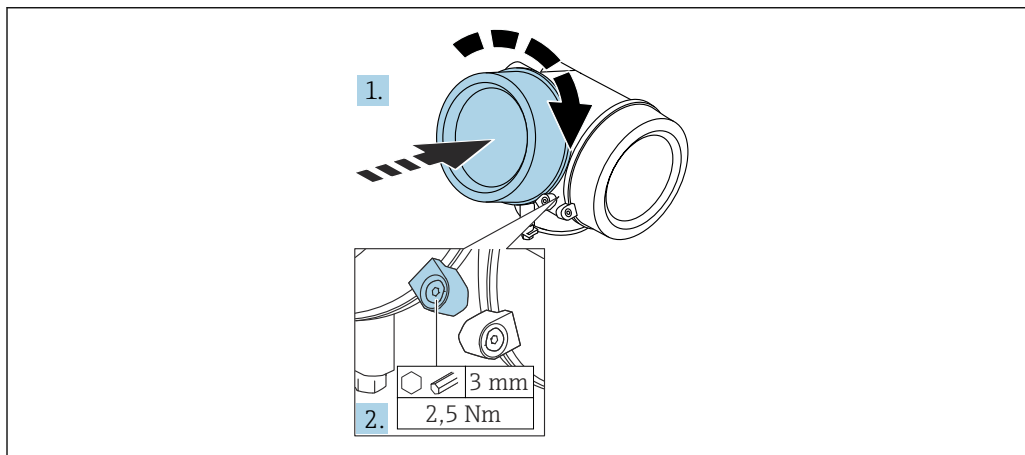
表示モジュールの回転



A0036401

1. 表示モジュールを慎重に回転させて引き抜きます。
2. 表示モジュールを必要な位置に回転させます：両方向とも最大 $8 \times 45^\circ$ 。
3. ハウジングとメイン電子モジュール間の隙間にコイルケーブルを収納し、表示モジュールを電子部コンパートメントにかみ合うまで差し込みます。

表示部のカバーを閉じる



A0021451

1. 表示部カバーを回して固くねじ込みます。
2. 固定クランプ 90° を六角レンチ (3 mm) を使用して時計回りに回し、クランプをトルク 2.5 Nm で締め付けます。

6.3 設置状況の確認

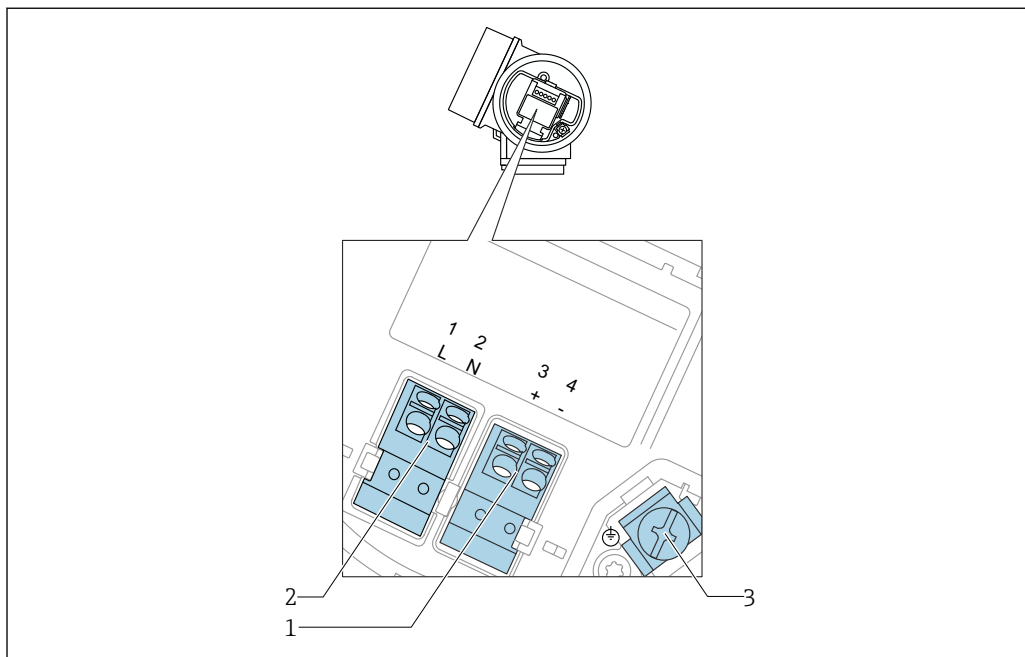
○	機器は損傷していないか？（外観検査）
○	機器が測定点の仕様を満たしているか？ 例： ■ プロセス温度 ■ プロセス圧力（技術仕様書の「材質耐圧曲線」の章を参照） ■ 周囲温度範囲 ■ 測定範囲
○	測定点の識別番号とそれに対応する銘板は正しいか（外観検査）？
○	機器が湿気あるいは直射日光から適切に保護されているか？
○	固定ネジや固定クランプがしっかりと締め付けられているか？

7 電気接続

7.1 接続条件

7.1.1 端子の割当て

4 線式、4～20 mA HART の端子割当て (90～253 V_{AC})



A0036519

図 13 4 線式、4～20 mA HART の端子割当て (90～253 V_{AC})

- 1 4～20 mA HART (アクティブ) の接続：端子 3 および 4
- 2 電源接続：端子 1 および 2
- 3 ケーブルシールド用端子

⚠ 注意

電気的安全性を確保するために：

- ▶ 保護接続は外さないでください。
- ▶ 保護アースを外す前に供給電圧の接続を切ってください。

i 供給電源に接続する前に、保護アースを内部の接地端子 (3) に接続してください。必要に応じて等電位線に外部の接地端子に接続してください。

i 電磁適合性 (EMC) を確保するには：機器の接地には電源ケーブルの保護接地線だけでなく、プロセス接続（フランジまたはネジ込み接続）または外部の接地端子を介して機能接地も行ってください。

i 機器の近くにアクセスしやすい電源スイッチを設置する必要があります。電源スイッチには機器の開閉器であることを明示してください (IEC/EN61010)。

PROFIBUS PA/ FOUNDATION Fieldbus の端子割当

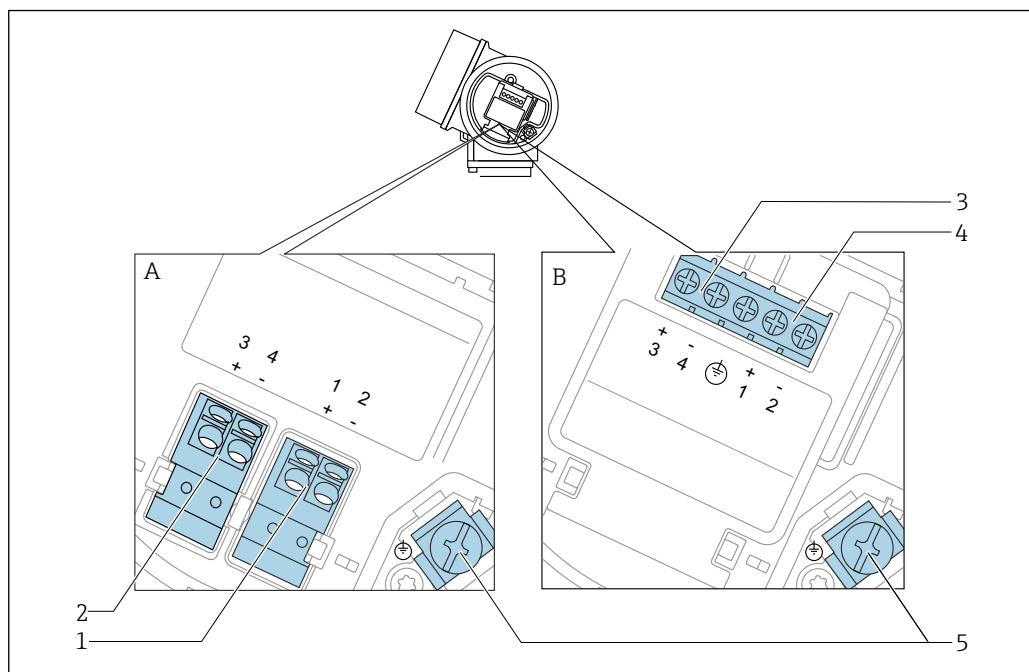


図 14 PROFIBUS PA/ FOUNDATION Fieldbus の端子割当

- A 過電圧保護機能なし
- B 過電圧保護機能内蔵
- 1 PROFIBUS PA / FOUNDATION Fieldbus 接続 : 端子 1 および 2、過電圧保護機能なし
- 2 スイッチ出力 (オープンコレクタ) の接続 : 端子 3 および 4、過電圧保護機能なし
- 3 スイッチ出力 (オープンコレクタ) の接続 : 端子 3 および 4、過電圧保護機能内蔵
- 4 PROFIBUS PA / FOUNDATION Fieldbus の接続 : 端子 1 および 2、過電圧保護機能内蔵
- 5 ケーブルシールド用端子

ブロック図 : PROFIBUS PA / FOUNDATION フィールドバス

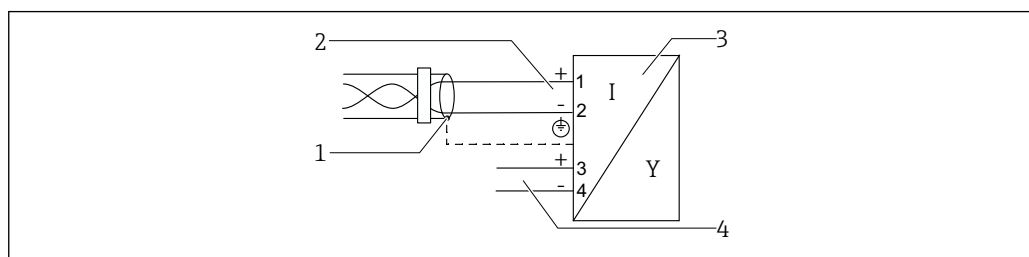
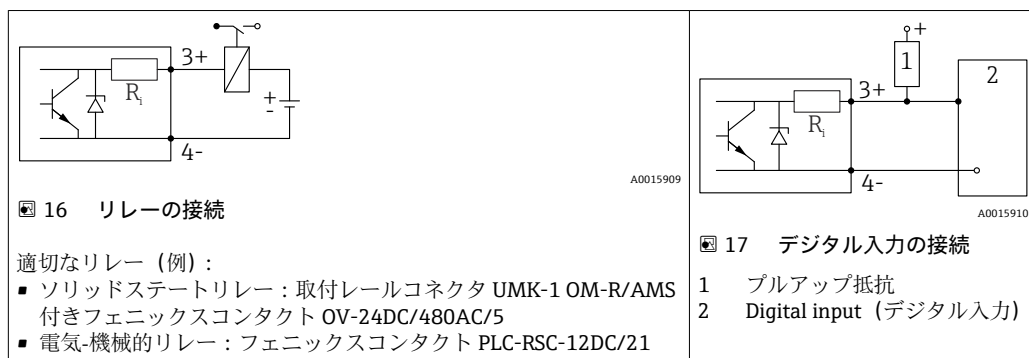


図 15 ブロック図 : PROFIBUS PA / FOUNDATION フィールドバス

- 1 ケーブルシールド : ケーブル仕様を参照
- 2 PROFIBUS PA / FOUNDATION フィールドバスの接続
- 3 機器
- 4 スイッチ出力 (オープンコレクタ)

スイッチ出力の接続例



i 最適な干渉波の適合性を得るには、1000 Ω 未満の外部抵抗（リレーの抵抗またはプルアップ抵抗）に接続することをお勧めします。

7.1.2 ケーブル仕様

- 過電圧保護機能のない機器
差込式スプリング端子、ケーブル断面積 0.5～2.5 mm² (20～14 AWG)
- 過電圧保護機能付き機器
ケーブル断面積 0.2～2.5 mm² (24～14 AWG) 用のネジ端子
- 周囲温度 T_U60 °C (140 °F) の場合：温度 T_U +20 K 用のケーブルを使用してください。

FOUNDATION フィールドバス

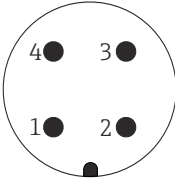
Endress+Hauser では、シールド付き 2 芯ツイストペアケーブルの使用をお勧めします。

- i** ケーブルの仕様の詳細については、取扱説明書「FOUNDATION フィールドバスの概要」(BA00013S)、FOUNDATION フィールドバスガイドライン、ならびに IEC 61158-2 (MBP) を参照してください。

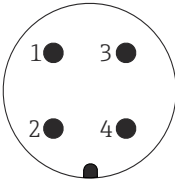
7.1.3 機器プラグコネクタ

 Fieldbus プラグコネクタ（M12 または 7/8"）付きのバージョンでは、ハウジングを開けずに信号線を接続できます。

M12 プラグコネクタのピン配置

 A0011175	ピン	意味
	1	+ 信号
	2	接続なし
	3	- 信号
	4	接地

7/8" プラグコネクタのピン配列

 A0011176	ピン	意味
	1	- 信号
	2	+ 信号
	3	接続なし
	4	シールド

7.1.4 電源

PROFIBUS PA、FOUNDATION Fieldbus

「電源；出力」 ¹⁾	「認証」 ²⁾	端子電圧
E : 2 線式 ; FOUNDATION フィールドバス、スイッチ出力 G : 2 線式 ; PROFIBUS PA、スイッチ出力	■ 非防爆 ■ Ex nA ■ Ex nA[ia] ■ Ex ic ■ Ex ic[ia] ■ Ex d[ia] / XP ■ Ex ta / DIP ■ CSA GP	9~32 V ³⁾
	■ Ex ia / IS ■ Ex ia + Ex d[ia] / IS + XP	9~30 V ³⁾

- 1) 製品構成の仕様コード 020
 2) 製品構成の仕様コード 010
 3) 最大 35 V までの入力電圧は機器を損傷しません。

極性感度	いいえ
FISCO/FNICO 適合、IEC 60079-27 準拠	あり

7.1.5 過電圧保護

DIN EN 60079-14 の試験手順基準 60060-1 (10 kA、パルス 8/20 μs) に準拠した過電圧保護を必要とする可燃性液体のレベル測定に本機器を使用する場合、過電圧保護モジュールを設置してください。

内蔵の過電圧保護モジュール

内蔵の過電圧保護モジュールは、2 線式 HART、PROFIBUS PA、および FOUNDATION Fieldbus の各機器で使用できます。

製品構成：項目 610 「取付け済みアクセサリ」、オプション NA 「過電圧保護」

技術データ	
チャンネルあたりの抵抗	2 × 0.5 Ω 最大
DC 電圧しきい値	400~700 V
インパルス電圧しきい値	< 800 V
1 MHz の静電容量	< 1.5 pF
インパルス電圧の公称放電電流 (8/20 μs)	10 kA

外部の過電圧保護モジュール

Endress+Hauser の HAW562 または HAW569 は、外部過電圧保護に適しています。



詳細情報については以下の文書を参照ください。

- HAW562 : TI01012K
- HAW569 : TI01013K

7.2 機器の接続

⚠ 警告

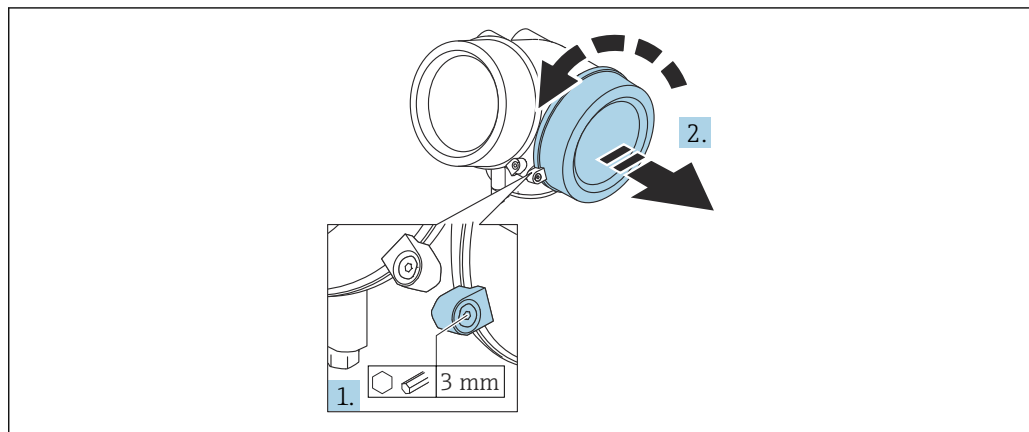
爆発に注意！

- ▶ 適用される各国の規格を順守してください。
- ▶ 安全上の注意事項 (XA) の仕様に従ってください。
- ▶ 指定のケーブルグラウンド以外使用しないでください。
- ▶ 電源が銘板に示されている情報と一致していることを確認してください。
- ▶ 電源のスイッチを切ってから機器を接続します。
- ▶ 電源を投入する前に、等電位線を外部の接地端子に接続してください。

必要な工具/アクセサリ：

- カバーロック付きの機器の場合：六角レンチ AF3
- 電線ストリッパー
- 標準ケーブルを使用する場合：1つのスリーブですべての電線接続に対応

7.2.1 端子部カバーを開く



A0021490

1. 端子部カバーの固定クランプのネジを六角レンチ (3 mm) を使用して緩め、クランプ 90° を時計回りに回します。
2. その後に端子部カバーを回して外し、カバーのガスケットを点検して、必要に応じて交換します。

7.2.2 接続

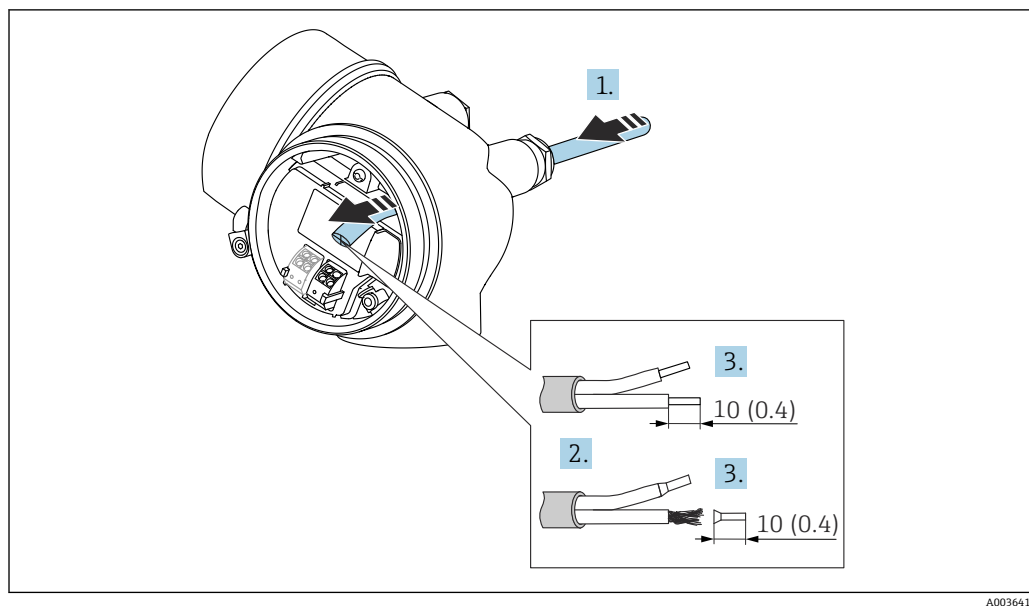
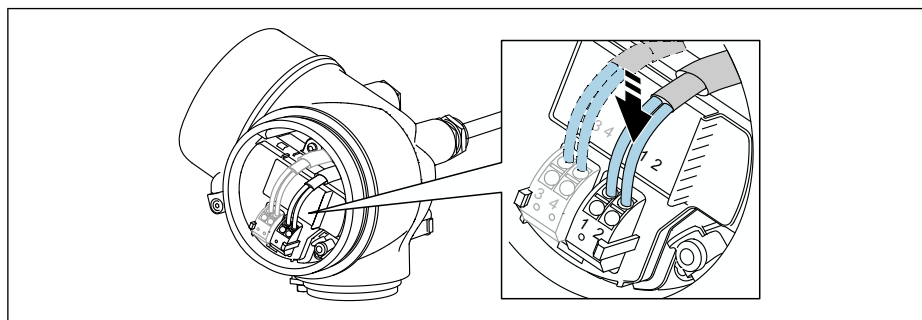


図 18 寸法単位 : mm (in)

1. 電線管接続口からケーブルを挿入します。気密性を確保するため、電線管接続口のシーリングリングは外さないでください。
2. ケーブルシースを取り除きます。
3. 長さ 10 mm (0.4 in) にわたってケーブル終端を剥きます。より線ケーブルを使用する場合は、スリーブも取り付けます。
4. ケーブルグラウンドをしっかりと締め付けます。
5. 端子の割当てに従ってケーブルを接続します。

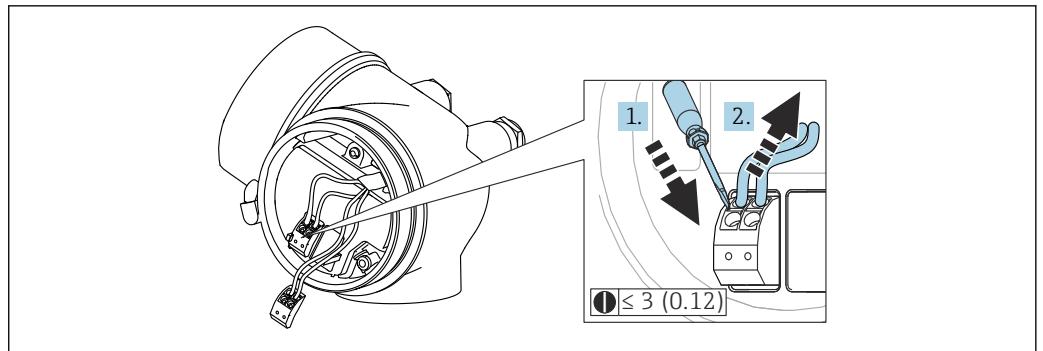
→



6. シールドケーブルを使用する場合：ケーブルシールドを接地端子に接続します。

7.2.3 差込式スプリング端子

過電圧保護機能を備えていない機器の場合は、差込式スプリング端子を使用して電気接続を行います。スリーブ付きの剛性およびフレキシブル導体は、レバーを使用せずに直接端子に挿入することが可能であり、自動的に接点が形成されます。



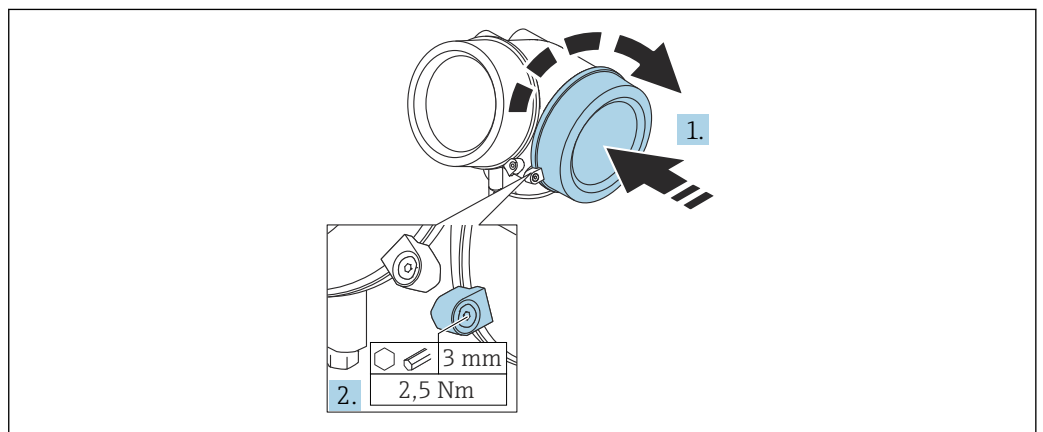
A0013661

図 19 寸法単位：mm (in)

端子からケーブルを外す場合：

1. 3 mm 以下のマイナスドライバを使用して 2 つの端子孔間の溝を押し下げます。
2. これと同時に、端子からケーブル終端を引き抜きます。

7.2.4 端子部カバーを閉じる



A0021491

1. 端子部カバーを回して固くねじ込みます。
2. 固定クランプ 90°を六角レンチ (3 mm) を使用して反時計回りに回し、クランプをトルク 2.5 Nm (1.84 lbf ft) で再度締め付けます。

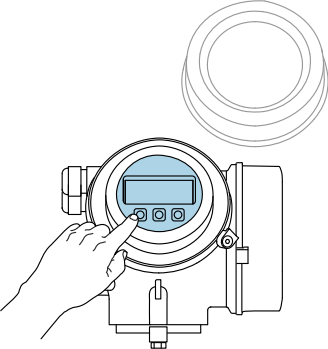
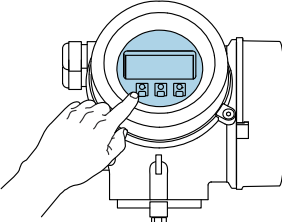
7.3 配線状況の確認

☐	機器やケーブルは損傷していないか？（外観検査）
☐	ケーブルの仕様は正しいか？
☐	ケーブルには適当な余裕があるか？
☐	すべてのケーブルグラウンドが取り付けられ、しっかりと固定され、密閉されているか？
☐	供給電圧が銘板に示されている仕様と一致しているか？
☐	端子割当は正しいか？
☐	必要に応じて：保護接地接続が確立されているか？
☐	電圧が供給されている場合、機器の運転準備が整っているか、表示モジュールに値が表示されているか？
☐	すべてのハウジングカバーが取り付けられ、しっかりと締められているか？
☐	固定クランプは正しく締め付けられているか？

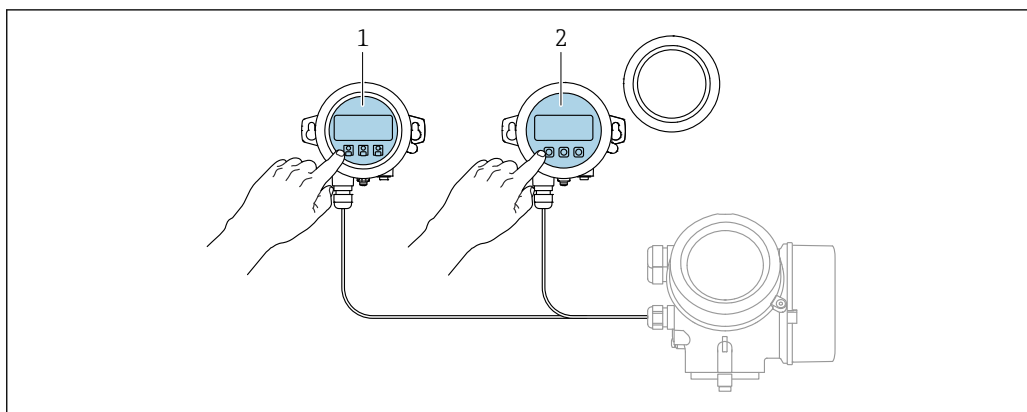
8 操作オプション

8.1 概要

8.1.1 現場操作

操作部	プッシュボタン	タッチコントロール
「ディスプレイ; 操作」のオーダーコード	オプション C「SD02」	オプション E「SD03」
	 A0036312	 A0036313
表示部	4 行表示	4 行表示 白色バックライト; 機器エラー発生時は赤に変化
	測定変数およびステータス変数の表示形式は個別に設定可能	
	表示部の許容周囲温度: -20~+70 °C (-4~+158 °F) 温度が許容温度範囲外の場合、表示部の視認性が悪化する可能性があります。	
操作部	3 つのプッシュボタン (田, 日, 回) による現場操作 各種危険場所でも操作部にアクセス可能	タッチコントロール、3 つの光学式キー (田, 日, 回) による外部操作
追加機能	データバックアップ機能 機器設定を表示モジュールに保存可能	
	データ比較機能 表示モジュールに保存された機器設定と現在の機器設定とを比較できます。	
	データ転送機能 表示モジュールを使用して変換器設定を別の機器に転送できます。	

8.1.2 リモート表示部と操作モジュール FHX50 による操作



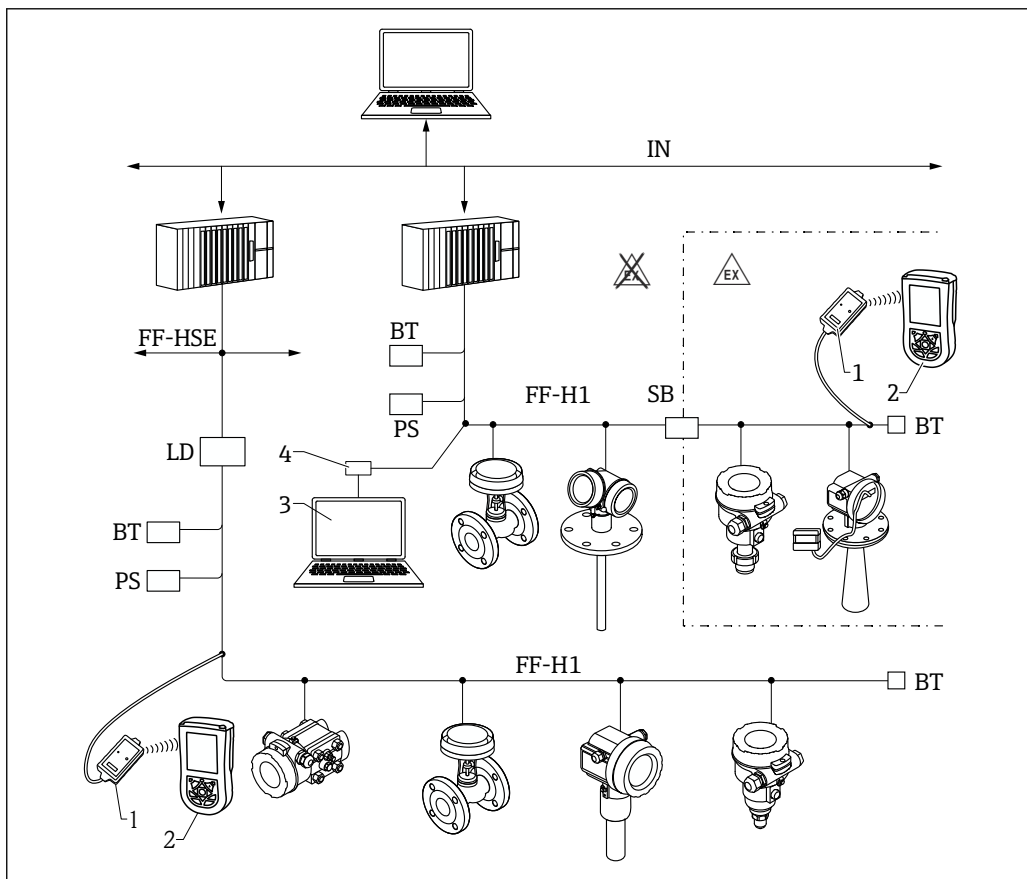
A0036314

図 20 FHX50 操作オプション

- 1 表示部および操作モジュール SD03（光学式キー）、カバーガラスの上から操作できます。
- 2 表示部および操作モジュール SD02（プッシュボタン）、カバーは取り外してください。

8.1.3 リモート操作

FOUNDATION フィールドバス経由



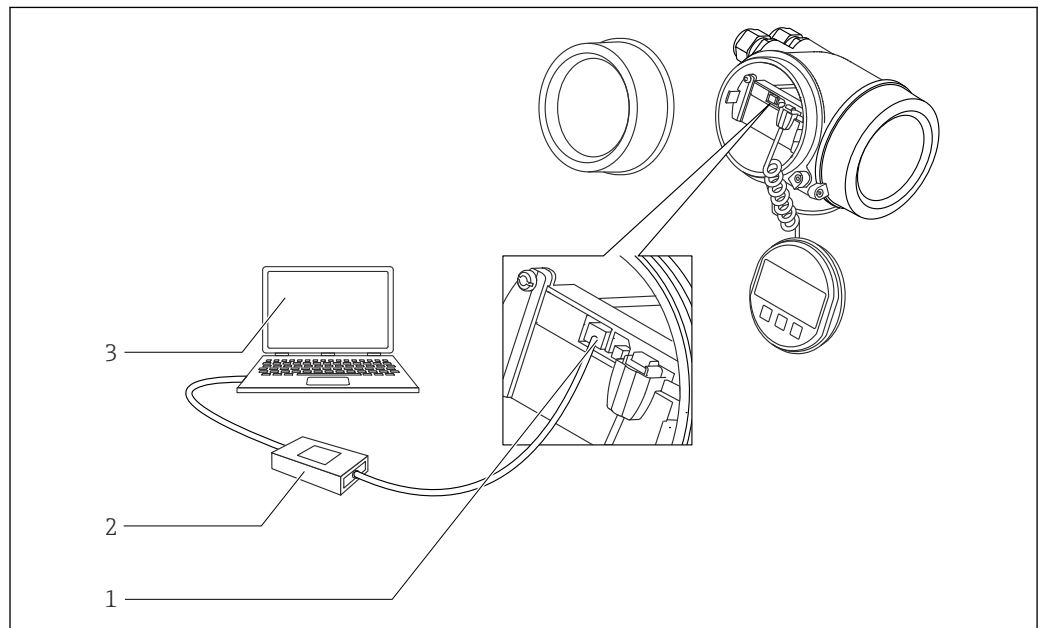
A0017188

図 21 FOUNDATION フィールドバスシステム構成および関連するコンポーネント

- 1 FFblue Bluetooth モデム
- 2 Field Xpert SFX350/SFX370
- 3 DeviceCare/FieldCare
- 4 NI-FF インターフェイスカード

IN	工業用ネットワーク
FF-HSE	高速 Ethernet
FF-H1	FOUNDATION フィールドバス-H1
LD	リンク機器 FF-HSE/FF-H1
PS	バス電源
SB	安全バリア
BT	バスターミネータ

サービスインターフェイス（CDI）経由の DeviceCare/FieldCare



A0032466

図 22 サービスインターフェイス（CDI）経由の DeviceCare/FieldCare

- 1 機器のサービスインターフェイス（CDI = Endress+Hauser Common Data Interface）
- 2 Commubox FXA291
- 3 DeviceCare/FieldCare 操作ツール搭載のコンピュータ

8.2 操作メニューの構成と機能

8.2.1 操作メニューの構成

メニュー	サブメニュー/ パラメータ	意味
	Language ¹⁾	現場表示器の操作言語を設定します。
初回設定 ²⁾		メニューガイド方式で初回設定を行うための対話型ウィザードを起動します。 ウィザードの終了後、通常は他のメニューで追加設定をする必要はありません。
設定	パラメータ 1 ... パラメータ N	これらのパラメータを設定した場合、通常は測定の設定を完了させる必要があります。
	高度な設定	その他のサブメニューやパラメータが含まれます。 ■ 機器を特殊な測定条件に合わせるため ■ 測定値を処理するため（スケーリング、リニアライゼーション） ■ 信号出力を設定するため
診断	診断リスト	現在発生中のエラーメッセージが最大 5 件含まれます。
	イベントログブック ³⁾	最新のメッセージ 20 件（すでに発生していない）が含まれます。
	機器情報	機器識別用の情報が含まれます。
	測定値	すべての現在の測定値が含まれます。
	データのログ	個別の測定値の履歴が含まれます。
	シミュレーション	測定値または出力値のシミュレーションに使用
	機器チェック	機器の測定機能のチェックに必要なすべてのパラメータが含まれます。
エキスパート ⁵⁾ 機器のすべてのパラメータが含まれます（上記メニューのいずれかに、すでに含まれているパラメータを含む）。このメニューは機器の機能ブロックに従って構成されています。 エキスパートメニューのパラメータの説明については、以下を参照してください。 GP01015F (FOUNDATION Fieldbus)	Heartbeat ⁴⁾	Heartbeat 検証 および Heartbeat モニタリング アプリケーションパッケージのすべてのウィザードが含まれます。
	システム	測定または測定値の通信に関係しない、高次の機器パラメータがすべて含まれます。
	センサ	測定の設定に必要なすべてのパラメータが含まれます。
	出力	スイッチ出力の設定に必要なすべてのパラメータが含まれます（PFS）。
	通信	デジタル通信インターフェイスの設定に必要なすべてのパラメータが含まれます。
	診断	動作エラーの検出および分析に必要なすべてのパラメータが含まれます。

- 1) 操作ツール（例：FieldCare）を介して操作する場合、パラメータ「Language」は「設定 → 高度な設定 → 表示」に表示されます。
- 2) FDT/DTM システムを介して操作する場合のみ
- 3) 現場操作の場合にのみ使用可能
- 4) DeviceCare または FieldCare を介して操作する場合にのみ使用可能
- 5) 「エキスパート」メニューを入力する場合は、必ずアクセスコードが要求されます。ユーザー固有のアクセスコードが設定されていない場合は、「0000」を入力してください。

8.2.2 ユーザーの役割と関連するアクセス権

「オペレータ」と「メンテナンス」の2つのユーザーの役割は、機器固有のアクセスコードが設定されている場合、パラメータの書込アクセス権が異なります。これにより、現場表示器を介した機器設定の不正アクセスが保護されます。→ 図 70

パラメータのアクセス権

ユーザーの役割	読み込みアクセス権		書き込みアクセス権	
	アクセスコードなし (初期設定)	アクセスコードあり	アクセスコードなし (初期設定)	アクセスコードあり
オペレータ	✓	✓	✓	--
メンテナンス	✓	✓	✓	✓

不正なアクセスコードを入力した場合、ユーザーには「オペレータ」のアクセス権が付与されます。

 ユーザーが現在ログオンしているユーザーの役割は、**アクセスステータス表示** パラメータ（ディスプレイ操作）または**アクセスステータス ツール** パラメータ（ツール操作）で確認できます。

8.2.3 データアクセス - セキュリティ

アクセスコードによる書き込み保護

機器固有のアクセスコードを使用して、機器設定用パラメータを書き込み保護することが可能です。これにより、現場操作による値の変更ができなくなります。

現場表示器によるアクセスコードの設定

1. 次の項目に移動します。設定 → 高度な設定 → 管理 → アクセスコード設定 → アクセスコード設定
2. アクセスコードとして最大 4 桁の数値コードを設定します。
3. **アクセスコードの確認** パラメータに同じコードを入力します。
↳ すべての書き込み保護パラメータの前に、 シンボルが表示されます。

操作ツール（例：FieldCare）によるアクセスコードの設定

1. 次の項目に移動します。設定 → 高度な設定 → 管理 → アクセスコード設定
2. アクセスコードとして最大 4 桁の数値コードを設定します。
↳ 書込保護がオンになります。

常に変更可能なパラメータ

測定に影響を及ぼさない特定のパラメータは、書き込み保護から除外されます。アクセスコード設定にもかかわらず、これは、他のパラメータがロックされている場合も常に変更可能です。

ナビゲーション、編集画面で 10 分以上キーを押さなかった場合、機器は自動的に書き込み保護パラメータを再度ロックします。ナビゲーション、編集画面から測定値表示モードに戻すと、機器は自動的に書き込み保護パラメータを 60 秒後にロックします。



- アクセスコードを使用して書き込みアクセス権を有効にした場合は、無効にする場合も必ずアクセスコードが必要です → 図 71。
- 各書き込み保護パラメータは、「機能説明書」に  シンボルで示されています。

アクセスコードによる書き込み保護の無効化

現場表示器のパラメータの前に  シンボルが表示されている場合、そのパラメータは機器固有のアクセスコードで書き込み保護されています。そのときは、現場表示器を使用して値を変更することはできません→  70。

機器固有のアクセスコードを入力すると、現場操作による書き込みアクセス権のロックを無効にできます。

1.  を押すと、アクセスコードの入力プロンプトが表示されます。
2. アクセスコードを入力します。
 - ↳ パラメータの前の  シンボルが消えます。それまで書き込み保護されていたすべてのパラメータが再び使用可能になります。

アクセスコードによる書き込み保護の無効化

現場表示器を介して

1. 次の項目に移動します。設定 → 高度な設定 → 管理 → アクセスコード設定 → アクセスコード設定
2. **0000** を入力します。
3. **アクセスコードの確認** パラメータに、もう一度 **0000** を入力します。
 - ↳ 書き込み保護が無効になります。アクセスコードを入力しなくてもパラメータの変更が可能になります。

操作ツールを使用（例：FieldCare）

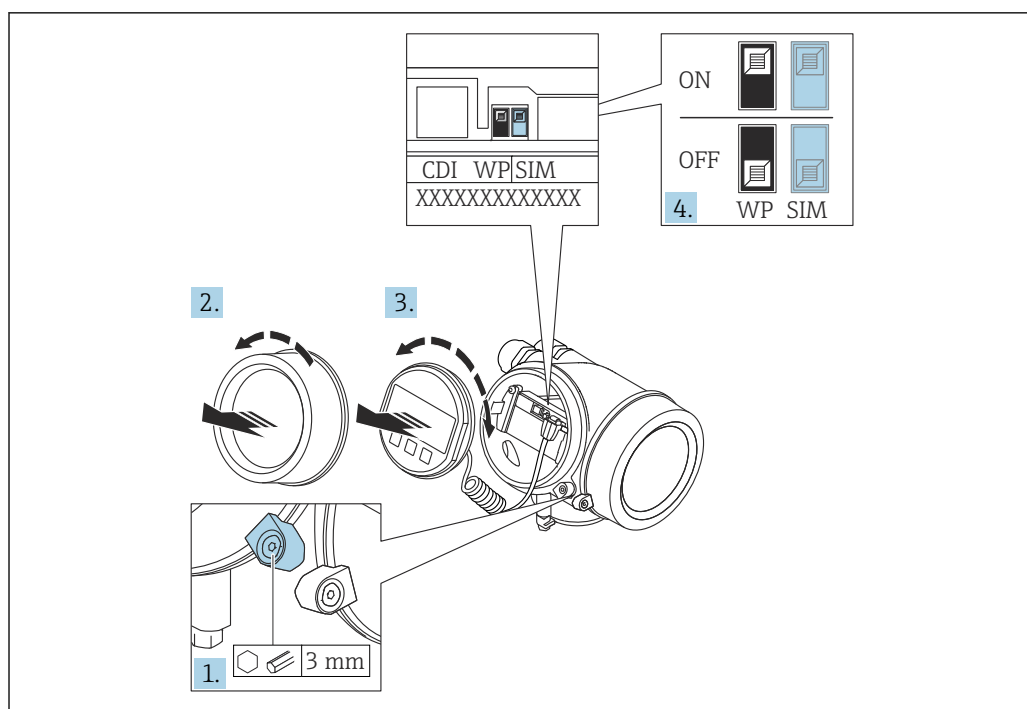
1. 次の項目に移動します。設定 → 高度な設定 → 管理 → アクセスコード設定
2. **0000** を入力します。
 - ↳ 書き込み保護が無効になります。アクセスコードを入力しなくてもパラメータの変更が可能になります。

書き込み保護スイッチによる書き込み保護

ユーザー固有のアクセスコードによるパラメータ書き込み保護とは異なり、これは、すべての操作メニュー（「表示のコントラスト」パラメータ用以外）の書き込みアクセス権をロックします。

これにより、パラメータ値は読み取り専用となり、編集はできなくなります（「表示のコントラスト」パラメータ以外）。

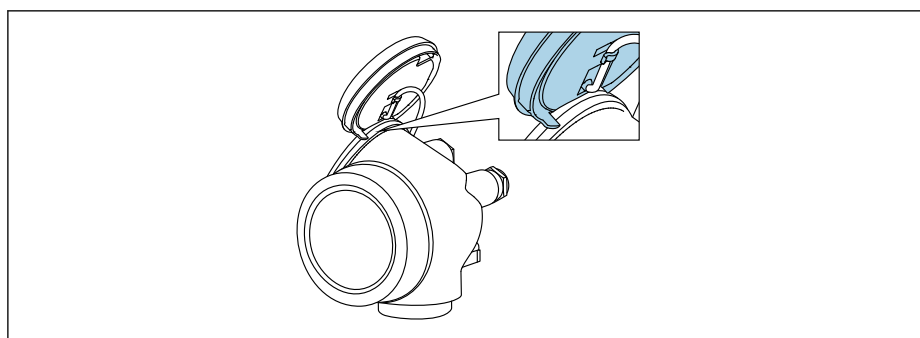
- 現場表示器を介して
- FOUNDATION フィールドバス経由



A0021474

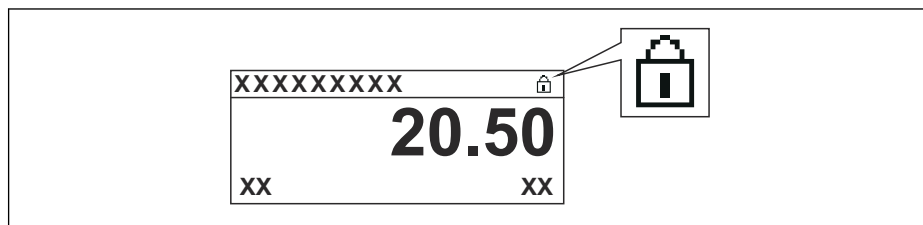
1. 固定クランプを緩めます。
2. 表示部のカバーを外します。
3. 表示モジュールを慎重に回転させて引き抜きます。ロックスイッチにアクセスしやすくなるため、表示モジュールを電子部コンパートメントの縁に差し込みます。

→



A0036086

4. メイン電子モジュールの書き込み保護スイッチ (WP) を **ON** 位置に設定すると、ハードウェア書き込み保護が有効になります。メイン電子モジュールの書き込み保護スイッチ (WP) を **OFF** 位置 (初期設定) に設定すると、ハードウェア書き込み保護が無効になります。
- ↳ ハードウェア書き込み保護が有効な場合： **ハードウェア書き込みロック** オプションが **ロック状態** パラメータに表示されます。さらに、現場表示器の操作画面表示のヘッダーとナビゲーション画面のパラメータの前に  シンボルが表示されます。



A0015870

ハードウェア書き込み保護が無効な場合： **ロック状態** パラメータには何も表示されません。現場表示器の操作画面表示のヘッダーとナビゲーション画面のパラメータの前に表示されていた  シンボルは消えます。

5. ハウジングとメイン電子モジュール間の隙間にケーブルを収納し、表示モジュールを必要な向きで電子部コンパートメントにかみ合うまで差し込みます。
6. 変換器を再度取り付ける場合は、取り外しと逆の手順を実施してください。

キーパッドロックの有効化/無効化

キーパッドロックを使用すると、現場操作によるすべての操作メニューへのアクセスを防ぐことができます。その結果、操作メニューのナビゲーションまたはパラメータの変更はできなくなります。操作画面表示の測定値を読み取ることだけが可能です。

キーパッドロックのオン/オフはコンテキストメニューで行います。

キーパッドロックのオン

SD03 表示部の場合のみ：

キーパッドロックが自動的にオンになります。

- 機器が表示部を介して 1 分以上操作されなかった場合
- 機器をリスタートした場合

キーロックを手動で有効化：

1. 測定値表示の画面を表示します。
⏏ を 2 秒以上押します。
↳ コンテキストメニューが表示されます。
2. コンテキストメニューで **キーロック オン** オプションを選択します。
↳ キーパッドロックがオンになっています。

 キーパッドロック有効時に操作メニューにアクセスしようとすると、**キーロック オン**メッセージが表示されます。

キーパッドロックのオフ

1. キーパッドロックがオンになっています。
⏏ を 2 秒以上押します。
↳ コンテキストメニューが表示されます。
2. コンテキストメニューで **キーロック オフ** オプションを選択します。
↳ キーパッドロックがオフになります。

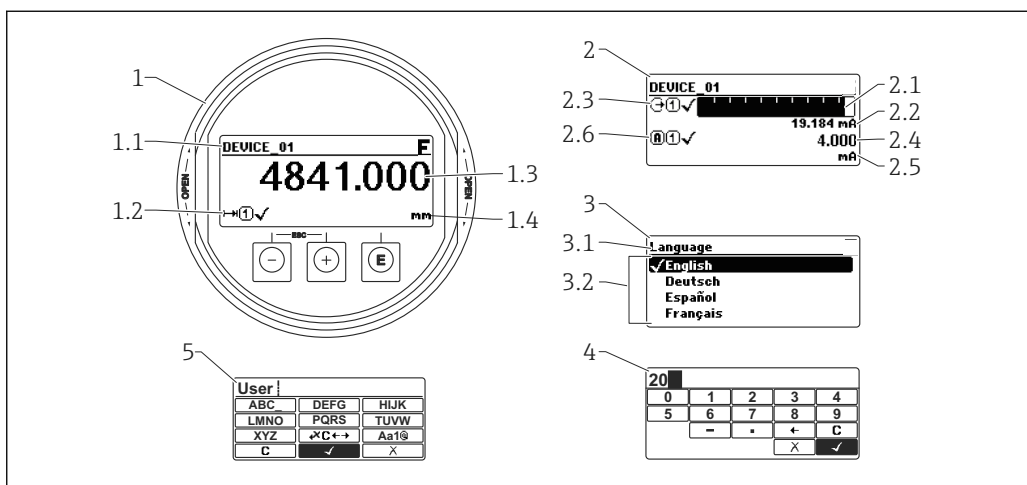
Bluetooth® ワイヤレス技術

Bluetooth® ワイヤレス技術を介した信号伝送では、フラウンホーファー研究所で試験された暗号技術が使用されます。

- SmartBlue アプリが搭載されていない場合、Bluetooth® ワイヤレス技術を介して機器を表示することはできません。
- **1 台**のセンサと **1 台**のスマートフォンまたはタブレット端末とのポイント・トゥー・ポイント接続のみが構築されます。

8.3 表示部および操作モジュール

8.3.1 表示



A0012635

図 23 現場操作の表示部および操作モジュールの表示

- 1 測定値表示部（1つの値、最大サイズ）
- 1.1 タグとエラーシンボル（エラーが出ている場合）を含むヘッダー
- 1.2 測定値シンボル
- 1.3 測定値
- 1.4 単位
- 2 測定値表示部（1つの値 + バーグラフ）
- 2.1 測定値 1 のバーグラフ
- 2.2 測定値 1（単位付き）
- 2.3 測定値 1 の測定値シンボル
- 2.4 測定値 2
- 2.5 測定値 2 の単位
- 2.6 測定値 2 の測定値シンボル
- 3 パラメータ表示（この場合：選択リスト付きのパラメータ）
- 3.1 パラメータ名とエラーシンボル（エラーが出ている場合）を含むヘッダー
- 3.2 選択リスト、☑は現在のパラメータ値を示します。
- 4 数字の入力マトリックス
- 5 英数字および特殊文字の入力マトリックス

サブメニューの表示シンボル

シンボル	意味
 A0018367	表示/ 操作 表示場所： ■ メインメニューの「表示/ 操作」選択項目の横 ■ 「表示/ 操作」メニュー内のヘッダー
 A0018364	設定 表示場所： ■ メインメニューの「設定」選択項目の横 ■ 「設定」メニュー内のヘッダー
 A0018365	エキスパート 表示場所： ■ メインメニューの「エキスパート」選択項目の横 ■ 「エキスパート」メニュー内のヘッダー
 A0018366	診断 表示場所： ■ メインメニューの「診断」選択項目の横 ■ 「診断」メニュー内のヘッダー

ステータス信号

F A0032902	「故障」 機器エラーが発生。測定値は無効。
C A0032903	「機能チェック」 機器はサービスモード（例：シミュレーション中）
S A0032904	「仕様範囲外」 機器は作動中： ■ 技術仕様の範囲外（例：スタートアップまたは洗浄中） ■ ユーザが行った設定の範囲外（例：レベルが設定スパンの範囲外）
M A0032905	「メンテナンスが必要」 メンテナンスが必要。測定値は依然として有効。

ロック状態の表示シンボル

シンボル	意味
 A0013148	表示パラメータ 編集できない、表示専用のパラメータを示します。
 A0013150	機器のロック ■ パラメータ名の前：機器はソフトウェアおよび/またはハードウェアでロックされています。 ■ 測定値画面のヘッダー：機器はソフトウェアでロックされています。

測定値シンボル

シンボル	意味
測定値	
 A0032892	レベル
 A0032893	距離
 A0032908	電流出力
 A0032894	測定された電流値
 A0032895	端子電圧
 A0032896	電子部またはセンサの温度
測定チャンネル	
 A0032897	測定チャンネル 1
 A0032898	測定チャンネル 2
測定値ステータス	
 A0018361	「アラーム」ステータス 測定が中断します。所定のアラーム値が出力されます。診断メッセージが生成されます。
 A0018360	「警告」ステータス 機器は測定を継続します。診断メッセージが生成されます。

8.3.2 操作部

キー	意味
− A0018330	− キー メニュー、サブメニュー用 選択リスト内の選択バーを上方へ移動 テキストおよび数値エディタ用 入力画面で、選択バーを左へ移動（戻る）
+ A0018329	+ キー メニュー、サブメニュー用 選択リスト内の選択バーを下方へ移動 テキストおよび数値エディタ用 入力画面で、選択バーを右へ移動（次へ）
E A0018328	Enter キー 測定値表示用 ■ キーを短く押すと、操作メニューが開く ■ キーを2秒押すと、コンテキストメニューが開く メニュー、サブメニュー用 ■ キーを短く押した場合： - 選択したメニュー、サブメニュー、またはパラメータが開く ■ パラメータの位置でキーを2秒押した場合： - パラメータ機能のヘルプテキストがある場合は、これが開く テキストおよび数値エディタ用 ■ キーを短く押した場合： ■ 選択したグループが開く ■ 選択した動作を実行 ■ キーを2秒押すと、編集したパラメータ値を確定
− + + A0032909	エスケープキーの組み合わせ（キーを同時に押す） メニュー、サブメニュー用 ■ キーを短く押した場合： ■ 現在のメニューレベルを終了し、より高次のレベルに移動 ■ ヘルプテキストを開いている場合は、パラメータのヘルプテキストを閉じる ■ キーを2秒押すと、測定値表示に戻る（「ホーム画面」） テキストおよび数値エディタ用 変更を確定せずに、テキストまたは数値エディタを閉じる
− + E A0032910	− / Enter キーの組み合わせ（キーを同時に長押し） コントラストを弱く（より明るい設定）
+ + E A0032911	+ / Enter キーの組み合わせ（キーを同時に長押し） コントラストを強く（より暗い設定）

8.3.3 数字とテキストの入力

数値エディタ	テキストエディタ
1 編集画面 2 入力値の表示エリア 3 入力画面 4 操作部	

入力画面

数値およびテキストエディタの入力画面では、次の入力シンボルが使用できます。

数値エディタのシンボル

シンボル	意味
	数値 0～9 の選択
	入力位置に桁区切り記号を挿入
	入力位置にマイナス符号を挿入
	選択の確定
	入力位置を 1 つ左へ移動
	変更を確定せずに、入力を終了
	入力文字をすべて消去

テキストエディタのシンボル

シンボル	意味
	文字 A～Z の選択
	切替え ■ 大文字 / 小文字 ■ 数値の入力 ■ 特殊文字の入力

 A0013985	選択の確定
 A0013987	修正ツールの選択に切替え
 A0013986	変更を確定せずに、入力を終了
 A0014040	入力文字をすべて消去

修正シンボル (において)

シンボル	意味
 A0032907	入力文字をすべて消去
 A0018324	入力位置を 1 つ右へ移動
 A0018326	入力位置を 1 つ左へ移動
 A0032906	入力位置の左隣りの文字を削除

8.3.4 コンテキストメニューを開く

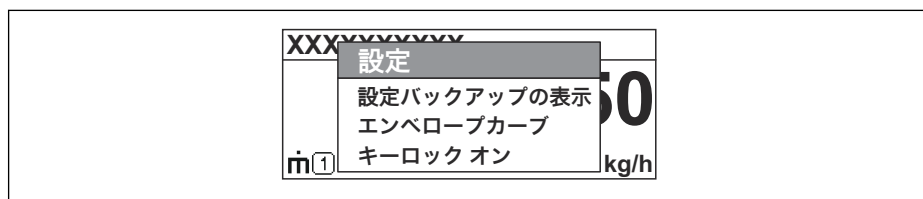
コンテキストメニューを使用すると、操作画面表示から簡単かつダイレクトに次のメニューを開くことができます。

- 設定
- 設定バックアップの表示
- 反射波形
- キーロックオン

コンテキストメニューの呼び出しと終了

操作画面表示にします。

1.  を 2 秒 間押します。
 - ↳ コンテキストメニューが開きます。



A0033110-JA

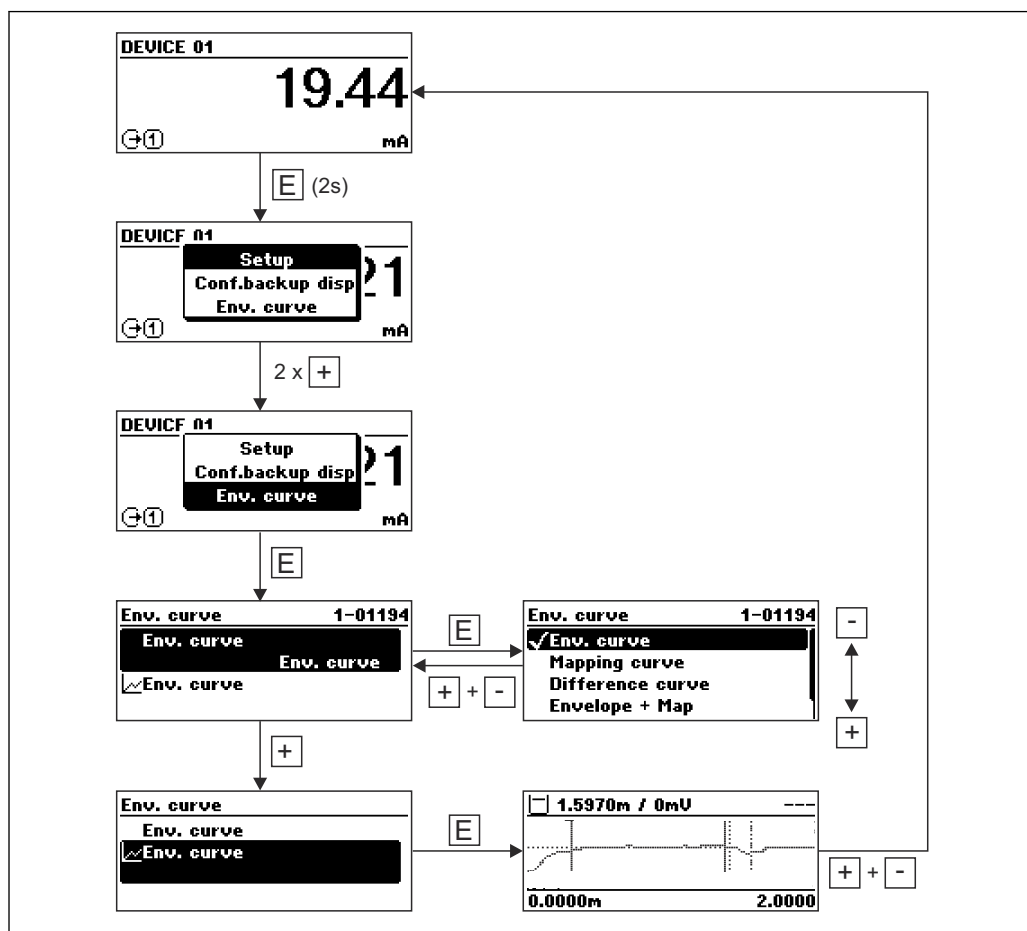
2.  +  を同時に押します。
 - ↳ コンテキストメニューが閉じて、操作画面が表示されます。

コンテキストメニューによるメニューの呼び出し

1. コンテキストメニューを開きます。
2.  を押して、必要なメニューに移動します。
3.  を押して、選択を確定します。
 - ↳ 選択したメニューが開きます。

8.3.5 表示部および操作モジュール上の反射波形

測定信号を評価するため、反射波形とマッピングカーブ (マッピングが記録されている場合) を表示することが可能です。



A0014277

9 FOUNDATION フィールドバスネットワークへの統合

9.1 機器説明 (DD)

機器を設定して FF ネットワークに統合するには、以下が必要です。

- FF 設定プログラム
- Cff ファイル (共通ファイル形式: *.cff)
- 以下のいずれかの形式の機器説明 (DD)
 - 機器説明形式 4: *.sym、*.ffo
 - 機器説明形式 5: *.sy5、*.ff5

機器固有の DD に関する情報

製造者 ID	452B48 (16 進)
デバイスタイプ	100F (16 進)
デバイスリビジョン	05 (16 進)
DD リビジョン	情報およびファイルは以下から入手できます。
CFF リビジョン	■ www.endress.com ■ www.fieldcommgroup.org

9.2 FOUNDATION フィールドバスネットワークへの統合

-  ■ FF システムへの機器の統合に関する詳細情報については、設定ソフトウェアの説明を参照してください。
- フィールド機器を FF システムに統合する際は、適切なファイルを使用していることを確認してください。リソースブロックのデバイスリビジョン/DEV_REV パラメータと DD リビジョン/DD_REV パラメータを使用して、必要なバージョンを読み出すことができます。

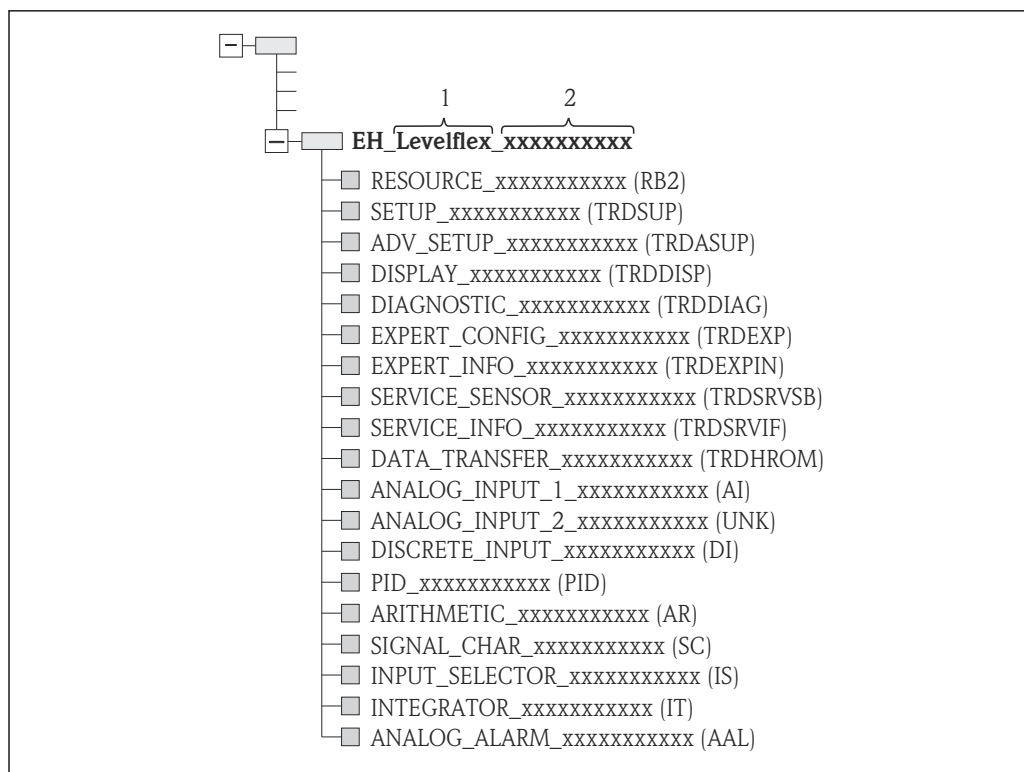
機器は以下のようにして FF ネットワークに統合されます。

1. FF 設定プログラムを起動します。
2. Cff ファイルと機器説明ファイル (*.ffo、*.sym (形式 4) *.ff5、*.sy5 (形式 5)) をシステムにダウンロードします。
3. インターフェースを設定します。
4. 機器を行う測定作業と FF システムに合わせて設定します。

9.3 機器の識別とアドレス指定

FOUNDATION フィールドバスは ID コード (機器 ID) を使用して機器を識別し、適切なフィールドアドレスを自動的に割り当てます。ID コードを変更することはできません。FF 設定プログラムを起動して機器をネットワークに統合すると、その機器はネットワーク表示ディスプレイに表示されます。使用可能なブロックが機器名の下に表示されます。

機器説明がロードされていない場合、ブロックには「不明」または「(UNK)」と表示されます。



A0017208

図 24 接続を確立した後の設定プログラムの標準的な表示ディスプレイ

- 1 機器名
2 シリアル番号

9.4 ブロックモデル

9.4.1 機器ソフトウェアのブロック

機器には以下のブロックがあります。

- リソースブロック（機器ブロック）
- 変換器ブロック
 - 設定/変換器ブロック (TRDSUP)
 - 高度な設定/変換器ブロック (TRDASUP)
 - 表示/変換器ブロック (TRDDISP)
 - 診断/変換器ブロック (TRDDIAG)
 - エキスパート設定/変換器ブロック (TRDEXP)
 - エキスパート情報/変換器ブロック (TRDEXPIN)
 - サービスセンサ/変換器ブロック (TRDSRVSB)
 - サービス情報/変換器ブロック (TRDSRVIF)
 - データ転送/変換器ブロック (TRDHROM)
- 機能ブロック
 - 2つのアナログ入力ブロック (AI)
 - 1つの離散入力ブロック (DI)
 - 1つのPIDブロック (PID)
 - 1つの演算ブロック (AR)
 - 1つの信号特性ブロック (SC)
 - 1つの入力切換ブロック (IS)
 - 1つの積算ブロック (IT)
 - 1つのアナログアラームブロック (AAL)

前述の事前にインスタンス化されたブロックに加え、以下のブロックもインスタンス化できます。

- 5つのアナログ入力ブロック (AI)
- 2つの離散入力ブロック (DI)
- 3つのPIDブロック (PID)
- 3つの演算ブロック (AR)
- 2つの信号特性ブロック (SC)
- 5つの入力切換ブロック (IS)
- 3つの積算ブロック (IT)
- 2つのアナログアラームブロック (AAL)

既にインスタンス化されたブロックを含め、合わせて最大 20 のブロックを機器内でインスタンス化できます。ブロックのインスタンス化については、設定プログラムの取扱説明書を参照してください。

エンドレスハウザー社ガイドライン BA00062S

このガイドラインには、FOUNDATION フィールドバス仕様 FF 890 - 894 に記載されている標準的な機能ブロックの概要が示されています。その目的は、エンドレスハウザー社のフィールド機器に実装されているブロックを使うオペレータの支援です。

9.4.2 出荷時のブロック設定

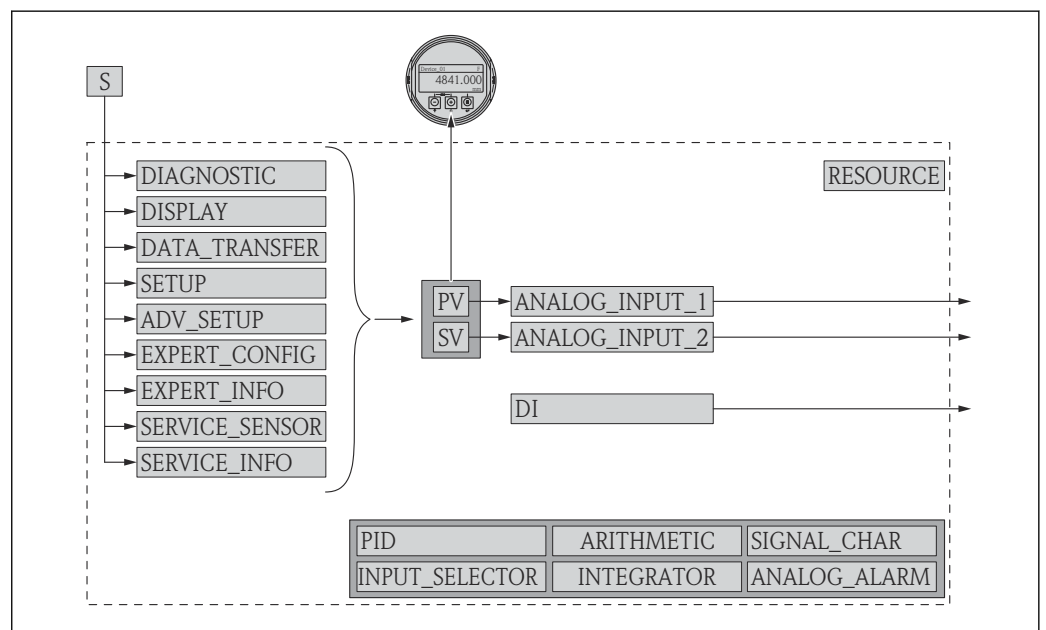


図 25 出荷時のブロック設定

S センサ
PV PV 値：リニアライズされたレベル
SV SV 値：距離

9.5 AI ブロックでの測定値 (CHANNEL) の割当て

アナログ入力ブロックの入力値は **CHANNEL** パラメータで定義されます。

チャンネル	測定値
0	未初期化
89	測定静電容量
144	EOP シフト
145	界面距離

チャンネル	測定値
172	DC の計算値
211	端子電圧
212	センサデバッグ
32785	絶対 EOP 振幅
32786	エコーの絶対振幅
32787	界面の絶対振幅
32856	距離
32885	電子部内温度
32938	リニアライズされた界面
32949	リニアライズされたレベル
33044	エコーの相対振幅
33045	界面の相対振幅
33070	信号ノイズ
33107	上部層の厚み

9.6 エンドレスハウザー社パラメータの索引表

以下の表はリソースブロックの製造者固有の機器パラメータの一覧です。
FOUNDATION フィールドバスパラメータについては、文書 BA062S『ガイドライン - FOUNDATION フィールドバス機能ブロック』を参照してください。この文書は www.endress.com からダウンロードできます。

9.6.1 設定/変換器ブロック

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込アクセス	MODE_BLK	説明
confirm_distance	距離の確定	82	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 172
filtered_dist_val	距離	76	FLOAT	4	動的			→ 167
interface_distance	界面距離	79	FLOAT	4	動的			→ 171
map_end_x	現在のマッピング	84	FLOAT	4	動的			→ 173
mapping_end_point	マッピングの最終点	83	FLOAT	4	静的	x	AUTO	→ 173
record_map	マップ記録	86	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 174
operating_mode	動作モード	50	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 162
signal_quality	信号品質	81	ENUM16	2	動的			→ 168
medium_group	測定物グループ	55	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 163
tank_level	タンクレベル	66	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 169
tank_type	タンクタイプ	52	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 162
tube_diameter	パイプ直径	53	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ 163
dc_value	DC 値	68	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 170
distance_to_upper_connection	上部接続までの距離	67	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ 169
empty_calibration	空校正	56	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ 164
full_calibration	満量校正	57	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ 165
distance_unit	距離の単位	51	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 162
interface	界面	70	FLOAT	4	動的			→ 171

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込アクセス	MODE_BLK	説明
level_unit	レベル単位	58	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 183
output_unit_after_linearization	リニアライゼーション後の単位	62	ENUM16	2	静的			→ 195
level_linearized	リニアライゼーションされたレベル	64	FLOAT	4	動的			→ 196
present_probe_length	実際のプローブ長	87	FLOAT	4	動的	x	AUTO	→ 204
level	レベル	60	FLOAT	4	動的			→ 166
interface_linearized	リニアライゼーションされた界面	73	FLOAT	4	動的			→ 196
decimal_places_menu_ro	小数点桁数	93	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ 215
locking_status	ロック状態	96	BIT_ENUM16	2	動的			→ 178
medium_type_ro	測定物タイプ	92	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 180

9.6.2 高度な設定/変換器ブロック

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込アクセス	MODE_BLK	説明
calculated_dc_value	DC の計算値	61	FLOAT	4	動的			→ 188
blocking_distance	不感知距離	55	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ 183
dc_value_lower_medium	下層測定物の DC	58	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ 185
medium_type	測定物タイプ	50	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 180
present_probe_length_ro	実際のプローブ長	80	FLOAT	4	動的	x	AUTO	→ 204
confirm_probe_length	プローブ長の確認	79	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 205
process_property	プロセス特性	52	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 181
advanced_process_conditions	高度なプロセス条件	53	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 182
meas_upper_iface_thickness	測定された上層部厚さ	60	FLOAT	4	動的			→ 188
manual_interface_thickness	上層部の厚さ手動入力	59	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ 187
medium_property	測定物特性	51	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 180
use_calculated_dc_value	DC の計算値を使用	62	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 189
linearization_type	リニアライゼーションの方式	71	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 194
activate_table	テーブルを有効にする	70	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 200
table_mode	テーブルモード	69	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 198
custom_table_sel_level	レベル	73	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ 166
custom_table_sel_value	ユーザー様の値	74	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ 200
unit_after_linearization	リニアライゼーション後の単位	63	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 195
free_text	フリーテキスト	64	STRING		静的	x	AUTO	→ 196
diameter	直径	66	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ 197
output_echo_lost	出力エコー信号消失	76	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 201
intermediate_height	中間高さ	67	FLOAT	4	静的	x	AUTO	→ 197
level_correction	レベル補正	56	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ 184

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込アクセス	MODE_BLK	説明
level_unit_ro	レベル単位	54	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ ⑤ 183
assign_limit	リミットの割り当て	82	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 208
maximum_value	最大値	65	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ ⑤ 197
assign_diag_behavior	診断動作の割り当て	83	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 208
value_echo_lost	エコー信号消失時の値	77	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ ⑤ 201
ramp_at_echo_lost	エコー信号消失時急上昇	78	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ ⑤ 202
switch_output_failure_mode	フェールセーフモード	88	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 211
switch_output_function	スイッチ出力機能	81	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 207
switch_status	ステータス切り替え	89	ENUM16	2	動的			→ ⑤ 211
switch_off_delay	スイッチオフの遅延	87	FLOAT	4	静的	x	AUTO	→ ⑤ 211
switch_off_value	スイッチオフの値	86	FLOAT	4	静的	x	AUTO	→ ⑤ 210
switch_on_delay	スイッチオンの遅延	85	FLOAT	4	静的	x	AUTO	→ ⑤ 210
switch_on_value	スイッチオンの値	84	FLOAT	4	静的	x	AUTO	→ ⑤ 209
operating_mode_ro	動作モード	95	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ ⑤ 162
table_number	テーブル番号	68	UINT8	1	静的	x	OOS	→ ⑤ 199
level_semiautomatic	レベル	75	FLOAT	4	動的			→ ⑤ 199
assign_status	ステータスの割り当て	91	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 207
locking_status	ロック状態	99	BIT_ENUM16	2	動的			→ ⑤ 178
decimal_places_menu	小数点桁数メニュー	93	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 218
distance_unit_ro	距離の単位	92	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ ⑤ 162

9.6.3 表示/変換器ブロック

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込アクセス	MODE_BLK	説明
access_status_display	アクセスステータス表示	51	ENUM16	2	静的			→ ⑤ 178
display_damping	表示のダンピング	65	FLOAT	4	静的	x	AUTO	→ ⑤ 216
display_interval	表示間隔	64	FLOAT	4	静的	x	AUTO	→ ⑤ 216
header	ヘッダー	66	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 216
format_display	表示形式	55	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 213
number_format	数値形式	69	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 217
display_separator	区切り記号	68	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 217
language	Language	54	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 213
contrast_display	表示のコントラスト	71	FLOAT	4	静的	x	AUTO	→ ⑤ 218
header_text	ヘッダーテキスト	67	STRING		静的	x	AUTO	→ ⑤ 217
access_code_for_display	アクセスコード入力	52	UINT16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 179
configuration_management	設定管理	75	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 220
decimal_places_1	小数点桁数 1	57	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 215
decimal_places_2	小数点桁数 2	59	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 215
decimal_places_3	小数点桁数 3	61	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 215
decimal_places_4	小数点桁数 4	63	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ⑤ 215

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込アクセス	MODE_BLK	説明
last_backup	最後のバックアップ	74	STRING		静的	x	AUTO	→ 220
value_1_display	1 の値表示	56	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ 215
value_2_display	2 の値表示	58	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ 215
value_3_display	3 の値表示	60	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ 215
value_4_display	4 の値表示	62	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ 215
locking_status_display	ロック状態	50	ENUM16	2	静的			→ 178
define_access_code	アクセスコード設定	53	UINT16	2	静的	x	AUTO	→ 223
comparison_result	比較の結果	76	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ 221
decimal_places_menu	小数点桁数メニュー	70	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ 218
operating_time	稼動時間	73	STRING		動的			→ 220
operating_mode_ro	動作モード	83	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 162
locking_status	ロック状態	85	BIT_ENUM16	2	動的			→ 178

9.6.4 診断/変換器ブロック

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込アクセス	MODE_BLK	説明
operating_time	稼動時間	55	STRING		動的			→ 220
diagnostics_1	診断	56	UINT32	4	静的			→ 228
diagnostics_2	診断 2	58	UINT32	4	静的			→ 228
diagnostics_3	診断 3	60	UINT32	4	静的			→ 228
diagnostics_4	診断 4	62	UINT32	4	静的			→ 228
diagnostics_5	診断 5	64	UINT32	4	静的			→ 228
operating_time_from_restart	再起動からの稼動時間	54	STRING		動的			→ 227
launch_signal	開始信号	81	ENUM16	2	動的			→ 246
start_device_check	機器チェック開始	77	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ 245
interface_signal	界面信号	82	ENUM16	2	動的			→ 246
level_signal	レベル信号	80	ENUM16	2	動的			→ 246
simulation_device_alarm	機器アラームのシミュレーション	75	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 244
filter_options	フィルタオプション	66	ENUM8	1	静的	x	AUTO	→ 229
previous_diagnostics	前回の診断結果	52	UINT32	4	静的			→ 226
actual_diagnostics	現在の診断結果	50	UINT32	4	静的			→ 226
assign_sim_meas	測定値の割り当て	71	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 243
sim_value_process_variable	測定値	72	FLOAT	4	静的	x	OOS	→ 243
switch_output_simulation	シミュレーションスイッチ出力	73	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 243
sim_switch_status	ステータス切り替え	74	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 244
result_device_check	機器チェックの結果	78	ENUM16	2	動的			→ 245
last_check_time	前回のチェック時刻	79	STRING		動的			→ 245
linearization_type	リニアライゼーションの方式	84	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ 194

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込アクセス	MODE_BLK	説明
unit_after_linearization_ro	リニアライゼーション後の単位	85	STRING		静的	x	AUTO	→ ㊦ 195
decimal_places_menu	小数点桁数メニュー	88	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ㊦ 218
level_unit_ro	レベル単位	90	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ ㊦ 183
operating_mode_ro	動作モード	91	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ ㊦ 162
assign_channel_1	チャンネル 1 の割り当て	92	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ㊦ 237
assign_channel_2	チャンネル 2 の割り当て	93	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ㊦ 237
assign_channel_3	チャンネル 3 の割り当て	94	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ㊦ 237
assign_channel_4	チャンネル 4 の割り当て	95	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ㊦ 237
clear_logging_data	すべてのログをリセット	97	ENUM16	2	静的	x	AUTO	→ ㊦ 238
logging_interval	ロギングの時間間隔	96	FLOAT	4	静的	x	AUTO	→ ㊦ 238
display_filter_options	フィルタオプション	99	ENUM8	1	静的	x	AUTO	→ ㊦ 229
locking_status	ロック状態	108	BIT_ENUM16	2	動的			→ ㊦ 178
distance_unit_ro	距離の単位	89	ENUM16	2	静的	x	OOS	→ ㊦ 162

9.6.5 エキスパート設定/変換器ブロック

 エキスパート設定/変換器ブロックのパラメータの説明は、機能説明書『Levelflex FMP5x FOUNDATION フィールドバス』(GP01015F) にあります。

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込アクセス	MODE_BLK
acknowledge_alarm	アラームの承認	81	ENUM16	2	静的	x	AUTO
integration_time	積分時間	67	FLOAT	4	静的	x	OOS
result_self_check	自己チェックの結果	77	ENUM16	2	動的		
start_self_check	自己チェック開始	76	ENUM16	2	静的	x	AUTO
broken_probe_detection	破損プローブの検出	75	ENUM16	2	静的	x	AUTO
gpc_mode	気相補正モード	68	ENUM16	2	静的	x	OOS
reference_echo_threshold	基準エコーしきい値	73	FLOAT	4	静的	x	OOS
const_gpc_factor	定数 GPC ファクタ	74	FLOAT	4	静的	x	OOS
build_up_ratio	付着率	90	FLOAT	4	動的		
build_up_threshold	付着スレッシュホールド	91	FLOAT	4	静的	x	AUTO
delay_time_echo_lost	エコーロスト時遅延時間	78	FLOAT	4	静的	x	AUTO
empty_capacity	空の静電容量	92	FLOAT	4	静的	x	AUTO
external_pressure_selector	外部圧力セクタ	69	ENUM16	2	静的	x	OOS
measured_capacity	測定静電容量	89	FLOAT	4	動的		
gas_phase_compens_factor	気相補正ファクタ	70	FLOT	4	静的	x	OOS
in_safety_distance	安全距離内	80	ENUM16	2	静的	x	OOS
ratio_amplitude_interface_level	界面/ レベルの振幅比	86	FLOAT	4	静的	x	OOS
interface_criterion	界面の基準	87	FLOAT	4	動的		
control_measurement	測定	106	ENUM16	2	静的	x	AUTO
control_measurement	測定の制御	105	ENUM16	2	静的	x	AUTO
filter_dead_time	不感時間	66	FLOAT	4	静的	x	OOS
present_reference_distance	現在の基準距離	72	FLOAT	4	動的		

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込アクセス	MODE_BLK
history_reset	履歴のリセット	83	ENUM16	2	静的	x	OOS
safety_distance	安全距離	79	FLOAT	4	静的	x	OOS
history_learning_control	履歴ラーニング	85	ENUM16	2	静的	x	AUTO
history_learning_control	履歴ラーニング制御	84	ENUM16	2	静的	x	AUTO
sensor_module	センサモジュール	107	ENUM16	2	静的		
evaluation_mode	評価モード	82	ENUM16	2	静的	x	OOS
thin_interface	薄い界面	88	ENUM16	2	静的	x	OOS
calculated_dc_value	DC の計算値	59	FLOAT	4	動的	x	AUTO
dc_value_expert	DC 値	55	FLOAT	4	静的	x	OOS
distance_offset	距離オフセット	60	FLOAT	4	静的	x	OOS
level_limit_mode	レベル制限モード	62	ENUM16	2	静的	x	OOS
level_high_limit	上限	63	FLOAT	4	静的	x	OOS
level_low_limit	低リミット	64	FLOAT	4	静的	x	OOS
output_mode	出力モード	65	ENUM16	2	静的	x	OOS
level_external_input_1	レベル外部入力 1	93	ENUM16	2	静的	x	AUTO
level_external_input_2	レベル外部入力 2	96	ENUM16	2	静的	x	AUTO
function_input_1_level	機能入力 1 レベル	94	ENUM16	2	静的	x	AUTO
function_input_2_level	機能入力 2 レベル	97	ENUM16	2	静的	x	AUTO
fixed_value_inp_1	固定値入力 1	95	FLOAT	4	静的	x	AUTO
fixed_value_inp_2	固定値入力 2	98	FLOAT	4	静的	x	AUTO
interface_external_input_1	界面外部入力 1	99	ENUM16	2	静的	x	OOS
interface_external_input_2	界面外部入力 2	102	ENUM16	2	静的	x	OOS
function_input_1_interface	機能入力 1 界面	100	ENUM16	2	静的	x	OOS
function_input_2_interface	機能入力 2 界面	103	ENUM16	2	静的	x	OOS
fixed_value_input_1_interface	固定値入力 1 界面	101	FLOAT	4	静的	x	OOS
fixed_value_input_2_interface	固定値入力 2 界面	104	FLOAT	4	静的	x	OOS
distance_unit_ro	距離の単位	53	ENUM16	2	静的	x	OOS
level_unit_ro	レベル単位	61	ENUM16	2	静的	x	OOS
operating_mode_ro	動作モード	54	ENUM16	2	静的	x	OOS
enter_access_code	アクセスコード入力	52	UINT16	2	静的	x	AUTO
locking_status	ロック状態	50	BIT_ENUM16	2	動的		
access_status_tooling	アクセスステータスツール	51	ENUM16	2	静的		
reference_distance	基準距離	71	FLOAT	4	静的	x	OOS
sw_option_active_overview	有効な SW オプションの概要	110	BIT_ENUM32	4	静的		
decimal_places_menu	小数点桁数メニュー	109	ENUM16	2	静的	x	AUTO
fieldbus_type	フィールドバスタイプ	111	ENUM8	1	静的		
interface_property_ro	界面特性	108	ENUM16	2	静的	x	OOS
medium_type_ro	測定物タイプ	112	ENUM16	2	静的	x	OOS
eop_level_evaluation_ro	EOP レベル評価	113	ENUM16	2	静的	x	OOS
sensor_type_ro	センサタイプ	114	ENUM16	2	静的	x	OOS
calculated_dc_status_en	ステータス	58	ENUM8	1	動的		

9.6.6 エキスパート情報/変換器ブロック

 エキスパート情報/変換器ブロックのパラメータの説明は、機能説明書『Levelflex FMP5x FOUNDATION フィールドバス』（GP01015F）にあります。

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込 アクセス	MODE_BLK
abs_echo_amp_val	エコーの絶対振幅	51	FLOAT	4	動的		
abs_eop_amp_val	絶対 EOP 振幅	55	FLOAT	4	動的		
absolute_interface_amplitude	界面の絶対振幅	58	FLOAT	4	動的		
application_parameter	アプリケーションパラメータ	74	ENUM16	2	動的		
electronic_temp_value	電子モジュール内温度	66	FLOAT	4	動的		
eop_shift_value	EOP シフト	69	FLOAT	4	動的		
found_echoes	検出されたエコー	71	ENUM16	2	動的		
max_electr_temp	電子部内最高温度	73	FLOAT	4	動的	x	AUTO
time_max_electr_temp	電子部内最大温度の時刻	75	STRING		動的		
measurement_frequency	測定周波数	76	FLOAT	4	動的		
min_electr_temp	電子部内最低温度	77	FLOAT	4	動的	x	AUTO
time_min_electr_temp	電子部内最小温度の時刻	78	STRING		動的		
rel_echo_amp_val	エコーの相対振幅	53	FLOAT	4	動的		
relative_interface_amplitude	界面の相対振幅	60	FLOAT	4	動的		
reset_min_max_temp	最低/最高温度のリセット	79	ENUM16	2	静的	x	AUTO
noise_signal_val	信号ノイズ	63	FLOAT	4	動的		
used_calculation	使用計算値	80	ENUM16	2	動的		
tank_trace_state	タンクトレース状態	81	ENUM16	2	動的		
max_draining_speed	最大排出速度	82	FLOAT	4	動的	x	AUTO
max_filling_speed	L 最大充填速度	83	FLOAT	4	動的	x	AUTO
time_max_level	レベル最大値の時刻	84	STRING		動的		
max_level_value	レベルの最大値	85	FLOAT	4	動的	x	AUTO
time_min_level	レベル最小値の時刻	86	STRING		動的		
min_level_value	レベルの最小値	87	FLOAT	4	動的	x	AUTO
reset_min_max	最小値/最大のリセット	94	ENUM16	2	静的	x	AUTO
interf_max_drain_speed	I 最大排出速度	88	FLOAT	4	動的	x	AUTO
interf_max_fill_speed	I 最大充填速度	89	FLOAT	4	動的	x	AUTO
time_max_interface	界面最大値の時刻	90	STRING		動的		
max_interface_value	界面最大値	91	FLOAT	4	動的	x	AUTO
time_min_interface	界面最小値の時刻	92	STRING		動的		
min_interface_value	界面最小値	93	FLOAT	4	動的	x	AUTO
application_parameter	アプリケーションパラメータ	95	ENUM16	2	動的		
operating_mode_ro	動作モード	108	ENUM16	2	静的	x	OOS
temperature_unit	温度の単位	72	ENUM16	2	静的	x	AUTO
activate_sw_option	SW オプションの有効化	110	UINT32	4	静的	x	AUTO
target_echo_status	ステータス	56	ENUM8	1	動的		
iface_target_echo_status	ステータス	61	ENUM8	1	動的		
signal_noise_status	ステータス	64	ENUM8	1	動的		

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込アクセス	MODE_BLK
sens_temp_status	ステータス	67	ENUM8	1	動的		
eop_shift_status	ステータス	70	ENUM8	1	動的		
terminal_voltage_1	端子電圧 1	97	FLOAT	4	動的		
calculated_dc_value	DC の計算値	100	FLOAT	4	動的	x	AUTO
upper_interface_thickness	上部層の厚み	103	FLOAT	4	動的		
debug_value	デバッグ値	106	FLOAT	4	動的	x	AUTO
sw_option_active_overview	有効な SW オプションの概要	111	BIT_ENUM32	4	静的		
locking_status	ロック状態	113	BIT_ENUM16	2	動的		
decimal_places_menu_ro	小数点桁数メニュー	109	ENUM16	2	静的	x	AUTO
linearization_type	リニアライゼーション方式	104	ENUM16	2	静的	x	OOS
eop_level_evaluation	EOP レベル評価	112	ENUM16	2	静的	x	OOS
access_status_tooling	アクセスステータスツール	114	ENUM16	2	静的		
calculated_dc_status	ステータス	99	UINT8	1	動的		
status_up_iface_thickness	カスタマイズされた上部層厚さのステータス	102	UINT8	1	動的		
debug_status		107	UINT8	1	動的	x	AUTO

9.6.7 サービスセンサ/ 変換器ブロック

サービスセンサ/ 変換器ブロックは、エンドレスハウザー社の許可されたサービススタッフのみが操作できます。

9.6.8 サービス情報/ 変換器ブロック

サービス情報/ 変換器ブロックは、エンドレスハウザー社の許可されたサービススタッフのみが操作できます。

9.6.9 データ転送/ 変換器ブロック

 データ転送/変換器ブロックのパラメータの説明は、機能説明書『Levelflex FMP5x FOUNDATION フィールドバス』(GP01015F) にあります。

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込アクセス	MODE_BLK
used_calculation	使用計算値	87	ENUM16	2	動的		
bdt_cfg_rdwr_ctrl		101	UINT16	2	静的	x	AUTO
bdt_transferred_ctrl		102	BYTEARRAY		静的	x	AUTO
bdt_data_trans		103	BYTEARRAY		静的	x	AUTO
bdt_prepare		99	BYTEARRAY		静的	x	AUTO
bdt_status		100	BYTEARRAY		静的		
sw_option_active_overview	有効な SW オプションの概要	98	BIT_ENUM32	4	静的		
digits_at_0_mVdB		90	FLOAT	4	動的	x	AUTO
digits_per_mVdB		91	FLOAT	4	動的	x	AUTO
actual_diagnostics	現在の診断結果	97	UINT32	4	静的		
electric_probe_length	電気プローブ長	92	FLOAT	4	動的		
empty_calibration_ro	空校正	93	FLOAT	4	静的	x	OOS
full_calibration_ro	満タン (スパン) 調整	94	FLOAT	4	静的	x	OOS

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込アクセス	MODE_BLK
distance_unit_ro	距離の単位	95	ENUM16	2	静的	x	OOS
operating_mode_ro	動作モード	88	ENUM16	2	静的	x	OOS
present_probe_length_ro	実際のプローブ長	89	FLOAT	4	動的	x	AUTO
trend_operation_hours		104	UINT32	4	静的		
trend_package_size		105	UINT8	1	静的	x	AUTO
trend_storage_time	トレンド記憶時間	106	UINT32	4	静的		
trend_sup_pack_size		107	UINT8	1	静的		
gpc_mode_ro	気相補正モード	109	ENUM16	2	静的	x	OOS
eop_level_evaluation_ro	EOP レベル評価	110	ENUM16	2	静的	x	OOS
temperature_unit_ro	温度の単位	111	ENUM16	2	静的	x	OOS
max_trend_entries		108	UINT16	2	静的		
line_mapping_point_number	ラインマッピング点番号	126	UINT16	2	静的	x	AUTO
line_mapping_array_x	ラインマッピング配列 X	127	FLOAT	4	静的	x	AUTO
line_mapping_array_y	ラインマッピング配列 Y	128	FLOAT	4	静的	x	AUTO
mapping_end_point_ro	マッピングの最終点	125	FLOAT	4	静的	x	AUTO
mapping_start_point	マッピングの開始点	124	FLOAT	4	静的	x	AUTO
function_block_table		143	UINT32	4	静的		
custom_empty_value		112	FLOAT	4	静的		
custom_full_value		113	FLOAT	4	静的		
customized	カスタマイズ済み	121	UINT8	1	静的		
reset_ordered_configuration	注文された設定のリセット	122	ENUM16	2	静的	x	AUTO
empty_scale		114	FLOAT	4	静的	x	AUTO
eop_map_point_number		116	UINT16	2	静的	x	AUTO
factory_data_valid		123	UINT8	1	静的		
fieldbus_type	フィールドバスタイプ	144	ENUM8	1	静的		
full_scale		115	FLOAT	4	静的	x	AUTO
init_map_point_number		117	UINT16	2	静的	x	AUTO
max_not_assoc_track		118	UINT16	2	静的	x	AUTO
ref_max_dist	最大基準距離	119	FLOAT	4	静的	x	AUTO
ref_min_dist	最小基準距離	120	FLOAT	4	静的	x	AUTO
line_mapping_accuracy	ラインマッピング精度	130	FLOAT	4	静的	x	AUTO
mapping_curve_left_margin	マッピングカーブ左余白	131	FLOAT	4	静的	x	AUTO
device_calib_changed		133	ENUM16	2	静的	x	AUTO
echo_thresh_attenuat_const_ee	しきい値減衰定数	134	FLOAT	4	動的	x	AUTO
echo_threshold_far_ee		135	FLOAT	4	静的	x	AUTO
echo_thresh_inactive_len		137	FLOAT	4	静的	x	AUTO
echo_threshold_near_ee		136	FLOAT	4	静的	x	AUTO
present_probe_length_ee		138	FLOAT	4	静的	x	AUTO
reset_appl_para_chg_flags		139	ENUM16	2	静的	x	AUTO
reset_dyn_persistent		140	ENUM16	2	静的	x	AUTO
locking_status	ロック状態	142	BIT_ENUM16	2	動的		
decimal_places_menu	小数点桁数メニュー	96	ENUM16	2	静的	x	AUTO

名称	ラベル	索引	データ型	サイズ (バイト)	記憶クラス	書込アクセス	MODE_BLK
access_status_tooling	アクセスステータスツール	141	ENUM16	2	静的		
level_linearized	リニアライズされたレベル	147	FLOAT	4	動的		
bdt_transferred_ctrl		197	UINT8	1	静的	x	AUTO
bdt_cfg_rdwr_ctrl		196	UINT16	2	静的	x	AUTO

9.7 メソッド

FOUNDATION フィールドバス仕様には、機器を容易に操作するためのメソッドの使用が含まれています。メソッドとは、特定の機器の機能を設定するために指定された順序で実行する必要がある一連の対話型ステップです。

本機器で利用できるメソッドは、以下のとおりです。

■ 再起動

このメソッドはリソースブロックにあり、**機器リセット**パラメータの設定を直接促します。機器設定を指定状態にリセットします。

■ ENP 再起動

このメソッドはリソースブロックにあり、電子銘板 (ENP) のパラメータの設定を直接促します。

■ 設定

このメソッドは SETUP/ 変換器ブロックにあり、機器設定用のこのブロックの最も重要なパラメータの設定を可能にします (測定単位、タンクまたは容器のタイプ、測定物のタイプ、空/ 満量校正)。

■ リニアライゼーション

このメソッドは ADV_SETUP/ 変換器ブロックにあり、測定値の容量、質量、または流量への変換に使用されるリニアライゼーションテーブルの管理を可能にします。

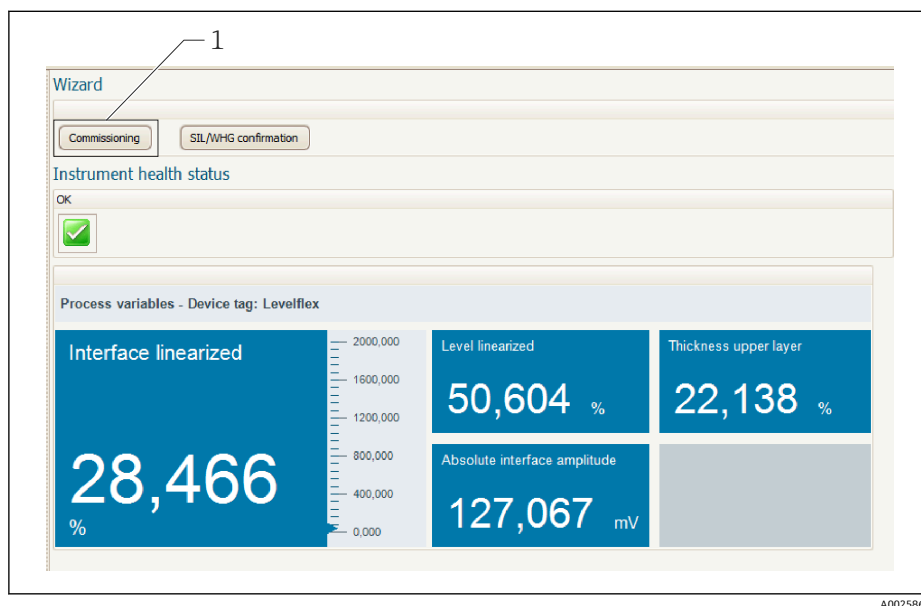
■ 自己チェック

このメソッドは EXPERT_CONFIG/ 変換器ブロックにあり、機器の自己チェックパラメータを促します。

10 ウィザードによる設定

初期設定をガイドするウィザードが FieldCare および DeviceCare には用意されています。³⁾

1. 機器を FieldCare または DeviceCare に接続します→ 図 67。
2. FieldCare または DeviceCare で機器を開きます。
↳ 機器のダッシュボード（ホームページ）が表示されます。



A0025866

- 1 「設定」ボタンでウィザードを呼び出します。
 3. 「設定」ボタンをクリックしてウィザードを呼び出します。
 4. 各パラメータの適切な値を入力または選択します。これらの値はすぐに機器に書きこまれます。
 5. 「次へ」をクリックして次のページへ移動します。
 6. 最後のページまで完了したら、「シーケンス終了」をクリックしてウィザードを閉じます。
- i** すべての必要なパラメータを設定する前にウィザードをキャンセルすると、機器は設定されていない状態になる可能性があります。この場合はデフォルト設定へのリセットを推奨します。

3) DeviceCare は www.software-products.endress.com からダウンロードできます。ダウンロードには、Endress+Hauser ソフトウェアポータルでの登録が必要です。

11 操作メニューを使用した設定

11.1 設置および機能の確認

測定点の操作を開始する前に、すべての最終チェックが完了しているか確認してください。

- チェックリスト「設置状況の確認」→ 図 57
- チェックリスト「配線状況の確認」→ 図 65

11.2 操作言語の設定

初期設定：英語または注文した地域の言語

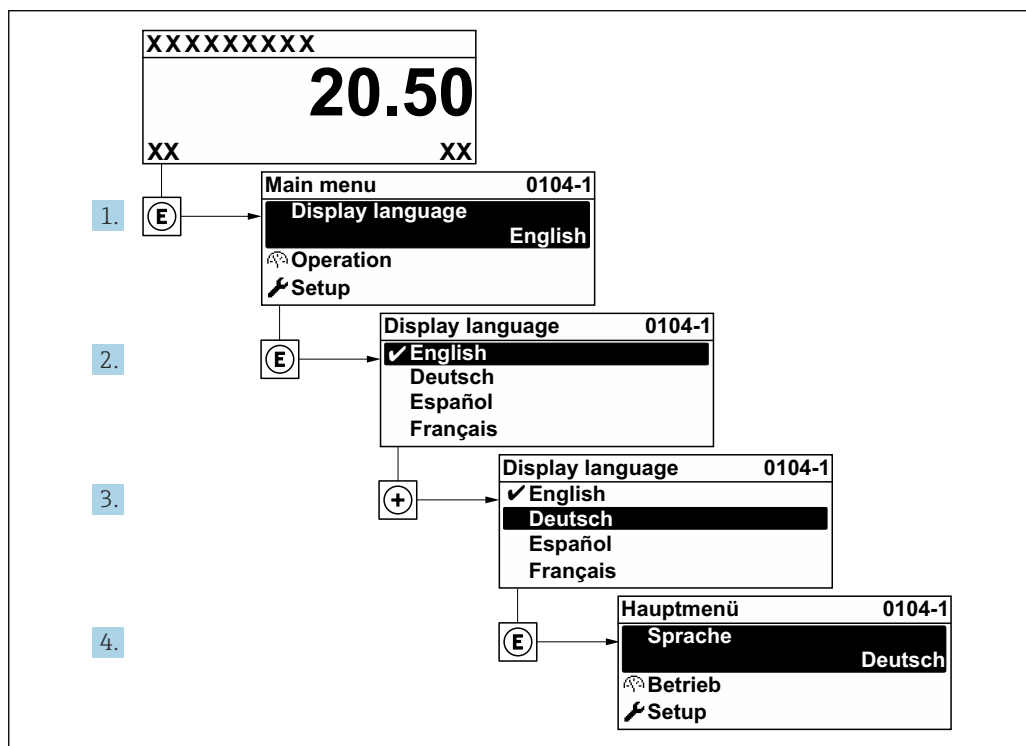


図 26 現場表示器の言語設定の例

A0029420

11.3 基準距離の確認

i このセクションは、気相補正機能付きの FMP54 にのみ適用されます（製品構成：仕様コード 540「アプリケーションパッケージ」、オプション EF または EG）。

気相補正機能付きのコアキシャルプローブは、出荷時に校正されています。一方、ロットプローブは取付け後に校正する必要があります。

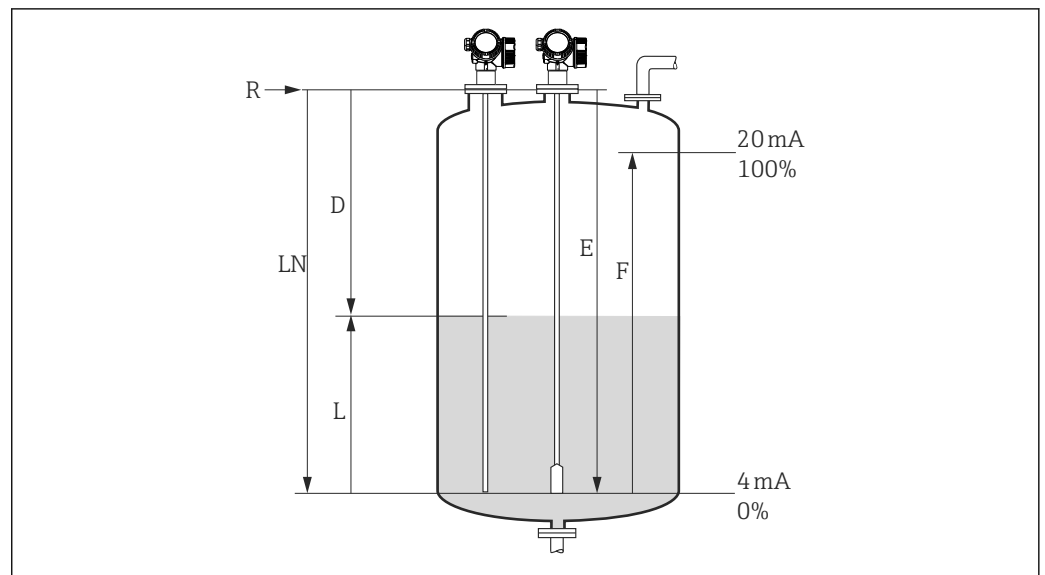
内筒管または外筒管内にロッドプローブを取り付けた後に確認し、必要に応じて、基準距離の設定を加圧されていない状態で修正します。その間、最高の精度を得るためには、レベルが基準距離 L_{ref} より 200 mm 以上低くなければなりません。

手順	パラメータ	アクション
1	エキスパート → センサ → 気相補正 → 気相補正モード	気相補正を有効にするには、 オン オプションを選択します。
2	エキスパート → センサ → 気相補正 → 現在の基準距離	表示された基準距離が基準値と一致するか確認します (300 mm または 550 mm、銘板を参照)。 一致する場合：その他の処置は必要ありません。 一致しない場合：手順 3 に進みます。
3	エキスパート → センサ → 気相補正 → 基準距離	現在の基準距離 パラメータに表示される値を入力します。

 気相補正に関するすべてのパラメータの詳細説明については、以下を参照してください。

GP01015F、「Levelflex - 機能説明書 - FOUNDATION フィールドバス」

11.4 レベル測定の設定



A0011360

図 27 液体のレベル測定用パラメータの設定

- LN プローブ長
- R 測定基準点
- D 距離
- L レベル
- E 空校正 (ゼロ点)
- F 満量校正 (スパン)

i ローブプローブの DC 値が 7 未満の場合、ウェイト付近での測定は不可能です。この場合、空校正 E の最大推奨値は $LN - 250 \text{ mm}$ ($LN - 10 \text{ in}$) です。

1. 設定 → デバイスのタグ
 - ↳ 機器のタグを入力します。
2. 「界面測定」アプリケーションパッケージ付き機器の場合：
 - 次の項目に移動します。設定 → 動作モード
 - ↳ **レベル** オプションを選択します。
3. 次の項目に移動します。設定 → 距離の単位
 - ↳ 距離単位を選択します。
4. 次の項目に移動します。設定 → タンクタイプ
 - ↳ タンクタイプを選択します。
5. タンクタイプ = 外筒管：
 - 次の項目に移動します。設定 → パイプ直径
 - ↳ 外筒管または内筒管の直径を入力します。
6. 次の項目に移動します。設定 → 測定物グループ
 - ↳ 測定物グループ (**水ベース (DC ≥ 4)** または**その他**) を選択します。
7. 次の項目に移動します。設定 → 空校正
 - ↳ 測定基準点 R と最低レベル (0%) 間の距離 E を入力します。
8. 次の項目に移動します。設定 → 満量校正
 - ↳ 最低レベル (0%) と最高レベル (100%) 間の距離 F を入力します。
9. 次の項目に移動します。設定 → レベル
 - ↳ 測定レベル L を表示します。
10. 次の項目に移動します。設定 → 距離
 - ↳ 測定基準点 R とレベル L 間の距離 D を表示します。

11. 次の項目に移動します。設定 → 信号品質
↳ レベルエコーの信号品質を表示します。
12. 現場表示器による操作：
次の項目に移動します。設定 → マッピング → 距離の確定
↳ 必要に応じて、マッピングカーブの記録を開始するため、表示された距離と実際の距離を比較します⁴⁾。
13. 操作ツールによる操作：
次の項目に移動します。設定 → 距離の確定
↳ 必要に応じて、マッピングカーブの記録を開始するため、表示された距離と実際の距離を比較します⁴⁾。

4) 気相補正機能付きの FMP54 (製品構成 : 仕様コード 540 「アプリケーションパッケージ」、オプション EF または EG) では、マップを記録しないでください。

11.5 界面測定の設定

i 対応するソフトウェアオプションが装備された機器でのみ、界面測定を行うことができます。このオプションは、製品構成：仕様コード 540「アプリケーションパッケージ」、オプション EB「界面測定」で選択します。

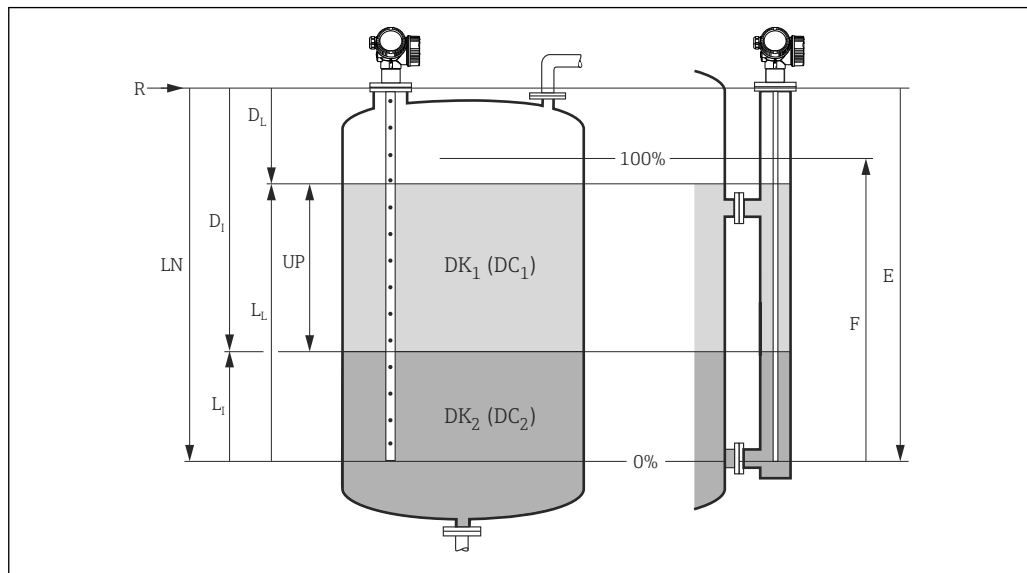


図 28 界面測定用パラメータの設定

- LN プローブ長
- R 測定基準点
- DI 「界面距離」パラメータ（測定基準点から下部測定物までの距離）
- LI 界面
- DL 距離
- LL レベル
- UP 上層部の厚さ
- E 「空校正」パラメータ（ゼロ点）
- F 「満量校正」パラメータ（=スパン）

1. 次の項目に移動します。設定 → デバイスのタグ
↳ 機器のタグを入力します。
2. 次の項目に移動します。設定 → 動作モード
↳ **界面** オプションを選択します。
3. 次の項目に移動します。設定 → 距離の単位
↳ 距離単位を選択します。
4. 次の項目に移動します。設定 → タンクタイプ
↳ タンクタイプを選択します。
5. タンクタイプ = 外筒管：
次の項目に移動します。設定 → パイプ直径
↳ 外筒管または内筒管の直径を入力します。
6. 次の項目に移動します。設定 → タンクレベル
↳ タンクレベル（**満量**または**一部充填**）を選択します。
7. 次の項目に移動します。設定 → 上部接続までの距離
↳ 外筒管内：測定基準点 R から上部接続の下端までの距離を入力します。それ以外の場合：初期設定のままにしてください。
8. 次の項目に移動します。設定 → DC 値
↳ 上部測定物の比誘電率 (ϵ_r) を入力します。

9. 次の項目に移動します。設定 → 空校正
 - ↳ 測定基準点 R と最低レベル (0%) 間の距離 E を入力します。
10. 次の項目に移動します。設定 → 満量校正
 - ↳ 最低レベル (0%) と最高レベル (100%) 間の距離 F を入力します。
11. 次の項目に移動します。設定 → レベル
 - ↳ 測定レベル L_L を表示します。
12. 次の項目に移動します。設定 → 界面
 - ↳ 界面高さ L_I を表示します。
13. 次の項目に移動します。設定 → 距離
 - ↳ 測定基準点 R とレベル L_L 間の距離 D_L を表示します。
14. 次の項目に移動します。設定 → 界面距離
 - ↳ 測定基準点 R と界面 L_I 間の距離 D_I を表示します。
15. 次の項目に移動します。設定 → 信号品質
 - ↳ レベルエコーの信号品質を表示します。
16. 現場表示器による操作 :
次の項目に移動します。設定 → マッピング → 距離の確定
 - ↳ 必要に応じて、マッピングカーブの記録を開始するため、表示された距離と実際の距離を比較します⁵⁾。
17. 操作ツールによる操作 (例 : FieldCare) :
次の項目に移動します。設定 → 距離の確定
 - ↳ 必要に応じて、マッピングカーブの記録を開始するため、表示された距離と実際の距離を比較します⁵⁾。

5) 気相補正機能付きの FMP54 (製品構成 : 仕様コード 540 「アプリケーションパッケージ」、オプション EF または EG) では、マップを記録しないでください。

11.6 基準カーブの記録

測定の設定後に現在の反射波形を基準カーブとして記録することをお勧めします。診断のために後からプロセスで基準カーブを使用できます。基準カーブを記録するには、**基準カーブの保存** パラメータを使用します。

メニュー内のナビゲーション

エキスパート → 診断 → エンベロープ診断 → 基準カーブの保存

選択項目の説明

- いいえ
動作なし

- はい
現在の反射波形が基準カーブとして保存されます。

 納入された機器にソフトウェアバージョン 01.00.zz または .zz が搭載されている場合、このサブメニューはユーザーの役割が「サービス」のときにのみ表示されます。

 基準カーブは、機器から FieldCare に基準カーブが読み込まれた後、FieldCare の反射波形図にのみ表示されます。これは、FieldCare の「基準カーブ読み込み」機能で実行されます。



図 29 「基準カーブ読み込み」機能

11.7 現場表示器の設定

11.7.1 レベル測定用の現場表示器の初期設定

パラメータ	電流出力が 1 つの機器の初期設定	電流出力が 2 つの機器の初期設定
表示形式	1 つの値、最大サイズ	1 つの値、最大サイズ
1 の値表示	リニアライゼーションされたレベル	リニアライゼーションされたレベル
2 の値表示	距離	距離
3 の値表示	電流出力 1	電流出力 1
4 の値表示	なし	電流出力 2

11.7.2 界面測定用の現場表示器の初期設定

パラメータ	電流出力が 1 つの機器の初期設定	電流出力が 2 つの機器の初期設定
表示形式	1 つの値、最大サイズ	1 つの値、最大サイズ
1 の値表示	リニアライゼーションされた界面	リニアライゼーションされた界面
2 の値表示	リニアライゼーションされたレベル	リニアライゼーションされたレベル
3 の値表示	上層部の厚さ	電流出力 1
4 の値表示	電流出力 1	電流出力 2

11.7.3 現場表示器の調整

以下のメニューを使用して現場表示器を調整できます。

設定 → 高度な設定 → 表示

11.8 設定管理

設定が完了したら、現在の機器設定を保存して別の測定点にコピーするか、または前の機器設定に復元することが可能です。これを行うには、**設定管理** パラメータとそのオプションを使用します。

操作メニューのナビゲーションパス

設定 → 高度な設定 → 設定バックアップの表示 → 設定管理

選択項目の説明

■ キャンセル

何も実行せずにこのパラメータを終了します。

■ バックアップの実行

HistoROM（機器に内蔵）にある現在の機器設定のバックアップコピーを、機器の表示モジュールに保存します。バックアップコピーには機器の変換器とセンサのデータが含まれます。

■ 復元

機器設定のバックアップコピーを、表示モジュールから機器の HistoROM にコピーします。バックアップコピーには機器の変換器とセンサのデータが含まれます。

■ 複製

変換器の表示モジュールを使用して、変換器設定を別の機器に複製します。以下は個々の機器の特性を設定するパラメータであり、伝送される設定には**含まれません**。

測定物タイプ

■ 比較

表示モジュールに保存された機器設定と HistoROM の現在の機器設定とを比較します。この比較結果は、**比較の結果** パラメータパラメータに表示されます。

■ バックアップデータの削除

機器設定のバックアップコピーを、機器の表示モジュールから削除します。



この操作の処理中は、現場表示器を介して設定を編集することはできません。また、処理ステータスを表すメッセージが表示されます。



復元 オプションを使用して既存のバックアップを別の機器に復元した場合、同じ機器機能が使用できなくなる場合があります。場合によっては → 図 223、機器をリセットしても元の状態に復元できないことがあります。

設定を別の機器に伝送する場合は、必ず**複製** オプションを使用してください。

11.9 不正な設定変更の防止

許可なく設定が変更されないよう、2つの防止対策があります。

- パラメータ設定を使用（ソフトウェアロック） →  70
- ロックスイッチを使用（ハードウェアロック） →  71

12 設定（ブロックベースの操作）

12.1 機能チェック

機器の設定前にチェックリストに従って設置状況と配線状況の確認を行ってください。

- 「設置状況の確認」 チェックリスト → 57
- 「配線状況の確認」 チェックリスト → 65

12.2 ブロック設定

12.2.1 準備手順

1. 機器の電源をオンにします。
2. `DEVICE_ID` を書き留めます。
3. 設定プログラムを開きます。
4. `Cff` と機器説明ファイルをホストシステムまたは設定プログラムにロードします。
適切なシステムファイルを使用していることを確認します。
5. **DEVICE_ID**（ポイント 2 を参照）を使用して機器を識別します。**Pd タグ/FF_PD_TAG** パラメータを使用してタグ名を機器に割り当てます。

12.2.2 リソースブロックの設定

1. リソースブロックを開きます。
2. 必要に応じて、機器操作のロックを無効にします。
3. 必要に応じて、ブロック名を変更します。初期設定：RS-xxxxxxxxxxx（RB2）
4. 必要に応じて、**タグ説明/TAG_DESC** パラメータを使用して説明をブロックに割り当てます。
5. 必要に応じて、要件に従って他のパラメータを変更します。

12.2.3 変換器ブロックの設定

測定モジュールと表示モジュールは、変換器ブロックを使用して設定します。一般的な手順はすべての変換器ブロックで同じです。

1. 必要に応じて、ブロック名を変更します。
2. **ブロックモード/MODE_BLK** パラメータの **TARGET** 要素を使用してブロックモードを **OOS** に設定します。
3. 測定作業に従って機器を設定します。
4. **ブロックモード/MODE_BLK** パラメータの **TARGET** 要素を使用してブロックモードを **Auto** に設定します。

 測定機器が正しく機能するには、ブロックモードを **Auto** に設定する必要があります。

12.2.4 アナログ入力ブロックの設定

本機器には、必要に応じてさまざまなプロセス変数に割り当てることができる 2 つのアナログ入力ブロックがあります。

デフォルト設定	
AI ブロック	CHANNEL
AI 1	32949 : リニアライズされたレベル
AI 2	32856 : 距離

1. 必要に応じて、ブロック名を変更します。
2. **ブロックモード/MODE_BLK** パラメータの **TARGET** 要素を使用してブロックモードを **OOS** に設定します。
3. アナログ入力ブロックの入力値として使用する必要があるプロセス変数を選択するには、**チャンネル/CHANNEL** パラメータを使用します→ 図 85。
4. プロセス変数の単位とブロック入力レンジを選択するには、**変換器スケール/XD_SCALE** パラメータを使用します→ 図 108。選択した単位がプロセス変数に適合していることを確認します。プロセス変数と単位が適合していない場合、**ブロックエラー/BLOCK_ERR** パラメータが**ブロック設定エラー**を報告し、ブロックモードを **Auto** に設定できません。
5. 入力変数のリニアライゼーション方式を選択するには、**リニアライゼーション方式/L_TYPE** パラメータを使用します（初期設定：Direct）。**変換器スケール/XD_SCALE** パラメータと **出力スケール/OUT_SCALE** パラメータの設定が **Direct** リニアライゼーション方式と同じであることを確認します。値と単位が適合していない場合、**ブロックエラー/BLOCK_ERR** パラメータが**ブロック設定エラー**を報告し、ブロックモードを **Auto** に設定できません。
6. **上限/HI_HI_LIM**、**上限/HI_LIM**、**下限/LO_LO_LIM**、および **下限/LO_LIM** の各パラメータを使用して、アラームと重要なアラームメッセージを入力します。入力する制限値は、**出力スケール/OUT_SCALE** パラメータで指定された範囲内である必要があります→ 図 108。
7. **高優先度/HI_HI_PRI**、**高優先度/HI_PRI**、**低優先度/LO_LO_PRI**、および **低優先度/LO_PRI** の各パラメータを使用して、アラームの優先度を指定します。フィールドホストシステムへの報告は、アラームの優先度が 2 を上回る場合にのみ行われます。
8. **ブロックモード/MODE_BLK** パラメータの **TARGET** 要素を使用してブロックモードを **Auto** に設定します。これには、リソースブロックも **Auto** ブロックモードに設定する必要があります。

12.2.5 追加設定

1. 機能ブロックと出力ブロックを関連付けます。
2. 有効な LAS を指定した後、すべてのデータとパラメータをフィールド機器にダウンロードします。

12.3 AI ブロックでの測定値のスケーリング

AI ブロックでリニアライゼーション方式として **L_TYPE = indirect** が選択されている場合、そのブロック内で測定値をスケーリングすることができます。入力レンジは、**XD_SCALE** パラメータの **EU_0** 要素と **EU_100** 要素によって定義されます。入力レンジは、**OUT_SCALE** パラメータの **EU_0** 要素と **EU_100** 要素で定義された出力レンジに対して線形的にマッピングされます。

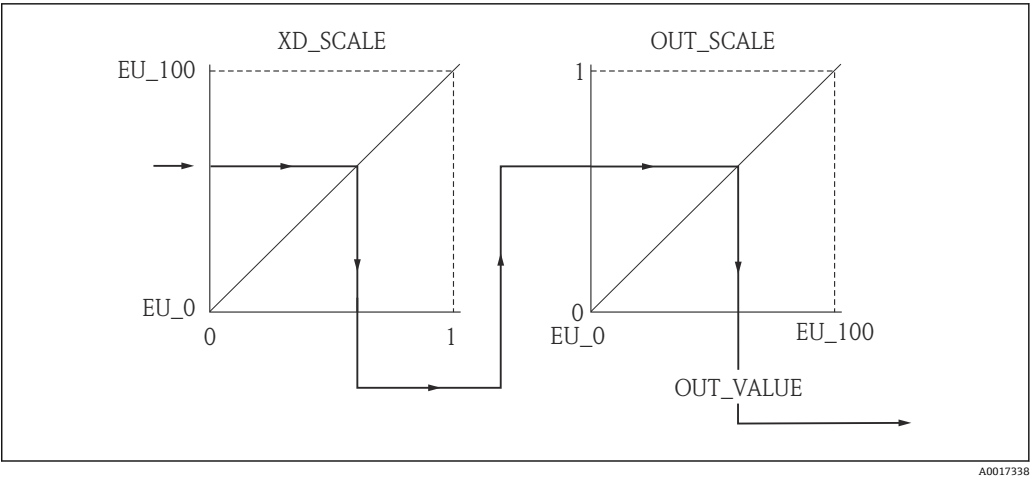


図 30 AI ブロックでの測定値のスケーリング

- **L_TYPE** パラメータの **Direct** モードを選択した場合、**XD_SCALE** と **OUT_SCALE** の値と単位を変更することはできません。
- **L_TYPE**、**XD_SCALE**、および **OUT_SCALE** の各パラメータは OOS ブロックモードでのみ変更できます。

12.4 言語の選択

手順	ブロック	パラメータ	アクション
1	DISPLAY (TRDDISP)	言語 (language)	言語を選択します。 ¹⁾ 選択： ■ 32805 : アラビア語 ■ 32824 : 簡体字中国語 ■ 32842 : チェコ語 ■ 32881 : オランダ語 ■ 32888 : 英語 ■ 32917 : フランス語 ■ 32920 : ドイツ語 ■ 32945 : イタリア語 ■ 32946 : 日本語 ■ 32948 : 韓国語 ■ 33026 : ポーランド語 ■ 33027 : ポルトガル語 ■ 33062 : ロシア語 ■ 33083 : スペイン語 ■ 33103 : タイ語 ■ 33120 : ベトナム語 ■ 33155 : インドネシア語 ■ 33166 : トルコ語

1) 機器の注文時に、一連の使用可能な言語が定義されます。製品構成、仕様コード 500「追加操作言語」を参照してください。

12.5 基準距離の確認

- このセクションは、気相補正機能付きの FMP54 にのみ適用されます（製品構成：仕様コード 540「アプリケーションパッケージ」、オプション EF または EG）。

気相補正機能付きのコアキシャルプローブは、出荷時に校正されています。一方、ロードプローブは取付け後に校正する必要があります。

内筒管または外筒管内にロッドプローブを取り付けた後に確認し、必要に応じて、基準距離の設定を加圧されていない状態で修正します。その間、最高の精度を得るためには、レベルが基準距離 L_{ref} より 200 mm 以上低くなければなりません。

手順	ブロック	パラメータ	アクション
1	EXPERT_CONFIG (TRDEXP)	気相補正モード (gpc_mode)	On (33006) オプションを選択すると、気相補正が作動します。
2	EXPERT_CONFIG (TRDEXP)	現在の基準距離 (present_reference_distance)	表示された基準距離が基準値と一致するか確認します (300 mm または 550 mm、銘板を参照)。 一致する場合：その他の処置は必要ありません。 一致しない場合：手順 3 に進みます。
3	EXPERT_CONFIG (TRDEXP)	基準距離 (reference_distance)	「現在の基準距離」に表示された値を入力します。

 気相補正に関するすべてのパラメータの詳細説明については、以下を参照してください。

GP010151F、「Levelflex - 機能説明書 - FOUNDATION フィールドバス」

12.6 レベル測定の設定

i 設定メソッドを測定の設定に使用することもできます。これは、SETUP (TRDSUP) 変換器ブロックを介して呼び出されます。

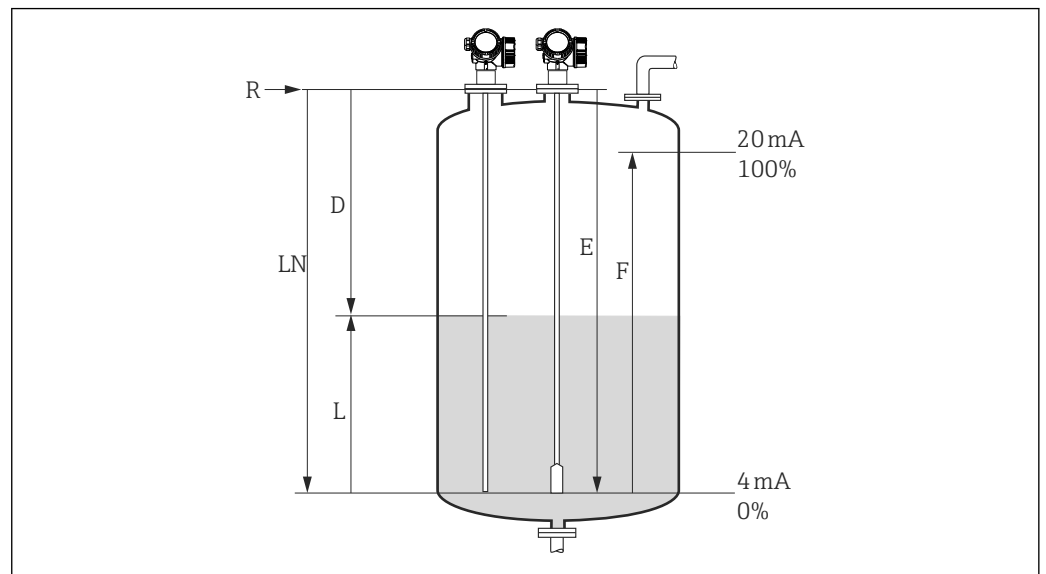


図 31 液体のレベル測定用パラメータの設定

LN = プローブ長

D = 距離

L = レベル

R = 測定基準点

E = 空校正 (= ゼロ点)

F = 満量校正 (= スパン)

i ローププローブの DC 値が 7 未満の場合、ウェイト付近での測定は不可能です。この場合、空校正 E の最大許容値は $LN - 250 \text{ mm}$ ($LN - 10 \text{ in}$) です。

手順	ブロック	パラメータ	アクション
1	SETUP (TRDSUP)	距離単位 (distance_unit)	距離単位を選択します。 選択: 1010 : m 1013 : mm 1018 : in 1019 : ft
2	SETUP (TRDSUP)	動作モード (operating_mode) ¹⁾	32949 : レベル を選択します。
3	SETUP (TRDSUP)	タンクタイプ (tank_type)	タンクタイプを選択します。 選択: 32816 : 外筒管/内筒管 33288 : 金属 33302 : コアキシャル 33432 : ツインローブ 33433 : ツインロッド 33437 : ロープセンタリングディスク金属 33438 : ロッドセンタリングディスク金属 33441 : 非金属 33444 : 外部取付け
4	SETUP (TRDSUP)	パイプ直径 (tube_diameter) ²⁾	外筒管または内筒管の直径を入力します。
5	SETUP (TRDSUP)	測定物グループ (medium_group)	測定物グループを選択します。 選択: 316 : 水ベース (DC>4) 256 : その他 (DC≥ 1.9) ³⁾

手順	ブロック	パラメータ	アクション
6	SETUP (TRDSUP)	空校正 (empty_calibration)	測定基準点 R と最低レベル (0 %) 間の距離 E を入力します。
7	SETUP (TRDSUP)	満量校正 (full_calibration)	最低レベル (0 %) と最高レベル (100 %) 間の距離 F を入力します。
8	SETUP (TRDSUP)	レベル (level)	測定レベル L を表示します。
9	SETUP (TRDSUP)	距離 (filtered_dist_val)	測定基準点 R とレベル L 間の距離 D を表示します。
10	SETUP (TRDSUP)	信号品質 (signal_quality)	レベルエコーの信号品質を表示します。
11	SETUP (TRDSUP)	距離の確認 (confirm_distance)	マッピングカーブの記録を開始するため、表示された距離と実際の距離を比較します。 選択： ■ 179：手動マップ ■ 32847：すべて削除 ■ 32859：距離 OK ■ 32860：距離が長すぎる ■ 32861：距離が短すぎる ■ 32862：距離不明 ■ 33100：タンク空

- 1) 「界面測定」アプリケーションパッケージを含む機器でのみ使用可能
- 2) コーティングされたプローブと「タンクタイプ」= 「外筒管/内筒管」の場合にのみ使用可能
- 3) 必要に応じて、「DC 値 (dc_value)」パラメータには、これより低い DC を入力できます。ただし、DC<1.6 の場合は、測定範囲が減少する可能性があります。詳細については、エンドレスハウザー社にお問い合わせください。

12.7 界面測定の設定

- i

対応するソフトウェアオプションが装備された機器でのみ、界面測定を行うことができます。このオプションは、製品構成：仕様コード 540「アプリケーションパッケージ」、オプション EB「界面測定」で選択します。
- i

設定メソッドを測定の設定に使用することもできます。これは、SETUP (TRDSUP) 変換器ブロックを介して呼び出されます。

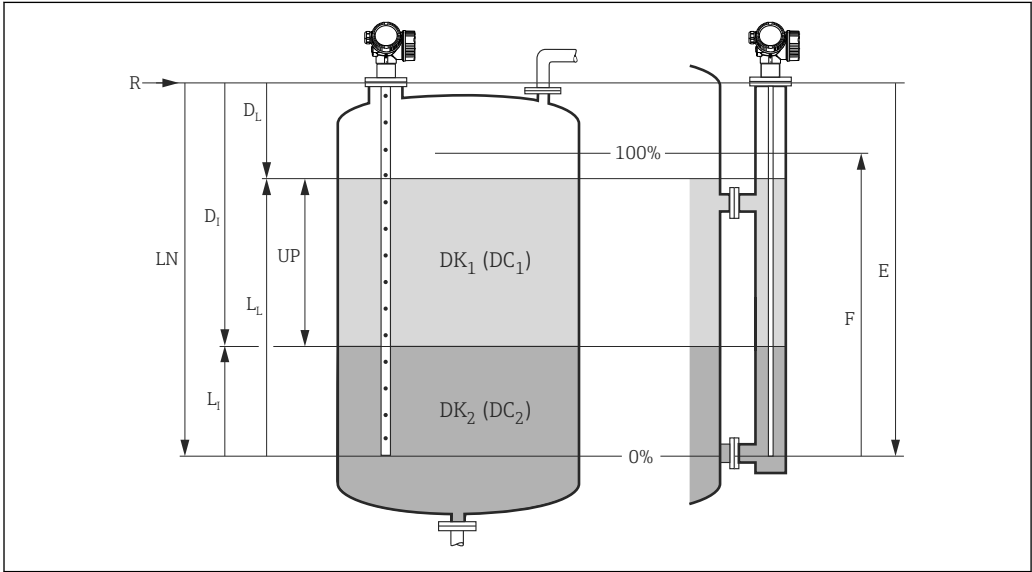


図 32 界面測定用パラメータの設定

- R = 測定基準点
- E = 空校正 (= ゼロ点)
- F = 満量校正 (= スパン)
- D₁ = 界面の距離 (基準点から下部測定物までの距離)
- L₁ = 界面レベル
- D_L = 基準点 R から全体レベルまでの距離

LN = プローブ長

 L_L = 全体レベル

UP = 上部測定物の厚み

手順	ブロック	パラメータ	アクション
1	SETUP (TRDSUP)	距離単位 (distance_unit)	距離単位を選択します。 選択: 1010 : m 1013 : mm 1018 : in 1019 : ft
2	SETUP (TRDSUP)	動作モード (operating_mode) ¹⁾	32938 : 界面 を選択します。
3	SETUP (TRDSUP)	タンクタイプ (tank_type)	タンクタイプを選択します。 選択: 32816 : 外筒管/内筒管 33288 : 金属 33302 : コアキシャル 33432 : ツインロープ 33433 : ツインロッド 33437 : ロープセンタリングディスク金属 33438 : ロッドセンタリングディスク金属 33441 : 非金属 33444 : 外部取付け
4	SETUP (TRDSUP)	パイプ直径 (tube_diameter) ²⁾	外筒管または内筒管の直径を入力します。
5	SETUP (TRDSUP)	タンクレベル (tank_level)	タンクレベルを選択します。 選択: 32919 : 完全に満量 (外筒管測定で一般的) 33021 : 一部充填 (タンクでの直接測定で一般的)
6	SETUP (TRDSUP)	上部接続までの距離 (distance_to_upper_connection)	- 外筒管内の測定用: 基準点 R から上部接続の下端までの距離を入力します。 - それ以外の場合: 初期設定のままにしてください。
7	SETUP (TRDSUP)	DC 値 (dc_value)	上部測定物の比誘電率を入力します。
8	SETUP (TRDSUP)	空校正 (empty_calibration)	測定基準点 R と最低レベル (0 %) 間の距離 E を入力します。
9	SETUP (TRDSUP)	満量校正 (full_calibration)	最低レベル (0 %) と最高レベル (100 %) 間の距離 F を入力します。
10	SETUP (TRDSUP)	レベル (level)	測定レベル L を表示します。
11	SETUP (TRDSUP)	界面 (interface)	界面高さ L_I を表示します。
12	SETUP (TRDSUP)	距離 (filtered_dist_val)	測定基準点 R とレベル L 間の距離 D を表示します。
13	SETUP (TRDSUP)	界面距離 (interface_distance)	基準点 R と界面 L_I 間の距離 D_I を表示します。

手順	ブロック	パラメータ	アクション
14	SETUP (TRDSUP)	信号品質 (signal_quality)	レベルエコーの信号品質を表示します。
15	SETUP (TRDSUP)	距離の確認 (confirm_distance)	マッピングカーブの記録を開始するため、表示された距離と実際の距離を比較します。 選択： ■ 179：手動マップ ■ 32847：すべて削除 ■ 32859：距離 OK ■ 32860：距離が長すぎる ■ 32861：距離が短すぎる ■ 32862：距離不明 ■ 33100：タンク空

- 1) 「界面測定」アプリケーションパッケージを含む機器でのみ使用可能
- 2) コーティングされたプローブと「タンクタイプ」 = 「外筒管/内筒管」 の場合にのみ使用可能

12.8 現場表示器の設定

12.8.1 レベル測定用の現場表示器の初期設定

パラメータ	電流出力が 1 つの機器の初期設定	電流出力が 2 つの機器の初期設定
表示形式	1 つの値、最大サイズ	1 つの値、最大サイズ
1 の値表示	リニアライズされたレベル	リニアライズされたレベル
2 の値表示	距離	距離
3 の値表示	電流出力 1	電流出力 1
4 の値表示	なし	電流出力 21

 現場表示器は、**DISPLAY (TRDDISP)** 変換器ブロックで調整することができます。

12.8.2 界面測定用の現場表示器の初期設定

パラメータ	電流出力が 1 つの機器の初期設定	電流出力が 2 つの機器の初期設定
表示形式	1 つの値、最大サイズ	1 つの値、最大サイズ
1 の値表示	界面	界面
2 の値表示	リニアライズされたレベル	リニアライズされたレベル
3 の値表示	上部層の厚み	電流出力 1
4 の値表示	電流出力 1	電流出力 2

 現場表示器は、**DISPLAY (TRDDISP)** 変換器ブロックで調整することができます。

12.9 設定管理

設定が完了したら、現在の機器設定を保存して別の測定点にコピーするか、または前の機器設定に復元することが可能です。これは、**設定管理**パラメータとそのオプションを使用して行うことができます。

操作メニューのナビゲーションパス

設定 → 高度な設定 → 設定バックアップの表示 → 設定管理

ブロック操作

ブロック：DISPLAY (TRDDISP)

パラメータ：設定管理 (configuration_management)

パラメータオプションの機能

オプション	説明
33097：バックアップの実行	HistoROM にある現在の機器設定のバックアップコピーを、機器の表示モジュールに保存します。バックアップコピーには機器の変換器データが含まれます。
33057：復元	機器設定のバックアップコピーを、表示モジュールから機器の HistoROM にコピーします。バックアップコピーには機器の変換器データが含まれます。
33838：複製	別の機器の変換器設定を、表示モジュールを使用して機器に複製します。
265：比較	表示モジュールに保存された機器設定と HistoROM の現在の機器設定とを比較します。
32848：バックアップデータの削除	機器設定のバックアップコピーを、機器の表示モジュールから削除します。

HistoROM

HistoROM は、EEPROM タイプの不揮発性メモリです。

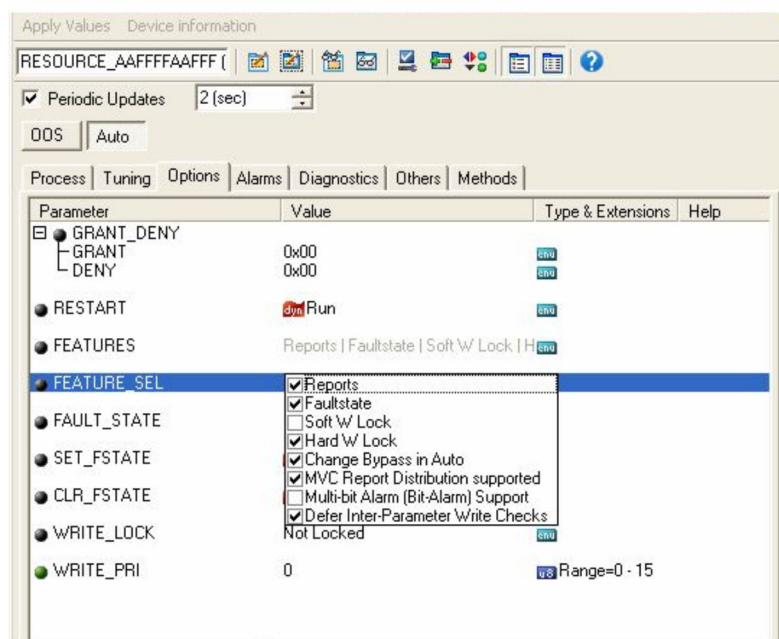
-  この操作の処理中は、現場表示器を介して設定を編集することはできません。また、処理ステータスを表すメッセージが表示されます。
-  FOUNDATION フィールドバス通信を備える機器の場合、パラメータ設定の複製時に **PD タグ** パラメータも伝送されます。必要に応じて、設定の複製後に **PD タグ** を適切な値に変更してください。

12.10 FOUNDATION フィールドバス仕様 FF912 に基づくイベント動作の設定

この機器は FOUNDATION フィールドバス仕様 FF912 に準拠しています。このため、特に、以下ようになります。

- NAMUR 勧告 NE107 に基づく診断カテゴリーが、フィールドバスを介して以下のような製造者に依存しない形式で伝送されます。
 - F：故障
 - C：機能チェック
 - S：仕様範囲外
 - M：メンテナンスが必要
- 事前に定義されたイベントグループの診断カテゴリーを、アプリケーションの要件に従ってユーザーが調整できます。
- 特定のイベントを所属グループから分離して個別に扱うことができます。
 - 941：エコロスト
 - 942：安全距離内
- 追加情報と是正措置がイベントメッセージとともにフィールドバスを介して伝送されます。

i FF912 に基づく診断メッセージは、**マルチビットサポート**オプションがリソースブロックの **FEATURE_SEL** パラメータで有効になっている場合にのみホストで使用可能です。互換性の観点から、納入時には、このオプションは有効になっていません。



12.10.1 イベントグループ

診断メッセージは、各イベントの**発生源**と**重大度**に応じて 16 のグループに分類されます。各グループには、**デフォルトの診断カテゴリ**が割り当てられます。どのグループも、割当パラメータの 1 ビットで表されます。

イベントの重大度	デフォルトの診断カテゴリ	イベントの発生源	ビット	グループ内のイベント
重大度が最も高い	故障 (F)	センサ	31	■ F003 : 破損プローブの検出 ■ F046 : 付着物の検出 ■ F083 : 電子メモリ内容 ■ F104 : HF ケーブル ■ F105 : HF ケーブル ■ F106 : センサ
		電子回路部	30	■ F242 : ソフトウェアの互換性なし ■ F252 : モジュールの互換性なし ■ F261 : 電子モジュール ■ F262 : モジュール接続 ■ F270 : メイン電子モジュールの故障 ■ F271 : メイン電子モジュールの故障 ■ F272 : メイン電子モジュールの故障 ■ F273 : メイン電子モジュールの故障 ■ F275 : I/O モジュールの故障 ■ F276 : I/O モジュールの故障 ■ F282 : データメモリ ■ F283 : 電子メモリ ■ F311 : 電子メモリ内容
		設定	29	■ F410 : データ転送 ■ F411 : アップロード/ダウンロード ■ F435 : リニアライゼーション ■ F437 : 設定の互換性なし
		プロセス	28	■ F803 : 電流ループ 1 ■ F825 : 電流ループ 1 ■ F936 : EMC 干渉 ■ F941 : エコーロスト¹⁾ ■ F970 : リニアライゼーション

- 1) このイベントは、動作を個別に定義するためにグループから除外することができます。セクション「設定可能エリア」を参照してください。

イベントの重大度	デフォルトの診断カテゴリ	イベントの発生源	ビット	グループ内のイベント
重大度が高い	機能チェック (C)	センサ	27	Levelflex では未使用
		電子回路部	26	Levelflex では未使用
		設定	25	■ C411 : アップロード/ダウンロード ■ C431 : トリム ■ C484 : シミュレーションフェールセーフモード ■ C485 : シミュレーション測定値 ■ C491 : シミュレーション電流出力 ■ C585 : シミュレーション距離
		プロセス	24	Levelflex では未使用

イベントの重大度	デフォルトの診断カテゴリー	イベントの発生源	ビット	グループ内のイベント
重大度が低い	仕様範囲外 (S)	センサ	23	Levelflex では未使用
		電子回路部	22	Levelflex では未使用
		設定	21	S441 : 電流出力 1
		プロセス	20	▪ S801 : 電源電圧が低すぎる ▪ S825 : 動作温度 ▪ S921 : 基準の変更 ▪ S942 : 安全距離内 ¹⁾ ▪ S943 : 不感知距離内 ▪ S944 : レベル範囲 ▪ S968 : レベル制限

- 1) このイベントは、動作を個別に定義するためにグループから除外することができます。セクション「設定可能エリア」を参照してください。

イベントの重大度	デフォルトの診断カテゴリー	イベントの発生源	ビット	グループ内のイベント
重大度が最も低い	メンテナンスが必要 (M)	センサ	19	Levelflex では未使用
		電子モジュール	18	▪ M270 : メイン電子モジュールの故障 ▪ M272 : メイン電子モジュールの故障 ▪ M311 : 電子モジュールの故障
		設定	17	M438 : データセット
		プロセス	16	M803 : 電流ループ 1

12.10.2 割当パラメータ

イベントグループへのイベントカテゴリーの割当では、割当パラメータによって制御されます。割当パラメータは **RESOURCE (RB2)** ブロックにあります。

- **FD_FAIL_MAP** : 故障 (F) イベントカテゴリー用
- **FD_CHECK_MAP** : 機能チェック (C) イベントカテゴリー用
- **FD_OFFSPEC_MAP** : 仕様範囲外 (S) イベントカテゴリー用
- **FD_MAINT_MAP** : メンテナンスが必要 (M) イベントカテゴリー用

各割当パラメータは、以下の意味を持つ 32 ビットで構成されます。

- **ビット 0** : Fieldbus Foundation によって予約されています。
- **ビット 1 ~ 15** : 設定可能エリア；ここで、事前に定義された多数の診断イベントを所属グループに関係なく割り当てることができます。この場合、診断イベントは所属グループから除外され、動作を個別に設定することができます。Levelflex を使用して、以下のパラメータを設定可能エリアに割り当てることができます。
 - 941 : エコーロスト
 - 942 : 安全距離内
- **ビット 16 ~ 31** : 標準エリア；これらのビットは、特定のグループに恒久的に割り当てられます。ビットが **1** に設定されている場合、各イベントカテゴリーがグループに割り当てられます。

以下の表に、割当パラメータのデフォルト設定を示します。デフォルト設定では、イベントの重大度とカテゴリー（つまりその割当パラメータ）の間に一意の関係が存在します。

割当パラメータのデフォルト設定

	標準エリア																設定可能エリア
イベントの重大度	重大度が最も高い				重大度が高い				重大度が低い				重大度が最も低い				
イベントの発生源 ¹⁾	S	E	C	P	S	E	C	P	S	E	C	P	S	E	C	P	
ビット	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15 ... 1
FD_FAIL_MAP	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
FD_CHECK_MAP	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
FD_OFFSPEC_MAP	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0
FD_MAINT_MAP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0

1) S : センサ ; E : 電子モジュール ; C : 設定 ; P : プロセス

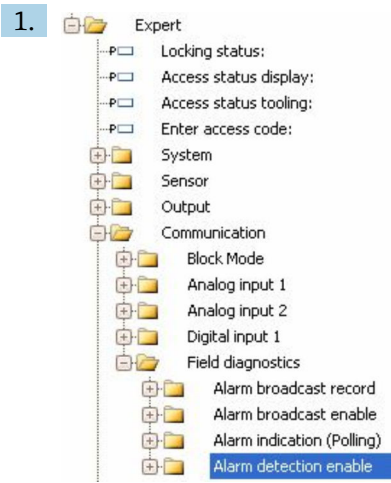
イベントグループの診断動作を変更するには、以下を実行してください。

1. グループが現在割り当てられている割当パラメータを開きます。
2. グループのビットを **1** から **0** に切り替えます。FieldCare を介して操作する場合、各チェックボックスをオフにすることで切替えが可能です（下記の例を参照）。
3. グループを割り当てる割当パラメータを開きます。
4. グループのビットを **0** から **1** に切り替えます。FieldCare を介して操作する場合、各チェックボックスをオンにすることで切替えが可能です（下記の例を参照）。

例

重大度が最も高い/設定グループには、メッセージ **410 : データ転送**、**411 : アップロード/ダウンロード**、**435 : リニアライゼーション**、および **437 : 設定の互換性なし**が

含まれます。これらのメッセージは、**故障（F）**ではなく、**機能チェック（C）**として分類されるようになります。



FieldCare ナビゲーションウィンドウを使用して以下の画面に移動します：**エキスパート → 通信 → フィールド診断 → アラーム検出有効**。

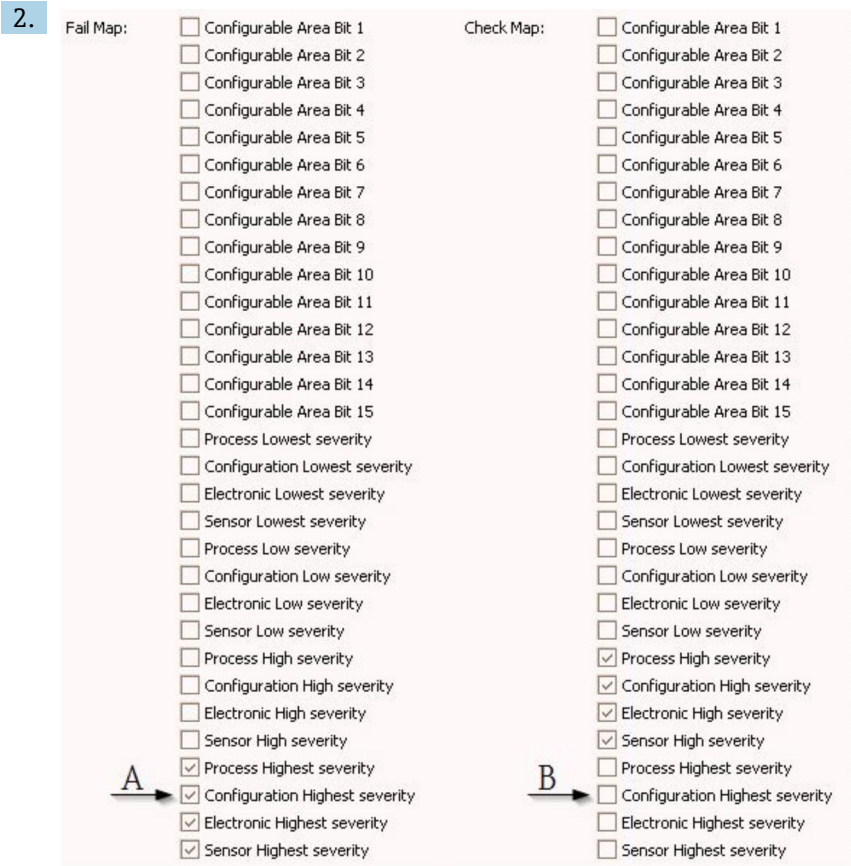


図 33 「故障マップ（Fail Map）」列と「チェックマップ（Check Map）」列のデフォルトの状態

故障マップ列の設定 重大度が最も高いを探して、該当するチェックボックス (A) をオフにします。**チェックマップ列**の各チェックボックス (B) をオンにします。Enter キーを押して各変更を確認することを忘れないでください。

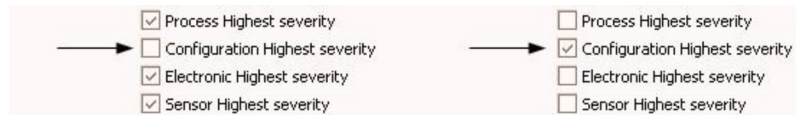


図 34 「故障マップ」列と「チェックマップ」列の変更された状態

- i 各グループについて、対応するビットが、割当パラメータの少なくとも 1 つで **1** に設定されていることを確認してください。設定されていないと、イベントカテゴリーがイベントメッセージとともに伝送されません。その場合は、メッセージが制御システムに認識されなくなります。
- i **アラーム検出有効**画面は、バスへのイベントメッセージの伝送ではなく、診断イベント検出の設定に使用します。イベントメッセージの伝送は、**アラームブロードキャスト有効**画面で設定します。操作方法は**アラーム検出有効**画面と全く同じです。ステータス情報は、リソースブロックが **Auto** モードの場合にのみバスに伝送されます。

12.10.3 設定可能エリア

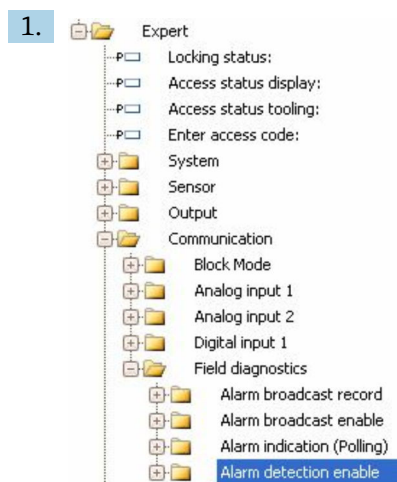
イベントカテゴリーは、イベントがデフォルトで属するグループに関係なく、以下のパラメータについて個別に定義することができます。

- **F941** : エコーロスト
- **S942** : 安全距離内

イベントカテゴリーを変更する前に、イベントをビット 1 ～ 15 のいずれかに割り当てる必要があります。この割り当ては、**DIAGNOSTIC (TRDDIAG)** ブロックのパラメータ **FF912 ConfigArea_1** ～ **FF912ConfigArea_15** を使用して行います。その後、選択したビットを、必要な割当パラメータで **0** から **1** に切り替えることができます。

例

エラー **942**「安全距離内」のカテゴリーを仕様範囲外 (S) (デフォルト) から機能チェック (C) に変更するには、以下を実行してください。



FieldCare ナビゲーションウィンドウを使用して以下の画面に移動します：**エキスパート → 通信 → フィールド診断 → アラーム検出有効**。



デフォルトでは、すべての**設定可能エリアビット**が**不使用**に設定されています。



これらのビットのいずれか（この例では設定可能エリアビット 1）を選択し、関連するドロップダウンメニューから**安全距離内**を選択します。Enter キーを押して選択内容を確認します。

4. Offspec Map:

☒ Configurable Area Bit 1

☐ Configurable Area Bit 2

☐ Configurable Area Bit 3

☐ Configurable Area Bit 4

☐ Configurable Area Bit 5

☐ Configurable Area Bit 6

仕様範囲外マップ（Offspec Map）列に移動し、各ビット（この例では**設定可能エリアビット 1**）のチェックボックスをオンにします。Enter キーを押して選択内容を確定します。

i 安全距離内のエラーカテゴリーを変更しても、既存のエラーに影響することはありません。変更後にこのタイプのエラーが生じた場合にのみ、新しいカテゴリーが割り当てられます。

12.10.4 バスへのイベントメッセージの伝送

イベント優先度

イベントメッセージは、優先度が 2 ～ 15 の場合にのみ伝送されます。優先度 1 のイベントは表示ディスプレイに表示されますが、バスには伝送されません。優先度 0 のイベントは無視されます。デフォルトでは、すべてのイベントの優先度が 0 です。各割当パラメータの優先度は、個別に調整することができます。これは、以下の 4 つの優先度パラメータによって行います。

EH_Levelflex_AAFFFAAFF : RESOURCE_AAFFFAAFF (RB2)

Apply Values Device information

RESOURCE_AAFFFAAFF (

☒ Periodic Updates 2 [sec]

DOS Auto

Process Tuning Options Alarms Diagnostics Others Methods

Parameter	Value	Type & Extensions	Help
FD_FAIL_PRI	10	Range=0 - 15	
FD_OFFSPEC_PRI	9	Range=0 - 15	
FD_MAINT_PRI	8	Range=0 - 15	
FD_CHECK_PRI	7	Range=0 - 15	

個々のイベントの抑制

個々のイベントは、マスクを使用してバスへの伝送を抑制することができます。対応するイベントは表示されますが、バスには伝送されません。FieldCare では、このマスクは **エキスパート → 通信 → フィールド診断 → アラームブロードキャスト有効** にあります。このマスクはネガティブマスクとして機能します。つまり、フィールドがマークされている場合、対応するイベントはバスに伝送されません。

12.11 不正な設定変更の防止

許可なく設定が変更されないよう、2 つの防止対策があります。

- ロックスイッチを使用（ハードウェアロック）
- 操作メニューを使用（ソフトウェアロック）
- ブロック操作を使用：
 - ブロック：DISPLAY (TRDDISP)；パラメータ：アクセスコードの定義 (define_access_code)
 - ブロック：EXPERT_CONFIG (TRDEXP)；パラメータ：アクセスコードの入力 (enter_access_code)

13 診断およびトラブルシューティング

13.1 一般トラブルシューティング

13.1.1 一般エラー

エラー	考えられる原因	対処法
機器が応答しない	電源電圧が接続されていない	正しい電圧を接続する。
	ケーブルと端子の接触不良	ケーブルと端子の電氣的接続を確実に行う。
ディスプレイの値が見えない	コントラスト設定が強すぎる/弱すぎる	■ 田 と 国 を同時に押して、コントラストを上げる。 ■ 田 と 国 を同時に押して、コントラストを下げる。
	ディスプレイケーブルのプラグが正しく接続されていない	プラグを正しく接続する。
	ディスプレイの故障	ディスプレイを交換する。
機器を起動するか、またはディスプレイを接続すると、表示部に「通信エラー」が表示される	電磁干渉	機器の接地を確認する。
	ディスプレイのケーブルまたはプラグの破損	ディスプレイを交換する。
1 台の機器から別の機器にディスプレイ経由でパラメータを複製しても動作しない。「保存」および「中止」オプションのみが使用できる。	以前に機器でデータのバックアップが行われていない場合、バックアップが保存されたディスプレイは認識されない。	ディスプレイ（バックアップが保存された）を接続して機器を再起動する。
CDI 通信が作動しない	コンピュータの COM ポートの設定が正しくない	コンピュータの COM ポートの設定を確認し、必要に応じて変更する。
機器測定が正しくない	パラメータ設定エラー	パラメータ設定を確認する。

13.1.2 パラメータ設定エラー

レベル測定のパラメータ設定エラー

エラー	考えられる原因	対処法
測定値が正しくない	測定距離 (設定 → 距離) が実際の距離と一致している場合： 校正エラー	■ 空校正 パラメータ (→ 164)を確認し、必要に応じて調整する。 ■ 満量校正 パラメータ (→ 165)を確認し、必要に応じて調整する。 ■ リニアライゼーションを確認し、必要に応じて調整する (リニアライゼーション サブメニュー (→ 192))。
	測定距離 (設定 → 距離) が実際の距離と一致しない場合： 不要反射が測定に影響を及ぼしている	マッピングを実行する (距離の確定 パラメータ (→ 172))。
タンクの排出/充填時に測定値が変わらない	不要反射が測定に影響を及ぼしている	マッピングを実行する (距離の確定 パラメータ (→ 172))。
	プローブに付着物がある	プローブを清掃する。
	エコトラッキングでエラーが発生する	エコトラッキングを無効にする (エキスパート → センサ → エコトラッキング → 評価モード = 履歴オフ)。
電源のスイッチオンの後に診断メッセージ エコロスト が表示される	エコーしきい値が高すぎる	測定物グループ パラメータ (→ 163)を確認する。 必要に応じて、 測定物特性 パラメータ (→ 180)の詳細な設定を選択する。
	レベルエコーの抑制	マッピングを削除し、必要に応じて新しいマッピングカーブを記録する (マップ記録 パラメータ (→ 174))。
タンクが空なのに機器がレベルを表示する	プローブ長が正しくない	プローブ長補正を行う (プローブ長の確認 パラメータ (→ 205))。
	不要反射	タンクが空のときにプローブ全長にわたってマッピングを実施する (距離の確定 パラメータ (→ 172))。
測定範囲全体のレベル勾配が正しくない	異なるタンクタイプが選択されている	タンクタイプ パラメータ (→ 162)を正しく設定する。

界面測定のパラメータ設定エラー

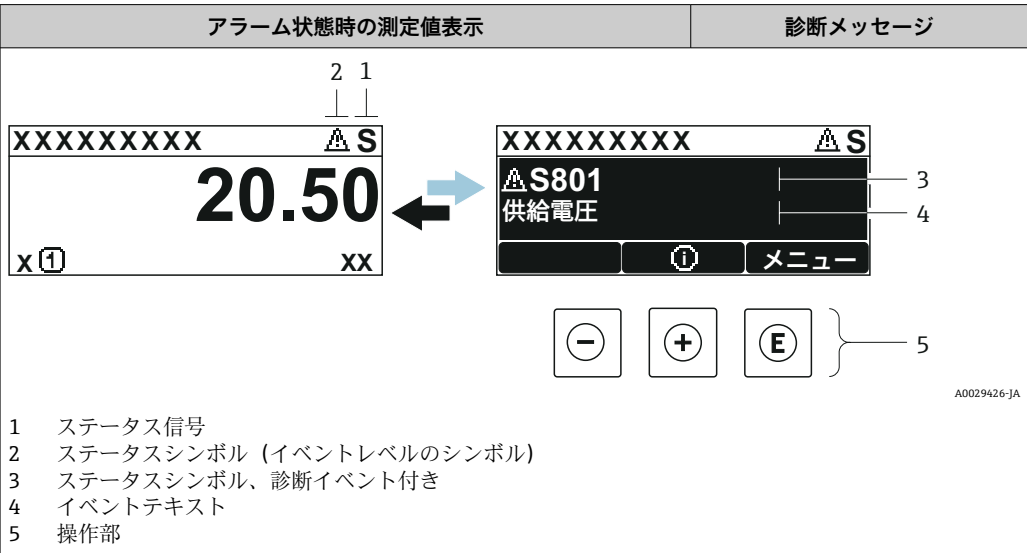
エラー	考えられる原因	対処法
タンクレベル = 満量 の設定で、排出操作時に界面レベル測定値が高い値にジャンプする	全体レベルが上部不感知距離の範囲外で検出されている	不感知距離を増やす (不感知距離 パラメータ (→ 183))。
		タンクレベル パラメータ (→ 169) = 一部充填 に設定する。
タンクレベル = 一部充填 の設定で、充填操作時に全体レベル測定値が低い値にジャンプする	全体レベルが上部不感知距離に入っている	不感知距離を減らす (不感知距離 パラメータ (→ 183))。
界面レベル測定値の勾配が正しくない	比誘電率 (DC 値) が正しくない	上部測定物の正しい比誘電率 (DC 値)を入力する (DC 値 パラメータ (→ 170))。
界面と全体レベルの測定値が同じ	比誘電率が間違っているため全体レベルのエコーしきい値が高すぎる	上部測定物の正しい比誘電率 (DC 値)を入力する (DC 値 パラメータ (→ 170))。

エラー	考えられる原因	対処法
界面層が厚くない場合に、全体レベルが界面レベルにジャンプする	上部測定物の厚みが 60 mm (2.4 in) 以下	界面の厚みが 60 mm (2.4 in) 以上ないと界面測定はできない。
界面測定値がジャンプする	エマルション層がある	エマルション層が測定に影響を及ぼしている。 Endress+Hauser にお問い合わせください。

13.2 現場表示器の診断情報

13.2.1 診断メッセージ

機器の自己診断システムで検出されたエラーが、測定値表示と交互に診断メッセージとして表示されます。



ステータス信号

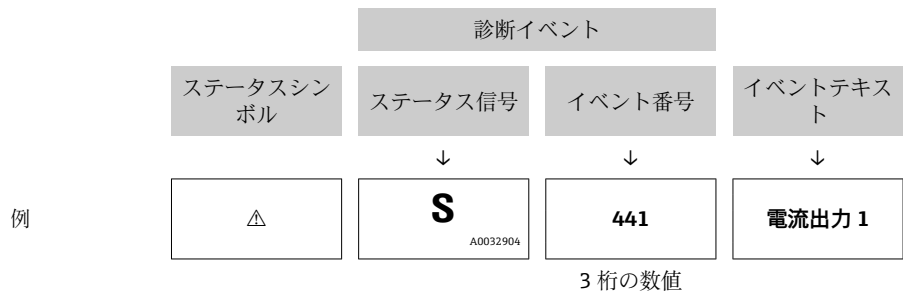
F A0032902	「故障 (F)」オプション 機器エラーが発生。測定値は無効。
C A0032903	「機能チェック (C)」オプション 機器はサービスモード (例：シミュレーション中)
S A0032904	「仕様範囲外 (S)」オプション 機器は作動中： - 技術仕様の範囲外 (例：スタートアップまたは洗浄中) - ユーザが行った設定の範囲外 (例：レベルが設定スパンの範囲外)
M A0032905	「メンテナンスが必要 (M)」オプション メンテナンスが必要。測定値は依然として有効。

ステータスシンボル (イベントレベルのシンボル)

⊗	「アラーム」ステータス 測定が中断します。信号出力が設定されたアラーム状態になります。診断メッセージが生成されます。
△	「警告」ステータス 機器は測定を継続します。診断メッセージが生成されます。

診断イベントおよびイベントテキスト

診断イベントを使用してエラーを特定することが可能です。イベントテキストにより、エラーに関する情報が提供されます。さらに、診断イベントの前に対応するシンボルが表示されます。



2つあるいはそれ以上の診断メッセージが同時に発生している場合は、最優先に処理する必要のあるメッセージのみが示されます。その他の未処理メッセージは**診断リスト**サブメニューに表示されます。

-  処理済みの過去の診断メッセージは、以下に表示されます。
- 現場表示器：
イベントログブック
 - FieldCare：
「イベントリスト/HistoROM」機能

操作部

メニュー、サブメニューの操作機能	
	+ キー 対処法に関するメッセージを開きます。
	Enter キー 操作メニューを開きます。

13.2.2 対処法の呼び出し

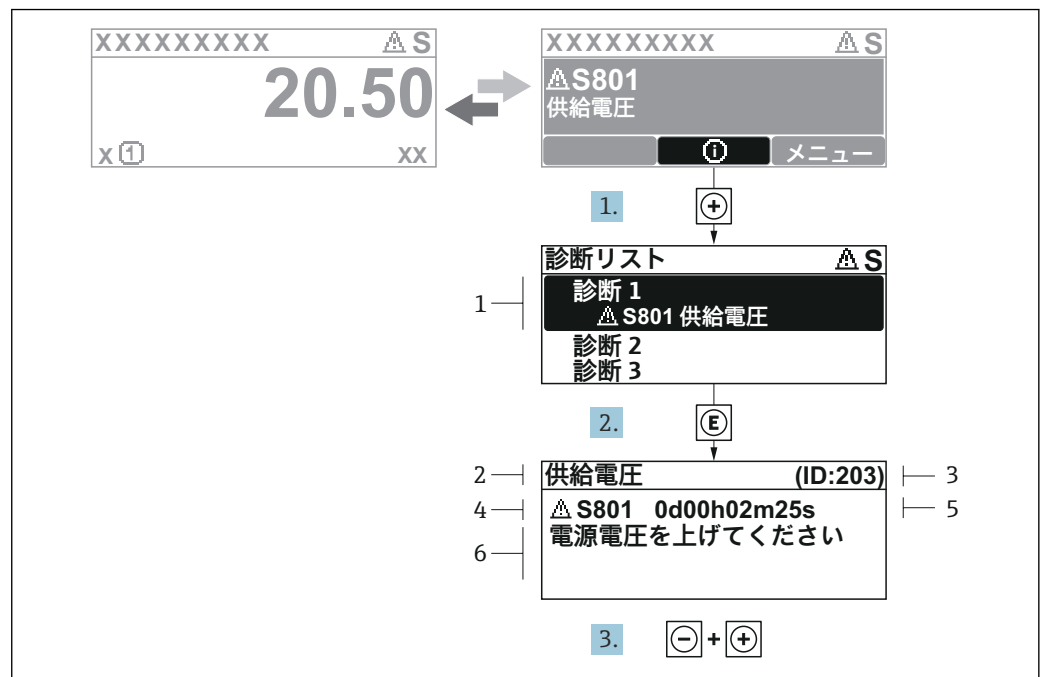


図 35 対処法のメッセージ

- 1 診断情報
- 2 ショートテキスト
- 3 サービス ID
- 4 診断動作と診断コード
- 5 イベントの発生時間
- 6 対処法

診断メッセージを表示します。

1. 田 を押します (① シンボル)。
 - ↳ 診断リスト サブメニュー が開きます。
2. 田 または 田 を使用して必要な診断イベントを選択し、田 を押します。
 - ↳ 選択した診断イベントの対処法に関するメッセージが開きます。
3. 田 + 田 を同時に押します。
 - ↳ 対処法に関するメッセージが閉じます。

診断 メニュー内の診断イベントの入力項目に移動します (例: 診断リスト サブメニューまたは 前回の診断結果)。

1. 田 を押します。
 - ↳ 選択した診断イベントの対処法に関するメッセージが開きます。
2. 田 + 田 を同時に押します。
 - ↳ 対処法に関するメッセージが閉じます。

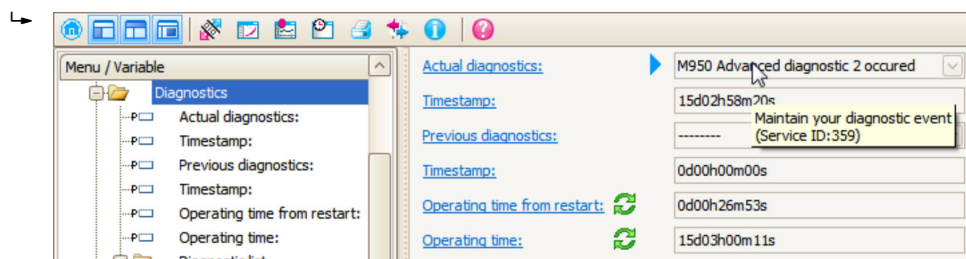
13.3 操作ツール上の診断イベント

機器で診断イベントが発生している場合は、操作ツールのステータス左上にステータス信号が、対応するイベントレベルのシンボルとともに表示されます (NAMUR NE 107 に準拠)。

- 故障 (F)
- 機能チェック (C)
- 仕様範囲外 (S)
- メンテナンスが必要 (M)

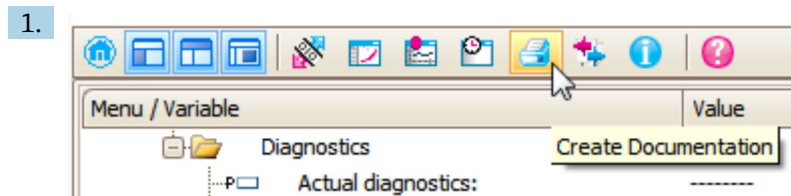
A: 操作メニューから

1. **診断** メニューに移動します。
 - ➡ **現在の診断結果** パラメータには、診断イベントとイベントテキストが表示されます。
2. 表示範囲の右側にある**現在の診断結果** パラメータの上にカーソルを合わせます。

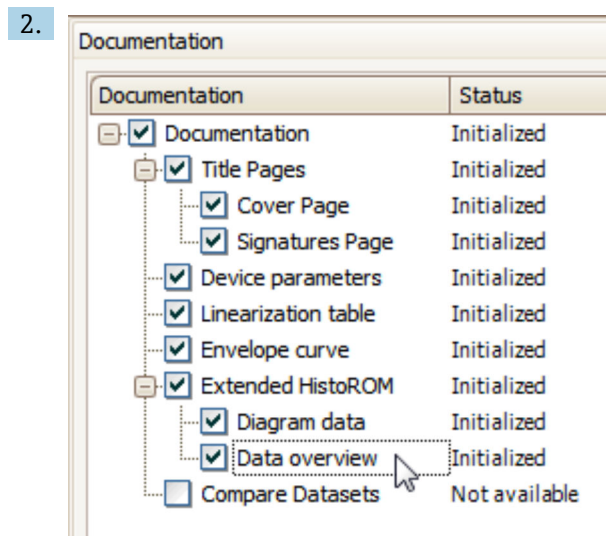


診断イベントに対する対処法のヒントが表示されます。

B: 「ドキュメントの作成」機能から



「ドキュメントの作成」機能を選択します。

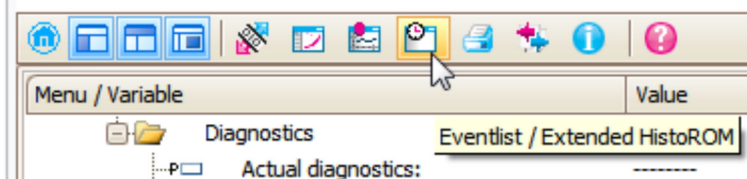


「データの概要」にチェックが入っていることを確認します。

3. 「名前をつけて保存 ...」をクリックしてプロトコルの PDF を保存します。
 - ➡ プロトコルには診断メッセージと対処法情報が含まれます。

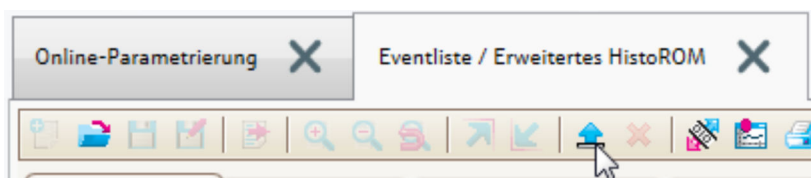
C:「イベントリスト/拡張 HistoROM」機能から

1.



「イベントリスト/拡張 HistoROM」機能を選択します。

2.



「イベントリストの読み込み」機能を選択します。

→ 対処法情報を含むイベントリストが「データの概要」ウィンドウに表示されます。

13.4 診断/変換器ブロック (TRDDIAG) の診断メッセージ

- **現在の診断結果**パラメータは、最優先のメッセージを表示します。また、すべてのメッセージは FOUNDATION Fieldbus 仕様に準拠し、**XD_ERROR** および **BLOCK_ERROR** パラメータによって出力されます。
- 診断メッセージのリストは、**診断 1** ～ **診断 5** パラメータに表示されます。5 件以上のメッセージがアクティブである場合は、最優先のメッセージのみが表示されます。
- **前回の診断結果**パラメータを使用すると、アクティブでないアラームのリスト (イベントログ) を表示できます。

13.5 診断リスト

診断リスト サブメニュー サブメニューでは、現在未処理の診断メッセージを最大 5 件表示できます。5 件以上のメッセージが未処理の場合は、最優先に処理する必要のあるメッセージが表示部に示されます。

ナビゲーションパス

診断 → 診断リスト

対処法の呼び出しと終了

1.

☐ を押します。

→ 選択した診断イベントの対処法に関するメッセージが開きます。

2.

☐ + ☐ を同時に押します。

→ 対処法に関するメッセージが閉じます。

13.6 イベントログ

13.6.1 イベント履歴

発生したイベントメッセージの一覧表が時系列で **イベントリスト** サブメニューに表示されます。⁶⁾ の「イベントリスト/HistoROM」機能で表示できます。

6) このサブメニューは現場表示器を介して操作する場合にのみ使用できます。FieldCare を介して操作する場合、イベントリストは FieldCare

ナビゲーションパス

診断 → イベントログブック → イベントリスト

最大 100 件のイベントメッセージを時系列に表示できます。

イベント履歴には以下の項目が含まれます。

- 診断イベント
- 情報イベント

各イベントの発生時間に加えて、そのイベントの発生または終了を示すシンボルが割り当てられます。

- 診断イベント
 - ⊖ : イベント発生
 - ⊕ : イベント終了
- 情報イベント
 - ⊖ : イベント発生

対処法の呼び出しと終了

1.  を押します。
 - ↳ 選択した診断イベントの対処法に関するメッセージが開きます。
2.  +  を同時に押します。
 - ↳ 対処法に関するメッセージが閉じます。

13.6.2 イベントログのフィルタリング

フィルタオプション パラメータ を使用すると、**イベントリスト** サブメニュー に表示するイベントメッセージのカテゴリーを設定できます。

ナビゲーションパス

診断 → イベントログブック → フィルタオプション

フィルタカテゴリー

- すべて
- 故障 (F)
- 機能チェック (C)
- 仕様範囲外 (S)
- メンテナンスが必要 (M)
- 情報

13.6.3 情報イベントの概要

情報番号	情報名
I1000	----- (装置 OK)
I1089	電源オン
I1090	設定のリセット
I1091	設定変更済
I1092	トレンドデータが消去されました。
I1110	書き込み保護スイッチ変更
I1137	電子部が交換されました
I1151	履歴のリセット
I1154	最小/最大端子電圧のリセット
I1155	電子部内温度のリセット
I1156	メモリエラー トренд
I1157	メモリエラー イベントリスト

情報番号	情報名
I1185	表示バックアップ完了
I1186	表示ディスプレイでの復元
I1187	表示ディスプレイでダウンロードされた設定
I1188	表示データクリア済
I1189	バックアップ比較完了
I1256	表示: アクセスステータス変更
I1264	安全機能が中断されました
I1335	ファームウェアの変更
I1397	フィールドバス: アクセスステータス変更
I1398	CDI: アクセスステータス変更
I1512	ダウンロードを開始しました
I1513	ダウンロード終了
I1514	アップロード開始
I1515	アップロード完了

13.7 ファームウェアの履歴

日付	ファームウェアのバージョン	変更	関連資料 (FMP51、FMP52、FMP54、FOUNDATION フィールドバス)		
			取扱説明書	機能説明書	技術仕様書
2012 年 4 月	01.00.zz	初期ソフトウェア	BA01052F/00/EN/01.12	GP01015F/00/EN/01.12	TI01001F/00/JA/15.12
2015 年 5 月	01.01.zz	- SD03 のサポート - 言語の追加 - HistoROM 機能の拡張 「高度な診断」機能ブロックの統合 - 機能改良およびバグ修正	BA01052F/00/EN/03.15 BA01052F/00/EN/04.16 ¹⁾	GP01015F/00/EN/02.15	TI01001F/00/EN/19.15 TI01001F/00/EN/22.16 ¹⁾

1) DeviceCare および FieldCare の DTM 最新バージョンで使用できる Heartbeat ウィザードの情報が含まれます。



ファームウェアバージョンは、製品構成を使用して注文時に指定できます。これにより、既存のまたは計画中のシステム統合とファームウェアバージョンの互換性を確保することが可能です。

14 メンテナンス

本機器には、特別な保守はありません。

14.1 外部洗浄

機器の外部洗浄を行なう場合は、必ずハウジングとシールの表面に傷をつけない洗浄剤を使用してください。

15 修理

15.1 修理に関する一般情報

15.1.1 修理コンセプト

エンドレスハウザーの修理コンセプトでは、機器にモジュール式设计を採用することにより、弊社のサービス部門または専門トレーニングを受けたユーザが修理を実施できるようになっています。

スペアパーツは適切なキットに含まれています。キットには関連する交換説明書が同梱されています。

サービスおよびスペアパーツに関する詳細については、弊社のサービス部門にお問い合わせください。

15.1.2 防爆認定機器の修理

防爆認定機器を修理する場合は、以下の点に注意してください。

- 防爆認定機器の修理は、トレーニングを受けた作業員または弊社サービス部門のみが実施できます。
- 一般的な規格、各国の防爆区域規則、安全注意事項 (XA)、証明書に従ってください。
- 弊社純正スペアパーツのみを使用してください。
- スペアパーツを注文する場合は、銘板に示されている機器名称を明記してください。部品は、同じ部品としか交換できません。
- 取扱説明書に従って修理してください。修理が完了したら、機器の所定のルーチン試験を実施してください。
- 弊社サービス部門においてのみ、認証取得機器を別の認証バージョンに変更することが可能です。
- 修理および改造作業はすべて記録しておいてください。

15.1.3 電子モジュールの交換

校正パラメータがハウジング内にある HistoROM に保存されているため、電子モジュールの交換後、新しい基本設定を実施する必要はありません。ただし、メイン電子モジュールを交換した場合は、新しいマッピング（不要反射の除去）の記録が必要になる場合があります。

15.1.4 機器の交換

機器一式または電子モジュールを交換した後、以下のいずれかの方法により、機器内に再度パラメータをダウンロードできます。

- 表示モジュール経由
条件：古い機器の設定が表示モジュールに保存されていること → 220。
- FieldCare 経由
条件：古い機器の設定が FieldCare 経由でコンピュータに保存されていること。

新たな設定を行わずに、測定を継続することが可能です。リニアライゼーションとタンクマッピング（不要反射の除去）だけは、新たに記録する必要があります。

15.2 スペアパーツ

- 互換性のある機器コンポーネントの一部は、スペアパーツ型式銘板で確認できます。これには、スペアパーツに関する情報が含まれます。
- 機器の端子部カバーに、以下の情報が記載されたスペアパーツ型式銘板が付いています。
- 機器の主要なスペアパーツのリスト（スペアパーツの注文情報を含む）
- W@M デバイスビューアーの URL (www.endress.com/deviceviewer) :
機器のスペアパーツがすべて（オーダーコードを含め）リストされており、注文することが可能です。付随する取付指示が用意されている場合は、それもダウンロードできます。

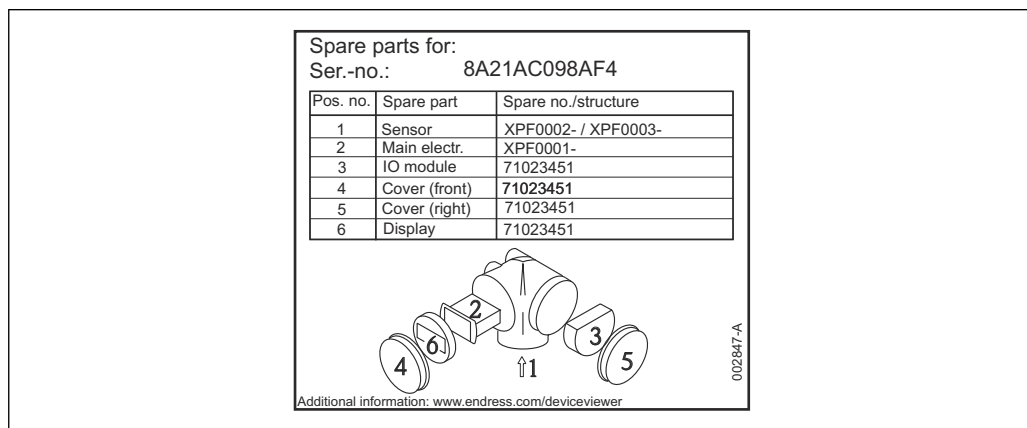


図 36 端子部カバーのスペアパーツ型式銘板の例

- i** 機器シリアル番号：
- 機器のスペアパーツ型式銘板に記載されています。
 - 「機器情報」サブメニューの「シリアル番号」から読み取ることができます。

15.3 返却

機器の修理または工場校正が必要な場合、あるいは、誤った機器が納入または注文された場合は、本機器を返却する必要があります。測定物と接触した製品が返却された場合、ISO 認証企業であるエンドレスハウザーは、法的規制に従って特定の手順でこれを取り扱わなければなりません。

迅速、安全、適切な機器返却を保証するため、弊社ウェブサイト
<http://www.endress.com/support/return-material> に記載されている返却の手順および条件をご覧ください。

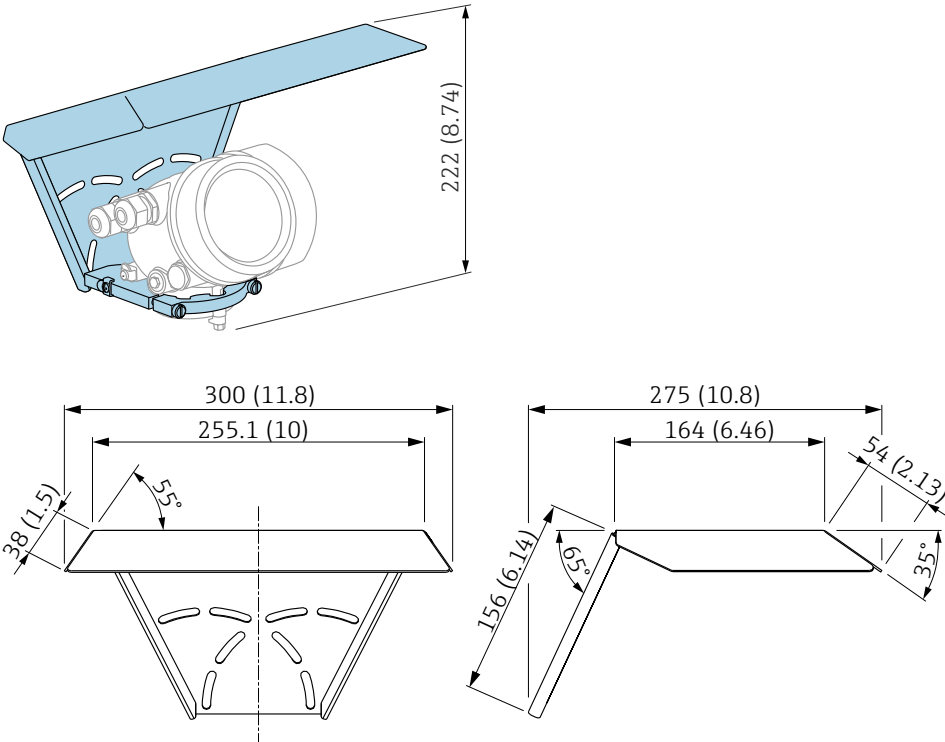
15.4 廃棄

- 廃棄する際には、以下の点に注意してください。
- 適用される各地域/各国の規定を遵守してください。
 - 機器コンポーネントを適切に分別および再利用してください。

16 アクセサリ

16.1 機器関連のアクセサリ

16.1.1 日除けカバー

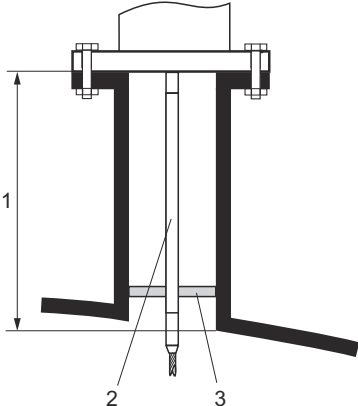
アクセサリ	説明
日除けカバー	 A0015466 A0015472 37 日除けカバー、寸法：mm (in) i 日除けカバーは機器と一緒に注文できます（製品構成、仕様コード 620「同梱アクセサリ」、オプション PB「日除けカバー」）。 または、アクセサリとして別途注文することも可能です（オーダーコード 71162242）。

16.1.2 電子部ハウジングの取付ブラケット

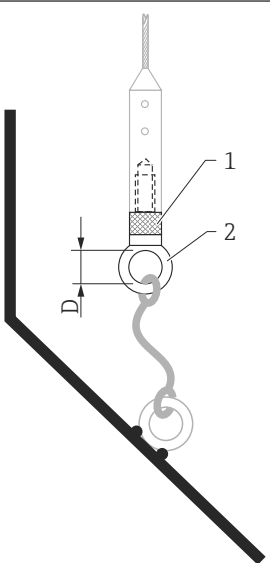
アクセサリ	説明
電子部ハウジングの取付 ブラケット	A 122 (4.8) 161 (6.34) 70 (2.8) 86 (3.4) B ø42...60 (1.65...2.36) 52 (2) 127...140 (5...5.51) 162...175 (6.38...6.89)  38 電子部部ハウジングの取付ブラケット：寸法：mm (in) A 壁取付け B パイプ取付け  「分離型センサ」機器バージョン（製品構成の仕様コード 060）の場合、取付ブラケットは納入品に含まれます。必要に応じて、アクセサリとして注文することも可能です（オーダーコード 71102216）。

A0014793

16.1.3 伸長ロッド/センタリング HMP40

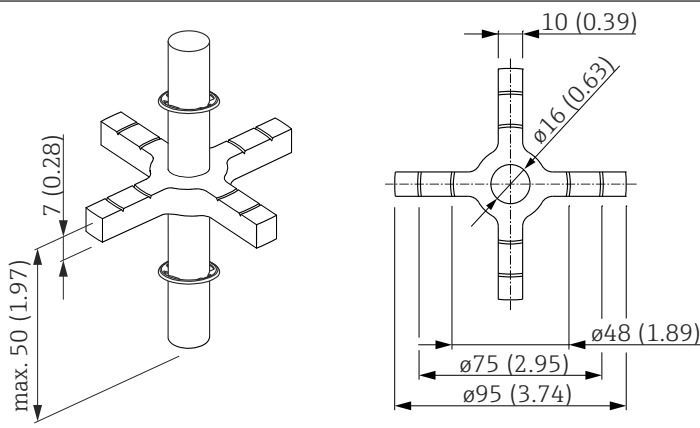
アクセサリ	説明																						
伸長ロッド/センタリング HMP40	 1 ノズル高 2 伸長ロッド 3 センタリングディスク A0013597																						
	<table><tr><td>010</td><td>認証</td></tr><tr><td>A</td><td>A : 非危険場所</td></tr><tr><td>M</td><td>M : FM DIP Cl.II Div.1 Gr.E-G N.I., zone 21,22</td></tr><tr><td>P</td><td>P : CSA DIP Cl.II Div.1 Gr.G + 炭塵 N.I.</td></tr><tr><td>S</td><td>S : FM Cl.I, II, III Div.1 Gr.A-G N.I., zone 0,1,2,20,21,22</td></tr><tr><td>U</td><td>U : CSA Cl.I, II, III Div.1 Gr.A-G N.I., zone 0,1,2</td></tr><tr><td>1</td><td>1 : ATEX II 1G</td></tr><tr><td>2</td><td>2 : ATEX II 1D</td></tr></table>	010	認証	A	A : 非危険場所	M	M : FM DIP Cl.II Div.1 Gr.E-G N.I., zone 21,22	P	P : CSA DIP Cl.II Div.1 Gr.G + 炭塵 N.I.	S	S : FM Cl.I, II, III Div.1 Gr.A-G N.I., zone 0,1,2,20,21,22	U	U : CSA Cl.I, II, III Div.1 Gr.A-G N.I., zone 0,1,2	1	1 : ATEX II 1G	2	2 : ATEX II 1D						
010	認証																						
A	A : 非危険場所																						
M	M : FM DIP Cl.II Div.1 Gr.E-G N.I., zone 21,22																						
P	P : CSA DIP Cl.II Div.1 Gr.G + 炭塵 N.I.																						
S	S : FM Cl.I, II, III Div.1 Gr.A-G N.I., zone 0,1,2,20,21,22																						
U	U : CSA Cl.I, II, III Div.1 Gr.A-G N.I., zone 0,1,2																						
1	1 : ATEX II 1G																						
2	2 : ATEX II 1D																						
	<table><tr><td>020</td><td>伸長ロッド ; ノズル高 :</td></tr><tr><td>1</td><td>115mm; 150-250mm / 6-10"</td></tr><tr><td>2</td><td>215mm; 250-350mm / 10-14"</td></tr><tr><td>3</td><td>315mm; 350-450mm / 14-18"</td></tr><tr><td>4</td><td>415mm; 450-550mm / 18-22"</td></tr><tr><td>9</td><td>特殊仕様、TSP No.要問合せ</td></tr></table>	020	伸長ロッド ; ノズル高 :	1	115mm; 150-250mm / 6-10"	2	215mm; 250-350mm / 10-14"	3	315mm; 350-450mm / 14-18"	4	415mm; 450-550mm / 18-22"	9	特殊仕様、TSP No.要問合せ										
020	伸長ロッド ; ノズル高 :																						
1	115mm; 150-250mm / 6-10"																						
2	215mm; 250-350mm / 10-14"																						
3	315mm; 350-450mm / 14-18"																						
4	415mm; 450-550mm / 18-22"																						
9	特殊仕様、TSP No.要問合せ																						
	<table><tr><td>030</td><td>センタリングディスク :</td></tr><tr><td>A</td><td>非選択</td></tr><tr><td>B</td><td>DN40 / 1-1/2", 内径 = 40-45mm, PPS</td></tr><tr><td>C</td><td>DN50 / 2", 内径 = 50-57mm, PPS</td></tr><tr><td>D</td><td>DN80 / 3", 内径 = 80-85mm, PPS</td></tr><tr><td>E</td><td>DN80 / 3", 内径 = 76-78mm, PPS</td></tr><tr><td>G</td><td>DN100 / 4", 内径 = 100-110mm, PPS</td></tr><tr><td>H</td><td>DN150 / 6", 内径 = 152-164mm, PPS</td></tr><tr><td>J</td><td>DN200 / 8", 内径 = 210-215mm, PPS</td></tr><tr><td>K</td><td>DN250 / 10", 内径 = 253-269mm, PPS</td></tr><tr><td>Y</td><td>特殊仕様、TSP No.要問合せ</td></tr></table>	030	センタリングディスク :	A	非選択	B	DN40 / 1-1/2", 内径 = 40-45mm, PPS	C	DN50 / 2", 内径 = 50-57mm, PPS	D	DN80 / 3", 内径 = 80-85mm, PPS	E	DN80 / 3", 内径 = 76-78mm, PPS	G	DN100 / 4", 内径 = 100-110mm, PPS	H	DN150 / 6", 内径 = 152-164mm, PPS	J	DN200 / 8", 内径 = 210-215mm, PPS	K	DN250 / 10", 内径 = 253-269mm, PPS	Y	特殊仕様、TSP No.要問合せ
030	センタリングディスク :																						
A	非選択																						
B	DN40 / 1-1/2", 内径 = 40-45mm, PPS																						
C	DN50 / 2", 内径 = 50-57mm, PPS																						
D	DN80 / 3", 内径 = 80-85mm, PPS																						
E	DN80 / 3", 内径 = 76-78mm, PPS																						
G	DN100 / 4", 内径 = 100-110mm, PPS																						
H	DN150 / 6", 内径 = 152-164mm, PPS																						
J	DN200 / 8", 内径 = 210-215mm, PPS																						
K	DN250 / 10", 内径 = 253-269mm, PPS																						
Y	特殊仕様、TSP No.要問合せ																						

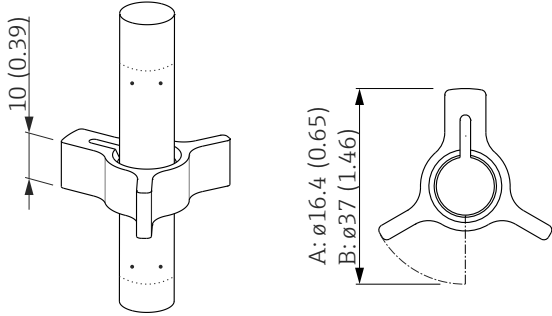
16.1.4 取付キット（絶縁）

アクセサリ	説明
取付キット（絶縁） 以下に使用可能： ■ FMP51 ■ FMP54	 図 39 取付キットの供給範囲： 1 絶縁スリーブ 2 アイボルト プローブの確実な絶縁固定用。 最大プロセス温度：150 °C (300 °F) ローブプローブ 4 mm (1/8 in) または 6 mm (1/4 in)、PA > スチール用： ■ 直径 D = 20 mm (0.8 in) ■ オーダー番号：52014249 ローブプローブ 6 mm (1/4 in) または 8 mm (1/3 in)、PA > スチール用： ■ 直径 D = 25 mm (1 in) ■ オーダー番号：52014250 絶縁スリーブは帯電のリスクがあるので、危険場所で使用するのは不適切です。 必ず固定具を接地する必要があります。 i 取付キットは、機器と同時に注文することも可能です (Levelflex の製品構成、仕様コード 620 「同梱アクセサリ」、オプション PG 「取付キット, 絶縁, ロープ」を参照)。

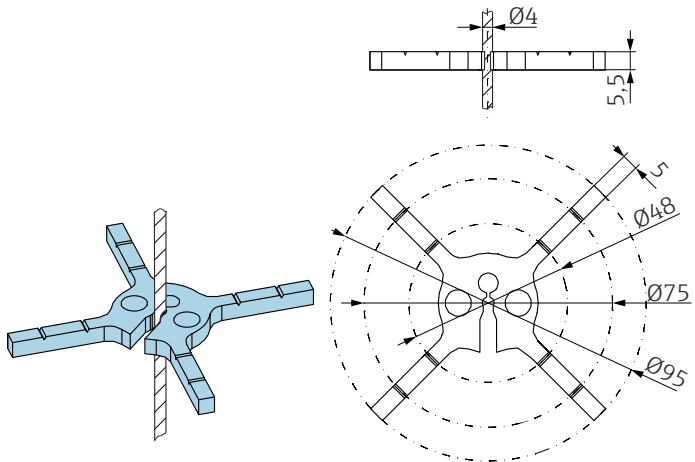
A0013586

16.1.5 センタリングスター

アクセサリ	説明
センタリングスター PEEK ϕ 48 ~ 95 mm (1.89 ~ 3.74 inch) 以下に使用可能： ■ FMP51 ■ FMP54	 A0014576 センタリングスターは、直径が 16 mm (0.6 in) のロッド型プローブに適しており、呼び口径 50A (2") ~ 100A (4") のパイプで使用できます。4 脚センタリングスターのマーキングにより、簡単・的確にセンタリングスターをパイプ直径に合わせるすることができます。取扱説明書 BA00377F も参照してください。 ■ センタリングスターの材質：PEEK（静的散逸） ■ 止めリングの材質：PH15-7Mo（UNS S15700） ■ 許容プロセス温度：-60~+200 °C (-76~+392 °F) ■ オーダーコード：71069064 i センタリングスターを外筒管に挿入する場合は、外筒管の下側の排出口よりも下に取り付けてください。プローブ長を選択する際、取付位置を考慮してください。通常、センタリングスターは、プローブ終端よりも 50 mm (1.97") 以上高い位置に取り付けられないでください。ロッドプローブの測定範囲内には、PEEK センタリングスターを挿入しないでください。 i PEEK センタリングスターは機器と同時に注文することも可能です (Levelflex の製品構成、仕様コード 610「取付け済みアクセサリ」、オプション OD を参照)。この場合は、止めリングで固定されません。代わりに、六角頭ボルト (A4-70) とノルトロックワッシャ (1.4547) を使用してロッドプローブ終端に固定されます。

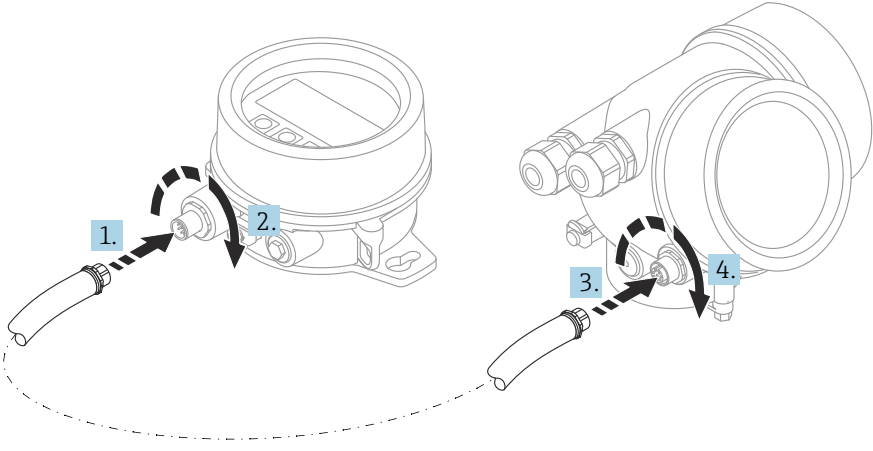
アクセサリ	説明
センタリングスター PFA ■ ϕ 16.4 mm (0.65 in) ■ ϕ 37 mm (1.46 in) 以下に使用可能： ■ FMP51 ■ FMP52 ■ FMP54	 A 8mm (0.3 in) プローブ用 B 12 mm (0.47 in) および 16 mm (0.63 in) プローブ用 センタリングスターは、直径が 8 mm (0.3 in)、12 mm (0.47 in) および 16 mm (0.63 in) のロッド型プローブに（またはコーティングされたロッドプローブにも）適しており、呼び口径 40A (1½") ~ 50A (2") のパイプで使用できます。取扱説明書 BA00378F も参照してください。 ■ 材質：PFA ■ 許容プロセス温度：-200~+250 °C (-382~+482 °F) ■ オーダーコード ■ プローブ 8 mm (0.3 in) : 71162453 ■ プローブ 12 mm (0.47 in) : 71157270 ■ プローブ 16 mm (0.63 in) : 71069065  PFA センタリングスターは機器と同時に注文することも可能です (Levelflex の製品構成、仕様コード 610「取付け済みアクセサリ」、オプション OE を参照)。

A0014577

アクセサリ	説明
センタリングスター PEEK、ϕ 48~95 mm (1.9~3.7 in) 以下に使用可能： ■ FMP51 ■ FMP54	 センタリングスターは、直径が 4 mm (⅛ in) のロープ型プローブに（またはコーティングされたロッドプローブにも）適しています。取扱説明書 SD01961F も参照してください。 ■ 材質：PEEK ■ 許容プロセス温度：-60~+250 °C (-76~+482 °F) ■ オーダーコード ■ 71373490 (1 個) ■ 71373492 (5 個)  PFA センタリングスターは機器と同時に注文することも可能です (Levelflex の製品構成、仕様コード 610「取付け済みアクセサリ」、オプション OD を参照)。

A0035182

16.1.6 リモート表示部 FHX50

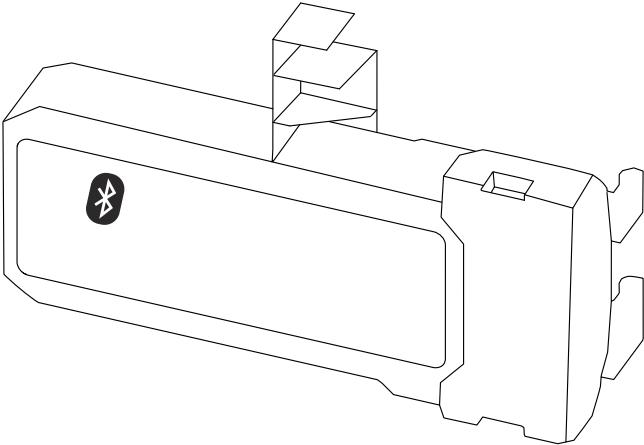
アクセサリ	説明
リモート表示部 FHX50	 A0019128 ■ 材質： ■ プラスチック PBT ■ SUS 316L 相当/1.4404 ■ アルミニウム ■ 保護等級：IP68 / NEMA 6P および IP66 / NEMA 4x ■ 表示モジュールに適合： ■ SD02（プッシュボタン） ■ SD03（タッチコントロール） ■ 接続ケーブル： ■ 機器と一緒に納入されるケーブル、最大 30 m (98 ft) ■ ユーザー側で用意する標準ケーブル、最大 60 m (196 ft) ■ 周囲温度範囲：-40～80 °C (-40～176 °F) ■ 周囲温度範囲（オプション）：-50～80 °C (-58～176 °F)¹⁾  ■ リモート表示部を使用する場合は、機器バージョン「表示部 FHX50 用」（仕様コード 030、バージョン L、M または N）を注文してください。FHX50 の場合は、仕様コード 050「機器バージョン」でオプション A「表示部 FHX50 用」を選択する必要があります。 ■ 機器バージョン「表示部 FHX50 用」を最初に注文せずに、FHX50 表示部を後付けする場合は、FHX50 の注文時に仕様コード 050「機器バージョン」でバージョン B「表示部 FHX50 用ではない」を選択しなければなりません。この場合、機器の改造キットが FHX50 と一緒に納入されます。このキットにより、FHX50 が使用できるように機器を準備することが可能です。  認定を取得した変換器の場合、FHX50 の使用が制限される場合があります。機器に FHX50 を後付けできるのは、機器の安全上の注意事項（XA）の基本仕様、項目 4「表示部/操作部」でオプション L、M または N（「FHX50 用」）がリストに記載されている場合だけです。 FHX50 の安全上の注意事項（XA）についても注意してください。  以下の変換器には後付けできません。 ■ 可燃性粉塵のある領域で使用するための認定機器（粉塵防爆認定） ■ Ex nA 保護タイプ  詳細については、資料 SD01007F を参照してください。

1) この範囲は、注文仕様コード 580「試験、証明」でオプション JN「周囲温度変換器 -50 °C (-58 °F)」を選択した場合に有効となります。温度が恒久的に -40 °C (-40 °F) 以下になる場合、故障率が高まる可能性があります。

16.1.7 過電圧保護

アクセサリ	説明
2 線式機器用の過電圧保護 OVP10 (1 チャンネル) OVP20 (2 チャンネル)	A0021734 技術データ ■ 1 チャンネル当たりの抵抗 : $2 * 0.5 \Omega_{\max}$ ■ DC 電圧しきい値 : 400~700 V ■ インパルス電圧しきい値 : < 800 V ■ 1 MHz の静電容量 : < 1.5 pF ■ インパルス電圧の公称放電電流 (8/20 μs) : 10 kA ■ 次のケーブル断面積に適している : 0.2~2.5 mm² (24~14 AWG) i 機器と一緒に注文 過電圧保護モジュールは、機器と一緒に注文することをお勧めします。製品構成、仕様コード 610「取付け済みアクセサリ」、オプション NA「過電圧保護」を参照してください。モジュールの別途注文が必要になるのは、機器に過電圧保護を後付けする場合だけです。 i 後付け用のオーダーコード ■ 1 チャンネル機器 (仕様コード 020、オプション A) の場合 OVP10 : 71128617 ■ 2 チャンネル機器 (仕様コード 020、オプション B、C、E または G) の場合 OVP20 : 71128619 後付け用のハウジングカバー 機器に過電圧保護を後付けした場合、必要な安全距離を保つには、ハウジングカバーを交換する必要があります。ハウジングタイプに応じて、適切なカバーのオーダーコードは次の通りです。 ■ GT18 ハウジング : カバー 71185516 ■ GT19 ハウジング : カバー 71185518 ■ GT20 ハウジング : カバー 71185516 i 後付けに関する制限事項 変換器の認定に応じて、OVP モジュールの使用が制限される場合があります。機器に OVP モジュールを後付けできるのは、その機器に関する安全上の注意事項 (XA) のオプション仕様の下にオプション NA (過電圧保護) が引用されている場合だけです。 i 詳細については、SD01090F を参照してください。

16.1.8 HART 機器用の Bluetooth モジュール

アクセサリ	説明
Bluetooth モジュール	 A0036493 ■ SmartBlue（アプリ）経由で迅速かつ容易に機器設定が可能 ■ 追加のツールまたはアダプタは不要 ■ SmartBlue（アプリ）経由の信号カーブ ■ 暗号化されたシングル・ポイントツーポイント・データ伝送（Fraunhofer institue による試験済み）および Bluetooth® ワイヤレス技術を介した、パスワード保護された通信 ■ 基準条件下の範囲： > 10 m (33 ft)  Bluetooth モジュールをを使用している場合は、最小供給電圧が最大 3 V 上昇します。.  機器と一緒に注文 Bluetooth モジュールは、機器と一緒に注文することをお勧めします。製品構成の仕様コード 610「取付け済みアクセサリ」、オプション NF「Bluetooth」を参照してください。改造の必要がある場合のみ別注してください。  後付け用のオーダーコード Bluetooth モジュール（BT10）：71377355  改造における制約事項 変換器の認定に応じて、Bluetooth モジュールの使用が制限される場合があります。関連する安全上の注意事項（XA）のオプション仕様にオプション NF（Bluetooth）が記載されている機器のみ Bluetooth モジュールを組み込むことができます。  詳細については、SD02252F を参照してください。

16.2 通信関連のアクセサリ

アクセサリ	説明
Commubox FXA291	CDI インターフェイス (= Endress+Hauser Common Data Interface) 付きの Endress+Hauser 製フィールド機器とコンピュータの USB インターフェイスを接続します。 オーダーコード : 51516983  詳細については、技術仕様書 TI00405C を参照してください。

アクセサリ	説明
Field Xpert SFX350	Field Xpert SFX350 は、設定およびメンテナンス用のモバイルコンピュータです。非危険場所での HART および FOUNDATION フィールドバス機器の効率的な機器設定および診断が可能です。  詳細については、「取扱説明書」BA01202S を参照してください。

アクセサリ	説明
Field Xpert SFX370	Field Xpert SFX370 は、設定およびメンテナンス用のモバイルコンピュータです。非危険場所および危険場所での HART および FOUNDATION フィールドバス機器の効率的な機器設定および診断が可能です。  詳細については、「取扱説明書」BA01202S を参照してください。

16.3 サービス関連のアクセサリ

アクセサリ	説明
DeviceCare SFE100	HART、PROFIBUS および FOUNDATION フィールドバス機器の設定ツールです。  技術仕様書 TI01134S  - DeviceCare は、www.software-products.endress.com からダウンロードできます。ダウンロードするには、Endress+Hauser ソフトウェアポータルでの登録が必要です。 - または、DeviceCare DVD を機器と一緒に注文することが可能です。製品構成：仕様コード 570「サービス」、オプション IV「ツーリング DVD (DeviceCare 設定)」
FieldCare SFE500	FDT ベースプラントアセットマネジメントツール このツールは、システム内のあらゆるフィールド機器を設定し、その機器を管理する助けとなります。ステータス情報が表示され、機器の診断もサポートできます。  技術仕様書 TI00028S

16.4 システムコンポーネント

アクセサリ	説明
メモグラフ M グラフィックデータマネージャ	メモグラフ M グラフィックデータマネージャには、関連するプロセス変数の情報がすべて表示されます。測定値を正確に記録し、リミット値の監視、測定ポイントの解析を行います。データは、256 MB の内部メモリに保存され、SD カードや USB スティックにも保存されます。  詳細については、技術仕様書 (TI00133R) および取扱説明書 (BA00247R) を参照してください。

17 操作メニュー

17.1 操作メニューの概要（表示モジュール）

ナビゲーション  操作メニュー

Language

 設定

→  176

動作モード

距離の単位

タンクタイプ

パイプ直径

タンクレベル

上部接続までの距離

DC 値

測定物グループ

空校正

満量校正

レベル

界面

距離

界面距離

信号品質

▶ マッピング

→  175

距離の確定

→  175

マッピングの最終点

→  175

148

Endress+Hauser

マップ記録	→ 175
距離	→ 175
▶ Analog inputs	
▶ Analog input 1～5	→ 176
Block tag	→ 176
Channel	→ 176
Process Value Filter Time	→ 177
▶ 高度な設定	→ 178
ロック状態	→ 178
アクセスステータス表示	→ 178
アクセスコード入力	→ 179
▶ レベル	→ 180
測定物タイプ	→ 180
測定物特性	→ 180
プロセス特性	→ 181
高度なプロセス条件	→ 182
レベル単位	→ 183
不感知距離	→ 183
レベル補正	→ 184
▶ 界面	→ 185
プロセス特性	→ 185
下層測定物の DC	→ 185
レベル単位	→ 186
不感知距離	→ 186

レベル補正	→ 187
▶ DC の自動計算	→ 190
上層部の厚さ手動入力	→ 190
DC 値	→ 190
DC の計算値を使用	→ 190
▶ リニアライゼーション	→ 192
リニアライゼーションの方式	→ 194
リニアライゼーション後の単位	→ 195
フリーテキスト	→ 196
最大値	→ 197
直径	→ 197
中間高さ	→ 197
テーブルモード	→ 198
▶ テーブルの編集	
レベル	
ユーザー様の値	
テーブルを有効にする	→ 200
▶ 安全設定	→ 201
出力エコー信号消失	→ 201
エコー信号消失時の値	→ 201
エコー信号消失時急上昇	→ 202
不感知距離	→ 183

▶ プローブ設定	→ 204
プローブ接地	→ 204
▶ プローブ長の補正	→ 206
プローブ長の確認	→ 206
実際のプローブ長	→ 206
▶ スイッチ出力	→ 207
スイッチ出力機能	→ 207
ステータスの割り当て	→ 207
リミットの割り当て	→ 208
診断動作の割り当て	→ 208
スイッチオンの値	→ 209
スイッチオンの遅延	→ 210
スイッチオフの値	→ 210
スイッチオフの遅延	→ 211
フェールセーフモード	→ 211
ステータス切り替え	→ 211
出力信号の反転	→ 211
▶ 表示	→ 213
Language	→ 213
表示形式	→ 213
1～4 の値表示	→ 215
小数点桁数 1～4	→ 215
表示間隔	→ 216
表示のダンピング	→ 216
ヘッダー	→ 216

ヘッダーテキスト	→ 217
区切り記号	→ 217
数値形式	→ 217
小数点桁数メニュー	→ 218
バックライト	→ 218
表示のコントラスト	→ 218
▶ 設定バックアップの表示	→ 220
稼動時間	→ 220
最後のバックアップ	→ 220
設定管理	→ 220
比較の結果	→ 221
▶ 管理	→ 223
▶ アクセスコード設定	→ 225
アクセスコード設定	→ 225
アクセスコードの確認	→ 225
機器リセット	→ 223
🔍 診断	→ 226
現在の診断結果	→ 226
前回の診断結果	→ 226
再起動からの稼動時間	→ 227
稼動時間	→ 220
▶ 診断リスト	→ 228
診断 1～5	→ 228

▶ イベントログブック	→ 229
フィルタオプション	
▶ イベントリスト	→ 229
▶ 機器情報	→ 230
デバイスのタグ	→ 230
シリアル番号	→ 230
ファームウェアのバージョン	→ 230
機器名	→ 231
オーダーコード	→ 231
拡張オーダーコード 1～3	→ 231
▶ 測定値	→ 232
距離	→ 167
リニアライゼーションされたレベル	→ 196
界面距離	→ 171
リニアライゼーションされた界面	→ 196
上層部の厚さ	→ 234
端子電圧 1	→ 234
▶ Analog inputs	
▶ Analog input 1～5	→ 234
Block tag	→ 176
Channel	→ 176
Status	→ 235
Value	→ 236
Units index	→ 236

▶ データのログ	→ 237
チャンネル 1~4 の割り当て	→ 237
ロギングの時間間隔	→ 238
すべてのログをリセット	→ 238
▶ チャンネル 1~4 表示	→ 239
▶ シミュレーション	→ 242
測定値の割り当て	→ 243
測定値	→ 243
シミュレーションスイッチ出力	→ 243
ステータス切り替え	→ 244
機器アラームのシミュレーション	→ 244
▶ 機器チェック	→ 245
機器チェック開始	→ 245
機器チェックの結果	→ 245
前回のチェック時刻	→ 245
レベル信号	→ 246
開始信号	→ 246
界面信号	→ 246

17.2 操作メニューの概要（操作ツール）

ナビゲーション  操作メニュー

🔧 設定

→ 176

動作モード

距離の単位

タンクタイプ

パイプ直径

測定物グループ

空校正

満量校正

レベル

距離

信号品質

タンクレベル

上部接続までの距離

DC 値

界面

界面距離

距離の確定

現在のマッピング

マッピングの最終点

マップ記録

▶ Analog inputs

▶ Analog input 1～5

Block tag

→ 176

→ 176

Channel	→ 176
Process Value Filter Time	→ 177
▶ 高度な設定	→ 178
ロック状態	→ 178
アクセスステータス ツール	→ 178
アクセスコード入力	→ 179
▶ レベル	→ 180
測定物タイプ	→ 180
測定物特性	→ 180
プロセス特性	→ 181
高度なプロセス条件	→ 182
レベル単位	→ 183
不感知距離	→ 183
レベル補正	→ 184
▶ 界面	→ 185
プロセス特性	→ 185
下層測定物の DC	→ 185
レベル単位	→ 186
不感知距離	→ 186
レベル補正	→ 187
上層部の厚さ手動入力	→ 187
測定された上層部厚さ	→ 188
DC 値	→ 188
DC の計算値	→ 188
DC の計算値を使用	→ 189

▶ リニアライゼーション	→ 192
リニアライゼーションの方式	→ 194
リニアライゼーション後の単位	→ 195
フリーテキスト	→ 196
リニアライゼーションされたレベル	→ 196
リニアライゼーションされた界面	→ 196
最大値	→ 197
直径	→ 197
中間高さ	→ 197
テーブルモード	→ 198
テーブル番号	→ 199
レベル	→ 199
レベル	→ 199
ユーザー様の値	→ 200
テーブルを有効にする	→ 200
▶ 安全設定	→ 201
出力エコー信号消失	→ 201
エコー信号消失時の値	→ 201
エコー信号消失時急上昇	→ 202
不感知距離	→ 183
▶ プローブ設定	→ 204
プローブ接地	→ 204
実際のプローブ長	→ 204
プローブ長の確認	→ 205

▶ スイッチ出力

→ 207

スイッチ出力機能

→ 207

ステータスの割り当て

→ 207

リミットの割り当て

→ 208

診断動作の割り当て

→ 208

スイッチオンの値

→ 209

スイッチオンの遅延

→ 210

スイッチオフの値

→ 210

スイッチオフの遅延

→ 211

フェールセーフモード

→ 211

ステータス切り替え

→ 211

出力信号の反転

→ 211

▶ 表示

→ 213

Language

→ 213

表示形式

→ 213

1～4 の値表示

→ 215

小数点桁数 1～4

→ 215

表示間隔

→ 216

表示のダンピング

→ 216

ヘッダー

→ 216

ヘッダーテキスト

→ 217

区切り記号

→ 217

数値形式

→ 217

小数点桁数メニュー

→ 218

バックライト	→ 218
表示のコントラスト	→ 218
▶ 設定バックアップの表示	→ 220
稼動時間	→ 220
最後のバックアップ	→ 220
設定管理	→ 220
バックアップのステータス	→ 221
比較の結果	→ 221
▶ 管理	→ 223
アクセスコード設定	
機器リセット	→ 223
🔍 診断	→ 226
現在の診断結果	→ 226
タイムスタンプ	→ 226
前回の診断結果	→ 226
タイムスタンプ	→ 227
再起動からの稼動時間	→ 227
稼動時間	→ 220
▶ 診断リスト	→ 228
診断 1～5	→ 228
タイムスタンプ 1～5	→ 228
▶ 機器情報	→ 230
デバイスのタグ	→ 230
シリアル番号	→ 230
ファームウェアのバージョン	→ 230

機器名	→ 231
オーダーコード	→ 231
拡張オーダーコード 1~3	→ 231
▶ 測定値	→ 232
距離	→ 167
リニアライゼーションされたレベル	→ 196
界面距離	→ 171
リニアライゼーションされた界面	→ 196
上層部の厚さ	→ 234
端子電圧 1	→ 234
▶ Analog inputs	
▶ Analog input 1~5	→ 234
Block tag	→ 176
Channel	→ 176
Status	→ 235
Value	→ 236
Units index	→ 236
▶ データのログ	→ 237
チャンネル 1~4 の割り当て	→ 237
ロギングの時間間隔	→ 238
すべてのログをリセット	→ 238
▶ シミュレーション	→ 242
測定値の割り当て	→ 243
測定値	→ 243
シミュレーションスイッチ出力	→ 243

ステータス切り替え	→  244
機器アラームのシミュレーション	→  244
▶ 機器チェック	→  245
機器チェック開始	→  245
機器チェックの結果	→  245
前回のチェック時刻	→  245
レベル信号	→  246
開始信号	→  246
界面信号	→  246
▶ Heartbeat	→  247

17.3 「設定」メニュー

- 
- : 表示部および操作モジュールによる、パラメータへのナビゲーションパスを示します。
 - : 操作ツール（例：FieldCare）による、パラメータへのナビゲーションパスを示します。
 - : ソフトウェアロックでロック可能なパラメータを示します。

ナビゲーション   設定

動作モード

ナビゲーション	  設定 → 動作モード
必須条件	機器が「界面測定」アプリケーションパッケージ（FMP51、FMP52、FMP54 に対応）を備えていること ⁷⁾ 。
説明	操作モードを選択します。
選択	■ レベル ■ 静電容量による界面[*] ■ 界面[*]
工場出荷時設定	FMP51/FMP52/FMP54：レベル

距離の単位

ナビゲーション	  設定 → 距離の単位						
説明	距離計算の長さ単位。						
選択	<table><tr><td>SI 単位</td><td>US 単位</td></tr><tr><td>■ mm</td><td>■ ft</td></tr><tr><td>■ m</td><td>■ in</td></tr></table>	SI 単位	US 単位	■ mm	■ ft	■ m	■ in
SI 単位	US 単位						
■ mm	■ ft						
■ m	■ in						

タンクタイプ

ナビゲーション	  設定 → タンクタイプ
必須条件	測定物タイプ (→  180) = 液体 に設定します。
説明	タンクタイプを選択します。

7) 製品構成：仕様コード 540「アプリケーションパッケージ」、オプション EB「界面測定」
* 表示はオーダーしたオプションや機器のセッティングにより異なります

選択	■ 金属 ■ 外筒管 ■ 非金属 ■ 外部取り付け ■ コアキシャル
工場出荷時設定	プローブに応じて異なります。
追加情報	■ プローブに応じて異なります。前述のオプションの一部を使用できない場合や、追加オプションが用意されている場合があります。 ■ コアキシャルプローブおよびまたは金属製センタリングディスクを持つプローブでは、タンクタイプ パラメータはプローブの種類に対応し、変更することができません。

パイプ直径

ナビゲーション	  設定 → パイプ直径
必須条件	■ タンクタイプ (→  162) = 外筒管 ■ プローブがコーティングされている
説明	外筒管または内筒管の直径を設定します。
ユーザー入力	0～9.999 m

測定物グループ

ナビゲーション	  設定 → 測定物グループ
必須条件	■ FMP51/FMP52/FMP54/FMP55 の場合：動作モード (→  162) = レベル ■ 測定物タイプ (→  180) = 液体 に設定します。
説明	測定物グループを選択します。
選択	■ その他 ■ 水ベース (DC ≥ 4)
追加情報	このパラメータには、測定物の大まかな比誘電率 (DC 値) を指定します。DC をより詳細に定義するには、 測定物特性 パラメータ (→  180)を使用します。

測定物グループ パラメータの**測定物特性** パラメータ (→ 180)の工場設定は、次のとおりです。

測定物グループ	測定物特性 (→ 180)
その他	不明
水ベース (DC >= 4)	DC 4 ... 7

- i

測定物特性 パラメータは、後から変更できます。しかし、その場合、**測定物グループ** パラメータの値は保たれます。**測定物特性** パラメータのみが信号評価に関係します。
- i

比誘電率が小さい場合、測定範囲が減少することがあります。詳細については、各機器の技術仕様書 (TI) を参照してください。

空校正

ナビゲーション

設定 → 空校正

説明

最低レベルからプロセス接続まで距離。

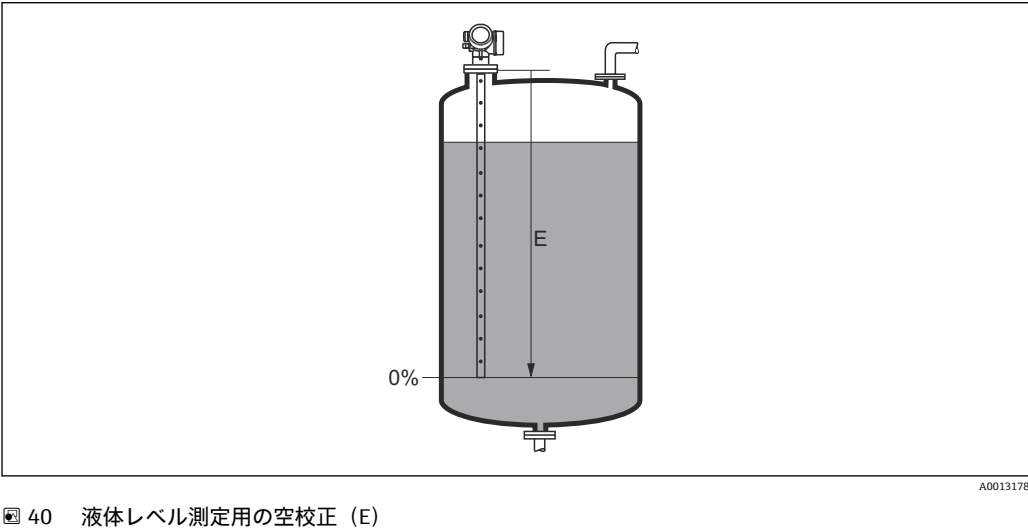
ユーザー入力

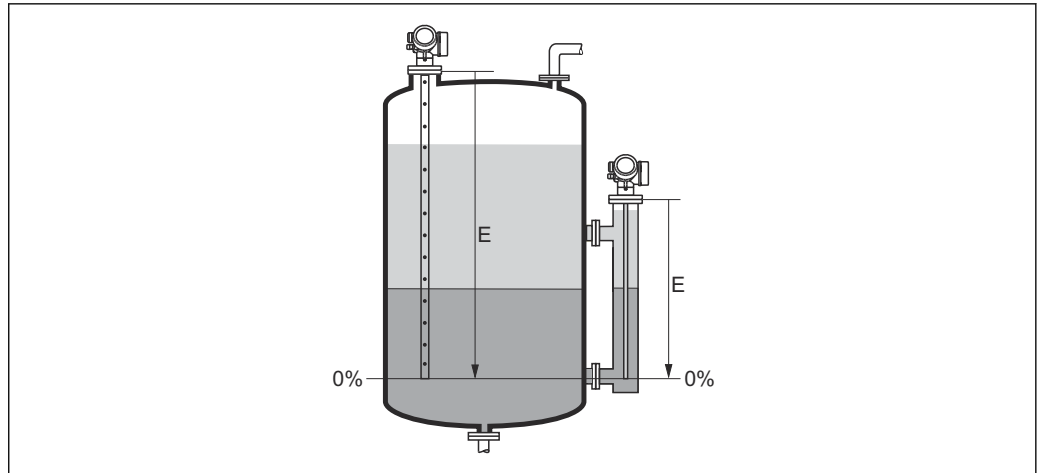
プローブに応じて異なります。

工場出荷時設定

プローブに応じて異なります。

追加情報





A0013177

41 界面測定用の空校正 (E)

i 界面測定の場合、**空校正** パラメータは合計レベルと界面レベルの両方に有効です。

満量校正



ナビゲーション

設定 → 満量校正

説明

スパン: 最高レベル - 最低レベル。

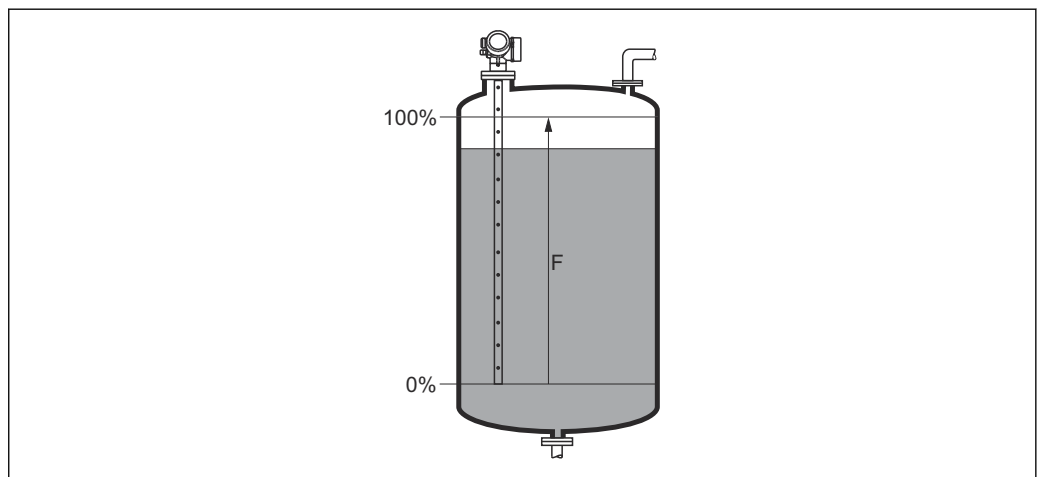
ユーザー入力

プローブに応じて異なります。

工場出荷時設定

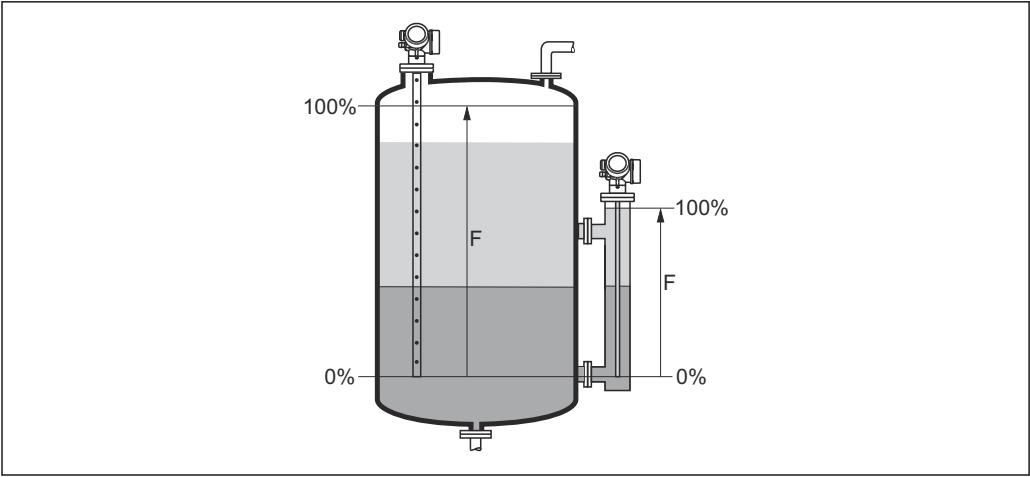
プローブに応じて異なります。

追加情報



A0013186

42 液体レベル測定用の満量校正 (F)



A0013188

図 43 界面測定用の満量校正 (F)

i 界面測定の場合、**満量校正** パラメータは合計レベルと界面レベルの両方に有効です。

レベル

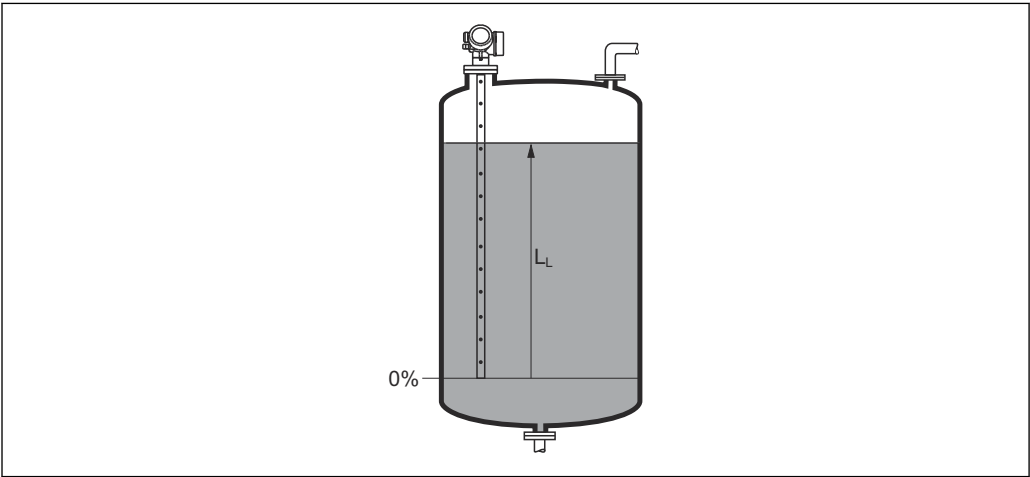
ナビゲーション

設定 → レベル

説明

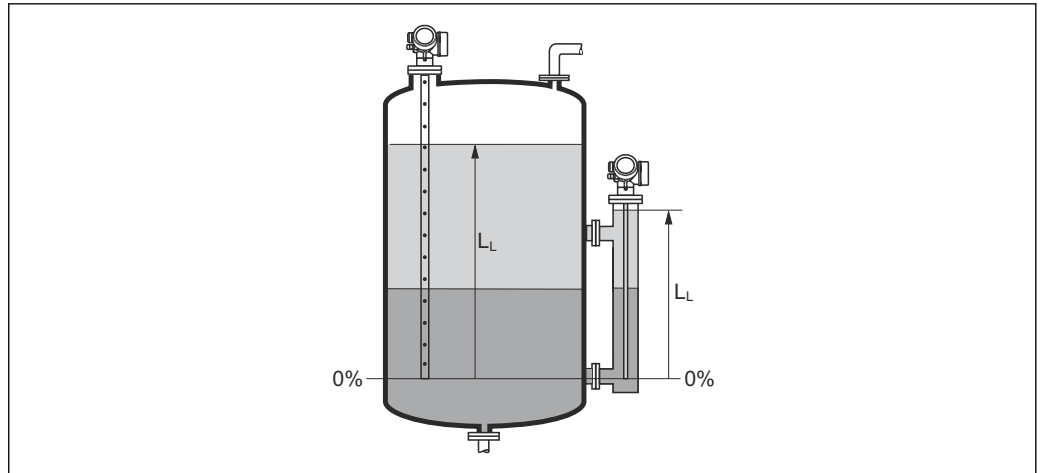
測定レベル L_L (リニアライゼーションの前) を表示します。

追加情報



A0013194

図 44 液体計測時のレベル



A0013195

図 45 界面測定時のレベル

- 単位は、**レベル単位** パラメータ (→ 183) で設定します。
- 界面測定の場合、このパラメータは常に全体レベルに関連付けられます。

距離

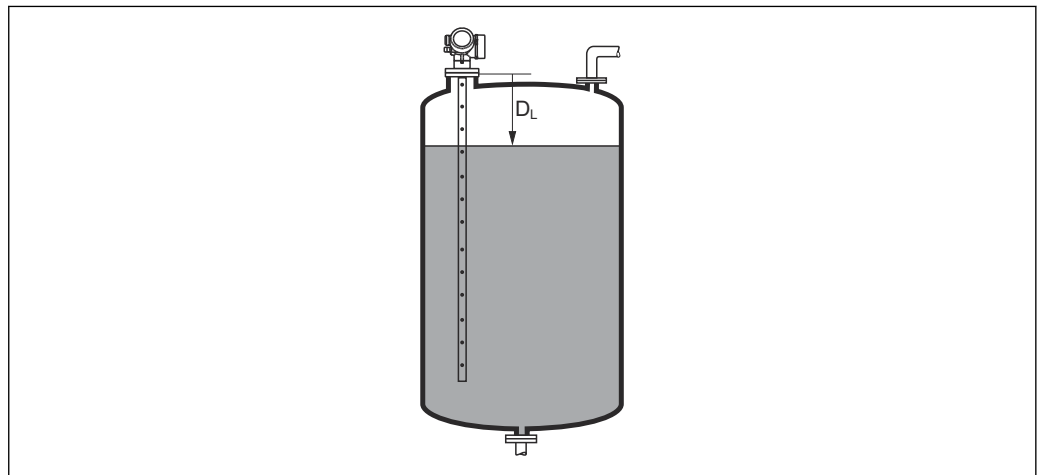
ナビゲーション

設定 → 距離

説明

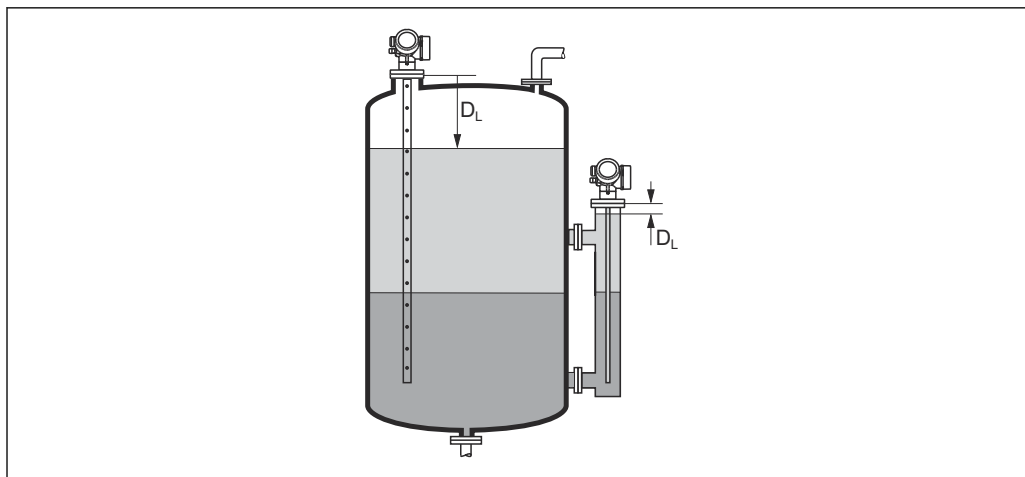
測定基準点（フランジまたはネジ込み接続の下端）からレベルまでの測定距離 D_L を表示します。

追加情報



A0013198

図 46 液体計測の距離



A0013199

図 47 界面測定距離

i 単位は、**距離の単位** パラメータ (→ 162) で設定します。

信号品質

ナビゲーション

設定 → 信号品質

説明

評価されたエコーの信号品質を表示します。

追加情報

表示選択の説明

- **強い**
評価されたエコーが、しきい値を 10 mV 以上超えています。
- **測定物**
評価されたエコーが、しきい値を 5 mV 以上超えています。
- **弱い**
評価されたエコーが、しきい値を 5 mV 未満超えています。
- **信号なし**
機器は有効なエコーを検出していません。

このパラメータで示される信号品質は、常に現在評価されているエコー、つまりレベル/界面エコー⁸⁾、またはプローブ終端エコーのどちらかに対応します。この 2 つを区別するために、プローブ終端エコーは必ずカッコ内に表示されます。

i 反射がない場合 (**信号品質 = 信号なし**)、機器は以下のエラーメッセージを生成します。

- F941 : 出力エコー信号消失 (→ 201) = アラームの場合
- S941 : 出力エコー信号消失 (→ 201) で別のオプションが選択されている場合

8) 2 つのうち品質が低い方

タンクレベル



ナビゲーション

設定 → タンクレベル

必須条件

動作モード (→ 162) = 界面

説明

タンクまたは外筒管が満量であるかどうかを設定します。

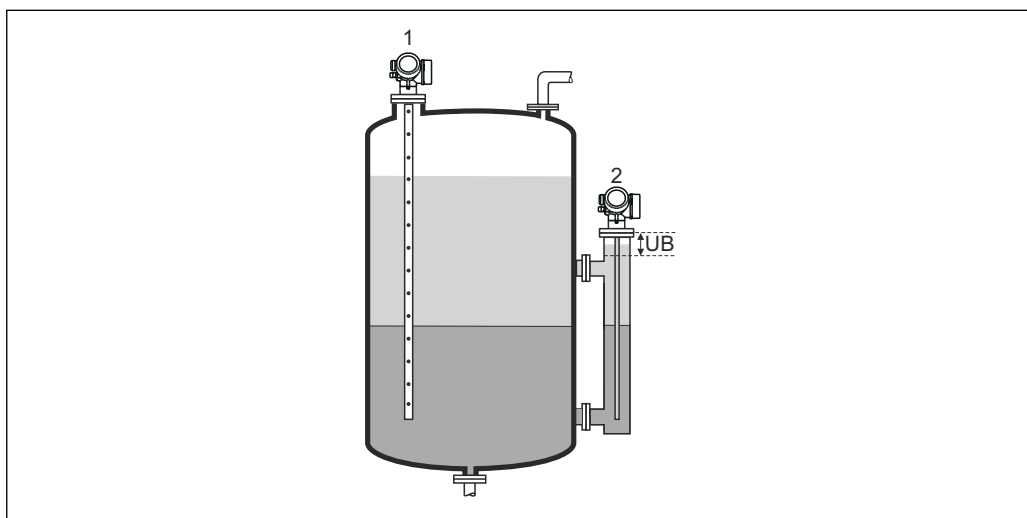
選択

- 一部充填
- 満量

追加情報

選択項目の説明

- **一部充填**
機器は2つのエコー信号（1つは界面用、もう1つは全体レベル用）を探索します。
- **満量**
機器は界面レベル用のみを探索します。この設定の場合、誤って評価されないよう、上限レベル信号が必ず上部不感知距離（UB）の範囲内にあることが重要です。



A0013173

- 1 一部充填
2 満量
UB 上部不感知距離

上部接続までの距離



ナビゲーション

設定 → 上部接続までの距離

必須条件

機器が「界面測定」アプリケーションパッケージを備えていること⁹⁾。

説明

上部接続までの距離（ D_U ）を設定します。

ユーザー入力

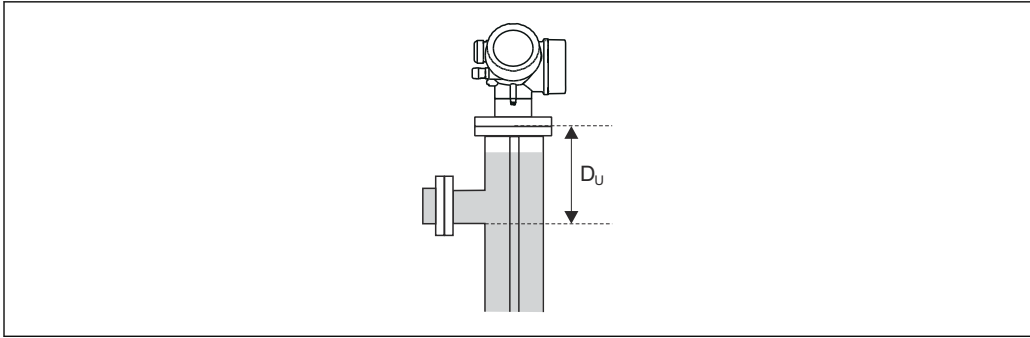
0～200 m

工場出荷時設定

- タンクレベル (→ 169) = 一部充填 : 0 mm (0 in)
- タンクレベル (→ 169) = 満量 : 250 mm (9.8 in)

9) 製品構成：仕様コード 540「アプリケーションパッケージ」、オプション EB「界面測定」

追加情報



A0013174

次のように、「タンクレベル」パラメータに応じて異なります。

- **タンクレベル (→ 169) = 一部充填：**
この場合、**上部接続までの距離** パラメータは測定に影響を与えません。したがって、初期設定を変更する必要はありません。
- **タンクレベル (→ 169) = 満量：**
この場合、測定基準点と上部接続の下端との距離 D_U を入力します。

DC 値



ナビゲーション

 設定 → DC 値

必須条件

機器が「界面測定」アプリケーションパッケージを備えていること¹⁰⁾。

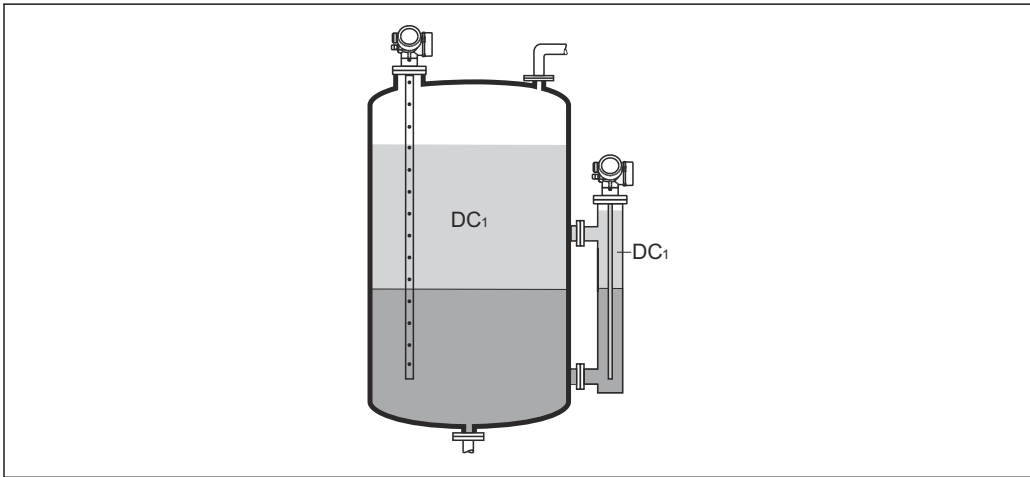
説明

上部測定物の比誘電率 (ϵ_r) を設定します (DC_1)。

ユーザー入力

1.0～100

追加情報



A0013181

DC1 上部測定物の比誘電率

-  各種産業で一般的に使用されるさまざまな測定物の比誘電率 (DC 値) については、以下を参照してください。
- Endress+Hauser DC マニュアル (CP01076F)
 - Endress+Hauser 「DC Values (DC 値) アプリ」 (Android および iOS で使用可能)

10) 製品構成：仕様コード 540 「アプリケーションパッケージ」、オプション EB 「界面測定」

界面

ナビゲーション

🔍📄 設定 → 界面

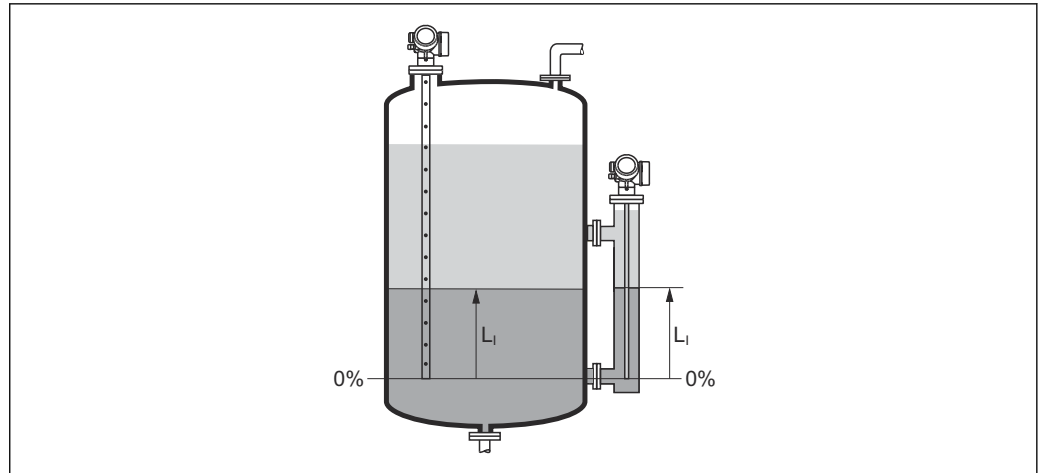
必須条件

動作モード (→ 📄 162) = 界面または静電容量による界面

説明

測定した界面レベル L_I (リニアライゼーションの前) を表示します。

追加情報



A0013197

i 単位は、**レベル単位** パラメータ (→ 📄 183) で設定します。

界面距離

ナビゲーション

🔍📄 設定 → 界面距離

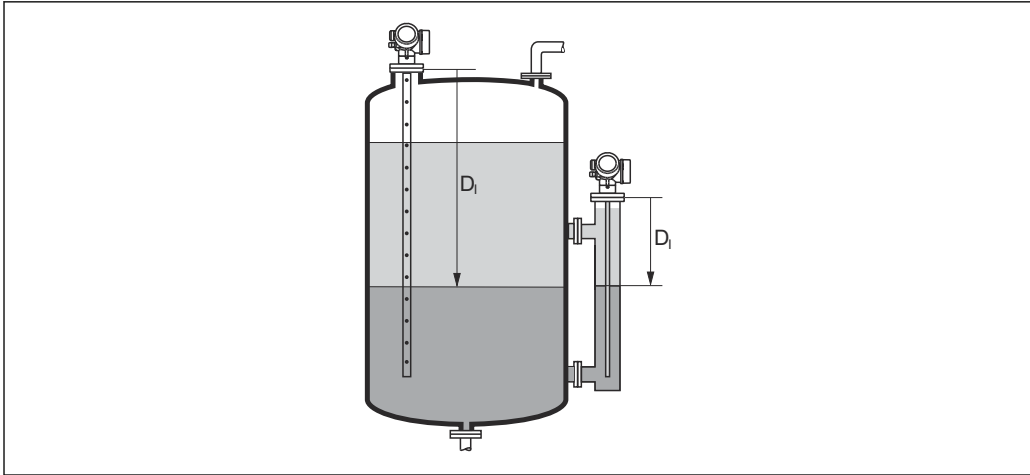
必須条件

動作モード (→ 📄 162) = 界面または静電容量による界面

説明

測定基準点 (フランジまたはネジ込み接続の下端) から界面層までの測定距離 D_I を表示します。

追加情報



A0013202

 単位は、**距離の単位** パラメータ (→  162) で設定します。

距離の確定



ナビゲーション

 設定 → 距離の確定

説明

測定距離が実際の距離と一致するかどうかを設定します。
選択項目に応じて、機器は自動的にマッピングレンジを設定します。

選択

- 手動マップ
- 距離 OK
- 距離不明
- 距離が短かすぎる *
- 距離が長すぎる *
- タンク空
- マップ削除

追加情報

選択項目の説明

- **手動マップ**
マッピング範囲を選択することは、**マッピングの最終点** パラメータ (→  173) を手動で定義することです。この場合、距離を確認する必要はありません。
- **距離 OK**
測定距離が実際の距離と一致している場合に選択します。機器はマッピングを実施します。
- **距離不明**
実際の距離が不明な場合に選択します。この場合、マッピングは実施できません。
- **距離が短かすぎる**
測定距離が実際の距離より短い場合に選択します。機器は次のエコーを探し、**距離の確定** パラメータに戻ります。距離の最計算が行なわれ、表示されます。表示された距離が実際の距離と一致するまで、比較を繰り返す必要があります。この後、**距離 OK** を選択するとマップの記録が開始されます。

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

■ 距離が長すぎる ¹¹⁾

測定距離が実際の距離を超過している場合に選択します。機器は信号の評価を調整し、**距離の確定** パラメータに戻ります。距離の最計算が行なわれ、表示されます。表示された距離が実際の距離と一致するまで、比較を繰り返す必要があります。この後、**距離 OK** を選択するとマップの記録が開始されます。

■ タンク空

タンクが完全に空の場合に選択します。機器は測定範囲全体をカバーするマッピングを記録します。

■ 工場出荷時のマッピング

現在のマッピングカーブ (マッピングが記録されている場合) を削除する場合に選択します。機器は、**距離の確定** パラメータに戻り、新しいマッピングを記録できます。



表示モジュールを使用して操作している場合、参照用に、このパラメータと一緒に測定距離が表示されます。



界面測定の場合、距離は常に全体レベルに関連付けられます (界面レベルではない)。



距離を確認する前に、学習プロセス「**距離が短かすぎる オプション**」または「**距離が長すぎる オプション**」が終了した場合、マップは記録されず、学習プロセスは 60 秒後にリセットされます。



気相補正機能付きの FMP54 の場合 (製品構成: 仕様コード 540「アプリケーションパッケージ」、オプション EF または EG)、マップを記録する必要は**ありません**。

現在のマッピング

ナビゲーション

設定 → 現在のマッピング

説明

マッピングがすでにどの距離まで記録されているかを示します。

マッピングの最終点



ナビゲーション

設定 → マッピングの最終点

必須条件

距離の確定 (→ 172) = **手動マップ** または **距離が短かすぎる**

説明

マッピングの新しい最終点を設定します。

ユーザー入力

0~200 000.0 m

追加情報

新しいマッピングをどの距離まで記録するかを設定します。測定基準点 (フランジの取付部分またはネジ接続の下端) からの距離を測定します。



参照用に、**現在のマッピング** パラメータ (→ 173) がこのパラメータと一緒に表示されます。これはマッピングがすでにどの距離まで記録されているかを示します。

11) 「エキスパート → センサ → エコトラッキング → 評価モード パラメータ」= 「短期履歴」または「長期履歴」の場合にのみ使用可能

マップ記録

ナビゲーション	 設定 → マップ記録
必須条件	距離の確定 (→  172) = 手動マップまたは 距離が短かすぎる
説明	マップの記録を開始します。
選択	■ いいえ ■ マップ記録 ■ マップ削除
追加情報	選択項目の説明 ■ いいえ マップは記録されません。 ■ マップ記録 マップは記録されます。記録が完了すると、新しい測定距離と新しいマッピングレンジがディスプレイに表示されます。現場表示器で操作している場合にこれらの値を確認するには、☒ を押します。 ■ マップ削除 マッピング（マッピングが記録されている場合）を削除し、機器は再計算した測定距離とマッピングレンジを表示します。現場表示器で操作している場合にこれらの値を確認するには、☒ を押します。

17.3.1 「マッピング」ウィザード

-  **マッピング** ウィザードは、現場表示器による操作でのみ使用できます。操作ツールで操作している場合、マッピングに関連するすべてのパラメータは、**設定** メニュー (→  162) に直接表示されます。
-  **マッピング** ウィザードでは、表示モジュールに常に 2 つのパラメータが同時に表示されます。上側のパラメータは編集できますが、下側のパラメータは参照用に表示されているだけであり、編集できません。

ナビゲーション  設定 → マッピング

距離の確定

ナビゲーション  設定 → マッピング → 距離の確定

説明 →  172

マッピングの最終点

ナビゲーション  設定 → マッピング → マッピングの最終点

説明 →  173

マップ記録

ナビゲーション  設定 → マッピング → マップ記録

説明 →  174

距離

ナビゲーション  設定 → マッピング → 距離

説明 →  167

17.3.2 「Analog input 1～5」 サブメニュー

機器の各 AI ブロックに **Analog inputs** サブメニュー があります。AI ブロックを使用してバスへの測定値の伝送を設定します。

 このサブメニューでは AI ブロックの最も基本的な特性しか設定できません。AI ブロックの詳細設定については、**エキスパート** メニュー を参照してください。

ナビゲーション  設定 → Analog inputs → Analog input 1～5

Block tag	
ナビゲーション	 設定 → Analog inputs → Analog input 1～7 → Block tag
説明	Defined to be unique throughout the control system at one plant site. The tag may be changed using the FB_Tag service.。
ユーザー入力	数字、英字、特殊文字からなる文字列 （32）

Channel	
ナビゲーション	 設定 → Analog inputs → Analog input 1～7 → Channel
説明	この機能を使用して、アナログ入力機能ブロックで処理する入力値を選択します。
選択	■ Uninitialized ■ リニアライゼーションされたレベル ■ エコーの絶対振幅 ■ 絶対 EOP 振幅 ■ 界面の絶対振幅 * ■ 距離 ■ 電気部内温度 ■ EOP シフト ■ リニアライゼーションされた界面 * ■ 界面距離 * ■ 測定された静電容量 * ■ エコーの相対振幅 ■ 界面の相対振幅 * ■ 信号ノイズ ■ 端子電圧 ■ 上層部の厚さ * ■ DC の計算値 * ■ アナログ出力の高度な診断 2 ■ アナログ出力の高度な診断 1

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

Process Value Filter Time

ナビゲーション
 設定 → Analog inputs → Analog input 1～7 → PV Filter Time

説明

この機能を使用して、変換されていない入力値（PV）のフィルタリング用に、フィルタ時間指定を入力します。

ユーザー入力

正の浮動小数点数

追加情報

初期設定

 値 0 秒 を入力した場合、フィルタリングは実行されません。

17.3.3 「高度な設定」サブメニュー

ナビゲーション  設定 → 高度な設定

ロック状態

ナビゲーション	  設定 → 高度な設定 → ロック状態
説明	現在有効になっている最高優先度の書き込み保護を示します。
ユーザーインターフェイス	■ ハードウェア書き込みロック ■ 一時ロック
追加情報	書込保護の優先度タイプの説明 ■ ハードウェア書き込みロック（優先度 1） メイン電子モジュールのハードウェア書き込みロック用 DIP スイッチが有効になっています。これにより、パラメータへの書き込みアクセスを防ぐことができます。 ■ SIL ロック（優先度 2） SIL モードが有効です。関連パラメータへの書込アクセスを防止できます。 ■ WHG ロック（優先度 3） WHG モードが有効です。関連パラメータへの書込アクセスを防止できます。 ■ 一時ロック（優先度 4） 機器の内部処理（例：データアップロード/ダウンロード、リセットなど）を実行中のため、パラメータへの書き込みアクセスが一時的にロックされます。処理が完了次第、パラメータの変更ができます。  表示モジュールでは、書き込み保護により変更できないパラメータの前には  シンボルが表示されます。

アクセスステータス ツール

ナビゲーション	 設定 → 高度な設定 → アクセスステータス ツール
説明	操作ツールを介したパラメータへのアクセス権限を示します。
追加情報	 アクセス権を変更するには、アクセスコード入力 パラメータ (→  179)を使用します。  また、書き込み保護機能が有効な場合は、それによって現在のアクセス権がさらに制限されます。書込保護の状態を確認するには、ロック状態 パラメータ (→  178)を使用します。

アクセスステータス表示

ナビゲーション	 設定 → 高度な設定 → アクセスステータス表示
必須条件	現場表示器を使用する場合にのみ使用できます。

説明	ローカル ディスプレイを介したパラメータへのアクセス許可を示す。
追加情報	 アクセス権を変更するには、 アクセスコード入力 パラメータ (→ 179)を使用します。  また、書き込み保護機能が有効な場合は、それによって現在のアクセス権がさらに制限されます。書込保護の状態を確認するには、 ロック状態 パラメータ (→ 178)を使用します。

アクセスコード入力

ナビゲーション	 設定 → 高度な設定 → アクセスコード入力
説明	書き込みを許可するためにアクセスコードを入力。
ユーザー入力	0～9999
追加情報	■ 現場操作では、ユーザー固有のアクセスコード (アクセスコード設定 パラメータ (→ 223)で設定したコード) を入力する必要があります。 ■ 不正なアクセスコードが入力されると、現在のアクセス権が維持されます。 ■ 書込保護は、本書の  シンボルが付いたすべてのパラメータに適用されます。現場表示器でパラメータの前に  シンボルが表示される場合、そのパラメータは書き込み保護になっています。 ■ 10 min 間キーを押さなかった場合やナビゲーションモードや編集モードから測定値表示モードに移動した場合、60 秒経過後に書込保護パラメータが自動的にロックされます。  アクセスコードを紛失した場合は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

「レベル」サブメニュー

 **レベル** サブメニュー (→  180)は、**動作モード** (→  162) = **レベル** の場合にのみ表示されます。

ナビゲーション   設定 → 高度な設定 → レベル

測定物タイプ

ナビゲーション   設定 → 高度な設定 → レベル → 測定物タイプ

説明 測定物のタイプを設定します。

ユーザーインターフェイス

- 液体
- 粉体

工場出荷時設定 FMP50、FMP51、FMP52、FMP53、FMP54、FMP55 : **液体**

追加情報 **粉体** オプションは、**動作モード** (→  162) = **レベル** の場合にのみ使用できます。
 このパラメータは、他の複数のパラメータの値を決定し、完全な信号評価に大きく影響します。そのため、初期設定を**変更しない**ことを強く推奨します。

測定物特性

ナビゲーション   設定 → 高度な設定 → レベル → 測定物特性

必須条件

- **動作モード** (→  162) = **レベル** に設定します。
- **EOP レベル評価** ≠ **固定 DC**

説明 測定物の比誘電率 ϵ_r を設定します。

選択

- 不明
- DC 1.4 ... 1.6
- DC 1.6 ... 1.9
- DC 1.9 ... 2.5
- DC 2.5 ... 4
- DC 4 ... 7
- DC 7 ... 15
- DC > 15

工場出荷時設定 **測定物タイプ** (→  180)および**測定物グループ** (→  163)に応じて異なります。

追加情報

「測定物タイプ」および「測定物グループ」による違い

測定物タイプ (→ 180)	測定物グループ (→ 163)	測定物特性
粉体		不明
液体	水ベース (DC >= 4)	DC 4 ... 7
	その他	不明

 各種産業で一般的に使用されるさまざまな測定物の比誘電率 (DC 値) については、以下を参照してください。

- Endress+Hauser DC マニュアル (CP01076F)
- Endress+Hauser 「DC Values (DC 値) アプリ」 (Android および iOS で使用可能)

 **EOP レベル評価 = 固定 DC** の場合、正確な比誘電率を **DC 値** パラメータ (→ 170) に入力する必要があります。したがって、この場合は**測定物特性** パラメータを使用できません。

プロセス特性



ナビゲーション

  設定 → 高度な設定 → レベル → プロセス特性

説明

レベル変化の標準速度を設定します。

選択

「測定物タイプ」=「液体」

- 非常に高速 > 10 m (400in) /分
- 高速 > 1 m/min
- 標準速度 < 1 m/min
- 中速 < 10 cm/min
- 低速 < 1 cm/min
- フィルタなし

「測定物タイプ」=「粉体」

- 非常に高速 > 100m (333ft) /分
- 高速 > 10 m/h
- 標準速度 < 10 m/h
- 中速 < 1 m/h
- 低速 < 0.1 m/h
- フィルタなし

追加情報

このパラメータで設定されたレベル変化の標準速度に、機器は信号評価フィルタおよび出力信号のダンピングを調整します。

「動作モード」=「レベル」および「測定物タイプ」=「液体」

プロセス特性	ステップ応答時間 (s)
非常に高速 > 10 m (400in) /分	5
高速 > 1 m/min	5
標準速度 < 1 m/min	14
中速 < 10 cm/min	39
低速 < 1 cm/min	76
フィルタなし	< 1

「動作モード」=「レベル」および「測定物タイプ」=「粉体」

プロセス特性	ステップ応答時間 (s)
非常に高速 > 100m (333ft) /分	37
高速 > 10 m/h	37
標準速度 < 10 m/h	74
中速 < 1 m/h	146
低速 < 0.1 m/h	290
フィルタなし	< 1

「動作モード」=「界面」または「静電容量による界面」

プロセス特性	ステップ応答時間 (s)
非常に高速 > 10 m (400in) /分	5
高速 > 1 m/min	5
標準速度 < 1 m/min	23
中速 < 10 cm/min	47
低速 < 1 cm/min	81
フィルタなし	2.2

高度なプロセス条件



ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → レベル → 高度なプロセス条件

必須条件

動作モード (→ 162) = レベル に設定します。

説明

(必要に応じて) 追加のプロセス条件を設定します。

選択

- なし
- 油/水 凝縮液
- プロブがタンク底面付近
- 付着
- 泡の厚み 5cm 以上

追加情報

選択項目の説明

- **油/水 凝縮液 (測定物タイプ = 液体の場合のみ)**
二相測定物の場合、全体レベルのみを確実に検出することが可能になります (例：油/凝縮水アプリケーション)。
- **プロブがタンク底面付近 (測定物タイプ = 液体の場合のみ)**
特にプロブをタンク底部付近に取り付けた場合、空検出の精度が向上します。
- **付着**
付着物が原因でプロブ終端信号が変化した場合でも安全な空検出が可能になります。
- **泡の厚み 5cm 以上 (測定物タイプ = 液体の場合のみ)**
発泡を使用するアプリケーションで信号評価を最適化します。

レベル単位

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → レベル → レベル単位

説明 レベル単位を選択します。

選択

SI 単位	US 単位
■ %	■ ft
■ m	■ in
■ mm	

追加情報

レベル単位は、**距離の単位** パラメータ (→  162) で設定した距離単位とは異なる場合があります。

- **距離の単位** パラメータで設定した単位は、基本校正 (**空校正** (→  164) と **満量校正** (→  165)) に使用します。
- **レベル単位** パラメータで設定した単位は、(リニアライズされていない) レベルの表示に使用します。

不感知距離

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → レベル → 不感知距離

説明 上部不感知距離 (UB) を設定します。

ユーザー入力 0～200 m

工場出荷時設定

- コアキシャルプローブ : 0 mm (0 in)
- 8 m (26 ft) までのロッドプローブ/ローブプローブ : 200 mm (8 in)
- 8 m (26 ft) を超えるロッドプローブ/ローブプローブ : $0.025 \times \text{プローブ長}$

界面測定 アプリケーションパッケージ付きの FMP51/FMP52/FMP54 ¹²⁾ および FMP55 用 :
100 mm (3.9 in) すべてのアンテナタイプ用

追加情報

上部不感知距離の信号は、機器がオンになったときに不感知距離の範囲外にあり、操作中のレベル変更によって不感知距離内に移動した場合にのみ評価されます。機器がオンになったとき、すでに不感知距離内にあった信号は無視されます。

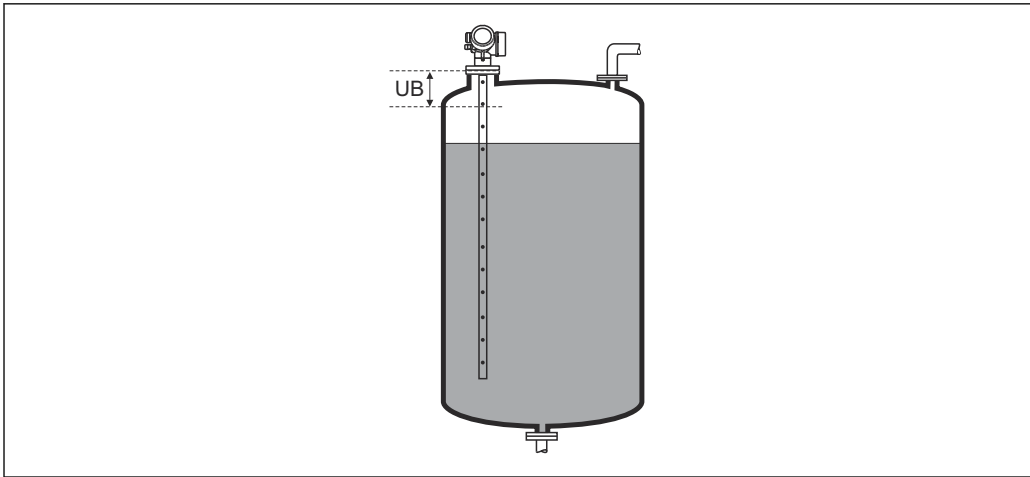
 以下の 2 つの条件を満たしている場合のみ、この挙動が示されます。

- エキスパート → センサ → エコトラッキング → 評価モード = **短期履歴** または **長期履歴**
- エキスパート → センサ → 気相補正 → 気相補正モード = **オン**、**補正なし** または **外部訂正**

条件の 1 つを満たしていない場合、不感知距離内の信号は常に無視されます。

 必要に応じて、不感知距離内の信号に関する別の挙動を弊社サービスが設定します。

12) 注文コード 540 「アプリケーションパッケージ」、オプション EB 「界面測定」をを注文



A0013219

図 48 液体計測の不感知距離（UB）

レベル補正



ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → レベル → レベル補正

説明

(必要に応じて) レベル補正を設定します。

ユーザー入力

-200 000.0 ~ 200 000.0 %

追加情報

このパラメータで設定した値は、測定レベル（リニアライゼーションの前）に追加されます。

「界面」サブメニュー

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → 界面プロセス特性

ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → 界面 → プロセス特性

説明

界面位置の変化の標準速度を設定します。

選択

- 高速 > 1 m/min
- 標準速度 < 1 m/min
- 中速 < 10 cm/min
- 低速 < 1 cm/min
- フィルタなし

追加情報

このパラメータで設定されたレベル変化の標準速度に、機器は信号評価フィルタおよび出力信号のダンピングを調整します。

プロセス特性	ステップ応答時間 (s)
高速 > 1 m/min	5
標準速度 < 1 m/min	15
中速 < 10 cm/min	40
低速 < 1 cm/min	74
フィルタなし	2.2

下層測定物の DC

ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → 界面 → 下層測定物の DC

必須条件

動作モード (→  162) = 界面または静電容量による界面

説明

下部測定物の比誘電率 ϵ_r を設定します。

ユーザー入力

1～100

追加情報

 各種産業で一般的に使用されるさまざまな測定物の比誘電率 (DC 値) については、以下を参照してください。

- Endress+Hauser DC マニュアル (CP01076F)
- Endress+Hauser 「DC Values (DC 値) アプリ」 (Android および iOS で使用可能)

 初期設定 $\epsilon_r = 80$ は、20 °C (68 °F) の水に対して有効です。

レベル単位

ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → 界面 → レベル単位

説明

レベル単位を選択します。

選択

SI 単位

■ %
■ m
■ mm

US 単位

■ ft
■ in

追加情報

レベル単位は、距離の単位 パラメータ (→ 162)で設定した距離単位とは異なる場合があります。

■ 距離の単位

パラメータで設定した単位は、基本校正 (空校正 (→ 164)と満量校正 (→ 165)) に使用します。

■ レベル単位

パラメータで設定した単位は、(リニアライズされていない) レベルおよび界面位置の表示に使用します。

不感知距離

ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → 界面 → 不感知距離

説明

上部不感知距離 (UB) を設定します。

ユーザー入力

0～200 m

工場出荷時設定

■ コアキシャルプローブ : 100 mm (3.9 in)

■ 8 m (26 ft) までのロッドプローブ/ローブプローブ : 200 mm (8 in)

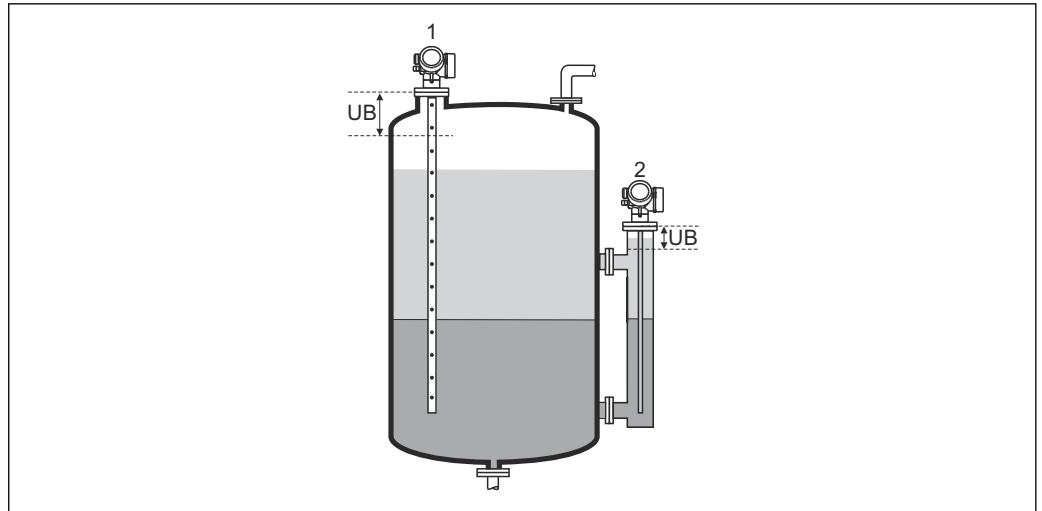
■ 8 m (26 ft) を超えるロッドプローブ/ローブプローブ : 0.025 * プローブ長

追加情報

不感知距離の範囲内からのエコーは、信号評価の対象となりません。以下のために、上部不感知距離が使用されます。

■ プローブ上端の不要反射を抑制するため

■ 外筒管があふれた場合に全体レベルのエコーを抑制するため



A0013220

- 1 プローブ上端の不要反射の抑制
 2 外筒管があふれた場合のレベル信号の抑制
 UB 上部不感知距離

レベル補正



ナビゲーション

☰☰ 設定 → 高度な設定 → 界面 → レベル補正

説明

(必要に応じて) レベル補正を設定します。

ユーザー入力

-200 000.0 ~ 200 000.0 %

追加情報

このパラメータで設定した値は、測定した全体レベルと界面レベル (リニアライゼーションの前) に追加されます。

上層部の厚さ手動入力



ナビゲーション

☰ 設定 → 高度な設定 → 界面 → 上層部の厚さ手動入力

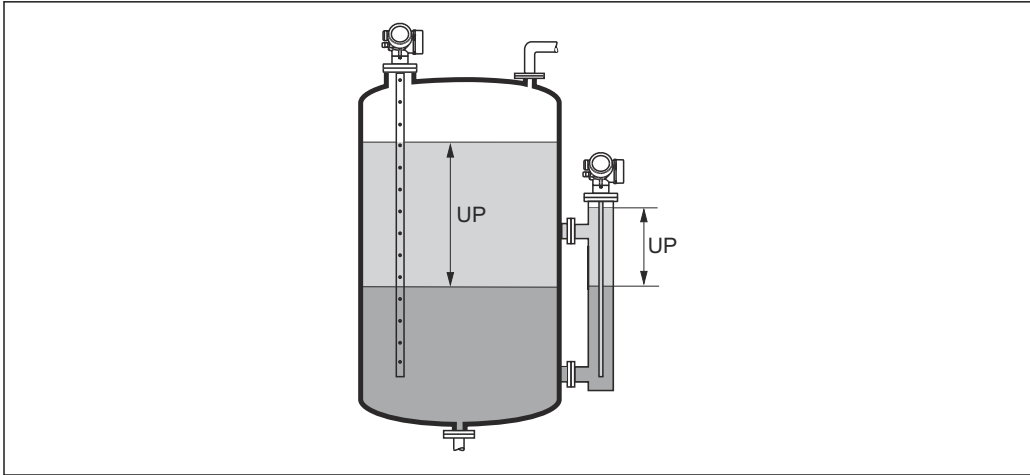
説明

手動で測定した界面の厚み UP (つまり、上部測定物の厚み) を設定します。

ユーザー入力

0 ~ 200 m

追加情報



A0013313

UP 界面の厚み（上部測定物の厚み）

i 測定した界面の厚みは、界面の厚みの手動入力と一緒に現場表示器に表示されます。この2つの値を比較することにより、機器は上部測定物の比誘電率を自動調整できます。

測定された上層部厚さ

ナビゲーション 設定 → 高度な設定 → 界面 → 測定された上層部厚さ

説明 測定した界面の厚みを表示します（上部測定物の厚み UP）。

DC 値

ナビゲーション 設定 → 高度な設定 → 界面 → DC 値

説明 補正前の上部測定物の比誘電率 (ϵ_r) を表示します (DC₁)。

DC の計算値

ナビゲーション 設定 → 高度な設定 → 界面 → DC の計算値

説明 上部測定物の比誘電率 ϵ_r (DC1) の計算値（補正值）を表示します。

DC の計算値を使用



ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → 界面 → DC の計算値を使用

説明

比誘電率の計算値を使用するかどうかを設定します。

選択

- 保存して終了
- キャンセルして終了

追加情報

選択項目の説明

- 保存して終了
計算値が正しい値と見なされます。
- キャンセルして終了
比誘電率の計算値は却下され、前の比誘電率がそのまま有効になります。

現場表示器には、**DC の計算値** パラメータ (→ 188)がこのパラメータと一緒に表示されます。

「DC の自動計算」 ウィザード

- 

DC の自動計算 ウィザードは、現場表示器による操作でのみ使用できます。操作ツールで操作している場合、DC の自動計算に関連するすべてのパラメータは、次のメニューに直接表示されます。**界面** サブメニュー (→  185)
- 

DC の自動計算 ウィザードでは、表示モジュールに常に 2 つのパラメータが同時に表示されます。上側のパラメータは編集できますが、下側のパラメータは参照用に表示されているだけであり、編集できません。

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → 界面 → DC の自動計算

上層部の厚さ手動入力

- ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → 界面 → DC の自動計算 → 上層部の厚さ手動入力
- 説明

→  187

DC 値

- ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → 界面 → DC の自動計算 → DC 値
- 説明

→  188

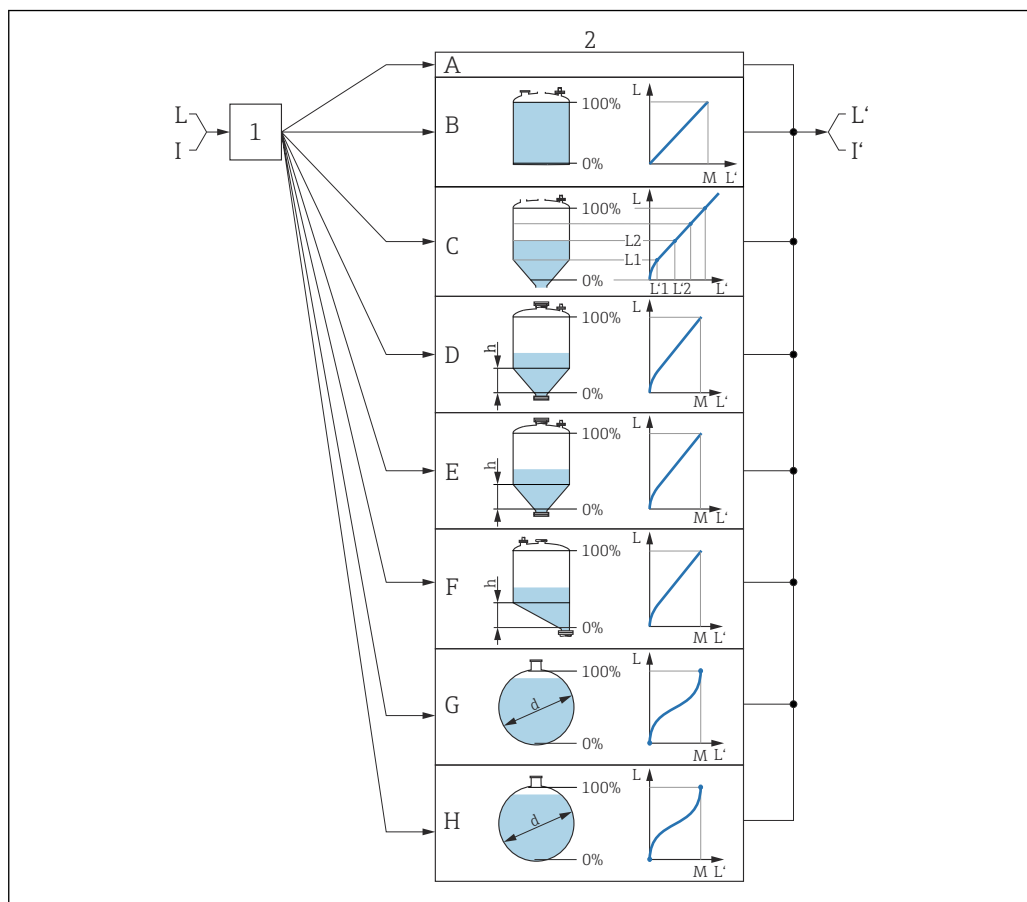
DC の計算値を使用

- ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → 界面 → DC の自動計算 → DC の計算値を使用
- 説明

→  189

「リニアライゼーション」サブメニュー



A0016084

図 49 リニアライゼーション：レベルおよび界面の高さ（該当する場合）を容量または質量に変換します。これは容器の形状に応じて異なります。

- 1 リニアライゼーションの方式と単位の選択
- 2 リニアライゼーションの設定
- A リニアライゼーションの方式 (→ 図 194) = なし
- B リニアライゼーションの方式 (→ 図 194) = リニア
- C リニアライゼーションの方式 (→ 図 194) = テーブル
- D リニアライゼーションの方式 (→ 図 194) = 角錐底
- E リニアライゼーションの方式 (→ 図 194) = 円錐底
- F リニアライゼーションの方式 (→ 図 194) = 傾斜底
- G リニアライゼーションの方式 (→ 図 194) = 水平円筒
- H リニアライゼーションの方式 (→ 図 194) = 球形
- I 「動作モード (→ 図 162)」 = 「界面」または「静電容量による界面」の場合：リニアライゼーション前の界面（距離単位で測定）
- I' 「動作モード (→ 図 162)」 = 「界面」または「静電容量による界面」の場合：リニアライゼーション後の界面（容量または質量に対応）
- L リニアライゼーション前のレベル（距離単位で測定）
- L' リニアライゼーションされたレベル (→ 図 196)（容量または質量に対応）
- M 最大値 (→ 図 197)
- d 直径 (→ 図 197)
- h 中間高さ (→ 図 197)

表示モジュールのサブメニューの構成

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション

▶ リニアライゼーション
リニアライゼーションの方式
リニアライゼーション後の単位
フリーテキスト
最大値
直径
中間高さ
テーブルモード
▶ テーブルの編集
レベル
ユーザー様の値
テーブルを有効にする

操作ツール（例：FieldCare）のサブメニューの構成

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション

▶ リニアライゼーション

リニアライゼーションの方式

リニアライゼーション後の単位

フリーテキスト

リニアライゼーションされたレベル

リニアライゼーションされた界面

最大値

直径

中間高さ

テーブルモード

テーブル番号

レベル

レベル

ユーザー様の値

テーブルを有効にする

パラメータの説明

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション

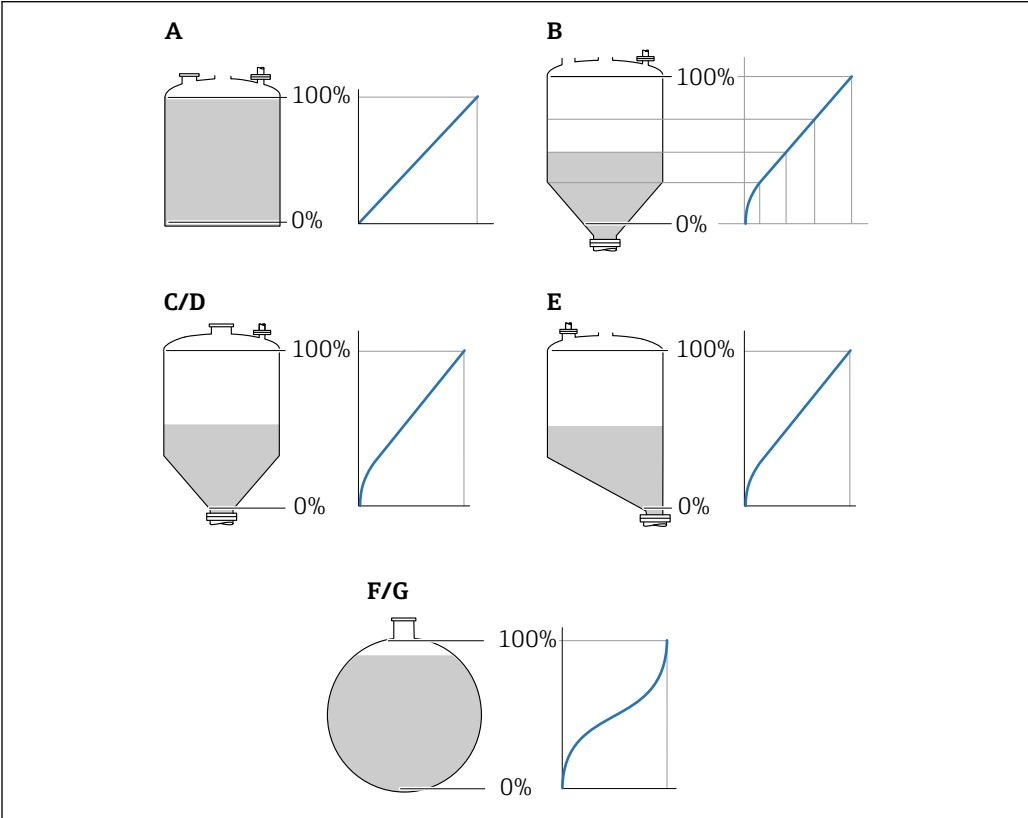
リニアライゼーションの方式

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション → リニアライゼーション方式

説明 リニアライゼーション方式を選択します。

- 選択
- なし
 - リニア
 - テーブル
 - 角錐底
 - 円錐底
 - 傾斜底
 - 水平円筒
 - 球形

追加情報



 50 リニアライゼーション方式

- A なし
- B テーブル
- C 角錐底
- D 円錐底
- E 傾斜底
- F 球形
- G 水平円筒

選択項目の説明

■ なし

レベルはリニアライゼーションなしでレベル単位で伝送されます。

■ リニア

出力値（容量/質量）はレベルLに正比例します。これは垂直円筒などで有効です。以下のパラメータを指定する必要があります。

■ リニアライゼーション後の単位 (→ ④ 195)

■ 最大値 (→ ④ 197) : 最大体積または質量

■ テーブル

測定レベルLと出力値（容量/質量）の関係はリニアライゼーションテーブルによって設定されます。この表は「レベル - 容量」または「レベル - 質量」の最大 32 点の値で構成されます。以下のパラメータを指定する必要があります。

■ リニアライゼーション後の単位 (→ ④ 195)

■ テーブルモード (→ ④ 198)

■ 各テーブルポイント : レベル (→ ④ 199)

■ 各テーブルポイント : ユーザー様の値 (→ ④ 200)

■ テーブルを有効にする (→ ④ 200)

■ 角錐底

出力値は角錐底タンクのサイロの容量または質量に対応します。以下のパラメータを指定する必要があります。

■ リニアライゼーション後の単位 (→ ④ 195)

■ 最大値 (→ ④ 197) : 最大体積または質量

■ 中間高さ (→ ④ 197) : 角錐の高さ

■ 円錐底

出力値は円錐底タンクの容量または質量に対応します。以下のパラメータを指定する必要があります。

■ リニアライゼーション後の単位 (→ ④ 195)

■ 最大値 (→ ④ 197) : 最大体積または質量

■ 中間高さ (→ ④ 197) : タンクの円錐部の高さ

■ 傾斜底

出力値は傾斜底のサイロの容量または質量に対応します。以下のパラメータを指定する必要があります。

■ リニアライゼーション後の単位 (→ ④ 195)

■ 最大値 (→ ④ 197) : 最大体積または質量

■ 中間高さ (→ ④ 197) : 下部エルボ部分の高さ

■ 水平円筒

出力値は水平円筒タンクの容量または質量に対応します。以下のパラメータを指定する必要があります。

■ リニアライゼーション後の単位 (→ ④ 195)

■ 最大値 (→ ④ 197) : 最大体積または質量

■ 直径 (→ ④ 197)

■ 球形

出力値は球形タンクの容量または質量に対応します。以下のパラメータを指定する必要があります。

■ リニアライゼーション後の単位 (→ ④ 195)

■ 最大値 (→ ④ 197) : 最大体積または質量

■ 直径 (→ ④ 197)

リニアライゼーション後の単位**ナビゲーション**

④ ④ 設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション → 線形化後の単位

必須条件

リニアライゼーションの方式 (→ ④ 194) ≠ なし

説明

リニアライズされた値の単位を選択します。

選択	SI 単位 ■ STon ■ t ■ kg ■ cm³ ■ dm³ ■ m³ ■ hl ■ l ■ % ユーザー単位 Free text	US 単位 ■ lb ■ UsGal ■ ft³	ヤード・ポンド法（帝国単位） impGal
----	--	---	--------------------------

追加情報

選択した単位は、表示器の表示にのみ使用されます。測定値が選択した単位に応じて変換されることは**ありません**。

 距離対距離のリニアライゼーション（レベル単位から別の距離単位への変換）の設定も可能です。この場合、**リニアリニアライゼーションモード**を選択します。新しいレベル単位を設定するには、**Free text** オプションを、**リニアライゼーション後の単位** パラメータで選択し、目的の単位を**フリーテキスト** パラメータ (→  196) に入力します。

フリーテキスト

ナビゲーション	  設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション → フリーテキスト
必須条件	リニアライゼーション後の単位 (→  195) = Free text に設定します。
説明	単位シンボルを入力します。
ユーザー入力	最大 32 文字（英字、数字、特殊文字）

リニアライゼーションされたレベル

ナビゲーション	 設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション → リニアライズされたレベル
説明	リニアライズされたレベルを表示します。
追加情報	 ■ 単位は、リニアライゼーション後の単位 パラメータで設定します→  195。 ■ 界面測定の場合、このパラメータは常に全体レベルに関連付けられます。

リニアライゼーションされた界面

ナビゲーション	 設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション → リニアライズされた界面
必須条件	動作モード (→  162) = 界面 または 静電容量による界面

説明	リニアライズされた界面高さを表示します。
追加情報	 単位は、 リニアライゼーション後の単位 パラメータで設定します→  195。

最大値



ナビゲーション	  設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション → 最大値
必須条件	リニアライゼーションの方式 (→  194) は、以下のいずれかの値を取ります。 ■ リニア ■ 角錐底 ■ 円錐底 ■ 傾斜底 ■ 水平円筒 ■ 球形
ユーザー入力	-50 000.0～50 000.0 %

直径



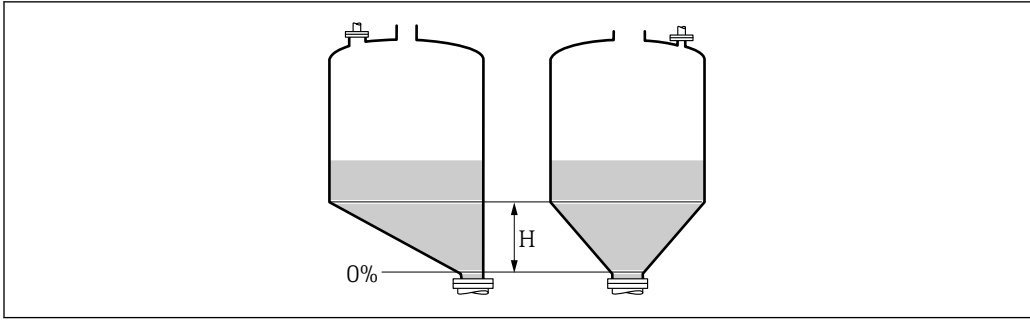
ナビゲーション	  設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション → 直径
必須条件	リニアライゼーションの方式 (→  194) は、以下のいずれかの値を取ります。 ■ 水平円筒 ■ 球形
ユーザー入力	0～9 999.999 m
追加情報	単位は、 距離の単位 パラメータ (→  162)で設定します。

中間高さ



ナビゲーション	  設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション → 中間高さ
必須条件	リニアライゼーションの方式 (→  194) は、以下のいずれかの値を取ります。 ■ 角錐底 ■ 円錐底 ■ 傾斜底
ユーザー入力	0～200 m

追加情報



A0013264

H 中間高さ

単位は、距離の単位 パラメータ (→ 162)で設定します。

テーブルモード



ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション → テーブルモード

必須条件

リニアライゼーションの方式 (→ 194) = テーブル に設定します。

説明

リニアライゼーションテーブルの編集モードを選択します。

選択

- 手動式
- 半自動式 *
- テーブルをクリア
- テーブルの並べ替え

追加情報

選択項目の説明

- 手動式
レベルおよび関連するリニアライズされた値が、各リニアライゼーション点に対して手動入力されます。
- 半自動式
各リニアライゼーション点に対して、機器がレベルを測定します。関連するリニアライズされた値は手動入力します。
- テーブルをクリア
既存のリニアライゼーションテーブルを削除します。
- テーブルの並べ替え
リニアライゼーション点を昇順に並べ替えます。

リニアライゼーションテーブルは以下の条件を満たす必要があります。

- テーブルを構成できるのは最大 32 点の値「レベル - リニアライズされた値」
- テーブルが単調であること (単調増加または単調減少)
- 最初のリニアライゼーション点が最低レベルに対応すること
- 最後のリニアライゼーション点が最高レベルに対応すること

i リニアライゼーションテーブルを入力する前に、空校正 (→ 164)および満量校正 (→ 165)の値を正しく設定する必要があります。

満量校正または空校正の後でテーブルの値を変更する必要がある場合、既存テーブルを消去し、再度すべてのテーブルを入力しない限り適切な評価は保証されません。それには、まず既存テーブルを消去します (テーブルモード (→ 198) = テーブルをクリア)。その後、新しいテーブルを入力します。

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

テーブルの入力方法

■ FieldCare 経由

テーブル番号 (→ 図 199)、**レベル** (→ 図 199)、および**ユーザー様の値** (→ 図 200) パラメータを使用して、テーブルポイントを入力します。あるいは、グラフィカルテーブルエディタを使用できます (機器の操作 → 機器の機能 → 追加機能 → リニアライゼーション (オンライン/オフライン))。

■ 現場表示器を介して

テーブルの編集 サブメニューを選択して、グラフィカルテーブルエディタを呼び出します。テーブルが表示され、行単位の編集が可能になります。



レベル単位の出荷時設定は「%」です。リニアライゼーションテーブルを物理単位で入力するには、事前に**レベル単位** パラメータ (→ 図 183) で適切な単位を選択しておく必要があります。

テーブル番号

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション → テーブル番号

必須条件 **リニアライゼーションの方式** (→ 図 194) = **テーブル** に設定します。

説明 入力または変更するテーブルポイントを選択します。

ユーザー入力 1～32

レベル (手動式)

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション → レベル

必須条件

- **リニアライゼーションの方式** (→ 図 194) = **テーブル**
- **テーブルモード** (→ 図 198) = **手動式**

説明 テーブルポイントのレベル値 (リニアライゼーション前の値) を入力します。

ユーザー入力 符号付き浮動小数点数

レベル (半自動式)

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション → レベル

必須条件

- **リニアライゼーションの方式** (→ 図 194) = **テーブル** に設定します。
- **テーブルモード** (→ 図 198) = **半自動式** に設定します。

説明 測定レベル (リニアライゼーション前の値) を表示します。この値はテーブルに伝送されます。

ユーザー様の値

ナビゲーション	 設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション → ユーザー様の値
必須条件	リニアライゼーションの方式 (→  194) = テーブル に設定します。
説明	テーブルポイントのリニアライズされた値を入力します。
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数

テーブルを有効にする

ナビゲーション	  設定 → 高度な設定 → リニアライゼーション → テーブルを有効にする
必須条件	リニアライゼーションの方式 (→  194) = テーブル に設定します。
説明	リニアライゼーションテーブルを有効または無効にします。
選択	■ 無効 ■ 有効
追加情報	選択項目の説明 ■ 無効 測定レベルはリニアライズされません。 同時に、リニアライゼーションの方式 (→  194) = テーブル の場合、機器はエラーメッセージ F435 を出力します。 ■ 有効 テーブルに基づいて測定レベルはリニアライズされます。  テーブルを編集すると、テーブルを有効にする パラメータが自動的に無効にリセットされるため、テーブルの入力後に有効にリセットする必要があります。

「安全設定」サブメニュー

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → 安全な設定出力エコー信号消失

ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → 安全な設定 → 出力エコー信号消失

説明

反射がない場合の出力信号。

選択

- 最後の有効値
- エコー信号消失時急上昇
- エコー信号消失時の値
- アラーム

追加情報

選択項目の説明

■ 最後の有効値

反射がない場合、最後の有効値が保持されます。

■ エコー信号消失時急上昇¹³⁾反射がない場合、出力値は連続して 0% または 100% に変わります。ランプのスロープは**エコー信号消失時急上昇** パラメータ (→  202) で指定されます。■ エコー信号消失時の値¹³⁾エコーロストの場合、**エコー信号消失時の値** パラメータ (→  201) に定義された値が出力されます。

■ アラーム

エコーロストの場合、アラームが発報されます。**フェールセーフモード** パラメータを参照してください。エコー信号消失時の値

ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → 安全な設定 → エコー信号消失時の値

必須条件

出力エコー信号消失 (→  201) = **エコー信号消失時の値** に設定します。

説明

反射がない場合の出力値。

ユーザー入力

0～200 000.0 %

追加情報

測定値出力用に設定した単位を使用します。

- リニアライゼーションなし：**レベル単位** (→  183)
- リニアライゼーションあり：**リニアライゼーション後の単位** (→  195)

13) "リニアライゼーションの方式 (→  194)" = "なし" の場合にのみ視認できます。

エコー信号消失時急上昇



ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → 安全な設定 → エコー消失時急上昇

必須条件

出力エコー信号消失 (→ 201) = エコー信号消失時急上昇 に設定します。

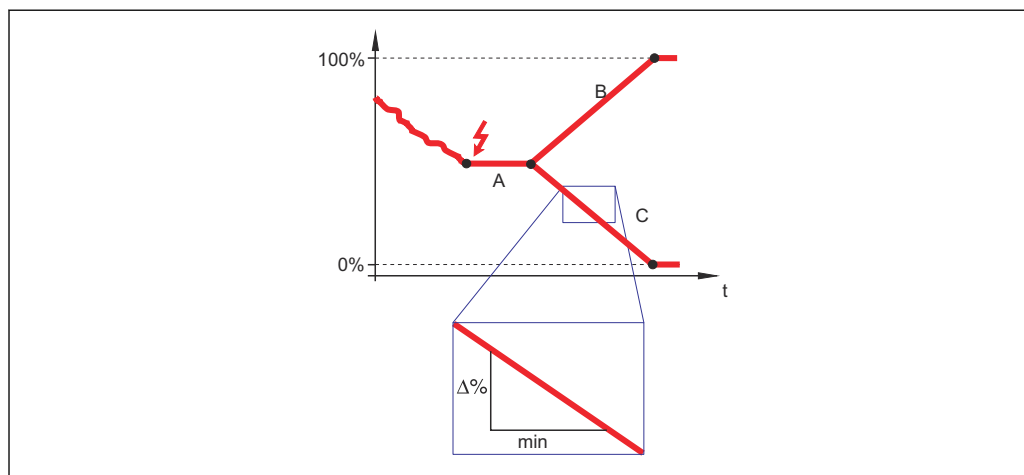
説明

反射がない場合の傾斜の勾配。

ユーザー入力

符号付き浮動小数点数

追加情報



A0013269

- A エコーロスト時遅延時間
 B エコー信号消失時急上昇 (→ 202) (正の値)
 C エコー信号消失時急上昇 (→ 202) (負の値)

- 傾斜の勾配の単位は、「1分あたりの測定範囲のパーセント」(%/min) です。
- 負の傾斜の勾配の場合：測定値は 0% に達するまで継続的に減少します。
- 正の傾斜の勾配の場合：測定値は 100% に達するまで継続的に増加します。

不感知距離



ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → 安全な設定 → 不感知距離

説明

上部不感知距離 (UB) を設定します。

ユーザー入力

0~200 m

工場出荷時設定

- コアキシャルプローブ : 0 mm (0 in)
- 8 m (26 ft) までのロッドプローブ/ローブプローブ : 200 mm (8 in)
- 8 m (26 ft) を超えるロッドプローブ/ローブプローブ : 0.025 * プローブ長

界面測定アプリケーションパッケージ付きの FMP51/FMP52/FMP54¹⁴⁾ および FMP55 用 :
 100 mm (3.9 in) すべてのアンテナタイプ用

14) 注文コード 540 「アプリケーションパッケージ」、オプション EB 「界面測定」をを注文

追加情報

上部不感知距離の信号は、機器がオンになったときに不感知距離の範囲外にあり、操作中のレベル変更によって不感知距離内に移動した場合にのみ評価されます。機器がオンになったとき、すでに不感知距離内にあった信号は無視されます。



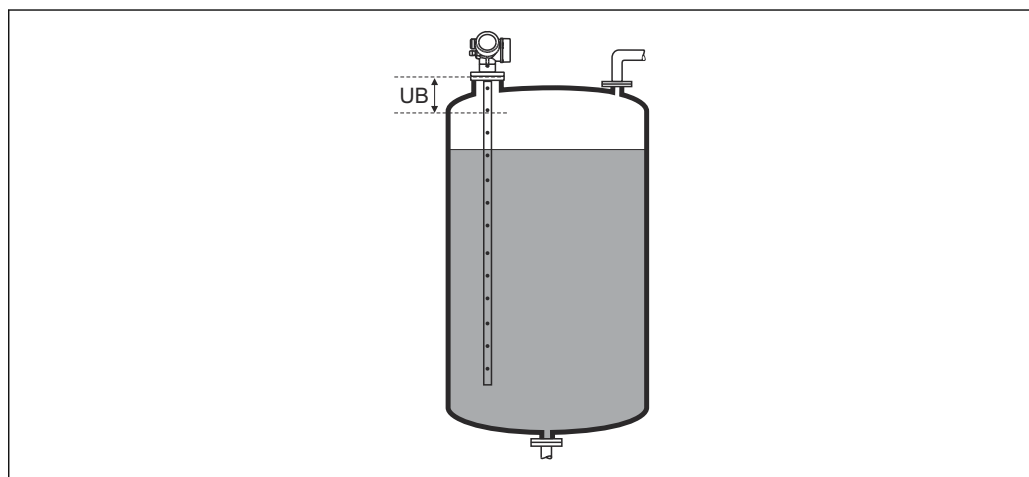
以下の2つの条件を満たしている場合のみ、この挙動が示されます。

- エキスパート → センサ → エコトラッキング → 評価モード = **短期履歴** または **長期履歴**
- エキスパート → センサ → 気相補正 → 気相補正モード = **オン**、**補正なし** または **外部訂正**

条件の1つを満たしていない場合、不感知距離内の信号は常に無視されます。



必要に応じて、不感知距離内の信号に関する別の挙動を弊社サービスが設定します。



A0013219

図 51 液体計測の不感知距離 (UB)

「プローブ設定」 サブメニュー

プローブ設定 サブメニューは、評価アルゴリズムを使用して反射波形内のプローブ終端信号を適切に割り当てするのに役立ちます。機器に表示されるプローブ長が実際のプローブ長と一致する場合に、割り当ては正しくなります。自動プローブ長補正は、プローブが容器内に取り付けられ、完全に露出している（測定物なし）場合にのみ実施できます。容器の一部が充填されている場合、およびプローブ長が既知の場合に値を手動で入力するには、**プローブ長の確認 (→ 𐀓 205) = 手動入力**を選択します。

-  プローブを切断した後、マッピング（不要反射の除去）が記録された場合は、もう自動プローブ長補正を行なうことはできません。その場合は、2つの方法があります。
- 自動プローブ長補正を行う前に、**マップ記録** パラメータ (→ 𐀓 174)を使用してマップを削除します。プローブ長補正が完了したら、**マップ記録** パラメータ (→ 𐀓 174)を使用して新しいマップを記録できます。
 - **プローブ長の確認 (→ 𐀓 205) = 手動入力**を選択し、**実際のプローブ長** パラメータ → 𐀓 204 にプローブ長を手動で入力します。
-  自動プローブ長補正を実施するには、**プローブ接地** パラメータ (→ 𐀓 204)で補正オプションを選択する必要があります。

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → プローブ設定

プローブ接地 	
ナビゲーション	 設定 → 高度な設定 → プローブ設定 → プローブ接地
必須条件	動作モード (→ 𐀓 162) = レベル
説明	プローブが接地されているかどうかを設定します。
選択	■ いいえ ■ はい
実際のプローブ長 	

ナビゲーション	 設定 → 高度な設定 → プローブ設定 → 実際のプローブ長
説明	■ ほとんどの場合： 現在測定されているプローブ終端信号に応じてプローブ長を表示します。 ■ プローブ長の確認 (→ 𐀓 205) = 手動入力： 実際のプローブ長を入力します。
ユーザー入力	0～200 m

プローブ長の確認



ナビゲーション

☰ 設定 → 高度な設定 → プローブ設定 → プローブ長の確認

説明

実際のプローブ長 パラメータ → ☰ 204 に表示される値が実際のプローブ長と一致しているかどうかを選択します。この入力に基づいて、プローブ長補正が実施されます。

選択

- プローブ長 OK
- プローブ長が短すぎる
- プローブ長が長すぎる
- 埋まっているプローブ
- 手動入力
- プローブ長不明

追加情報

選択項目の説明

■ プローブ長 OK

適切なプローブ長が表示された場合は、これを選択します。調整は必要ありません。機器はシーケンスを終了します。

■ プローブ長が短すぎる

表示された長さが実際のプローブ長より短い場合は、これを選択します。異なるプローブ終端信号が割り当てられ、新たに計算された長さが**実際のプローブ長** パラメータ → ☰ 204 に表示されます。表示値が実際のプローブ長と一致するまで、この手順を繰り返します。

■ プローブ長が長すぎる

表示された長さが実際のプローブ長より長い場合は、これを選択します。異なるプローブ終端信号が割り当てられ、新たに計算された長さが**実際のプローブ長** パラメータ → ☰ 204 に表示されます。表示値が実際のプローブ長と一致するまで、この手順を繰り返します。

■ 埋まっているプローブ

プローブが覆われている（一部または完全に）場合は、これを選択します。この場合は、プローブ長補正を行なうことができません。機器はシーケンスを終了します。

■ 手動入力

自動プローブ長補正を実施しない場合は、これを選択します。代わりに、実際のプローブ長を**実際のプローブ長** パラメータ → ☰ 204 に手動で入力する必要があります¹⁵⁾。

■ プローブ長不明

実際のプローブ長が不明な場合は、これを選択します。この場合、プローブ長補正を行うことができないため、機器はシーケンスを終了します。

15) FieldCare で操作している場合は、**手動入力** オプションを選択する必要はありません。FieldCare では、いつでもプローブ長を編集できます。

「プローブ長の補正」ウィザード

 **プローブ長の補正** ウィザードは、現場表示器による操作でのみ使用できます。操作ツールで操作している場合、プローブ長の補正に関連するすべてのパラメータは、**プローブ設定** サブメニュー (→  204) に直接表示されます。

ナビゲーション   設定 → 高度な設定 → プローブ設定 → プローブ長の補正

プローブ長の確認

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → プローブ設定 → プローブ長の補正 → プローブ長の確認

説明 →  205

実際のプローブ長

ナビゲーション   設定 → 高度な設定 → プローブ設定 → プローブ長の補正 → 実際のプローブ長

説明 →  204

「スイッチ出力」サブメニュー

 **スイッチ出力** サブメニュー (→  207)は、スイッチ出力のある機器¹⁶⁾でのみ表示されます。

ナビゲーション   設定 → 高度な設定 → スイッチ出力

スイッチ出力機能



ナビゲーション

  設定 → 高度な設定 → スイッチ出力 → スイッチ出力機能

説明

スイッチ出力の機能を選択。

選択

- オフ
- オン
- 診断動作
- リミット
- デジタル出力

追加情報

選択項目の説明

- **オフ**
出力は常にオープンです（非導通）。
- **オン**
出力は常にクローズです（導通）。
- **診断動作**
出力は通常はクローズで、診断イベントが発生したときのみオープンになります。**診断動作の割り当て** パラメータ (→  208)は、出力がオープンになるイベントタイプを設定します。
- **リミット**
出力は通常はクローズで、測定変数が設定したリミット値を超過または下回ったときのみオープンになります。リミット値は以下のパラメータで設定します。
 - **リミットの割り当て (→  208)**
 - **スイッチオンの値 (→  209)**
 - **スイッチオフの値 (→  210)**
- **デジタル出力**
出力のスイッチング状況は、DI 機能ブロックの出力値を追跡します。機能ブロックは、**ステータスの割り当て** パラメータ (→  207)で選択します。

 **オフ**および**オン**オプションを使用すると、スイッチ出力をシミュレートできます。

ステータスの割り当て



ナビゲーション

  設定 → 高度な設定 → スイッチ出力 → ステータスの割り当て

必須条件

スイッチ出力機能 (→  207) = **デジタル出力** に設定します。

選択

- オフ
- デジタル出力の高度な診断 1
- デジタル出力の高度な診断 2

16) 注文コード 020「電源；出力」、オプション B、E、または G

- デジタル出力 1
- デジタル出力 2
- デジタル出力 3
- デジタル出力 4
- デジタル出力 5
- デジタル出力 6
- デジタル出力 7
- デジタル出力 8

追加情報

デジタル出力の高度な診断 1 およびデジタル出力の高度な診断 2 オプションは、高度な診断ブロックに関連付けられます。このブロックで生成されたスイッチ信号はスイッチ出力を介して伝送できます。

リミットの割り当て

ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → スイッチ出力 → リミットの割り当て

必須条件

スイッチ出力機能 (→  207) = リミット に設定します。

- 選択
- オフ
 - リニアライゼーションされたレベル
 - 距離
 - リニアライゼーションされた界面 *
 - 界面距離 *
 - 上層部の厚さ *
 - 端子電圧
 - 電気部内温度
 - 測定された静電容量 *
 - エコーの相対振幅
 - 界面の相対振幅 *
 - エコーの絶対振幅
 - 界面の絶対振幅 *

診断動作の割り当て

ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → スイッチ出力 → 診断動作の割り当て

必須条件

スイッチ出力機能 (→  207) = 診断動作 に設定します。

説明

スイッチ出力の診断動作を選択。

- 選択
- アラーム
 - アラーム + 警告
 - 警告

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

スイッチオンの値



ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → スイッチ出力 → スイッチオンの値

必須条件

スイッチ出力機能 (→ 207) = リミット に設定します。

説明

スイッチオンポイントの測定値を入力します。

ユーザー入力

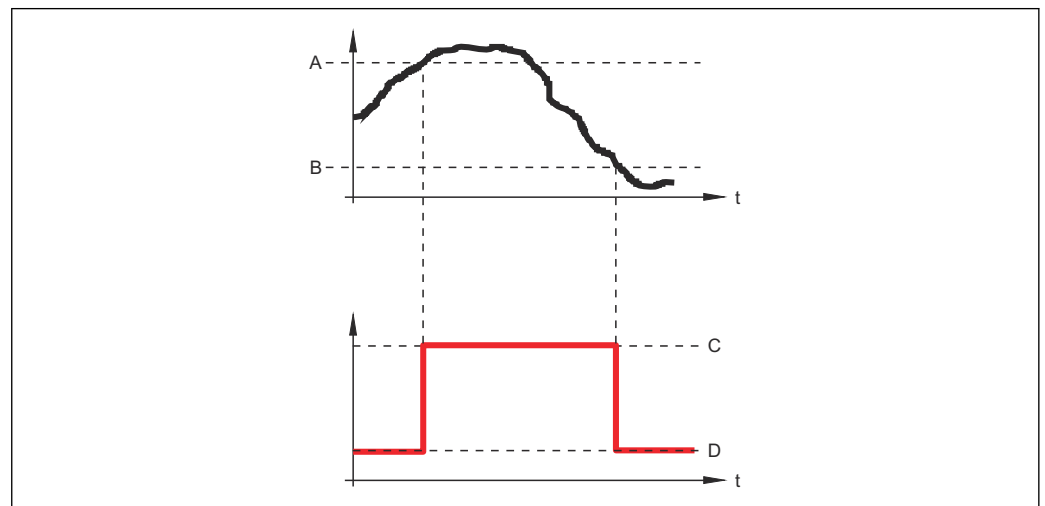
符号付き浮動小数点数

追加情報

スイッチ動作は、**スイッチオンの値**および**スイッチオフの値**パラメータの相対位置に応じて異なります。

スイッチオンの値 > スイッチオフの値

- 測定値が**スイッチオンの値**より大きい場合、出力はクローズになります。
- 測定値が**スイッチオフの値**より小さい場合、出力はオープンになります。

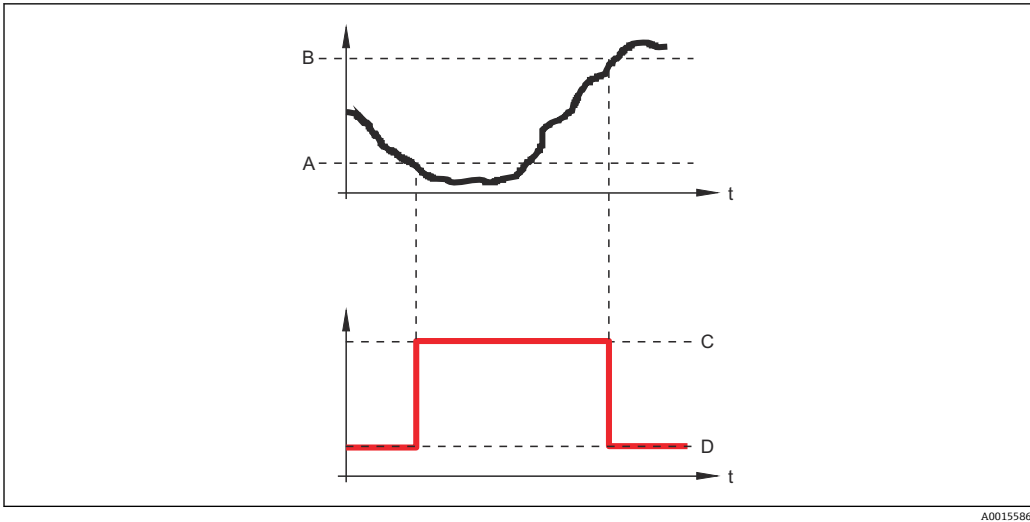


A0015585

- A スイッチオンの値
- B スイッチオフの値
- C 出力クローズ (導通)
- D 出力オープン (非導通)

スイッチオンの値 < スイッチオフの値

- 測定値が**スイッチオンの値**より小さい場合、出力はクローズになります。
- 測定値が**スイッチオフの値**より大きい場合、出力はオープンになります。



- A スイッチオンの値
- B スイッチオフの値
- C 出力クローズ（導通）
- D 出力オープン（非導通）

A0015586

スイッチオンの遅延

ナビゲーション	  設定 → 高度な設定 → スイッチ出力 → スイッチオンの遅延
必須条件	■ スイッチ出力機能 (→  207) = リミット に設定します。 ■ リミットの割り当て (→  208) ≠ オフ
説明	ステータス出力をスイッチオンする遅延時間を定義。
ユーザー入力	0.0～100.0 秒

スイッチオフの値

ナビゲーション	  設定 → 高度な設定 → スイッチ出力 → スイッチオフの値
必須条件	スイッチ出力機能 (→  207) = リミット に設定します。
説明	スイッチオフポイントの測定値を入力します。
ユーザー入力	符号付き浮動小数点数
追加情報	スイッチ動作は、 スイッチオンの値 および スイッチオフの値 パラメータの相対位置に応じて異なります。詳細については、 スイッチオンの値 パラメータ (→  209)を参照してください。

スイッチオフの遅延

ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → スイッチ出力 → スイッチオフの遅延

必須条件

- スイッチ出力機能 (→  207) = リミット に設定します。
- リミットの割り当て (→  208) ≠ オフ

説明

ステータス出力をスイッチオフする遅延時間を定義。

ユーザー入力

0.0～100.0 秒

フェールセーフモード

ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → スイッチ出力 → フェールセーフモード

必須条件

スイッチ出力機能 (→  207) = リミット または デジタル出力

説明

アラーム状態の時の出力動作の定義。

選択

- 実際のステータス
- オープン
- クローズ

追加情報

ステータス切り替え

ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → スイッチ出力 → ステータス切り替え

説明

スイッチ出力の現在のステータスを示します。

出力信号の反転

ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → スイッチ出力 → 出力信号の反転

説明

出力信号の反転。

選択

- いいえ
- はい

追加情報

選択項目の説明

- いいえ
スイッチ出力の挙動は上記説明の通りです。
- はい
オープンおよび**クローズ**のステータスは、上記説明の逆になります。

「表示」サブメニュー



表示 サブメニューは、表示モジュールを機器に接続している場合にのみ表示されます。

ナビゲーション 設定 → 高度な設定 → 表示

Language

ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → 表示 → Language

説明

表示言語を設定。

選択

- English
- Deutsch *
- Français *
- Español *
- Italiano *
- Nederlands *
- Portuguesa *
- Polski *
- русский язык (Russian) *
- Svenska *
- Türkçe *
- 中文 (Chinese) *
- 日本語 (Japanese) *
- 한국어 (Korean) *
- Bahasa Indonesia *
- tiếng Việt (Vietnamese) *
- čeština (Czech) *

工場出荷時設定

製品構成の仕様コード 500 で選択した言語。
言語を選択しなかった場合：**English**

追加情報

表示形式

ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → 表示 → 表示形式

説明

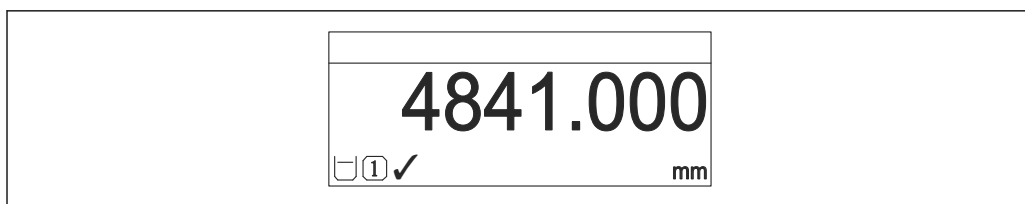
測定値のディスプレイへの表示方法を選択。

選択

- 1つの値、最大サイズ
- 1つの値 + バーグラフ
- 2つの値
- 1つの値はサイズ大 + 2つの値
- 4つの値

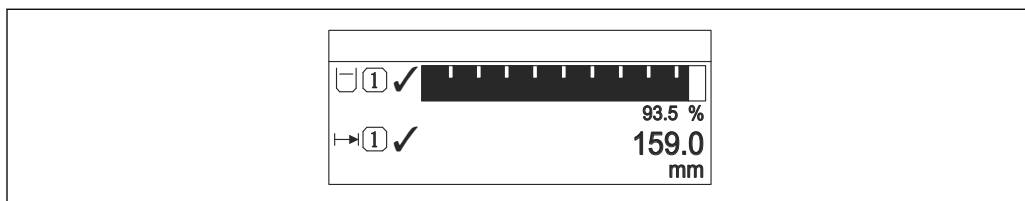
* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

追加情報



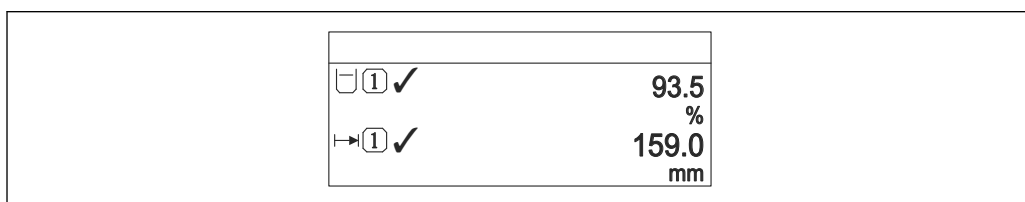
A0019963

図 52 「表示形式」 = 「1 つの値、最大サイズ」



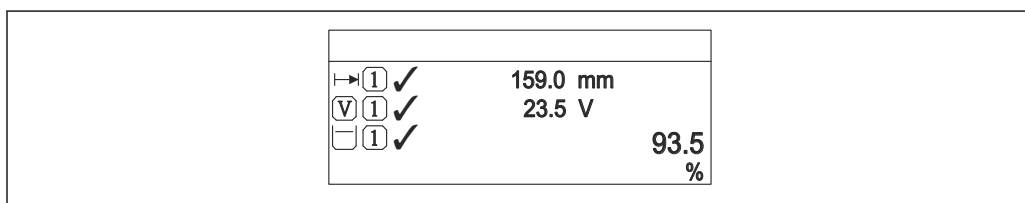
A0019964

図 53 「表示形式」 = 「1 つの値 + バーグラフ」



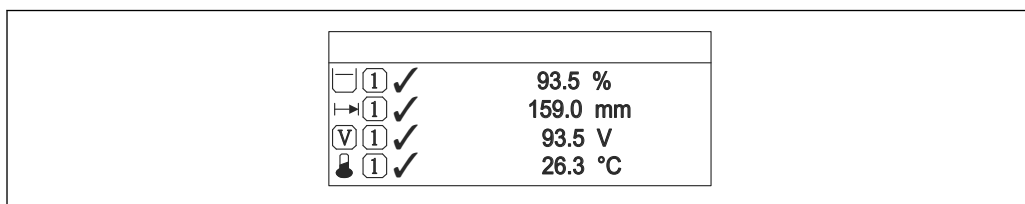
A0019965

図 54 「表示形式」 = 「2 つの値」



A0019966

図 55 「表示形式」 = 「1 つの値はサイズ大 + 2 つの値」



A0019968

図 56 「表示形式」 = 「4 つの値」

- **1~4 の値表示** → 図 215 パラメータは、ディスプレイに表示する測定値とその表示順序を設定します。
- 現在の表示モードで許容される数より多くの測定値を指定した場合は、機器表示部上で値が交互に表示されます。表示が切り替わるまでの表示時間は、**表示間隔**パラメータ (→ 図 216) で設定します。

1～4 の値表示



ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → 表示 → 1 の値表示

説明

ローカル ディスプレイに表示する測定値を選択。

選択

- リニアライゼーションされたレベル
- 距離
- リニアライゼーションされた界面*
- 界面距離*
- 上層部の厚さ*
- 端子電圧
- 電気部内温度
- 測定された静電容量*
- アナログ出力の高度な診断 1
- アナログ出力の高度な診断 2
- アナログ出力 1
- アナログ出力 2
- アナログ出力 3
- アナログ出力 4
- アナログ出力 5
- アナログ出力 6
- アナログ出力 7
- アナログ出力 8

工場出荷時設定

レベル測定の場合

- 1 の値表示: リニアライゼーションされたレベル
- 2 の値表示: 距離
- 3 の値表示: 電流出力 1
- 4 の値表示: なし

界面測定、電流出力が 1 つの場合

- 1 の値表示: リニアライゼーションされた界面
- 2 の値表示: リニアライゼーションされたレベル
- 3 の値表示: 上層部の厚さ
- 4 の値表示: 電流出力 1

界面測定、電流出力が 2 つの場合

- 1 の値表示: リニアライゼーションされた界面
- 2 の値表示: リニアライゼーションされたレベル
- 3 の値表示: 電流出力 1
- 4 の値表示: 電流出力 2

小数点桁数 1～4



ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → 表示 → 小数点桁数 1

説明

表示値の小数点以下の桁数を選択。

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

- 選択**
- X
 - X.X
 - X.XX
 - X.XXX
 - X.XXXX

追加情報 この設定は、機器の測定や計算の精度には影響しません。

表示間隔

ナビゲーション   設定 → 高度な設定 → 表示 → 表示間隔

説明 測定値の切り替え表示の時に測定値を表示する時間を設定。

ユーザー入力 1～10 秒

追加情報 このパラメータは、選択された表示形式で同時に表示可能な数を、選択された測定値の数が超えた場合にのみ適用されます。

表示のダンピング



ナビゲーション   設定 → 高度な設定 → 表示 → 表示のダンピング

説明 測定値の変動に対する表示の応答時間を設定。

ユーザー入力 0.0～999.9 秒

ヘッダー

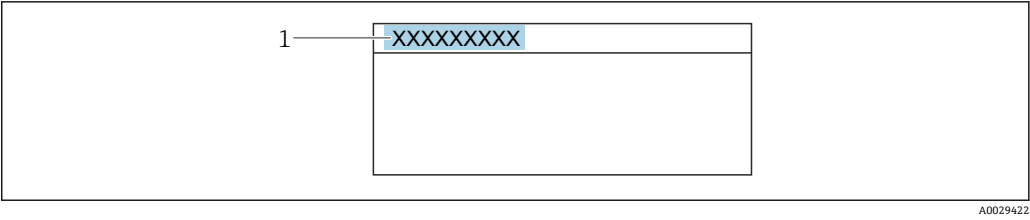


ナビゲーション   設定 → 高度な設定 → 表示 → ヘッダー

説明 ローカル ディスプレイのヘッダーの内容を選択。

- 選択**
- デバイスのタグ
 - フリーテキスト

追加情報



A0029422

1 表示部のヘッダーテキストの位置

選択項目の説明

- **デバイスのタグ**
は**デバイスのタグ** パラメータで定義されます。
- **フリーテキスト**
は**ヘッダーテキスト** パラメータ (→ 217)で定義されます。

ヘッダーテキスト



ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → 表示 → ヘッダーテキスト

必須条件

ヘッダー (→ 216) = **フリーテキスト** に設定します。

説明

ディスプレイのヘッダーのテキストを入力。

ユーザー入力

数字、英字、特殊文字からなる文字列 (12)

追加情報

表示できる文字数は使用される文字に応じて異なります。

区切り記号



ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → 表示 → 区切り記号

説明

数値表示の桁区切り記号を選択。

選択

- .
- ,

数値形式



ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → 表示 → 数値形式

説明

ディスプレイの選択番号の形式。

選択

- 十進法
- ft-in-1/16"

追加情報

ft-in-1/16" オプション は、距離単位でのみ有効です。

小数点桁数メニュー



ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → 表示 → 小数点桁数メニュー

説明

操作メニュー内の数値の小数点桁数を選択します。

選択

- X
- X.X
- X.XX
- X.XXX
- X.XXXX

追加情報

- 操作メニュー内の数値（**空校正**や**満量校正**など）に対してのみ有効で、測定値表示部には無効です。測定値表示部の小数点桁数は、**小数点桁数 1～4** →  215 パラメータで設定します。
- この設定は、機器の測定や計算の精度には影響しません。

バックライト

ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → 表示 → バックライト

必須条件

SD03 現場表示器（光学式キー付き）を使用する場合にのみ実行できます。

説明

ローカル ディスプレイのバックライトのオンとオフを切り替え。

選択

- 無効
- 有効

追加情報

選択項目の説明

- 無効
バックライトをオフにします。
- 有効
バックライトをオンにします。

 このパラメータの設定に関係なく、機器の供給電圧が低すぎる場合は自動的にバックライトがオフになります。

表示のコントラスト

ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → 表示 → 表示のコントラスト

説明

周囲条件 (照明、読み取り角度など) に合わせてローカル ディスプレイのコントラスト設定を調整。

ユーザー入力

20～80 %

工場出荷時設定

ディスプレイに応じて異なります。

追加情報

- 押しボタンでコントラストを設定します。
- より暗く：☐☐ ボタンを同時に押します。
 - より明るく：☐☐ ボタンを同時に押します。

「設定バックアップの表示」サブメニュー

-  このサブメニューは、表示モジュールを機器に接続している場合にのみ表示されます。
- 機器の設定は、特定の時点表示モジュールに保存することが可能です（バックアップ）。保存された設定は、必要に応じて機器に復元できます（例：機器を特定の状態に戻すため）。表示モジュールを使用して、その設定を同タイプの別の機器に伝送することも可能です。
-  設定の交換は、動作モードが同じである機器間でのみ可能です（**動作モード** パラメータ（→  162）を参照）。

ナビゲーション   設定 → 高度な設定 → 設定バックアップの表示

稼働時間

ナビゲーション	  設定 → 高度な設定 → 設定バックアップの表示 → 稼働時間
説明	装置の稼働時間を示す。
追加情報	最大時間 9999 d（≈ 27 年）

最後のバックアップ

ナビゲーション	  設定 → 高度な設定 → 設定バックアップの表示 → 最後のバックアップ
説明	最後のデータのバックアップがディスプレイ モジュールに保存された時を示す。

設定管理

ナビゲーション	  設定 → 高度な設定 → 設定バックアップの表示 → 設定管理
説明	ディスプレイ モジュール内の機器データを管理する操作を選択。
選択	■ キャンセル ■ バックアップの実行 ■ 復元 ■ 複製 ■ 比較 ■ バックアップデータの削除 ■ Display incompatible

追加情報

選択項目の説明

■ キャンセル

何も実行せずにこのパラメータを終了します。

■ バックアップの実行

HistoROM（機器に内蔵）にある現在の機器設定のバックアップコピーを、機器の表示モジュールに保存します。

■ 復元

機器設定のバックアップコピーを、表示モジュールから機器の HistoROM にコピーします。

■ 複製

変換器の表示モジュールを使用して、変換器設定を別の機器に複製します。以下は個々の測定点の特性を設定するパラメータであり、伝送される設定には**含まれません**。
測定物タイプ

■ 比較

表示モジュールに保存された機器設定と HistoROM の現在の機器設定とを比較します。この比較結果は、**比較の結果** パラメータ (→ 221) パラメータに表示されます。

■ バックアップデータの削除

機器設定のバックアップコピーを、機器の表示モジュールから削除します。



この操作の処理中は、現場表示器を介して設定を編集することはできません。また、処理ステータスを表すメッセージが表示されます。



復元 オプションを使用して既存のバックアップを別の機器に復元した場合、同じ機器機能が使用できなくなる場合があります。場合によっては、機器をリセットしても元の状態に復元できないことがあります。

設定を別の機器に伝送する場合は、必ず**複製** オプションを使用してください。

バックアップのステータス

ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → 設定バックアップの表示 → バックアップのステータス

説明

バックアップ動作の現在の進捗状況を表示します。

比較の結果

ナビゲーション

設定 → 高度な設定 → 設定バックアップの表示 → 比較の結果

説明

現在の機器データと表示したバックアップデータの比較。

追加情報

表示選択の説明

■ 設定データは一致する

HistoROM の現在の機器設定と表示モジュールのバックアップコピーは一致します。

■ 設定データは一致しない

HistoROM の現在の機器設定と表示モジュールのバックアップコピーは一致しません。

■ バックアップデータはありません

HistoROM の機器設定のバックアップコピーが表示モジュールにはありません。

- **保存データの破損**

HistoROM の現在の機器設定が破損しているか、または表示モジュールのバックアップコピーとの互換性がありません。

- **チェック未完了**

HistoROM の機器設定と表示モジュールのバックアップコピーとの比較がまだ完了していません。

- **データセット非互換**

データセットに互換性がないため比較できません。

 比較を開始するには、**設定管理 (→ 220) = 比較**を設定します。

 **設定管理 (→ 220) = 複製**によって変換器の設定を別の機器から複製した場合、HistoROM の新しい機器設定は、表示モジュールに保存されている設定の一部として一致しません。センサ固有の特性（マッピングカーブなど）は複製されません。したがって、比較結果は、**設定データは一致しない**になります。

「管理」サブメニュー

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → 管理

アクセスコード設定



ナビゲーション

  設定 → 高度な設定 → 管理 → アクセスコード設定

説明

パラメータへの書き込み権のためのアクセスコードを定義。

ユーザー入力

0～9999

追加情報

-  初期設定を変更していない場合、またはアクセスコードとして「0」を設定している場合、パラメータは書込保護されず、機器の設定データはいつでも変更可能な状態となります。ユーザーはメンテナンスの役割でログオンします。
-  書込保護は、本書の  シンボルが付いたすべてのパラメータに適用されます。現場表示器でパラメータの前に  シンボルが表示される場合、そのパラメータは書き込み保護になっています。
-  アクセスコードを設定すると、書き込み保護されたパラメータは、**アクセスコード入力** パラメータ (→  179) でアクセスコードを入力しない限り変更できません。
-  アクセスコードを紛失した場合は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。
-  ディスプレイ操作：新しいアクセスコードは、**アクセスコードの確認** パラメータ (→  225) で確認した後、有効になります。

機器リセット



ナビゲーション

 設定 → 高度な設定 → 管理 → 機器リセット 設定 → 高度な設定 → 管理 → 機器リセット

選択

- キャンセル
- フィールドバスの初期値に
- 工場出荷設定に
- 納入時の状態に
- ユーザ設定の
- 変換器初期状態へ
- 機器の再起動

追加情報

選択項目の説明

- キャンセル
動作なし
- 工場出荷設定に
すべてのパラメータをオーダーコードで指定された初期設定にリセットします。
- 納入時の状態に
すべてのパラメータを納入時の設定にリセットします。ユーザー固有の設定が注文された場合は、出荷時の設定が工場の初期設定と異なる場合があります。ユーザー固有の設定を注文している場合のみ、この選択項目が表示されます。

- **ユーザ設定の**

すべてのユーザパラメータをその初期設定にリセットします。ただし、サービスパラメータは変更されません。

- **変換器初期状態へ**

すべての測定関連パラメータを工場出荷時の設定にリセットします。ただし、サービスパラメータおよび通信関連パラメータは変更されません。

- **機器の再起動**

再起動により、揮発性メモリ（RAM）に保存されているすべてのパラメータを初期設定にリセットします（例：測定値データ）。機器設定に変更はありません。

「アクセスコード設定」ウィザード

 **アクセスコード設定** ウィザードは、現場表示器による操作でのみ使用できます。操作ツールで操作している場合、**アクセスコード設定** パラメータは**管理** サブメニューに直接表示されます。**アクセスコードの確認** パラメータは、操作ツールからは使用できません。

ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → 管理 → アクセスコード設定

アクセスコード設定



ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → 管理 → アクセスコード設定 → アクセスコード設定

説明 →  223

アクセスコードの確認



ナビゲーション  設定 → 高度な設定 → 管理 → アクセスコード設定 → アクセスコードの確認

説明 入力されたアクセスコードを確認してください。

ユーザー入力 0～9999

17.4 「診断」メニュー

ナビゲーション  診断

現在の診断結果

ナビゲーション	 診断 → 現在の診断結果
説明	現在の診断メッセージを表示します。
追加情報	表示の構成： ■ イベント動作のシンボル ■ 診断動作のコード ■ イベントの発生時間 ■ イベントテキスト  同時に複数のメッセージがオンの場合は、最優先に処理する必要のあるメッセージが表示されます。  メッセージの原因および対策の情報については、表示器の ⓘ シンボルで表示されます。

タイムスタンプ

ナビゲーション	 診断 → タイムスタンプ
---------	--

前回の診断結果

ナビゲーション	 診断 → 前回の診断結果
説明	現在の診断メッセージが出力されるまで有効であった前回の診断メッセージを表示します。
追加情報	表示の構成： ■ イベント動作のシンボル ■ 診断動作のコード ■ イベントの発生時間 ■ イベントテキスト  表示される状態がまだ継続している可能性があります。メッセージの原因および対策の情報については、表示器の ⓘ シンボルで表示されます。

タイムスタンプ

ナビゲーション  診断 → タイムスタンプ

再起動からの稼働時間

ナビゲーション   診断 → 再起動からの稼働時間

説明 前回の機器の再起動からの稼働時間を表示します。

稼働時間

ナビゲーション   診断 → 稼働時間

説明 装置の稼働時間を示す。

追加情報 最大時間
9999 d (≈ 27 年)

17.4.1 「診断リスト」サブメニュー

ナビゲーション  診断 → 診断リスト

診断 1～5

ナビゲーション

 診断 → 診断リスト → 診断 1

説明

現在の診断メッセージの中で最も優先度の高い 5 つのメッセージを表示します。

追加情報

- 表示の構成：
- イベント動作のシンボル
 - 診断動作のコード
 - イベントの発生時間
 - イベントテキスト

タイムスタンプ 1～5

ナビゲーション

 診断 → 診断リスト → タイムスタンプ

17.4.2 「イベントログブック」サブメニュー

 **イベントログブック** サブメニューは、現場表示器による操作でのみ使用できます。FieldCare の操作時には、FieldCare の「イベントリスト/HistoROM」機能でイベントリストを表示できます。

ナビゲーション  診断 → イベントログブック

フィルタオプション



ナビゲーション  診断 → イベントログブック → フィルタオプション

- 選択
- すべて
 - 故障 (F)
 - 機能チェック (C)
 - 仕様範囲外 (S)
 - メンテナンスが必要 (M)
 - 情報 (I)

追加情報  ■ このパラメータは、現場表示器による操作でのみ使用できます。
■ ステータス信号は NAMUR NE 107 に従って分類されます。

「イベントリスト」サブメニュー

イベントリスト サブメニューには、**フィルタオプション** パラメータ (→  229) で選択したカテゴリーの過去のイベントの履歴が表示されます。最大 100 件のイベントを時系列に表示できます。

以下のシンボルは、イベントの発生または終了を示すものです。

-  : イベント発生
-  : イベント終了

 メッセージの原因および対策の情報については、 ボタンで確認できます。

表示形式

- カテゴリー I のイベントメッセージの場合：情報イベント、イベントテキスト、「記録イベント」シンボル、イベント発生時刻
- カテゴリー F、M、C、S (ステータス信号) のイベントメッセージの場合：診断イベント、イベントテキスト、「記録イベント」シンボル、イベント発生時刻

ナビゲーション  診断 → イベントログブック → イベントリスト

ナビゲーション 診断 → 機器情報

230 Endress+Hauser

機器名	
ナビゲーション	 診断 → 機器情報 → 機器名
	 診断 → 機器情報 → 機器名
オーダーコード 	
ナビゲーション	 診断 → 機器情報 → オーダーコード
	 診断 → 機器情報 → オーダーコード
ユーザーインターフェイス	数字、英字、特殊文字からなる文字列
追加情報	オーダーコードは、機器の製品構成に関するすべての仕様項目を明示する拡張オーダーコードから生成されたものです。一方で、オーダーコードから直接機器仕様項目を読み取ることはできません。
拡張オーダーコード 1～3 	
ナビゲーション	 診断 → 機器情報 → 拡張オーダーコード 1
	 診断 → 機器情報 → 拡張オーダーコード 1
説明	拡張オーダーコードの 3 つのパートが表示されます。
ユーザーインターフェイス	数字、英字、特殊文字からなる文字列
追加情報	拡張オーダーコードは、機器の製品構成に関するすべての仕様項目を示すものであり、それにより機器を一意的に識別することが可能です。

17.4.4 「測定値」サブメニュー

ナビゲーション  診断 → 測定値

距離

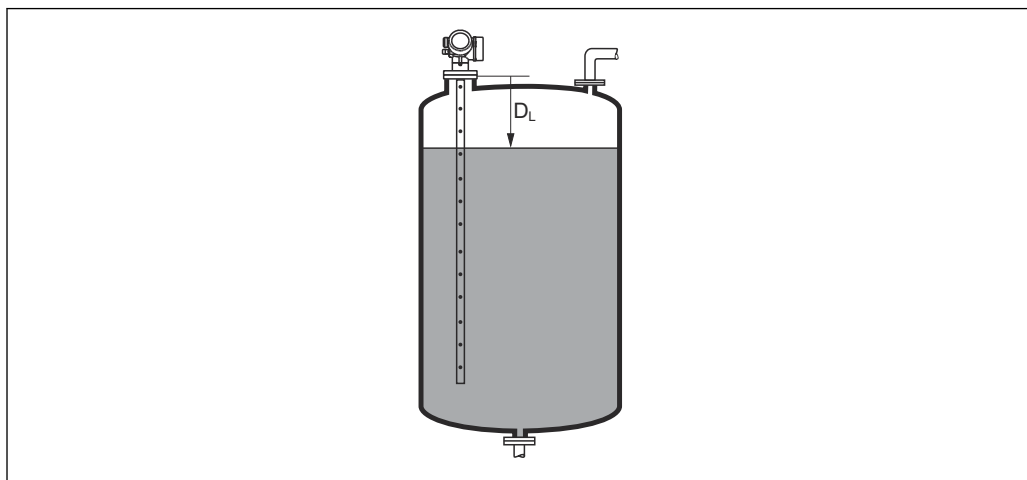
ナビゲーション

 診断 → 測定値 → 距離

説明

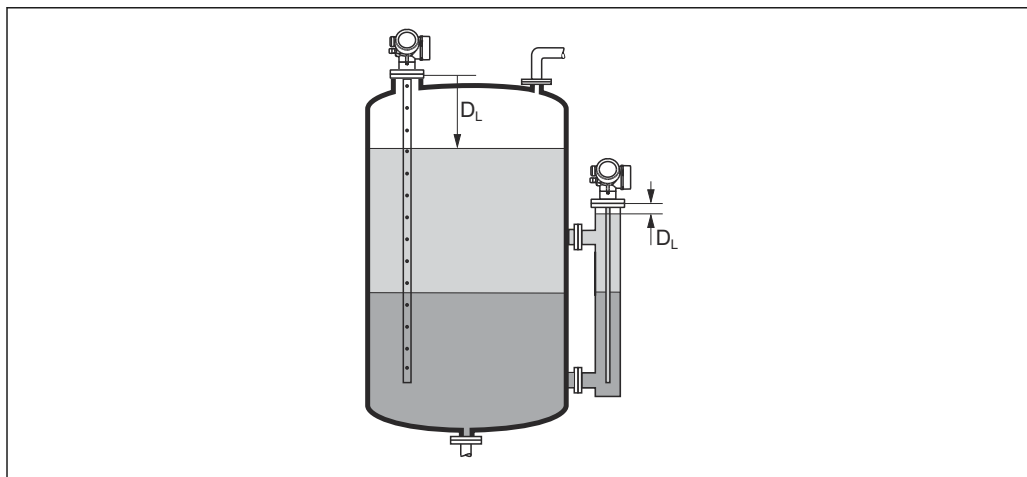
測定基準点（フランジまたはネジ込み接続の下端）からレベルまでの測定距離 D_L を表示します。

追加情報



A0013198

 57 液体計測の距離



A0013199

 58 界面測定の距離

 単位は、**距離の単位** パラメータ (→  162) で設定します。

リニアライゼーションされたレベル

ナビゲーション

☰☰ 診断 → 測定値 → リニアライズされたレベル

説明

リニアライズされたレベルを表示します。

追加情報

- i** ■ 単位は、**リニアライゼーション後の単位** パラメータで設定します → 195。
■ 界面測定の場合、このパラメータは常に全体レベルに関連付けられます。

界面距離

ナビゲーション

☰☰ 診断 → 測定値 → 界面距離

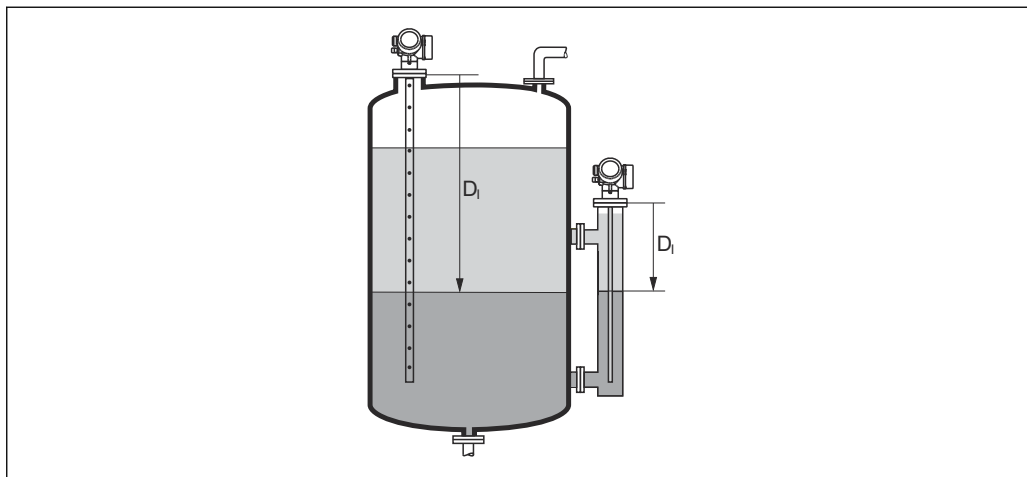
必須条件

動作モード (→ 162) = 界面または静電容量による界面

説明

測定基準点（フランジまたはネジ込み接続の下端）から界面層までの測定距離 D_I を表示します。

追加情報



A0013202

- i** 単位は、**距離の単位** パラメータ (→ 162) で設定します。

リニアライゼーションされた界面

ナビゲーション

☰☰ 診断 → 測定値 → リニアライズされた界面

必須条件

動作モード (→ 162) = 界面または静電容量による界面

説明

リニアライズされた界面高さを表示します。

追加情報

- i** 単位は、**リニアライゼーション後の単位** パラメータで設定します → 195。

上層部の厚さ

ナビゲーション

 診断 → 測定値 → 上層部の厚さ

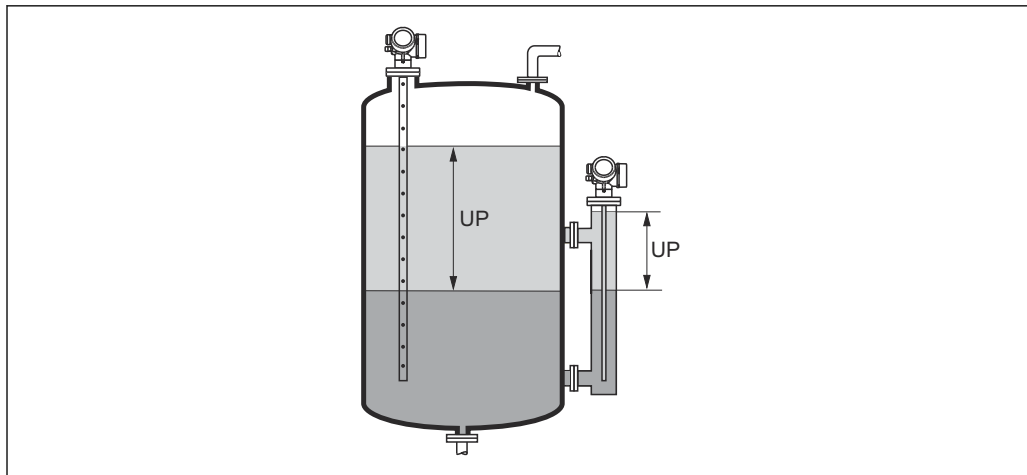
必須条件

動作モード (→  162) = 界面 または 静電容量による界面

説明

上部界面の厚み (UP) を表示します。

追加情報



A0013313

UP 上層部の厚さ

 単位は、リニアライゼーション後の単位 パラメータ →  195 で設定します。

端子電圧 1

ナビゲーション

 診断 → 測定値 → 端子電圧 1

17.4.5 「Analog input 1～5」 サブメニュー

機器の各 AI ブロックに **Analog inputs** サブメニュー があります。AI ブロックを使用してバスへの測定値の伝送を設定します。

 このサブメニューでは AI ブロックの最も基本的な特性しか設定できません。AI ブロックの詳細設定については、**エキスパート** メニュー を参照してください。

ナビゲーション  診断 → Analog inputs → Analog input 1～5

Block tag

ナビゲーション	 診断 → Analog inputs → Analog input 1～7 → Block tag
説明	Defined to be unique throughout the control system at one plant site. The tag may be changed using the FB_Tag service.。
ユーザー入力	数字、英字、特殊文字からなる文字列 (32)

Channel

ナビゲーション	 診断 → Analog inputs → Analog input 1～7 → Channel
説明	この機能を使用して、アナログ入力機能ブロックで処理する入力値を選択します。
選択	■ Uninitialized ■ リニアライゼーションされたレベル ■ エコーの絶対振幅 ■ 絶対 EOP 振幅 ■ 界面の絶対振幅 * ■ 距離 ■ 電気部内温度 ■ EOP シフト ■ リニアライゼーションされた界面 * ■ 界面距離 * ■ 測定された静電容量 * ■ エコーの相対振幅 ■ 界面の相対振幅 * ■ 信号ノイズ ■ 端子電圧 ■ 上層部の厚さ * ■ DC の計算値 * ■ アナログ出力の高度な診断 2 ■ アナログ出力の高度な診断 1

Status

ナビゲーション	 診断 → Analog inputs → Analog input 1～7 → Status
説明	FOUNDATION フィールドバス仕様に従って AI ブロックの出力ステータスを示します。

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

Value

ナビゲーション

 診断 → Analog inputs → Analog input 1～7 → Value

説明

AI ブロックの出力値を示します。

Units index

ナビゲーション

 診断 → Analog inputs → Analog input 1～7 → Units index

説明

出力値の単位を示します。

17.4.6 「データのログ」サブメニュー

ナビゲーション  診断 → データのログ

チャンネル 1～4 の割り当て



ナビゲーション

 診断 → データのログ → チャンネル 1～4 の割り当て

選択

- オフ
- リニアライゼーションされたレベル
- 距離
- フィルタ処理なしの距離
- リニアライゼーションされた界面 *
- 界面距離 *
- フィルタ処理なしの界面距離
- 上層部の厚さ *
- 端子電圧
- 電気部内温度
- 測定された静電容量 *
- エコーの絶対振幅
- エコーの相対振幅
- 界面の絶対振幅 *
- 界面の相対振幅 *
- 絶対 EOP 振幅
- EOP シフト
- 信号ノイズ
- DC の計算値 *
- アナログ出力の高度な診断 1
- アナログ出力の高度な診断 2
- アナログ出力 1
- アナログ出力 2
- アナログ出力 3
- アナログ出力 4

追加情報

合計 1000 個の測定値をロギングできます。つまり、

- ロギングチャンネルを 1 つ使用する場合：チャンネルあたりのデータポイント数 1000 個
- ロギングチャンネルを 2 つ使用する場合：チャンネルあたりのデータポイント数 500 個
- ロギングチャンネルを 3 つ使用する場合：チャンネルあたりのデータポイント数 333 個
- ロギングチャンネルを 4 つ使用する場合：チャンネルあたりのデータポイント数 250 個

データポイントが最大数に達すると、データログの最も古いデータポイントが周期的に上書きされ、必ず最新の測定値 1000、500、333、または 250 個がログに保存されます（リングメモリ形式）。



このパラメータで新しいオプションを選択すると、ログデータは削除されます。

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

ロギングの時間間隔

- ナビゲーション
- 診断 → データのログ → ロギングの時間間隔
- 診断 → データのログ → ロギングの時間間隔

ユーザー入力

1.0～3 600.0 秒

追加情報

このパラメータは、データログの各データポイント間の時間間隔を設定するもので、それにより、ロギング可能な最大の時間 T_{log} が決まります。

- ロギングチャンネルを 1 つ使用する場合 : $T_{log} = 1000 \cdot t_{log}$
- ロギングチャンネルを 2 つ使用する場合 : $T_{log} = 500 \cdot t_{log}$
- ロギングチャンネルを 3 つ使用する場合 : $T_{log} = 333 \cdot t_{log}$
- ロギングチャンネルを 4 つ使用する場合 : $T_{log} = 250 \cdot t_{log}$

設定時間が経過すると、データログの最も古いデータポイントが周期的に上書きされ、必ず T_{log} の時間がメモリに保存されます (リングメモリ形式)。

i

 このパラメータを変更すると、ログデータは削除されます。

例

ロギングチャンネルを 1 つ使用する場合

- $T_{log} = 1000 \cdot 1 \text{ 秒} = 1000 \text{ 秒} \approx 16.5 \text{ min}$
- $T_{log} = 1000 \cdot 10 \text{ 秒} = 1000 \text{ 秒} \approx 2.75 \text{ h}$
- $T_{log} = 1000 \cdot 80 \text{ 秒} = 80\,000 \text{ 秒} \approx 22 \text{ h}$
- $T_{log} = 1000 \cdot 3\,600 \text{ 秒} = 3\,600\,000 \text{ 秒} \approx 41 \text{ d}$

すべてのログをリセット

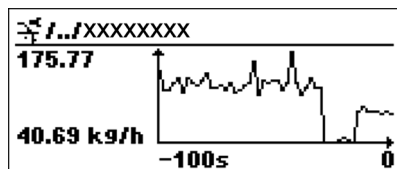
- ナビゲーション
- 診断 → データのログ → すべてのログをリセット
- 診断 → データのログ → すべてのログをリセット

- 選択
- キャンセル
 - データ削除

「チャンネル 1～4 表示」 サブメニュー

i チャンネル 1～4 表示サブメニューは、現場表示器による操作でのみ使用できます。FieldCare の操作時には、FieldCare の「イベントリスト/HistoROM」機能でログダイアグラムを表示できます。

チャンネル 1～4 表示サブメニューは、各チャンネルのログ履歴のダイアグラムを表示します。



- x 軸：選択されたチャンネル数に応じて 250 ～ 1000 個のプロセス変数の測定値が表示されます。
- y 軸：常に測定中の値に合わせて、おおまかな測定値スパンを示します。

i 操作メニューに戻るには、**+** と **0** を同時に押します。

ナビゲーション 診断 → データのログ → チャンネル 1～4 表示

17.4.7 「シミュレーション」 サブメニュー

シミュレーション サブメニューは、特定の測定値または別の条件のシミュレーションに使用されます。これにより、機器や接続した制御ユニットが正しく設定されているか確認できます。

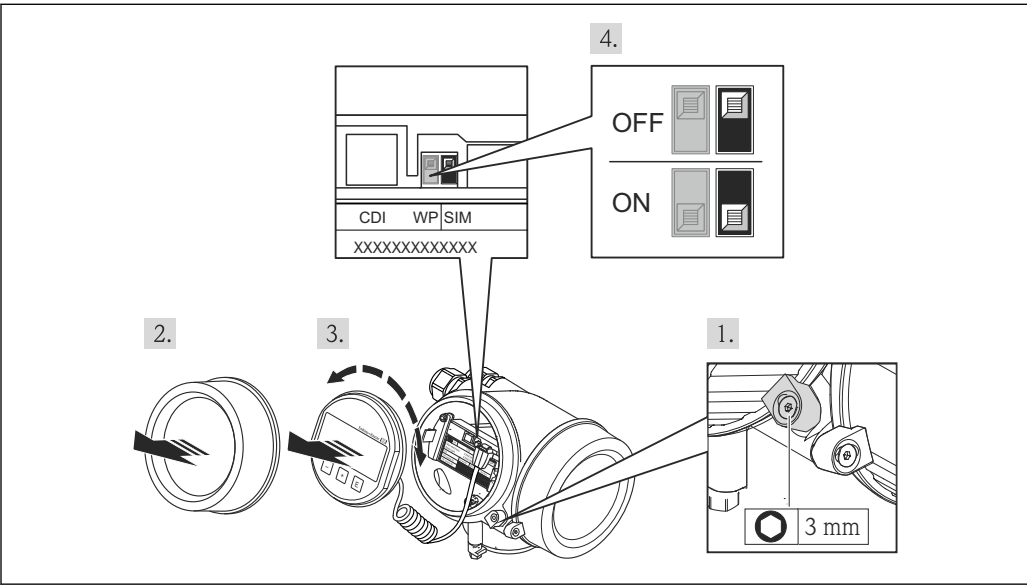
シミュレーション可能な条件

シミュレートする条件	関連するパラメータ
プロセス変数の特定値	■ 測定値の割り当て (→ 243) ■ 測定値 (→ 243)
スイッチ出力の特定状態	■ シミュレーションスイッチ出力 (→ 243) ■ ステータス切り替え (→ 244)
アラームの有無	機器アラームのシミュレーション (→ 244)

シミュレーションの有効化/無効化

測定値のシミュレーションは電子モジュールのハードウェアスイッチ (SIM スイッチ) を使用して有効化または無効化できます。SIM スイッチが ON 位置になっている場合にのみ測定値のシミュレーションは可能です。

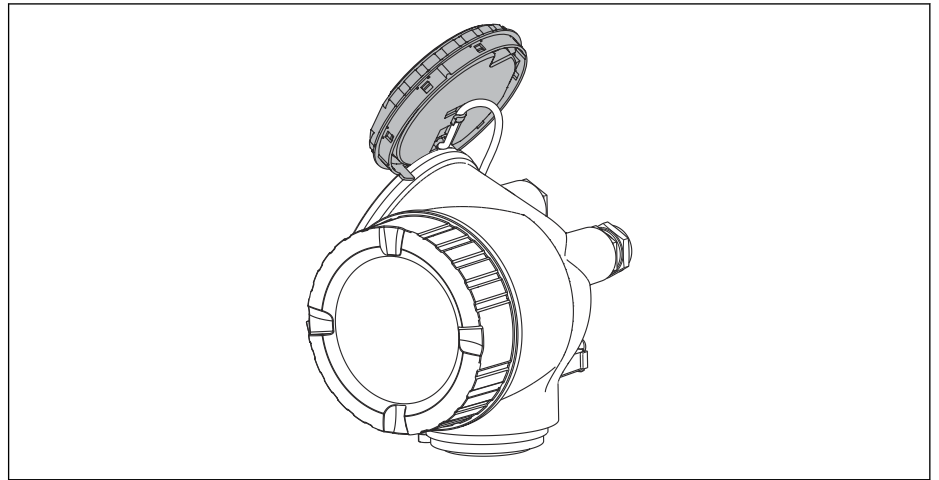
スイッチ出力は SIM スイッチの位置に関係なく、いつでもシミュレーションできます。



A0025882

1. 固定クランプを緩めます。
2. ハウジングカバーを緩めて外します。

3. 表示モジュールを慎重に回転させて引き抜きます。SIM スイッチにアクセスしやすくするため、表示モジュールを電子部コンパートメントの縁に差し込みます。
↳ 表示モジュールを電子部コンパートメントの縁に差し込みます。



A0013909

4. SIM スイッチが **ON** 位置:測定値のシミュレーションが可能です。SIM スイッチが **OFF** 位置 (初期設定) : 測定値のシミュレーションは無効です。
- 5.ハウジングとメイン電子モジュール間の隙間にスパイラルケーブルを収納し、表示モジュールを必要な向きで電子部コンパートメントにかみ合うまで差し込みます。
6. 表示部のカバーを取り付け、固定クランプで締め付けます。

サブメニューの構成

ナビゲーション  エキスパート → 診断 → シミュレーション

▶ シミュレーション		
測定値の割り当て	→	 243
測定値	→	 243
シミュレーションスイッチ出力	→	 243
ステータス切り替え	→	 244
機器アラームのシミュレーション	→	 244

パラメータの説明

ナビゲーション  エキスパート → 診断 → シミュレーション測定値の割り当て

ナビゲーション

 エキスパート → 診断 → シミュレーション → 測定値の割り当て

選択

- オフ
- レベル
- 界面^{*}
- リニアライゼーションされたレベル
- リニアライゼーションされた界面
- リニアライゼーションされた厚み

追加情報

- シミュレートする変数の値は、**測定値** パラメータ (→  243) で設定します。
- **測定値の割り当て ≠ オフ** の場合、シミュレーションはオンです。これは、機能チェック (C) カテゴリの診断メッセージで確認できます。

測定値

ナビゲーション

 エキスパート → 診断 → シミュレーション → 測定値

必須条件

測定値の割り当て (→  243) ≠ オフ

ユーザー入力

符号付き浮動小数点数

追加情報

その後の測定値処理と信号出力には、このシミュレーション値を使用します。これにより、機器が正しく設定されているかどうかを確認できます。

シミュレーションスイッチ出力

ナビゲーション

 エキスパート → 診断 → シミュレーション → シミュレーションスイッチ

説明

スイッチ出力のシミュレーションをオン、オフします。

選択

- オフ
- オン

* 表示はオーダしたオプションや機器のセッティングにより異なります

ステータス切り替え	
ナビゲーション	 エキスパート → 診断 → シミュレーション → ステータス切り替え
必須条件	シミュレーションスイッチ出力 (→  243) = オン に設定します。
説明	ステータス出力をシミュレーションするためのステータスを選択します。
選択	■ オープン ■ クローズ
追加情報	スイッチ状態は、このパラメータで設定した値を取ります。これにより、接続した制御ユニットが正しく動作することを確認できます。

機器アラームのシミュレーション	
ナビゲーション	 エキスパート → 診断 → シミュレーション → アラームのシミュレーション
説明	デバイスアラームのシミュレーションをオン、オフします。
選択	■ オフ ■ オン
追加情報	オン オプションを選択すると、アラームが生成されます。これにより、アラームが発生した場合の機器の出力動作が適切であるかどうかを確認できます。 アクティブなシミュレーションは診断メッセージ  C484 シミュレーションエラーモード で表示されます。

診断イベントのシミュレーション	
ナビゲーション	 エキスパート → 診断 → シミュレーション → 診断シミュレーション
説明	このイベントをシミュレーションする診断イベントの選択。
追加情報	現場表示器を介して操作する場合、選択リストはイベントカテゴリーに応じてフィルタリングできます (診断イベントの種類 パラメータ)。

17.4.8 「機器チェック」サブメニュー

ナビゲーション   診断 → 機器チェック

機器チェック開始



ナビゲーション   診断 → 機器チェック → 機器チェック開始

説明 機器チェックを開始します。

選択

- いいえ
- はい

追加情報 反射がない場合、機器チェックは実施できません。

機器チェックの結果

ナビゲーション   診断 → 機器チェック → 機器チェックの結果

説明 機器チェックの結果を表示します。

追加情報

表示選択の説明

- **インストール OK**
制限のない測定が可能です。
- **精度制限あり**
測定は可能です。ただし、信号振幅により測定精度が低下する可能性があります。
- **測定機能低下**
現時点で測定は可能です。ただし、エコー信号を見失う可能性があります。機器の取付位置と測定物の比誘電率を確認してください。
- **チェック未完了**
機器チェックは実施されていません。

前回のチェック時刻

ナビゲーション   診断 → 機器チェック → 前回のチェック時刻

説明 前回の機器チェックが実施されたときの稼働時間を表示します。

ユーザーインターフェイス 数字、英字、特殊文字からなる文字列

レベル信号	
ナビゲーション	 診断 → 機器チェック → レベル信号
必須条件	機器チェックを実施した場合にのみ表示されます。
説明	レベル信号の機器チェックの結果を表示します。
ユーザーインターフェイス	■ チェック未完了 ■ チェック NG ■ チェック OK
追加情報	レベル信号 = チェック NG : 機器の取付位置と測定物の比誘電率を確認してください。

開始信号	
ナビゲーション	 診断 → 機器チェック → 開始信号
必須条件	機器チェックを実施した場合にのみ表示されます。
説明	開始信号の表示チェックの結果を表示します。
ユーザーインターフェイス	■ チェック未完了 ■ チェック NG ■ チェック OK
追加情報	開始信号 = チェック NG : 機器の取付位置を確認してください。非金属タンクの場合は、金属板または金属フランジを使用します。

界面信号	
ナビゲーション	 診断 → 機器チェック → 界面信号
必須条件	■ 動作モード (→  162) = 界面 または 静電容量による界面 ■ 機器チェックを実施した場合にのみ表示されます。
説明	界面信号の機器チェックの結果を表示します。
ユーザーインターフェイス	■ チェック未完了 ■ チェック NG ■ チェック OK

17.4.9 「Heartbeat」サブメニュー

 **Heartbeat** サブメニューは **FieldCare** または **DeviceCare** を介してのみ使用可能です。**Heartbeat 検証** および **Heartbeat モニタリング** アプリケーションパッケージの一部のウィザードが含まれます。

詳細な説明
SD01872F

ナビゲーション  診断 → Heartbeat

索引

記号

安全上の注意事項 (XA)	14
安全設定 (サブメニュー)	201
下層測定物の DC (パラメータ)	185
稼動時間 (パラメータ)	220, 227
過電圧保護	
一般情報	62
界面 (サブメニュー)	185
界面 (パラメータ)	171
界面距離 (パラメータ)	171, 233
界面信号 (パラメータ)	246
界面測定の設定	101, 112
開始信号 (パラメータ)	246
外部洗浄	135
拡張オーダーコード 1 (パラメータ)	231
管理 (サブメニュー)	223
機器アラームのシミュレーション (パラメータ)	244
機器チェック (サブメニュー)	245
機器チェックの結果 (パラメータ)	245
機器チェック開始 (パラメータ)	245
機器リセット (パラメータ)	223
機器情報 (サブメニュー)	230
機器名 (パラメータ)	231
距離 (パラメータ)	167, 175, 232
距離の確定 (パラメータ)	172, 175
距離の単位 (パラメータ)	162
区切り記号 (パラメータ)	217
空校正 (パラメータ)	164
現在のマッピング (パラメータ)	173
現在の診断結果 (パラメータ)	226
言語の選択	109
高度なプロセス条件 (パラメータ)	182
高度な設定 (サブメニュー)	178
再起動からの稼動時間 (パラメータ)	227
最後のバックアップ (パラメータ)	220
最大値 (パラメータ)	197
実際のプローブ長 (パラメータ)	204, 206
修理コンセプト	136
出力エコー信号消失 (パラメータ)	201
出力信号の反転 (パラメータ)	211
小数点桁数 1 (パラメータ)	215
小数点桁数メニュー (パラメータ)	218
上層部の厚さ (パラメータ)	234
上層部の厚さ手動入力 (パラメータ)	187, 190
上部接続までの距離 (パラメータ)	169
信号品質 (パラメータ)	168
診断 (メニュー)	226
診断 1 (パラメータ)	228
診断イベント	127, 128
診断イベントのシミュレーション (パラメータ)	244
診断リスト (サブメニュー)	228
診断動作の割り当て (パラメータ)	208
数値形式 (パラメータ)	217
製品の安全性	13
設定 (メニュー)	162
設定バックアップの表示 (サブメニュー)	220

設定管理 (パラメータ)	220
前回のチェック時刻 (パラメータ)	245
前回の診断結果 (パラメータ)	226
測定された上層部厚さ (パラメータ)	188
測定値 (サブメニュー)	232
測定値 (パラメータ)	243
測定値シンボル	77
測定値の割り当て (パラメータ)	243
測定物グループ (パラメータ)	163
測定物タイプ (パラメータ)	180
測定物特性 (パラメータ)	180
対処法	
終了	129
呼び出し	129
端子電圧 1 (パラメータ)	234
中間高さ (パラメータ)	197
直径 (パラメータ)	197
登録商標	11
動作モード (パラメータ)	162
入力画面	79
比較の結果 (パラメータ)	221
表示 (サブメニュー)	213
表示のコントラスト (パラメータ)	218
表示のダンピング (パラメータ)	216
表示間隔 (パラメータ)	216
表示形式 (パラメータ)	213
不感知距離 (パラメータ)	183, 186, 202
満量校正 (パラメータ)	165

0～9

1 の値表示 (パラメータ)	215
----------------------	-----

A

Analog input 1～5 (サブメニュー)	176, 234
---------------------------------	----------

B

Block tag (パラメータ)	176, 235
-------------------------	----------

C

CE マーク	13
Channel (パラメータ)	176, 235

D

DC の計算値 (パラメータ)	188
DC の計算値を使用 (パラメータ)	189, 190
DC の自動計算 (ウィザード)	190
DC 値 (パラメータ)	170, 188, 190
DIP スイッチ	
書き込み保護スイッチを参照	

F

FHX50	67
-------------	----

H

Heartbeat (サブメニュー)	247
HistoROM (説明)	114

L

Language (パラメータ) 213

P

Process Value Filter Time (パラメータ) 177

S

SIM スイッチ 240

Status (パラメータ) 235

U

Units index (パラメータ) 236

V

Value (パラメータ) 236

W

W@M デバイスビューワー 137

ア

アクセサリ

機器関連 138

サービス関連 147

通信関連 147

アクセスコード 70

不正な入力 70

アクセスコード設定 70

アクセスコードの確認 (パラメータ) 225

アクセスコード設定 (ウィザード) 225

アクセスコード設定 (パラメータ) 223, 225

アクセスコード入力 (パラメータ) 179

アクセスステータス ツール (パラメータ) 178

アクセスステータス表示 (パラメータ) 178

アプリケーション 12

残存リスク 12

安全注意事項

基本 12

イ

イベントテキスト 128

イベントリスト 131

イベントリスト (サブメニュー) 229

イベント履歴 131

イベントレベル

シンボル 127

説明 127

イベントログのフィルタリング 132

イベントログブック (サブメニュー) 229

ウ

ウィザード

DC の自動計算 190

アクセスコード設定 225

プローブ長の補正 206

マッピング 175

エ

エコー信号消失時の値 (パラメータ) 201

エコー信号消失時急上昇 (パラメータ) 202

オ

オーダーコード (パラメータ) 231

カ

外筒管 38

外部設置 44

界面測定設定 101, 112

書き込みアクセス権 70

書き込み保護

アクセスコードによる 70

書き込み保護スイッチを使用 71

書き込み保護スイッチ 71

キ

キーパッドロック

スイッチオン 74

無効化 74

機器交換 136

機器設定の管理 105, 114

機器の交換 136

気相補正

ロッドプローブの取付け 51

ケ

現場表示器 66

アラーム状態時を参照

診断メッセージを参照

コ

コアキシャルプローブ

構造 18

切断 50

曲げ強度 28

コアキシャルプローブの固定 37

工具 49

コンテキストメニュー 81

サ

サービスインターフェイス (CDI) 経由の操作ツール 68

サブメニュー

Analog input 1~5 176, 234

Heartbeat 247

イベントリスト 131, 229

イベントログブック 229

シミュレーション 242, 243

スイッチ出力 207

チャンネル 1~4 表示 239

データのログ 237

プローブ設定 204

リニアライゼーション 192, 193, 194

レベル 180

安全設定 201

界面 185

管理 223

機器チェック 245

機器情報 230

高度な設定 178

診断リスト 228

設定バックアップの表示 220

測定値	232
表示	213
サブメニューの表示シンボル	76

シ

システムコンポーネント	147
シミュレーション (サブメニュー)	242, 243
シミュレーションスイッチ出力 (パラメータ) ..	243
シミュレーションの無効化	240
シミュレーションの有効化	240
シリアル番号 (パラメータ)	230
資料	
機能	6
資料の機能	6
診断	
シンボル	127
診断イベント	
操作ツール上	130
診断メッセージ	127
診断リスト	131
シンボル	
修正用	79
テキストおよび数値エディタにおいて	79

ス

スイッチオフの値 (パラメータ)	210
スイッチオフの遅延 (パラメータ)	211
スイッチオンの値 (パラメータ)	209
スイッチオンの遅延 (パラメータ)	210
スイッチ出力 (サブメニュー)	207
スイッチ出力機能 (パラメータ)	207
ステータス信号	127
ステータスの割り当て (パラメータ)	207
ステータス信号	76
ステータス切り替え (パラメータ)	211, 244
スペアパーツ	137
銘板	137
すべてのログをリセット (パラメータ)	238

セ

設定	
機器設定の管理	105, 114
操作言語	97
洗浄	135

ソ

操作言語の設定	97
操作上の安全性	13
操作部	
診断メッセージ	128
操作モジュール	75
測定材質	12

タ

タイムスタンプ (パラメータ)	226, 227, 228
タンクタイプ (パラメータ)	162
タンクレベル (パラメータ)	169
断熱	46

チ

地下タンク	41
チャンネル 1~4 表示 (サブメニュー)	239
チャンネル 1~4 の割り当て (パラメータ)	237

テ

データのログ (サブメニュー)	237
テーブルモード (パラメータ)	198
テーブルを有効にする (パラメータ)	200
テーブル番号 (パラメータ)	199
適合宣言	13
デバイスのタグ (パラメータ)	230
電子部ハウジング	
構成	19

ト

トラブルシューティング	124
-------------------	-----

ナ

内筒管	38
-----------	----

ネ

ネジ込み接続	52
--------------	----

ハ

ハードウェア書き込み保護	71
廃棄	137
パイプ直径 (パラメータ)	163
ハウジング	
回転	55
構成	19
バックアップのステータス (パラメータ)	221
バックライト (パラメータ)	218
パラメータのアクセス権	
書き込みアクセス権	70
読み込みアクセス権	70
反射波形表示	82

ヒ

非金属タンク	43
表示部および操作モジュール FHX50	67
表示部の回転	55
表示モジュール	75
表示モジュールの回転	56

フ

ファームウェアのバージョン (パラメータ)	230
フィルタオプション (パラメータ)	229
フェールセーフモード (パラメータ)	211
フランジ	52
フリーテキスト (パラメータ)	196
プローブ接地 (パラメータ)	204
プローブ設定 (サブメニュー)	204
プローブ長の確認 (パラメータ)	205, 206
プローブ長の補正 (ウィザード)	206
プロセス特性 (パラメータ)	181, 185

ヘ

ヘッダー (パラメータ)	216
ヘッダーテキスト (パラメータ)	217

変換器	
表示部の回転	55
表示モジュールの回転	56
変換器ハウジング	
回転	55
返却	137
マ	
マッピング（ウィザード）	175
マッピングの最終点（パラメータ）	173, 175
マップ記録（パラメータ）	174, 175
メ	
メニュー	
診断	226
設定	162
メンテナンス	135
ユ	
ユーザー様の値（パラメータ）	200
ヨ	
要員の要件	12
用途	12
読み込みアクセス権	70
リ	
リニアライゼーション（サブメニュー）	192, 193, 194
リニアライゼーションされたレベル（パラメータ）	196, 233
リニアライゼーションされた界面（パラメータ）	196, 233
リニアライゼーションの方式（パラメータ）	194
リニアライゼーション後の単位（パラメータ）	195
リミットの割り当て（パラメータ）	208
リモート操作	67
レ	
レベル（サブメニュー）	180
レベル（パラメータ）	166, 199
レベル測定設定	99, 111
レベル測定用の取付位置	23
レベル信号（パラメータ）	246
レベル測定の設定	99, 111
レベル単位（パラメータ）	183, 186
レベル補正（パラメータ）	184, 187
ロ	
労働安全	12
ローププロープ	
構造	18
切断	49
取付け	52
引張荷重	27
ローププロープの固定	35
ロギングの時間間隔（パラメータ）	238
ロック状態（パラメータ）	178
ロック状態の表示シンボル	76
ロッドプロープ	
構造	18

切断.....	49
曲げ強度.....	27
ロッドプローブの固定.....	36



www.addresses.endress.com
